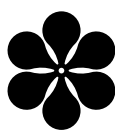
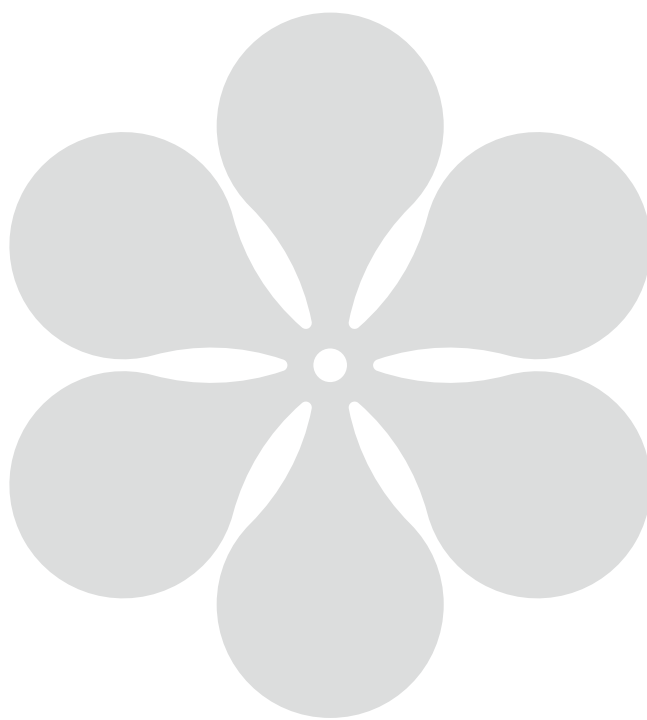


札幌市立大学年報
2023年度



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

目 次

I 概要

1	大学の概要	1
2	デザイン学部の概要	4
3	看護学部の概要	5
4	デザイン研究科の概要	6
5	看護学研究科の概要	7
6	助産学専攻科の概要	8
7	2023年度の特筆すべき事項	9
8	行事	10

II 教育活動

1	教育活動概要	11
2	学際教育・共通教育・連携教育	12
3	デザイン学部	14
4	看護学部	28
5	デザイン研究科	44
6	看護学研究科	50
7	助産学専攻科	62
8	デザインと看護の連携教育	65

III 研究活動

1	個人研究費による研究一覧	67
2	学内公募研究課題一覧	70
3	学外からの研究費、研究補助金などの受入状況	71
4	寄附金の受入状況	73
5	その他研究助成	73
6	海外出張記録	74

IV 社会活動

1	地域貢献諸活動	75
2	公開講座開催実績	85
3	国・自治体審議会等への就任状況	88
4	専門職支援・セミナー講師等	93
5	国際交流実績	103
6	サテライトキャンパスの利用状況	103

V キャリア支援活動

1	デザイン学部	104
2	看護学部(助産学専攻科含む)	109
3	デザイン研究科	112

VI 令和6年度入学者選抜結果

1	デザイン学部・看護学部	115
2	デザイン研究科・看護学研究科	122
3	助産学専攻科	127

Ⅶ 附属図書館

1 概要	128
2 利用状況	129

Ⅷ 法人・学内運営の概要

1 2023年度 公立大学法人札幌市立大学 組織図	130
2 役員会及び審議会の審議状況	130
3 役員会及び審議会委員名簿(2023年4月1日現在)	132
4 経営会議	133
5 部局長会議	133
6 企画室	134
7 広報室	134
8 教授会	134
9 地域連携研究センター	134
10 AITセンター	136
11 附属図書館	136
12 アドミッションセンター	136
13 教育支援プロジェクトセンター	136
14 情報基盤センター	136
15 学内委員会	137
16 構成員名簿(2023年4月3日時点)	139
17 FD・SD活動	144

Ⅸ 資料

1 2023年度計画	146
2 2023年度 決算報告書	156
3 教職員数(2024年3月31日現在)	157
4 管理職一覧表(2024年3月31日現在)	157
5 学生定員及び学生数(2023年5月1日現在)	158
6 授業料等	159
7 奨学金貸与・授業料減免実施状況(2024年3月31日現在)	159
8 学生の入選・受賞(デザイン学部)	161
9 学生の課外活動	162
10 後援会	163
11 教育・研究刊行物一覧	163
12 施設	164
13 大学へのアクセス	167
14 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』	168

Ⅹ 教員一覧

1 教員一覧	169
2 教員業績一覧	170



I 概要

1 大学の概要

1) 設置の経緯

環境問題や少子高齢化、高度情報化、国際化などの進展に伴い、社会構造がますます複雑化する中で、学術研究の高度化、学際化とともに、社会では高い資質と能力を持った職業人が強く求められている。

特に、札幌市においては、公共事業の削減が進む中、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要であり、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

また、今後も当分の間、看護職の不足が続くと予測されているにもかかわらず、看護職養成施設の廃止や定員の削減に伴う新卒看護職の減少が懸念されている。そうした中、在宅医療を支える訪問看護等の需要増加を始めとして、今後は、患者の生活の質向上を目指したケアを行うことができる、広範で高度な看護能力を有する看護職の確保が求められている。

一方、今日の高等教育機関には、その高度な教育研究機能を通じて、これまで以上に地域社会への貢献を果たすことが大きな社会的要請となっている。

1991年に開校した札幌市立高等専門学校は、中学卒業時から5年間の早期一貫教育を行うデザイン系高等教育機関として、実践的職業人を数多く輩出してきたほか、企業や行政からの受託研究などを通じて、産業の振興や市民生活の向上に貢献してきた。

また、1965年に開校した札幌市立高等看護学院は、高校卒業後の3年課程の専修学校として、市立札幌病院を始めとする札幌市内の医療機関に看護職を多数輩出し、市民の健康支援に貢献してきた。

このような状況の中で、先の地域課題への対応や社会的要請にこたえるために、札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院の大学化の必要性と方向性について幅広い論議を行うべく、2001年11月、「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」を設置した。

大学化検討懇話会は、市民論議の中心的役割を担う立場から、インターネットを始め、さまざまな形で寄せられる市民の意見に耳を傾け、審議経過を逐次公開しながら検討を進め、2002年12月、約1年間にわたる市民論議の集大成として、「札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院が社会構造の変化に的確に対応し、かつ、地域社会の要請にこたえていくためには、4年制大学化によるレベルアップをできるだけ早期に図る必要がある。」とした「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」をまとめた。

こうした市民論議の経過を踏まえて、札幌市では、2003年9月に「(仮称)札幌市立大学基本構想」を策定し、2006年春の開学を目指すこととした。

そして、この基本構想に盛り込まれた方向性を具体化するために、2003年11月に大学教育の専門家を中心とする「(仮称)札幌市立大学設置準備委員会」を設置して調査・審議を進め、学部・学科や教育課程、学生の受け入れ、校地・校舎のあり方といった事項について、準備委員会における検討内容を踏まえて、2004年7月に「(仮称)札幌市立大学基本計画」を策定し、2005年4月に札幌市立大学の設置認可申請を行った。同年12月に大学の設置が認可され、2006年4月に開学した。

また、デザインと看護の学部での教育を基盤として、より高度な専門的知識を有する高度専門職業人及び研究者・教育者の育成を目的として大学院修士課程を設置することとした。

大学院修士課程は大学院基本計画に基づき学部1期生の卒業時期に合わせた開設が計画され、2009年5月に札幌市立大学大学院設置認可申請書を文部科学省に提出、10月に大学院の設置が認可され、2010年4月に札幌市立大学大学院修士課程を開設した。

大学院修士課程の開設と併せて、より高度な能力を持った助産師の養成が必要とする社会的要請を受け、本学に助産学専攻科を設置して助産師を育成することとした。

その後、2011年5月に大学院デザイン研究科・看護学研究科の課程変更認可申請書(修士課程を博士課程に変更)を文部科学省に提出、同年10月に認可され、2012年4月に大学院デザイン研究



科・看護学研究科に博士後期課程を開設するとともに、両研究科の修士課程を博士前期課程に改称した。

2) 理念

札幌市立大学では、造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させたデザイン学と看護学を教育研究の対象とする。

また、札幌市立大学では、次の二つの理念を掲げて、デザイン学及び看護学に関する教育研究に取り組むとともに、社会における有為な人材の育成に取り組む。

① 「人間重視を根幹とした人材の育成」

デザイン学と看護学は、いずれも人間を対象とした学問領域であることから、両者に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、一人の人間から社会全体までを対象に、安全で快適な暮らしを創造できる職業人を育成するとともに、知識・技術に加え、教養と人間性を涵養し、有為な人材を育成する。

② 「地域社会への積極的な貢献」

札幌市立大学が市民からの負託にこたえ、「市民に開かれた大学」、「市民の力になる大学」、「市民が誇れる大学」という三つの視点を掲げて、地域貢献という使命を果たし続けていくため、時代の要請に柔軟に対応しながら質の高い教育研究を追究する。

3) 特長

札幌市立大学では、教育研究上の理念のもと、「デザイン学部」及び「看護学部」の二つの学部を設けて教育研究を行うとともに、次の二つの特長を備え、開学後及び将来にわたっての大学の基本的な方向性としている。

① 「デザイン学部と看護学部の連携」

デザイン学部と看護学部を併せ持つという特長を生かし、両学部の教員が連携・共同して教育を行うとともに、保健・医療・福祉分野を対象とするデザインなどを共同研究し、両学部の連携を目指す。

② 「幅広いネットワーク」

行政施策や公的機関、市民、産業界などと連携することにより、幅広いネットワークを持った大学とし、地域課題等に対応した教育研究を積極的に展開することを目指す。

4) 目的

① 学術研究の高度化等に対応した職業人の育成

デザインと看護に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、デザイン分野においては、幅広いデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、看護分野においては、医療の高度化に対応する知識・技術に加え、問題解決能力を有し、他職種と連携できる職業人の育成を目指す。

② まちづくり全体により大きな価値を生み出す「知と創造の拠点」

デザイン学部の設置によって、産業や芸術・文化の振興、都市機能・都市景観の向上などへの貢献を果たすとともに、看護学部の設置によって、少子高齢社会における地域看護の充実、看護職への学習機会の提供などを通じた、市民の健康の保持増進への貢献を果たす。

また、札幌市の行政施策との緊密な連携によって、地域課題の解決に積極的に取り組み、その成果を広く市民に還元して地域貢献を実現する。



沿革

1965年4月	札幌市立高等看護学院 開校
1991年4月	札幌市立高等専門学校 開校
1996年4月	札幌市立高等専門学校専攻科 開設 札幌市立高等専門学校附属研究所 開設
2001年11月	「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」設置
2002年12月	同懇話会による「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」
2003年9月	「(仮称)札幌市立大学基本構想」策定
2003年11月	「(仮称)札幌市立大学設置準備委員会」設置
2004年7月	「(仮称)札幌市立大学基本計画」策定
2005年12月	大学設置認可
2006年3月	公立大学法人札幌市立大学 設立認可
2006年4月	札幌市立大学 開学
2006年10月	サテライトキャンパス 開設
2007年4月	地域連携研究センター 開設 アドミッションセンター 開設
2008年3月	札幌市立高等看護学院 閉校
2008年4月	キャリア支援センター 開設
2008年8月	認定看護管理者制度サードレベル教育課程 開講
2009年3月	札幌市立高等専門学校本科 閉科
2009年10月	大学院（修士課程）設置認可
2009年12月	助産学専攻科の助産師学校指定通知
2010年4月	大学院（修士課程）デザイン研究科・看護学研究科・助産学専攻科 開設
2011年3月	札幌市立高等専門学校専攻科 閉校
2011年10月	大学院（博士課程）変更認可
2012年4月	大学院（博士後期課程）開設 大学院（博士前期課程）に改称
2022年4月	AITセンター 開設



2 デザイン学部の概要

1) 特色

デザイン学部では、大学の特色を踏まえ、幅広い職業人の育成を行うことを基盤とし、デザインという特定の専門分野の教育研究を通じて、社会に貢献することを特色としている。具体的には、優秀で創造的な人材を社会に輩出するほか、企業との共同研究や受託研究といった産学連携、個人の創造性・スキルに基盤を置き、知的資産によって価値を生み出す創造的な産業の振興などを通じて社会に貢献するものである。

したがって、デザイン学部では、2005年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある7つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、デザインという「特定の専門分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

2) 教育目的

デザイン学部では、次のような人材の育成を目的とする。

① 幅広いデザイン能力を持った人材の育成

デザインの基礎的な理論や技術について幅広く教育を行い、高度な職業人に必要なデザイン能力を持った人材を育成する。

② 人間中心の視点に立ったデザインに取り組める人材の育成

造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させ、人にやさしいデザインや使いやすいデザインなど、人間中心の視点に立ったデザインに取り組むことのできる人材を育成する。

③ 地域社会に貢献できる人材の育成

時代や社会の要請を的確に捉えた教育研究に取り組むとともに、地域産業や芸術・文化の振興をはじめ、都市機能や都市景観の向上など、まちづくり全体に幅広く貢献する人材を育成する。

3) 育成する人材像

札幌市においては、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野や、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要視されており、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

デザイン学部では、そうした社会の人材需要にこたえるとともに、教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

① 多様なコミュニケーション能力

的確に意思疎通を図り、豊かな人間関係を形成することができる能力のほか、海外とのコミュニケーションに必要な実用的な英語能力、高度情報化社会に不可欠な情報処理能力を養う。

② 課題探求能力と問題解決能力

社会の課題やニーズを自ら探求する能力と、その問題をデザインによって解決することのできる能力を養う。

③ デザインの基礎となる表現力

豊かな感性を涵養するとともに、創造的な発想と豊かな表現力を養う。

④ 人間や環境に配慮したデザイン思考能力

人間にとって使いやすいデザインや環境への負荷に配慮したデザインを行う能力を養う。

⑤ 新たな価値を発見する柔軟な発想力

固定観念にとらわれず、さまざまな視点からデザインに取り組むことのできる柔軟な発想力を養う。

⑥ 企画力や管理・運営能力

デザインを実践的に活用することのできる企画力や管理・運営能力を養う。



3 看護学部の概要

1) 特色

看護学部では、幅広い職業人を育成することを基盤として、看護学という特定の専門的分野の教育研究を通じて、社会貢献を果たしていくことを特色としている。具体的には、確実な看護実践力を持ち、高い資質を有する看護職を輩出するとともに、保健・医療・福祉行政や関係機関などと連携し、地域看護の充実や市民の健康の保持増進につながる研究を通して社会に貢献するものである。

したがって、看護学部では、2005年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある7つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、看護という「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

2) 教育目的

看護学部では、看護職として活躍する次のような人材の育成を目的とする。

① 的確な実践力を有する人材の育成

看護は、看護の理論や知識を基盤とした看護実践を通して研鑽を重ねつつ、専門性を深める学問である。

高度・専門化する医療、多様化する看護ニーズに対応するためには、緻密な観察に基づく的確な判断能力と技術力、さらにこれらを基盤とした問題解決能力が求められる。また、人々がより高い水準の健康を維持・獲得するためには、科学的根拠に基づいた専門的知識・技術を用いて、自律的にケアを推進する実践的な援助能力が求められる。

このため、あらゆる健康レベルや場において、人々が快適で安全に安心して生活できるよう、理論・知識・根拠に基づき的確に看護を実践できる技術と能力を有する看護職を育成する。

② 人間性を尊重した対人関係形成能力を備えた人材の育成

看護の援助過程は、看護職と看護を必要とする人との人間関係形成により進行するものである。看護職は、人間の尊厳を重視し、安心感を与える態度・態様が求められるとともに、看護行為を実施する上では、すべての人に対する人権の擁護と倫理的判断ができるように常に志向することが肝要である。

また、医療施設における看護はもとより、福祉施設や在宅における看護、地域における看護など、看護職に求められる能力、期待される役割が増大しているとともに、高度化する医療は、さまざまな職種の医療従事者を必要としており、看護職や他の従事者と連携・協働し、対象である人間を中心とする視点に立った医療・看護を提供することが重要である。

このため、対象あるいは医療従事者間との意思疎通を図り、対人関係の形成のために、身体的側面だけではなく、心理的、社会的側面から人間を理解し、幅広い教養を基盤とした豊かな人間性と倫理観を備えた看護職を育成する。

③ 地域社会に貢献できる人材の育成

市民の健康に対するニーズの増大や価値観の多様化などに伴い、看護職に対する需要は増大、複雑化してきており、本学では、このような地域の看護需要に対応することが必須になる。

このため、保健・医療・福祉などの学びに加えて、幅広い分野・職種と連携し、創造的、主体的に学習することで、積極的に地域社会における市民の健康の保持増進に貢献できる人材を育成する。また、看護職に対する需要は、それぞれの地域ごとに異なっており、札幌市はもとより、北海道内あるいは全国的な視点から、看護の発展に寄与できる看護職を育成する。

3) 育成する人材像

札幌市には、多くの高度・専門的医療機関が立地し、北海道における高度・先進的医療技術の中核的役割を担っている。少子高齢化が急速に進行し、さらに、独居老人世帯数、高齢夫婦世帯数も増加しており、このような社会情勢に的確に対応した看護職が求められている。

このため、看護学部では、医療機関における高度・専門的医療を担う看護職を育成することはもとより、在宅の高齢者等に対する看護、保健指導など地域の看護需要に対応できる看護職を育成す



ることとし、こうした社会の人材需要の充足と教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

- ① 対人関係形成能力
豊かな人間性と倫理的判断力を備え、安心感を与える的確な意思疎通により対人関係を形成できる能力を養う。
- ② 権利擁護・安全なケア提供能力
さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階、さまざまな場において、対象の権利を擁護し、安全なケアを提供できる能力を養う。
- ③ 的確な判断能力と問題解決能力に基づく看護実践技術力
緻密な観察と科学的知識に基づく的確な判断能力と問題解決能力を培い、これらを基盤とした看護実践技術力を養う。
- ④ 医療従事者間における調整・指導のための基礎的能力
看護対象者の視点から保健・医療・福祉を追究し、各分野における看護の専門性と役割を認識の上、医療従事者間の調整や指導的役割を担うための基礎的な能力を養う。
- ⑤ 課題解決力を高めるための自己研鑽能力
主体的・創造的に課題探求に取り組み、解決する力を高めるために継続的に自己研鑽できる能力を養う。

4 デザイン研究科の概要

1) 特色

デザインの役割が拡張し、従来のように造形や視覚表現にとどまらず、社会や地域、産業等の複雑な問題をデザイン課題として受け止め、人間や環境に配慮したデザイン提案によりその解決策を実現できる、高度なデザイン能力を有する人材が必要となっている中で、デザイン研究科では、よりよい地域社会の実現に貢献できる高度専門職業人及び研究者・教育者を育成するため、以下の能力を修得することを特色とする。

また、2005年9月中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の四つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組むことを特色とし、以下の能力の修得を目指している。

【博士前期課程】

- ① 複合的かつ複雑な課題・問題を解決できる「課題解決能力」
- ② デザインを通じて新たな価値を見出すことができる「創造力」
- ③ 課題・問題の発見、分析から具体的事業化までを一貫したデザインプロセスとしてまとめることができる「企画調整能力」
- ④ 一連のデザインプロセスを具体化して実践できる「実践能力」

【博士後期課程】

- ① 自身の専攻分野の専門的知識・技能を中心としつつ、関連近隣分野の基礎的素養も修得し、幅広い見識から事象の本質を捉える「課題発見・分析・解決能力」
- ② デザインの視点を通じて自主的・自立的に研究や調査、分析等を実践できる「研究遂行能力」
- ③ 国内外の専門家や研究者とのコミュニケーションを図りながら、広く社会全体を俯瞰し、「リーダーシップ」を発揮できる確かな「調整力」及び「指導力」



2) 教育目的

【博士前期課程】

地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業、芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としている。

【博士後期課程】

自立した研究者として独創的な視点から社会課題を発見するとともに、深く研究に取り組み、デザイン分野における学術理論及び技能の高度化の追求を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

3) 育成する人材像

【博士前期課程】

① 人間空間デザイン分野

高質な建築・都市空間や自然と共存する地域環境のデザイン、およびこれからの社会を提案するまちづくりや地域コミュニティデザインの能力を有する人材

② 人間情報デザイン分野

個々の人間に着目し、デザインを科学的に探究するとともに、ものづくりとコミュニケーションのデザイン能力を有する人材

【博士後期課程】

① デザインを通じた組織構築や質改善のためのシステム開発を実践し、組織において指導的立場となり得る人材（高度専門職業人）。

② 自立して研究活動を行い、デザインの学問的体系を構築できる人材（研究者・教育者）。

5 看護学研究科の概要

1) 特色

近年、看護分野は専門分化しており、これに対応する卓越した実践能力を有する看護職及び統合的な調整能力を有する看護管理者の育成が急務となっている。

また、これら卓越した臨床能力及び看護の専門性のさらなる向上には、看護の未来を見据えた洞察力・創造力を有し、学問的理念を基盤として研究を推進する自立した教育者・研究者の果たす役割が大きい。

看護学研究科は、このような社会の要請に応える人材を育成し、札幌を発信源に、21世紀の看護の一端を担い、これを保健・医療・福祉分野へ発信できる、看護のバランス感覚に優れた人材の育成を目指している。

なお、本研究科では、2005年9月5日中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の4つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組むことを特色とし、以下の能力の修得を目指している。

【博士前期課程】

① 正確性・緻密性及び独創性を有する高度な臨床看護実践能力

② 高度な倫理観に基づき、専門看護分野において分析・判断・行動・評価ができる能力

③ 他職種と協働し、看護における将来展望に資する統合・調整ができる能力

④ 積雪寒冷地における健康づくり支援に取り組む能力

【博士後期課程】

① 看護に対する社会的課題を的確に認識し、将来を見据えた技術開発やシステムの検証・創出、組織での施策提言等を行う能力

② 豊かな人間性や広い視野に加え、高度な倫理観、専門知識や技能に裏打ちされる高い管理能力、指導能力



- ③ 高度な学識と臨床の両面から、看護学の基礎研究や応用研究に自立的に取り組み、実践科学としての看護学を追究する能力

2) 教育目的

【博士前期課程】

保健・医療・福祉分野における様々な課題に主体的に取り組む高度な看護実践能力を有する看護職及び総合的な調整能力を有する看護管理者の育成を目指し、市民の健康の保持増進への貢献を果たすことを目的としている。

【博士後期課程】

自立した研究者として、様々な看護現象に対して深く研究に取り組み、看護の枠組みの再構築やシステム開発や、技術開発などを行い、看護分野における学術理論及び技能の高度化の追究を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

3) 育成する人材像

【博士前期課程】

- ① 保健・医療の中核を担う高度臨床看護実践者（専門看護師を含む）
- ② 総合的に看護ケアをマネジメントする看護管理者
- ③ 地域や在宅において健康な生活と福祉の向上に率先して貢献する看護職
- ④ 看護の未来を創造・開拓する看護研究者・看護教育者
- ⑤ 看護技術の開発及び評価能力を備える人材
- ⑥ 幅広い視野のもとで新しい看護システムや制度の開発に資する人材

【博士後期課程】

- ① 他職種との協働・連携を円滑に行える人間性とともに交渉力や調整能力、さらにはイノベーション力等を推進できる高度専門職業人
- ② 健康問題や社会の動向をグローバルに捉え、高度な専門知識と豊かな臨床経験の両面から、エビデンスに基づく基礎研究や応用研究を自立的に推進して的確な分析・評価等を行い、地域や保健医療機関等が抱える課題解決に真摯に向き合う研究者
- ③ 大学等の高等教育機関において、次世代を担う看護職に高度な教育・研究の成果とその方法論、指導論等をより高い倫理観や職業観をもって教授できる教育能力を有する教育者

6 助産学専攻科の概要

1) 特色

助産学専攻科では、学士課程4年間に於いて培った自己研鑽力が発揮できる教育課程を特色としている。

その1つとして、選択科目を設定せず、学生個々に助産学に広く関連した課題を発見し、自ら学びを深める機会を創っている。加えて、この学びの更なる発展に向け文献研究を行う。

また、1年間の学修では、助産師に必要な基本的知識・技術を土台に、ハイリスク事例に対応できるような高度な知識・技術を熟練した助産師と専門医のもとで修得する。この学修では、看護師資格が大いに役立っている。

2) 教育目的

札幌市立大学の理念である「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」を基盤に、各種助産技術能力の正確な修得を目指し、次のような教育を目的とする。

- ① 助産師に必要な基本的かつ高度な知識が修得できる。
- ② 助産師に必要な基本的かつ正確な助産技術が修得できる。
- ③ 助産師に必要な知識と技術を統合し、助産ケアが実践できる。



3) 育成する人材像

北海道、札幌市においては、需給見通しで助産師の不足が見込まれる一方、産科医師の減少などにより、助産師の需要がさらに増加する可能性がある。また、少子高齢化が急速に進行する中で、より一層安全で安心な分娩介助が求められるとともに、思春期や更年期への相談など、助産師が担う役割は広範化・高度化する傾向にある。

このため、助産学専攻科においては、次のような人材を育成する。

- ① 助産に関する高度な知識と正確な技術を幅広く有する助産師
- ② 地域社会における母子健康の向上に貢献できる助産師
- ③ 人間性豊かな助産師

7 2023年度の特筆すべき事項

1) 第三期中期目標期間終了

札幌市が策定した「実社会との関わりをより一層深めることによって「D×N」による教育・研究・地域貢献の取組を磨き上げ、一つひとつの成果を市民が実感できるものとしていく」ことを基本とする第三期中期目標（2018年度～2023年度）を受け、札幌市立大学では第三期中期計画を策定した。第三期中期計画は、「教育」「研究」「地域貢献」「大学運営」の4つの大項目に区分し、全項目に成果指標を設定し、学部ごとや大学院の計画を初めて設定した。札幌市が設置した地域に身近な大学として、有為な人材を輩出し、有用性の高い研究を推進し、知的資源を地域に還元することにより、市民の期待に応える教育・研究・地域貢献を引き続き着実にを行うとともに、その内容や成果をわかりやすく発信し、「市民に開かれ、市民の力になり、市民の誇りとなる大学」として更に認知されるよう取り組んだ。

2) 大学評価（認証評価）

学校教育法第109条第2項において、大学は7年以内ごとに文部科学大臣の認証を受けた者（認証評価機関）による評価（認証評価）を受けることが義務化されている。札幌市立大学は、2023年度をもって第三期中期計画の期間を終え、新たに第四期中期計画の期間に移行する。この期を捉え、（公財）大学基準協会による認定期間を1年残すことになるが、第三期中期計画を振り返りながら自己点検・評価を行い、（一社）公立大学協会が設立した（一財）大学教育質保証・評価センターで3回目となる認証評価を受審した。この結果、同評価センターによるによる書面評価、実地調査等を経て、同評価センターが定める大学評価基準を満たしている旨の認定を受けた。

3) まこまないキャンパス閉鎖

2013年に採択された「地(知)の拠点整備事業（大学COC事業）」以降、2015年からCOCキャンパスとして活動を始め、COC事業終了後も教育、研究、地域貢献の場として活用してきた。2024年度から継続事業の拠点を芸術の森キャンパスに移転することとし、2024年3月31日をもってまこまないキャンパスを閉鎖した。

4) 札幌市と札幌市立大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所の包括的連携協力に関する協定の締結

札幌市、札幌市立大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所が、包括的な連携のもとに寒冷地域における防災・減災に関する研究及び活動を推進するとともにその成果の活用を図り、災害に強いレジリエンスの高い地域づくりの実現に資することを目的とし、2024年1月30日に協定を締結した。



8 行事

行 事 名	月 日
入学式	4月3日
前期ガイダンス	4月4日
前期授業開始	4月5日
前期履修登録期間	4月5日～12日
健康診断	4月10日・12日
第1回オープンキャンパス	6月17日
デザイン学部3年次編入学試験	7月15日
大学院デザイン研究科博士前期課程推薦選抜入学試験	7月15日
前期定期試験期間	7月31日～8月10日
夏季休業	8月12日～30日
看護学部社会人特別選抜入学試験	9月2日
助産学専攻科入学試験	9月2日
第2回オープンキャンパス	9月16日
大学祭	9月16日～18日
後期ガイダンス	9月15日・29日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月23日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月23日
後期授業開始	9月19日・10月2日
後期履修登録期間	10月2日～10日
デザイン学部総合型選抜入学試験	10月7日
デザイン学部学校推薦型選抜・特別選抜（社会人）入学試験	11月18日
看護学部学校推薦型選抜入学試験	11月18日
冬季休業	12月26日～1月3日
後期定期試験期間	1月4日～5日 1月30日～2月16日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	2月3日
大学院看護学研究科博士後期課程入学試験	2月3日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	2月17日
大学院デザイン研究科博士後期課程入学試験	2月17日
デザイン学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
看護学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
デザイン学部特別選抜入学試験（私費外国人留学生）	2月25日
春季休業	3月1日～31日
卒業式・修了式	3月19日



II 教育活動

1 教育活動概要

1) デザイン学部・看護学部

デザイン学部・看護学部共通の「学際教育科目」は、両学部に通ずる「人間重視」の考え方を基本に、両学部の学生が一緒に学習することにより、学部間の交流を深め、異なる分野を志す学生が互いの発想に触れ、広い視野を持つことができるよう体系化した。また、「学際教育科目」は、①大学における心構えや履修方法、あるいは基本的な学習の進め方や研究方法を学ぶ「導入科目」、②文化や人間、社会に対する理解を目的とする「科学系科目」、③語学などのコミュニケーション・ツールの修得を目的とする「技術・スキル系科目」の3つの区分で構成した。

デザイン学部の「専門教育科目」は、デザインの基礎的な理論や技術から、より専門性の高い知識や技術、実践的・発展的な知識やデザインの方法までを体系的に理解できるよう、①「基本科目」、②「展開科目」、③「発展科目」の3つの科目群で構成した。また、学芸員の資格を取得するために必要となる科目を「自由科目」という区分で開講した。その他、専門教育科目を履修する上で必要となる技術や知識を補完する目的で特別講義を2件計画し、対面形式で実施した。

看護学部の「専門教育科目」は、専門科目を学ぶ前提や基礎となる「専門基礎科目」と看護の専門的知識・技術を学ぶ「専門科目」で構成し、段階を踏んで学修できるよう体系化している。特に「専門科目」の各看護領域の授業カリキュラムは、まず「概論科目」により基本理念や考え方を理解した後、「演習科目」「実習科目」を学ぶことで、高度な実践的能力を修得できる構成としている。「実習科目」は、1年次から4年次まで開講し、各学年の講義・演習のレベルに応じた実習を行っている。また、2012年度（編入学生は2014年度）以降の入学生のうち、保健師国家試験受験資格の取得を希望する場合は、必要な単位を修得したうえで保健師コースを選択することとしている。保健師コースは3年次前期終了時に選択（編入学生を含む）することとしており、選択希望者が30名を上回る場合は、面接及び3年次前期までの成績等により総合的に判定し、選択者を決定している。ただし、2023年度入学生から、保健師コースの募集を停止し、2026年度に保健師国家試験受験資格の取得ができる、看護学専攻科公衆衛生看護学専攻の設置を予定している（文部科学省への申請準備中）。

2) デザイン研究科

デザイン研究科博士前期課程の授業科目は、幅広い視野を身につけ、デザインと看護に共通する関連領域の基礎的素養を涵養するため、看護学研究科と合同で行う「研究科連携科目」とデザイン分野における高度専門職業人及び研究者・教育者に必要な専門知識・技術、研究方法を修得するための「専門教育科目」の2つに区分し、「専門教育科目」はさらに「基本科目」、「展開科目」、「実践科目」及び「修了研究」の4つの科目群で構成され、学生がデザインの高度かつ専門的な知識・技術を学ぶことができるよう体系化している。

デザイン研究科博士後期課程では、「基本科目」、「展開科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分を設け、体系的なコースワークによる教育課程を編成し、研究指導を体系的・組織的に展開する教育・研究環境を整備している。それにより、専門分野に関する高度な専門知識及び能力を修得させるとともに、関連する分野の教育を行っている。

3) 看護学研究科

看護学研究科博士前期課程の授業科目は、課程制大学院の趣旨に従い、教育目標を達成するために体系化した構成としている。科目区分は、デザイン研究科と合同で授業を行う「研究科連携科目」と、看護学の各専攻分野に関する高度の専門的知識および能力を修得する「専門教育科目」に区分し、卓越した能力を発揮できる人材を育成する。また、専門看護師（CNS）教育課程の認定基準に沿った授業科目も配置し、広く保健・医療・福祉や看護学の発展に寄与することを目指している。



看護学研究科博士後期課程は、課程制大学院としてコースワークを意識し、コースワークがリサーチワークの基礎となるよう学修できる教育課程を構成している。「連携科目」、「専門科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分に基づき体系的な授業展開を行い、看護学開発の基盤形成をねらいとする「看護学特講（1年次前期）」の学修を通じて、社会を広く俯瞰し看護学のさらなる進化、発展に取り組む提案力を形成する。各特講科目では、高度な創造性を涵養して主体的に課題発見や新たな提案を行い、「特別研究」で独創的な研究を取りまとめる。

4) 助産学専攻科

助産学専攻科では、助産に関する幅広く、高度な知識と正確な技術を有し、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目標として教育課程を編成している。また、助産師活動に不可欠な技術・能力を高い次元で身につけるため、学部教育と同様にOSCEを導入し、各種助産技術能力の修得度を適正に評価している。

2 学際教育・共通教育・連携教育

1) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
スタートアップ演習	演習・60時間	1年次前期	◎松井 美穂 片山めぐみ 武田 亘明 張 浦華 並木翔太郎 丸山 洋平 御手洗洋蔵 石田 勝也 松永 康佑 坪内 健 貝谷 敏子 牧野 夏子 石引かずみ 伊東健太郎 工藤 京子 三戸部純子 久保田祥子 坂本 結城 田仲 里江 西川めぐみ
哲学と倫理	講義・30時間	1年次前期	★中島 孝一
表象文化論	講義・30時間	1年次前期	◎松井 美穂 若林 尚樹 ★苫名 真
生活と文化	講義・30時間	1年次前期	★野々原由佳子
体のしくみ	講義・30時間	1年次前期	小宮加容子
自然科学A（科学史）	講義・30時間	1年次前期	★小野田波里
札幌を学ぶ	講義・30時間	1年次前期	丸山 洋平
英語 I A	演習・30時間	1年次前期	松井 美穂 並木翔太郎
英語 I B	演習・30時間	1年次前期	★赤間 荘太 ★泉 瞳 ★白土 淳子 ★町田佳世子
英語 I C	演習・30時間	1年次前期	★アイツ バマイ モクター ★山田 パトリシア
日本語表現法	演習・30時間	1年次前期	★斎木 正直 ★齊田 春菜 ★錦戸 葵 ★安永 立子
基礎カウンセリング	演習・30時間	1年次前期	★小坂 守孝
情報リテラシー I（デザイン学部）	演習・30時間	1年次前期	大淵 一博
情報リテラシー I（看護学部）	演習・30時間	1年次前期	★新井田光希
宗教と思想	講義・30時間	1年次後期	★堀 雅彦
芸術文化論	講義・30時間	1年次後期	★望月由美子
文学の世界	講義・30時間	1年次後期	松井 美穂
心のしくみ	講義・30時間	1年次後期	★岸 靖亮
自然科学C（動物の生態）	講義・30時間	1年次後期	★本田 直也



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
現代社会論A (人口・家族)	講義・30時間	1年次後期	丸山 洋平
現代社会論C (経済)	講義・30時間	1年次後期	★近藤 公彦
現代社会論D (社会言語学)	講義・30時間	1年次後期	並木翔太郎
現代社会論E (情報科学)	講義・30時間	1年次後期	高橋 尚人
統計の世界 (看護学部)	講義・30時間	1年次後期	丸山 洋平
英語ⅡA	演習・30時間	1年次後期	並木翔太郎 ★赤間 荘太 ★白土 淳子 ★泉 瞳
英語ⅡB	演習・30時間	1年次後期	松井 美穂 並木翔太郎 ★白土 淳子 ★町田佳世子
英語ⅡC	演習・30時間	1年次後期	★アイツ バマイ モクター ★山田 パトリシア
プレゼンテーション	演習・30時間	1年次後期	◎武田 亘明 矢久保空遥
手話	演習・30時間	1年次後期	★高橋 淨
情報リテラシーⅡ (デザイン学部)	演習・30時間	1年次後期	横溝 賢
情報リテラシーⅡ (看護学部)	演習・30時間	1年次後期	★新井田光希
自然科学B (環境)	講義・30時間	2年次前期	◎★矢部 和夫 ★平野 高司
現代社会論B (国際関係)	講義・30時間	2年次前期	★先川信一郎
日本国憲法を学ぶ	講義・30時間	2年次前期	★岡田 信弘
実践英語A (デザイン学部)	演習・30時間	2年次前期	★白土 淳子
実践英語B (デザイン学部)	演習・30時間	2年次前期	★アイツ バマイ モクター
実践英語A (看護学部)	演習・30時間	2年次前期	★二ノ宮靖史
実践英語B (看護学部)	演習・30時間	2年次前期	★山田 パトリシア
グループ・ダイナミックス	演習・30時間	2年次前期	★渡邊 舞
ボランティア基礎演習	演習・30時間	2年次前期	★篠原 辰二
ジェンダー論	講義・30時間	2年次後期	松井 美穂
健康とスポーツ (看護学部)	講義・30時間	2年次後期	★出町 道代
韓国語	演習・30時間	2年次後期	★松田 由紀
中国語 (看護学部)	演習・30時間	2年次後期	◎★山田 千尋 ★照井はるみ
ロシア語 (看護学部)	演習・30時間	2年次後期	★ジダーノフ ウラジーミル
健康とスポーツ (デザイン学部)	講義・30時間	3年次前期	★出町 道代
中国語 (デザイン学部)	演習・30時間	3年次前期	◎★山田 千尋 ★照井はるみ
ロシア語 (デザイン学部)	演習・30時間	3年次前期	★ジダーノフ ウラジーミル
統計の世界 (デザイン学部)	講義・30時間	3年次後期	丸山 洋平

◎印：科目責任者 (オムニバス形式等の場合)

★印：非常勤講師



3 デザイン学部

1) 2023年度時間割

① 1年前期

		月	火	水	木	金	
1	9:00 ～ 10:30	人間空間デザイン論	材料加工理論/実習I		デザイン史	体のしくみ	人間情報デザイン論
					情報リテラシーI(N)		
2	10:40 ～ 12:10	時間表現理論/演習I	情報リテラシーI(D)		情報リテラシーI(N)	英語IA 英語IB 英語IC 日本語表現法	哲学と倫理
							生活と文化
3	13:10 ～ 14:40	時間表現理論/演習I	デザインと数学		英語IB 英語IC 日本語表現法	英語IA 英語IB 英語IC 日本語表現法	札幌を学ぶ
							表象文化論
4	14:50 ～ 16:20	表現基礎(描画)	材料加工理論/実習I	情報リテラシーI(D)	英語IB 英語IC 日本語表現法	スタートアップ演習	英語IA 英語IB 英語IC 基礎カウンセリング
					自然科学A(科学史)		
5	16:30 ～ 18:00						
6	18:10 ～ 19:40				地域プロジェクトI 地域プロジェクトII		

② 1年後期

		月	火	水	木	金	
1	9:00 ～ 10:30	視覚・色彩心理学	情報リテラシーII(D)		プレゼンテーション	統計の世界(N)	手話
						プレゼンテーション	Webデザイン
2	10:40 ～ 12:10	デザイン工学			宗教と思想	文学の世界	手話
					自然科学C(動物の生態)	心のしくみ	Webデザイン
3	13:10 ～ 14:40	アイデア生成プロセス	材料加工理論/実習II	情報リテラシーII(D)	英語IIA 英語IIB 英語IIC 情報リテラシーII(N)	英語IIA 英語IIB 英語IIC	現代社会論A(人口・家族)
4	14:50 ～ 16:20	表現基礎(製図)			英語IIA 英語IIB 英語IIC 情報リテラシーII(N)	英語IIA 英語IIB 英語IIC	英語IIA 英語IIB 英語IIC
		表現基礎(構成)					
5	16:30 ～ 18:00	表現基礎(製図)			芸術文化論	現代社会論D(社会言語学)	英語IIA 英語IIB 英語IIC
		表現基礎(構成)				現代社会論E(情報科学)	
6	18:10 ～ 19:40				地域プロジェクトI 地域プロジェクトII		



③ 2年前期

		月	火	水	木	金	
1	9:00 ~ 10:30	デザイン総合実習Ⅰ	日本国憲法を学ぶ	ビジュアルライ ゼーションⅠ	近現代建築史	コミュニティデザイン論	
			ボランティア基礎演習				
			現代社会論B(国際関係)				
2	10:40 ~ 12:10	デザイン総合実習Ⅰ	時間表現 理論/ 演習Ⅱ	実践英語A (N)	フィールドスタディ	建築設計製図	実践英語A(D)
				実践英語B (N)		プログラミングⅠ	実践英語B(D)
3	13:10 ~ 14:40	デザイン研究法 (人間情報)	環境 計画論	実践英語A (N)	協同デザインⅠ	環境芸術論	実践英語A(D)
		デザイン研究法 (人間空間)	時間表現理 論/演習Ⅱ	実践英語B (N)			実践英語B(D)
4	14:50 ~ 16:20	3DCG実習 (表現系)	グループ・ ダイナミクス	建築系CAD実習	プロダクトデザインⅠ	建築計画論	
5	16:30 ~ 18:00		自然科学B(環境)		情報製品製図	学部連携基礎論	
6	18:10 ~ 19:40				地域プロジェクトⅠ 地域プロジェクトⅡ		

④ 2年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:30	プロダクトデザインⅡ	ジェンダー論	環境心理学	空間プロダクト	韓国語(D)
			空間デザイン史	Webプログラミング	メディア芸術論	韓国語(D) 協同デザインⅡ
3	13:10 ~ 14:40	建築デザイン論	家具・インテリア デザイン	コンピュータ グラフィックス	情報社会論	ユニバーサル デザイン論
		プログラミングⅡ				
4	14:50 ~ 16:20	一般構造	家具・インテリア デザイン	3DCG実習(建築系)	デザイン総合実習Ⅱ	
5	16:30 ~ 18:00	製品系 CAD実習				
6	18:10 ~ 19:40				地域プロジェクトⅠ 地域プロジェクトⅡ	



⑤ 3年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:30	ビジュアルイ ゼーションII	建築設備計画	ヒューマン インタラクションI	生涯学習概論	ランドスケープ アーキテクチャ
			プログラミングIII			
2	10:40 ~ 12:10	博物館資料論	中国語 (D)	博物館情報・ メディア論	空間演出デザイン論	構造力学I
		博物館概論	ロシア語 (D)			
3	13:10 ~ 14:40		中国語 (D)	健康とスポーツ (D)	都市計画論	デザイン総合実習III
			ロシア語 (D)			
4	14:50 ~ 16:20	メディア社会論	インターンシップ	博物館概論		
				博物館資料論		
5	16:30 ~ 18:00	感性情報学	キャリアガイダンス	博物館教育論	ユーザーエクスペリエンス デザインI	
6	18:10 ~ 19:40				地域プロジェクトI 地域プロジェクトII	

⑥ 3年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:30	寒冷地デザイン論	構造力学II		ユーザーエクスペリエンス デザインII	デザイン展開プロセス
2	10:40 ~ 12:10	博物館展示論	統計の世界 (D)	建築法規	建築生産	博物館経営論
3	13:10 ~ 14:40	建築構法		キャリアデザイン	構造・材料実験	空間映像表現
		ヒューマン インタラクションII				
4	14:50 ~ 16:20	博物館資料保存論	学部連携演習			デザイン総合実習IV
5	16:30 ~ 18:00	地域ブランド構築				
6	18:10 ~ 19:40				地域プロジェクトI 地域プロジェクトII	



⑦ 4年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ∩ 10:30	博物館実習	知的財産権論			ビジュアルライゼーションⅢ
2	10:40 ∩ 12:10		デザイン英語			起業・経営論
3	13:10 ∩ 14:40	博物館実習	観光デザイン論		住宅論 ユーザーエクスペリエンス デザインⅢ	景観デザイン文化論
4	14:50 ∩ 16:20					
5	16:30 ∩ 18:00		キャリアガイダンス			
6	18:10 ∩ 19:40			卒業研究Ⅰ	地域プロジェクトⅠ 地域プロジェクトⅡ	
7	19:50 ∩ 21:20					

⑧ 4年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ∩ 10:30					
2	10:40 ∩ 12:10					
3	13:10 ∩ 14:40			キャリアガイダンス		
4	14:50 ∩ 16:20					
5	16:30 ∩ 18:00					
6	18:10 ∩ 19:40			卒業研究Ⅱ	地域プロジェクトⅠ 地域プロジェクトⅡ	
7	19:50 ∩ 21:20					



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

2022年度（編入学生は2024年度）以降入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件 単位			
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
学際教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2													2単位	
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義		2		○										12単位以上
		宗教と思想	講義		2			○									
		芸術文化論	講義		2			○									
		表象文化論	講義		2		○										
		ジェンダー論	講義		2					○							
		文学の世界	講義		2			○									
		生活と文化	講義		2		○										
	人間と自然に対する理解	心のしくみ	講義		2			○									
		体のしくみ	講義		2			○									
		健康とスポーツ	講義		2							○					
		自然科学A（科学史）	講義		2		○										
		自然科学B（環境）	講義		2					○							
	社会に対する理解	自然科学C（動物の生態）	講義		2				○								
		現代社会論A（人口・家族）	講義		2			○									
		現代社会論B（国際関係）	講義		2					○							
		現代社会論C（経済）	講義		2			○									
		現代社会論D（社会言語学）	講義		2				○								
		現代社会論E（情報科学）	講義		2				○								
	技術・スキル系科目	日本語を学ぶ	講義		2					○							
		札幌を学ぶ	講義		2		○										
		統計の世界	講義		2							○					
		言語	英語 I A	演習	1			○									6単位
			英語 I B	演習	1			○									
			英語 I C	演習	1			○									
英語 II A			演習	1				○									
英語 II B			演習	1				○									
英語 II C			演習	1				○									
実践英語A			演習		1					○						2単位以上	
実践英語B	演習			1					○								
情報技術	韓国語	演習		1						○							
	中国語	演習		1							○						
	ロシア語	演習		1								○					
	その他言語 I（他大学履修）	演習		1		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	その他言語 II（他大学履修）	演習		1		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	情報リテラシー I	演習	1			○									2単位		
コミュニケーション	情報リテラシー II	演習	1				○								2単位		
	日本語表現法	演習		1		○									2単位以上		
	手話	演習		1			○										
	グループ・ダイナミクス	演習		1					○								
	基礎カウンセリング	演習		1		○											
専門教育科目	デザイン概論	プレゼンテーション	演習	1		○									20単位以上		
		ボランティア基礎演習	演習		1				○								
		人間空間デザイン論	講義	2			○										
	人間情報デザイン論	講義	2			○											
	デザイン史	講義	2			○											
	デザイン理論	近現代建築史	講義		2					○							
		情報社会論	講義	2							○						
		エコロジカルデザイン	講義		2							○					
		メディア社会論	講義+演習		2							○					
		知的財産権論	講義		2									○			
		デザインと数学	講義+演習		2		○										
		デザイン工学	講義+演習		2			○									
		コンピュータグラフィックス	講義+演習		2						○						
		アイデア生成プロセス	講義+演習	2		○											
		デザイン展開プロセス	講義+演習		2								○				
	デザイン基盤	視覚・色彩心理学	講義	2		2			○								
		環境心理学	講義		2						○						
ユニバーサルデザイン論		講義	2		2						○						
感性情報学		講義	2		2							○					
デザイン研究法		講義+演習	2						○								
デザイン英語		講義+演習		2									○				
表現基礎（描画）		実習	2		2		○										
表現基礎（製図）		講義+演習		2				○									
表現基礎（構成）		講義+演習		2					○								
材料加工理論/実習 I		実習	2		2		○										
材料加工理論/実習 II	実習		2				○										
建築設計製図	演習		2						○								
情報製品製図	演習		2							○							
3 DCG実習	実習		2								○						
建築系CAD実習	実習		2									○					
製品系CAD実習	実習		2										○				



区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位		
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基本科目	デザイン基盤	時間表現理論/演習 I	講義+演習	2			○									所属するコースから22単位以上/他コースから10単位以上
		時間表現理論/演習 II	講義+演習	2				○								
		Webデザイン	演習	2			○									
		Webプログラミング	講義+演習	2					○							
展開科目	人間空間デザインコース	建築デザイン論	講義	2					○							
		空間デザイン史	講義	2					○							
		建築計画論	講義	2					○							
		都市計画論	講義	2							○					
		景観デザイン文化論	講義	2									○			
		住宅論	講義	2									○			
		環境計画論	講義+演習	2					○							
		建築設備計画	講義+演習	2							○					
		構造力学 I	講義+演習	2							○					
		構造力学 II	講義+演習	2								○				
		一般構造	講義+演習	2						○						
		建築構法	講義+演習	2								○				
	構造・材料実験	実習	2									○				
	建築生産	講義+演習	2								○					
	建築法規	講義	2								○					
	家具・インテリアデザイン	実習	2						○							
	ランドスケープアーキテクチャ	講義	2							○						
	コミュニティデザイン論	講義	2						○							
	メディア芸術論	講義	2						○							
	人間情報デザインコース	空間演出デザイン論	講義+演習	2							○					
		地域ブランド構築	講義+演習	2								○				
		観光デザイン論	講義+演習	2									○			
		環境芸術論	講義+演習	2						○						
		空間プロダクト	講義+演習	2							○					
空間映像表現		演習	2								○					
寒冷地デザイン論		講義+演習	2								○					
起業・経営論		講義	2									○				
プロダクトデザイン I		講義+演習	2						○							
プロダクトデザイン II		講義+演習	2							○						
ユーザーエクスペリエンスデザイン I		講義+演習	2								○					
ユーザーエクスペリエンスデザイン II		講義+演習	2									○				
ユーザーエクスペリエンスデザイン III	講義+演習	2										○				
発展科目	連携	学部連携基礎論	講義	2						○					4単位以上	
		学部連携演習	演習	2								○				
		地域プロジェクト I (基礎編)	演習			2	○	○	○	○						
		地域プロジェクト II (応用編)	演習			2			○	○	○	○	○			
	総合実習	デザイン総合実習 I	実習	2						○					8単位	
		デザイン総合実習 II	実習	2						○						
		デザイン総合実習 III	実習	2							○					
		デザイン総合実習 IV	実習	2								○				
	卒業研究	卒業研究 I	演習	3									○		6単位	
		卒業研究 II	演習	3									○			
	キャリア教育	フィールドスタディ	実習	2						◎					4単位以上	
		インターンシップ	実習	2							◎					
キャリアデザイン		講義	2								○					
自由科目	学芸員課程目	生涯学習概論	講義			2						○		19単位		
		博物館概論	講義			2						○				
		博物館経営論	講義			2							○			
		博物館資料論	講義			2						○				
		博物館資料保存論	講義			2						○				
		博物館展示論	講義			2						○				
		博物館情報・メディア論	講義			2						○				
		博物館教育論	講義			2						○				
		博物館実習	実習			3							◎			

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。
 注3) 「その他言語 I・II」は他の大学又は短期大学における既修得単位または在学中の修得単位を認定するものです。
 注4) 「地域プロジェクト III (発展編)」は、2023年度開講しません。



2016年度（編入学生は2018年度）～2021年度（編入学生は2023年度）入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位			
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2			○										2単位	
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義	2			○										4単位以上
		宗教と思想	講義	2				○									
		芸術と文化	講義	2				○									
		教育を考える	講義	2						○							
		生活と文化	講義	2						○							
		ジェンダーと文化	講義	2						○							
	人間と自然に対する理解	心のしくみ	講義	2				○									4単位以上
		体のしくみ	講義	2			○										
		人間関係を考える	講義	2			○										
		健康とスポーツ	講義	2							○						
		環境を考える	講義	2						○							
		自然科学を学ぶ	講義	2			○										
	社会に対する理解	動物のくらし	講義	2				○									4単位以上
		現代社会と家族	講義	2				○									
		現代社会と国際関係	講義	2						○							
		現代社会と経済	講義	2					○								
		札幌を学ぶ	講義	2			○										
		ボランティア活動を考える	講義	2						○							
	外国語	英語 I A	演習	1			○										8単位以上
		英語 I B	演習	1			○										
		英語 I C	演習	1			○										
		英語 II A	演習	1				○									
		英語 II B	演習	1				○									
		英語 II C	演習	1				○									
		実践英語A	演習		1				○								
		実践英語B	演習		1				○								
		韓国語	演習		1					○							
		中国語	演習		1						○						
		ロシア語	演習		1							○					
		日本語表現法	演習		1			○									
	コミュニケーション科目	プレゼンテーション	演習	1				○									4単位以上
		基礎カウンセリング	演習		1		○										
対人コミュニケーション		演習		1			○										
グループ・ダイナミクス		演習		1				○									
手話		演習		1				○									
情報リテラシー I		演習	1			○											
デザイン	人間空間デザイン論	講義	2			○										4単位	
	人間情報デザイン論	講義	2			○											
	デザイン理	デザイン史	講義	2			○										20単位以上
		近現代建築史	講義		2				○								
		情報社会論	講義	2						○							
		エコロジカルデザイン	講義		2					○							
		メディア社会論	講義+演習		2						○						
		知的財産権論	講義		2									○			
		デザインと数学	講義+演習		2		○										
		デザイン工学	講義+演習		2		○										
		コンピュータグラフィックス	講義+演習		2					○							
		アイデア生成プロセス	講義+演習	2					○								
		デザイン展開プロセス	講義+演習	2	2								○				
		視覚・色彩心理学	講義	2					○								
		環境心理学	講義		2						○						
ユニバーサルデザイン論	講義	2							○								
感性情報学	講義	2								○							
デザイン基盤	デザイン研究法	講義+演習	2						○							20単位以上	
	デザイン英語	講義+演習		2									○				
	表現基礎 (描画)	実習	2			○											
	表現基礎 (製図)	講義+演習		2				○									
	表現基礎 (構成)	講義+演習		2				○									
	材料加工理論/実習 I	実習	2			○											
	材料加工理論/実習 II	実習		2			○										
	建築設計製図	演習		2					○								
	情報製品製図	演習		2					○								
	3DCG実習	実習		2					○	○							
	建築系CAD実習	実習		2					○								
	製品系CAD実習	実習		2						○							



区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位		
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基本科目	デザイン基盤	時間表現理論/演習Ⅰ	講義+演習	2			○									所属するコースから22単位以上/他コースから10単位以上
		時間表現理論/演習Ⅱ	講義+演習	2				○								
		Webデザイン	演習	2			○									
		Webプログラミング	講義+演習	2					○							
展開科目	人間空間デザインコース	建築デザイン論	講義	2					○							
		空間デザイン史	講義	2					○							
		建築計画論	講義	2					○							
		都市計画論	講義	2							○					
		景観デザイン文化論	講義	2									○			
		住宅論	講義	2									○			
		環境計画論	講義+演習	2					○							
		建築設備計画	講義+演習	2							○					
		構造力学Ⅰ	講義+演習	2							○					
		構造力学Ⅱ	講義+演習	2								○				
		一般構造	講義+演習	2						○						
		建築構法	講義+演習	2									○			
	構造・材料実験	実習	2									○				
	建築生産	講義+演習	2									○				
	建築法規	講義	2									○				
	家具・インテリアデザイン	実習	2						○							
	ランドスケープアーキテクチャ	講義	2								○					
	コミュニティデザイン論	講義	2						○							
	メディア芸術論	講義	2							○						
	人間情報デザインコース	空間演出デザイン論	講義+演習	2							○					
		地域ブランド構築	講義+演習	2								○				
		観光デザイン論	講義+演習	2									○			
		環境芸術論	講義+演習	2						○						
		空間プロダクト	講義+演習	2							○					
空間映像表現		演習	2								○					
寒冷地デザイン論		講義+演習	2								○					
起業・経営論		講義	2									○				
プロダクトデザインⅠ		講義+演習	2						○							
プロダクトデザインⅡ		講義+演習	2							○						
ユーザーエクスペリエンスデザインⅠ		講義+演習	2								○					
ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ		講義+演習	2									○				
ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ	講義+演習	2										○				
発展科目	連携	学部連携基礎論	講義	2					○						4単位以上	
		学部連携演習	演習	2								○				
		地域プロジェクトⅠ(基礎編)	演習			2	○	○	○	○						
		地域プロジェクトⅡ(応用編)	演習			2			○	○	○	○	○			
	総合実習	デザイン総合実習Ⅰ	実習	2						○					8単位	
		デザイン総合実習Ⅱ	実習	2						○						
		デザイン総合実習Ⅲ	実習	2							○					
		デザイン総合実習Ⅳ	実習	2								○				
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	演習	3									○		6単位	
		卒業研究Ⅱ	演習	3									○			
	キャリア教育	フィールドスタディ	実習	2						◎					4単位以上	
		インターンシップ	実習	2							◎					
キャリアデザイン		講義	2								○					
自由科目	学芸員課程 関連科目	生涯学習概論	講義			2					○			19単位		
		博物館概論	講義			2					○					
		博物館経営論	講義			2						○				
		博物館資料論	講義			2						○				
		博物館資料保存論	講義			2						○				
		博物館展示論	講義			2						○				
		博物館情報・メディア論	講義			2						○				
		博物館教育論	講義			2						○				
		博物館実習	実習			3							◎			

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。
 注3) 「地域プロジェクトⅢ(発展編)」は、2023年度開講しません。



② 卒業要件
2022年度（編入学生は2024年度）以降入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
学際教育科目	11	15	26
専門教育科目	42	56	98
(基本科目)	(24)	(20)	(44)
(展開科目)	—	(32)	(32)
(発展科目)	(18)	(4)	(22)
合 計	53	71	124

2016年度（編入学生は2018年度）～2021年度（編入学生は2023年度）入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	11	15	26
専門教育科目	42	56	98
(基本科目)	(24)	(20)	(44)
(展開科目)	—	(32)	(32)
(発展科目)	(18)	(4)	(22)
合 計	53	71	124



3) 教育活動 (デザイン学部)

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
人間空間デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎石田 勝也 椎野亜紀夫 齊藤 雅也 西川 忠 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也 小林 重人 小宮加容子 武田 亘明 御手洗洋蔵 森 朋子 山田 信博 須之内元洋 坪内 健
人間情報デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎三谷 篤史 石井 雅博 柿山浩一郎 藤木 淳 細谷 多聞 若林 尚樹 金 秀敬 張 浦華 横溝 賢 大淵 一博 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥 吉田 彩乃
デザイン史	講義・30時間	1年次前期	◎細谷 多聞 金子 晋也
デザインと数学	講義+演習・30時間	1年次前期	◎石井 雅博 大淵 一博 松永 康佑
表現基礎 (描画)	実習・60時間	1年次前期	◎福田 大年 片山めぐみ
材料加工理論/実習 I	実習・60時間	1年次前期	◎矢久保空遥 ★川上 理恵 ★藤沢 礼央
時間表現理論/演習 I	講義+演習・30時間	1年次前期	◎須之内元洋 石田 勝也
デザイン工学	講義+演習・30時間	1年次後期	◎齊藤 雅也 西川 忠 細谷 多聞
アイデア生成プロセス	講義+演習・30時間	1年次後期	福田 大年
視覚・色彩心理学	講義・30時間	1年次後期	石井 雅博
表現基礎 (製図)	講義+演習・30時間	1年次後期	◎山田 信博 森 朋子
表現基礎 (構成)	講義+演習・30時間	1年次後期	◎横溝 賢 金 秀敬
材料加工理論/実習 II	実習・60時間	1年次後期	◎細谷 多聞 張 浦華 ★石崎 友紀 ★山田 祥子
Webデザイン	演習・30時間	1年次後期	大淵 一博
地域プロジェクト I (基礎編)	演習・60時間	1年次・2年次 通年	◎藤木 淳 原井 美佳
近現代建築史	講義・30時間	2年次前期	◎金子 晋也 ★藤田 純也 ★内藤 誠人
デザイン研究法 (人間空間デザイン)	講義+演習・30時間	2年次前期	◎小林 重人 椎野亜紀夫 森 朋子
デザイン研究法 (人間情報デザイン)	講義+演習・30時間	2年次前期	◎柿山浩一郎 石井 雅博 金 秀敬 張 浦華
建築設計製図	演習・30時間	2年次前期	◎山田 信博 森 朋子
情報製品製図	演習・30時間	2年次前期	柿山浩一郎
3DCG実習 (表現系)	実習・60時間	2年次前期	松永 康佑
建築系CAD実習	実習・60時間	2年次前期	★五十嵐雄祐
時間表現理論/演習 II	講義+演習・30時間	2年次前期	◎石田 勝也 須之内元洋
建築計画論	講義・30時間	2年次前期	山田 信博



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
環境計画論	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	◎齊藤 雅也 椎野亜紀夫
コミュニティデザイン論	講義・30時間	2年次前期	◎片山めぐみ 坪内 健
環境芸術論	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	◎大島 卓 須之内元洋
プロダクトデザイン I	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	★榊田 聡志
プログラミング I	演習・30時間	2年次前期	吉田 彩乃
協同デザイン I	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	福田 大年
ビジュアライゼーション I	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	横溝 賢
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎石井 雅博 三谷 篤史 大島 卓 丸山 洋平 森 朋子 ◎本田 光 小田 和美 矢野祐美子 山出 誓子 高橋 尚人
デザイン総合実習 I (建築・環境)	実習・60時間	2年次前期	◎西川 忠 椎野亜紀夫 齊藤 雅也 大島 卓 金子 晋也 御手洗洋蔵 坪内 健
デザイン総合実習 I (地域コミュニケーション・総合系)	実習・60時間	2年次前期	◎武田 亘明 片山めぐみ 坪内 健
デザイン総合実習 I (人間情報デザインコース)	実習・60時間	2年次前期	◎三谷 篤史 柿山浩一郎 横溝 賢 大淵 一博
フィールドスタディ	実習・60時間	2年次集中	◎若林 尚樹 森 朋子 石田 勝也 矢久保空遥
情報社会論	講義・30時間	2年次後期	武田 亘明
エコロジカルデザイン	講義・30時間	2年次後期	椎野亜紀夫
コンピュータグラフィックス	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	松永 康佑
環境心理学	講義・30時間	2年次後期	片山めぐみ
ユニバーサルデザイン論	講義・30時間	2年次後期	小宮加容子
3DCG実習 (建築系)	実習・60時間	2年次後期	山田 信博
製品系CAD実習	実習・60時間	2年次後期	三谷 篤史
Webプログラミング	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	大淵 一博
建築デザイン論	講義・30時間	2年次後期	◎坪内 健 ★菊地 翔貴 ★鈴木 理 ★高野 現太 ★中野 剛育
空間デザイン史	講義・30時間	2年次後期	金子 晋也
一般構造	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	西川 忠
家具・インテリアデザイン	実習・60時間	2年次後期	◎片山めぐみ 藤沢 礼央 ★岸本 幸雄 ★祐川 諭 ★藤原 誠
メディア芸術論	講義・30時間	2年次後期	須之内元洋
空間プロダクト	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	小宮加容子



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
プロダクトデザインⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	三谷 篤史
プログラミングⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	松永 康佑
協同デザインⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	若林 尚樹
デザイン総合実習Ⅱ（建築・環境）	実習・60時間	2年次後期	◎山田 信博 椎野亜紀夫 大島 卓 片山めぐみ 御手洗洋蔵 森 朋子 坪内 健
デザイン総合実習Ⅱ （地域コミュニケーション・総合系）	実習・60時間	2年次後期	◎石田 勝也 須之内元洋
デザイン総合実習Ⅱ （人間情報デザインコース）	実習・60時間	2年次後期	◎矢久保空遥 石井 雅博 張 浦華 福田 大年
地域プロジェクトⅡ（応用編）	演習・60時間	2年次・3年次 ・4年次通年	◎藤木 淳 原井 美佳
メディア社会論	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	小林 重人
感性情報学	講義・30時間	3年次前期	◎張 浦華 金 秀敬
都市計画論	講義・30時間	3年次前期	森 朋子
建築設備計画	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	齊藤 雅也
構造力学Ⅰ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	西川 忠
ランドスケープアーキテクチャ	講義・30時間	3年次前期	◎椎野亜紀夫 大島 卓 御手洗洋蔵
空間演出デザイン論	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	坪内 健
ユーザーエクスペリエンスデザインⅠ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	金 秀敬
ヒューマンインタラクションⅠ	演習・30時間	3年次前期	矢久保空遥
プログラミングⅢ	演習・30時間	3年次前期	三谷 篤史
ビジュアルライゼーションⅡ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	藤木 淳
デザイン総合実習Ⅲ（建築・環境） ※人間空間デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎森 朋子 椎野亜紀夫 齊藤 雅也 柿山浩一郎 細谷 多聞 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也 山田 信博 ★赤坂真一郎 ★遠藤謙一良 ★酒井 裕司
デザイン総合実習Ⅲ（地域コミュニ ケーション・総合系）※人間空間デ ザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎小林 重人 若林 尚樹 大島 卓 小宮加容子 山田 信博 坪内 健 吉田 彩乃
デザイン総合実習Ⅲ（ものづくり・ 総合系）※人間情報デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎細谷 多聞 椎野亜紀夫 齊藤 雅也 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也 金 秀敬 森 朋子 山田 信博
デザイン総合実習Ⅲ（情報・総合 系）※人間情報デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎若林 尚樹 藤木 淳 大島 卓 小宮加容子 松永 康佑 吉田 彩乃
インターンシップ	実習・60時間	3年次集中	◎細谷 多聞 金子 晋也 須之内元洋 福田 大年



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
デザイン展開プロセス	講義+演習・ 30時間	3年次後期	榊田 聡志
構造力学Ⅱ	講義+演習・ 30時間	3年次後期	西川 忠
建築構法	講義+演習・ 30時間	3年次後期	金子 晋也
構造・材料実験	実習・60時間	3年次後期	◎西川 忠 ★劉 宏涛
建築生産	講義+演習・ 30時間	3年次後期	★佐野 天彦
建築法規	講義+演習・ 30時間	3年次後期	★大場 里樹
地域ブランド構築	講義+演習・ 30時間	3年次後期	小林 重人
空間映像表現	演習・30時間	3年次後期	石田 勝也
寒冷地デザイン論	講義・30時間	3年次後期	◎大島 卓 齊藤 雅也
ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ	講義+演習・ 30時間	3年次後期	張 浦華
ヒューマンインタラクションⅡ	演習・30時間	3年次後期	石井 雅博
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎柿山浩一郎 藤木 淳 金 秀敬 小林 重人 小宮加容子 御手洗洋蔵 山田 信博 大淵 一博 須之内元洋 坪内 健 吉田 彩乃 ◎喜多 歳子 佐藤ひとみ 高橋 奈美 牧野 夏子 村松 真澄 山本真由美 市戸 優人 近藤 圭子 渋谷 友紀 平山 憲吾 吉田 実和
デザイン総合実習Ⅳ (人間空間デザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎片山めぐみ 椎野重紀夫 齊藤 雅也 西川 忠 大島 卓 金子 晋也 小林 重人 小宮加容子 武田 亘明 御手洗洋蔵 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 須之内元洋 坪内 健
デザイン総合実習Ⅳ (人間情報デザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎細谷 多聞 石井 雅博 柿山浩一郎 藤木 淳 三谷 篤史 若林 尚樹 金 秀敬 張 浦華 横溝 賢 大淵 一博 福田 大年 松永 康佑 榊田 聡志 矢久保空遥 吉田 彩乃
キャリアデザイン	講義・30時間	3年次後期	◎西川 忠 横溝 賢
地域プロジェクトⅢ(発展編) 2023年度開講無し	演習・60時間	3年次・4年 次通年	◎藤木 淳 原井 美佳
デザイン英語	演習・30時間	4年次前期	松井 美穂
知的財産権論	講義・30時間	4年次前期	◎須之内元洋 ★伊藤 博之 ★岩崎 孝治 ★川上 大雅 ★田中 勝也 ★榊田 聡志 ★吉田 聡子 ★渡辺 直行
景観デザイン文化論	講義・30時間	4年次前期	★中井 和子
住宅論	講義・30時間	4年次前期	◎西川 忠 ★佐野 天彦 ★鳥海 良晴 ★奈良 顕子



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
観光デザイン論	講義＋演習・ 30時間	4年次前期	大島 卓
起業・経営論	講義・30時間	4年次前期	◎矢久保空遥 ★川名 宏和 ★北川 陽稔 ★榎田 聡志 ★吉田 修
ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ	講義＋演習・ 30時間	4年次前期	細谷 多聞
ビジュアライゼーションⅢ	講義＋演習・ 30時間	4年次前期	◎柿山浩一郎 吉田 彩乃
卒業研究Ⅰ (人間空間デザインコース)	演習・45時間	4年次前期	◎坪内 健 椎野亜紀夫 齊藤 雅也 西川 忠 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也 小林 重人 小宮加容子 武田 亘明 御手洗洋蔵 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 須之内元洋
卒業研究Ⅰ (人間情報デザインコース)	演習・45時間	4年次前期	◎三谷 篤史 石井 雅博 柿山浩一郎 藤木 淳 細谷 多聞 若林 尚樹 金 秀敬 張 浦華 横溝 賢 大渕 一博 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥 吉田 彩乃
卒業研究Ⅱ (人間空間デザインコース)	演習・45時間	4年次後期	◎小宮加容子 椎野亜紀夫 齊藤 雅也 西川 忠 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也 小林 重人 武田 亘明 御手洗洋蔵 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 須之内元洋 藤沢 礼央 坪内 健
卒業研究Ⅱ (人間情報デザインコース)	演習・45時間	4年次後期	◎三谷 篤史 石井 雅博 柿山浩一郎 藤木 淳 細谷 多聞 若林 尚樹 金 秀敬 張 浦華 横溝 賢 大渕 一博 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥 吉田 彩乃
生涯学習概論	講義・30時間	3年次前期	★木村 純
博物館概論	講義・30時間	3年次前期	◎椎野亜紀夫 ★岩崎 直人 ★越前谷宏紀
博物館資料論	講義・30時間	3年次前期	◎★佐藤 弥生 ★工藤 義衛
博物館情報・メディア論	講義・30時間	3年次前期	武田 亘明
博物館教育論	講義・30時間	3年次前期	★細川 健裕
博物館経営論	講義・30時間	3年次後期	★苫名 真
博物館資料保存論	講義・30時間	3年次後期	★守屋 開
博物館展示論	講義・30時間	3年次後期	★岩崎 直人
博物館実習	実習・90時間	4年次前期 (学外での実 習は集中)	◎椎野亜紀夫 ★岩崎 直人 ★越前谷宏紀 ★矢部 和夫

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



4 看護学部

1) 2023年度時間割

① 1年前期

	月	月		火	水	木	金
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)				
1	9:00 ~ 10:30				情報リテラシー I	体のしくみ	
2	10:40 ~ 12:10			看護観察技術論	情報リテラシー I	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	哲学と倫理 生活と文化
3	13:10 ~ 14:40	形態機能学 I		形態機能学 II	英語 I B 英語 I C 日本語表現法	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	札幌を学ぶ 表象文化論
4	14:50 ~ 16:20	形態機能学 I		形態機能学 II	英語 I B 英語 I C 日本語表現法	スタートアップ演習	英語 I A 英語 I B 英語 I C 基礎カウンセリング
5	16:30 ~ 18:00	看護学原論		人間発達援助論	自然科学A (科学史)	スタートアップ演習	英語 I A 英語 I B 英語 I C 基礎カウンセリング

※ 集中講義：看護初期実習 6/5（月）～6/9（金）
 ※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある
 ※ 地域プロジェクトⅢ（発展編）は、2023年度の開講なし

② 1年後期

	月	火		水	木	金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)				
1	9:00 ~ 10:30	病理病態学		看護過程論	プレゼンテーション 統計の世界	手話	
2	10:40 ~ 12:10	病理病態学		看護理論 看護過程論	宗教と思想 自然科学C (動物の生態)	文学の世界 心のしくみ	手話
3	13:10 ~ 14:40	基礎看護技術論		感染予防論	英語 II A 英語 II B 英語 II C 情報リテラシー II	英語 II A 英語 II B 英語 II C	現代社会論 A (人口・家族) 現代社会論 C (経済)
4	14:50 ~ 16:20	基礎看護技術論		薬理学	英語 II A 英語 II B 英語 II C 情報リテラシー II	英語 II A 英語 II B 英語 II C	英語 II A 英語 II B 英語 II C
5	16:30 ~ 18:00	地域看護学概論			芸術文化論	現代社会論 D (社会言語学) 現代社会論 E (情報科学)	英語 II A 英語 II B 英語 II C

※ 集中講義：基礎看護学臨地実習 I 10/16（月）～20（金）
 ※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある
 ※ 地域プロジェクトⅢ（発展編）は、2023年度の開講なし



③ 2年前期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	精神看護学 概論	人間工学	日本国憲法を学ぶ ボランティア基礎演習 現代社会論B(国際関係)	老年看護学 概論			家族社会学		
2	10:40 ~ 12:10	生命科学	環境保健	実践英語A 実践英語B	医療情報		成人看護学 概論		臨床栄養学	
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生学	成人看護 援助論	実践英語A 実践英語B	生命倫理		疾病治療学概論		症状マネジメント論	
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生学	成人看護 援助論	グループ・ダイナ ミックス					症状マネジメント論	
5	16:30 ~ 18:00	疾病治療学B		自然科学B(環境)			疾病治療学A		学部連携基礎論	

※ 集中講義：基礎看護学臨地実習Ⅱ 5/22(月)～6/2(金)

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクトⅢ(発展編)は、2023年度の開講なし

④ 2年後期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	援助の人間 関係論	精神看護 援助論	ジェンダー論	臨床薬理学		臨床心理学	社会福祉学		
2	10:40 ~ 12:10	援助の人間 関係論	精神看護 援助論				小児看護 学概論	看護倫理学	母性看護学 概論	
3	13:10 ~ 14:40	感染管理論		中国語 ロシア語	健康とスポーツ		老年看護 援助論	がん看護学		在宅看護 援助論
4	14:50 ~ 16:20	在宅看護学 概論		中国語 ロシア語	韓国語		老年看護 援助論	がん看護学		在宅看護 援助論
5	16:30 ~ 18:00						公衆衛生看 護学概論	チーム 医療論	疾病治療学C	

※ 集中講義：成人看護学臨地実習Ⅰ 10/23(月)～11/10(金)

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクトⅢ(発展編)は、2023年度の開講なし



⑤ 3年前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療福祉 行政論 I		保健統計	
2	10:40 ~ 12:10	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療福祉 行政論 I		保健統計	
3	13:10 ~ 14:40	小児看護 援助論		在宅看護 技術論		疫学 I		リハビリ テーション 看護学		精神看護 技術論	
4	14:50 ~ 16:20	小児看護 援助論		在宅看護 技術論				リハビリ テーション 看護学		精神看護 技術論	
5	16:30 ~ 18:00										

※ 集中講義：老年看護学臨地実習 I 5/8（月）～5/12（金）

成人看護学臨地実習 II・精神看護学臨地実習・在宅看護学臨地実習 6/19（月）～7/28（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある。

※ 地域プロジェクト III（発展編）は、2023年度の開講なし

⑥ 3年後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	研究方法論		健康教育 指導法		看護教育学		公衆衛生 看護援助 論(前半 I/ 後半 II)		老年看護 技術論	
2	10:40 ~ 12:10	研究方法論		健康教育 指導法		透析ケア		公衆衛生 看護援助 論(前半 I/ 後半 II)		老年看護 技術論	
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生 看護援助 論(前半 I/ 後半 II)						小児看護 技術論		重症集中 ケア	
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生 看護援助 論(前半 I/ 後半 II)		学部連携演習				小児看護 技術論		母性看護 技術論	
5	16:30 ~ 18:00	救急看護学		学部連携演習				放射線医療 管理論		母性看護 技術論	

※ 集中講義：母性看護学臨地実習・小児看護学臨地実習・老年看護学臨地実習 II 11/20（月）～12/15（金）、
1/15（月）～1/26（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクト III（発展編）は、2023年度の開講なし



⑦ 4年前期

		月		火		水		木	金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	国際保健学		パリアティブ ケア		看護管理学		卒業研究	ヘルスプロ モーション 活動論	
2	10:40 ~ 12:10	現代専門 職論		災害看護学		看護管理学		卒業研究	ヘルスプロ モーション 活動論	
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生 看護技術論		医療安全管 理論		看護情報学			医療経営学	
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生 看護技術論		寒冷地医療					ペリネイタル ケア	
5	16:30 ~ 18:00								国際看護学	

※ 集中講義：公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ 6/12（月）～7/28（金）

ヘルスケアマネジメント実習 9/19（火）～10/6（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合があります

※ 地域プロジェクトⅢ（発展編）は、2023年度の開講なし

⑧ 4年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:30			公衆衛生看護管理論	卒業研究	保健医療福祉行政論Ⅱ
2	10:40 ~ 12:10			公衆衛生看護管理論	卒業研究	保健医療福祉行政論Ⅱ
3	13:10 ~ 14:40					疫学Ⅱ
4	14:50 ~ 16:20					
5	16:30 ~ 18:00					

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合があります

※ 地域プロジェクトⅢ（発展編）は、2023年度の開講なし



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

2023年度以降入学生用

区分	科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数			配当年次 (◎は集中で開講)								卒業要件単位				
				必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次						
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
学際教育科目	導入科目	I1D600	スタートアップ演習	演習	2			○										2単位	
	文化に対する理解	I1D601	哲学と倫理	講義		2			○										12単位以上
		I1D602	宗教と思想	講義		2			○										
		I1D603	芸術文化論	講義		2			○										
		I1D604	表象文化論	講義		2			○										
		I2D605	ジェンダー論	講義		2					○								
		I1D606	文学の世界	講義		2			○										
		I1D607	生活と文化	講義		2			○										
	人間と自然に対する理解	I1D608	心のしくみ	講義		2			○										
		I1D609	体のしくみ	講義		2			○										
		I3D610	健康とスポーツ	講義		2					○								
		I1D611	自然科学A (科学史)	講義		2			○										
		I2D612	自然科学B (環境)	講義		2					○								
		I1D613	自然科学C (動物の生態)	講義		2				○									
		社会に対する理解	I1D614	現代社会論A (人口・家族)	講義		2				○								
	I2D615		現代社会論B (国際関係)	講義		2					○								
	I1D616		現代社会論C (経済)	講義		2				○									
	I1D617		現代社会論D (社会言語学)	講義		2				○									
	I1D618		現代社会論E (情報科学)	講義		2				○									
	I2D619		日本国憲法を学ぶ	講義		2					○								
	I1D620		札幌を学ぶ	講義		2				○									
I3D621	統計の世界	講義		2				○											
技術・スキル系科目	言語	I1D701	英語 I A	演習	1			○										6単位	
		I1D702	英語 I B	演習	1			○											
		I1D703	英語 I C	演習	1			○											
		I1D704	英語 II A	演習	1				○										
		I1D705	英語 II B	演習	1				○										
		I1D706	英語 II C	演習	1				○										
		I2D707	実践英語 A	演習		1				○									
	情報技術	I2D708	実践英語 B	演習		1				○									
		I2D709	韓国語	演習		1					○								
		I3D710	中国語	演習		1					○								
		I3D711	ロシア語	演習		1					○								
		I5D712	その他言語 I (他大学履修)	演習		1			○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		I5D713	その他言語 II (他大学履修)	演習		1			○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		I1D714	情報リテラシー I	演習	1				○										
I1D715	情報リテラシー II	演習	1					○											
コミュニケーション	I1D716	日本語表現法	演習		1			○											
	I1D717	手話	演習		1			○											
	I1D718	グループ・ダイナミクス	演習		1				○										
	I1D719	基礎カウンセリング	演習		1			○											
	I1D720	プレゼンテーション	演習		1				○										
	I1D721	ボランティア基礎演習	演習		1					○									
専門基礎科目	人間と命	N1E201	形態機能学 I	演習	2			○										5単位以上	
		N1E202	形態機能学 II	演習	2			○											
		N2E203	生命科学	講義		1				○									
		N2E204	生命倫理	講義		1				○									
		N2E205	環境保健	講義		1				○									
		N2E206	人間工学	講義		1				○									
	健康と健康障害と予防	N1E207	薬理学	講義	2				○										
		N2E208	臨床薬理学	演習	1					○									
		N2E209	臨床栄養学	演習	1					○									
		N1E210	病理形態学	演習	2				○										
		N2E211	疾病治療学概論	演習	1					○									
		N2E212	疾病治療学 A	演習	1					○									
		N2E213	疾病治療学 B	演習	1					○									
	保健と医療と福祉	N2E214	疾病治療学 C	演習	1					○									
		N1E215	感染予防論	講義	2				○										
		N2E216	公衆衛生学	講義	1					○									
		N2E217	社会福祉学	講義	1						○								
		N2E218	家族社会学	講義		1					○								
		N2E219	チーム医療論	講義		1					○								
		N2E220	感染管理論	講義		1					○								
		N2E221	臨床心理学	講義		1					○								
		N3E222	保健医療福祉行政論	講義	1							○							
N3E223	保健統計	講義	2							○									
N3E224	疫学	講義	1								○								
N2E225	医療情報	講義	1						○										



区分	科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数			配当年次(◎は集中で開講)								卒業要件単位			
				必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
看護の基盤となるもの 看護の基本的展開 健康レベルに応じて生活を援助するもの 専門教育科目 専門科目	ヒューマンケアの基本	N1E301	看護学原論	講義	1				○									6単位
		N1E302	看護理論	講義	1				○									
		N2E303	援助的人間関係論	演習	1						○							
		N1E304	人間発達援助論	演習	1				○									
		N1E305	看護初期実習	実習	1				◎									
		N2E306	看護倫理学	講義	1						○							
	看護の基本的展開	N1E307	看護過程論	演習	1				○									10単位
		N1E308	看護観察技術論	演習	1				○									
		N2E309	症状マネジメント論	演習	2					○								
		N1E310	基礎看護技術論	演習	2					○								
		N1E311	基礎看護学臨地実習 I	実習	1					◎								
		N2E312	基礎看護学臨地実習 II	実習	2						◎							
		N3E313	研究方法論	演習	1								○					
	小児	N2E314	小児看護学概論	講義	1						○							5単位
		N3E315	小児看護援助論	演習	1							○						
		N3E316	小児看護技術論	演習	1								○					
		N3E317	小児看護学臨地実習	実習	2								◎					
		N2E318	母性看護学概論	講義	1						○							
	母性	N3E319	母性看護援助論	演習	1							○					5単位	
		N3E320	母性看護技術論	演習	1								○					
		N3E321	母性看護学臨地実習	実習	2								◎					
		N2E322	成人看護学概論	講義	1						○							
	成人	N2E323	成人看護援助論	演習	1						○						7単位	
		N3E324	成人看護技術論	演習	1							○						
		N2E325	成人看護学臨地実習 I	実習	2						◎							
		N3E326	成人看護学臨地実習 II	実習	2							◎						
		N2E327	老年看護学概論	講義	1						○							
	老年	N2E328	老年看護援助論	演習	1							○					6単位	
		N3E329	老年看護技術論	演習	1								○					
		N2E330	老年看護学臨地実習 I	実習	1						◎							
		N3E331	老年看護学臨地実習 II	実習	2								◎					
		N2E332	精神保健看護学概論	講義	1						○							
	精神	N2E333	精神保健看護援助論	演習	1							○					5単位	
		N3E334	精神保健看護技術論	演習	1								○					
		N3E335	精神保健看護学臨地実習	実習	2								◎					
		N2E336	在宅看護学概論	講義	1						○							
在宅	N2E337	在宅看護援助論	演習	1							○					5単位		
	N3E338	在宅看護技術論	演習	1								○						
	N3E339	在宅看護学臨地実習	実習	2								◎						
	N3E340	リハビリテーション看護学	演習	1								○						
	N2E341	がん看護学	演習	1							○							
健康問題への対応	N3E342	認知症ケア	演習	1								○			5単位以上			
	N3E343	透析ケア	講義		1								○					
	N3E344	重症集中ケア	講義		1								○					
	N3E345	救急看護学	講義		1								○					
	N3E346	放射線医療管理論	講義		1								○					
	N4E347	ペリネイタルケア	講義		1									○				
	N4E348	エンド・オブ・ライフケア	講義		1									○				
	N4E349	寒冷地医療	講義		1									○				
	N1E401	地域看護学概論	講義	1						○							4単位	
	N2E402	地域看護援助論	演習	1							○							
N3E403	地域看護技術論	演習	1								○							
N4E404	地域看護学臨地実習	実習	1									◎						
発展・統合に関するもの	N4E405	看護管理学	演習	1										○		12単位以上		
	N3E406	看護教育学	講義	1									○					
	N4E407	卒業研究	演習	4										○				
	N4E408	ヘルスクエアマネジメント実習	実習	3										◎				
	N4E409	看護情報学	講義		1									○				
	N3E410	インターンシップ	演習		1							○	○					
	N4E411	災害看護学	講義		1									○				
	N4E412	国際看護学	講義		1									○				
	N4E413	国際保健学	講義		1									○				
	N4E414	医療経営学	講義		1									○				
	N4E415	医療安全管理論	講義		1									○				
	N4E416	現代専門職論	講義		1									○				
	N5E417	地域プロジェクトⅠ(基礎編)	演習			2		○	○	○	○							
	N5E418	地域プロジェクトⅡ(応用編)	演習			2			○	○	○	○	○	○				
	N5E419	地域プロジェクトⅢ(発展編) 注3	演習			2					○	○	○	○				
学部連携	N2E420	学部連携基礎論	講義	2						○						4単位		
	N3E421	学部連携演習	演習	2								○						

注1) ◎は集中
 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。
 注3) 「地域プロジェクトⅢ(発展編)」は2023年度開講しません。



2022年度入学生用

区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数				配当年次 (◎は集中で開講)								卒業 要件 単位		
				必修	選択	保健師 コース	自由	1年次		2年次		3年次		4年次				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
学際教育科目	導入科目	I1D600	スタートアップ演習	演習	2				○									2単位
	文化に 対する 理解	I1D601	哲学と倫理	講義		2			○									12単位 以上
		I1D602	宗教と思想	講義		2				○								
		I1D603	芸術文化論	講義		2				○								
		I1D604	表象文化論	講義		2				○								
		I2D605	ジェンダー論	講義		2					○							
		I1D606	文学の世界	講義		2				○								
		I1D607	生活と文化	講義		2				○								
	人間と 自然に 対する 理解	I1D608	心のしくみ	講義		2				○								
		I1D609	体のしくみ	講義		2				○								
		I3D610	健康とスポーツ	講義		2						○						
		I1D611	自然科学A (科学史)	講義		2				○								
		I2D612	自然科学B (環境)	講義		2						○						
		I1D613	自然科学C (動物の生態)	講義		2						○						
		社会に 対する 理解	I1D614	現代社会論A (人口・家族)	講義		2					○						
	I2D615		現代社会論B (国際関係)	講義		2						○						
	I1D616		現代社会論C (経済)	講義		2					○							
	I1D617		現代社会論D (社会言語学)	講義		2					○							
	I1D618		現代社会論E (情報科学)	講義		2					○							
	I2D619		日本国憲法を学ぶ	講義		2						○						
	I1D620		札幌を学ぶ	講義		2					○							
I3D621	統計の世界	講義		2						○								
技術・ スキル系科目	言語	I1D701	英語 I A	演習	1				○								6単位	
		I1D702	英語 I B	演習	1				○									
		I1D703	英語 I C	演習	1					○								
		I1D704	英語 II A	演習	1						○							
		I1D705	英語 II B	演習	1						○							
		I1D706	英語 II C	演習	1						○							
		I2D707	実践英語A	演習		1						○						
	I2D708	実践英語B	演習		1						○							
	情報技術	I2D709	韓国語	演習	1							○					2単位 以上	
		I3D710	中国語	演習	1							○						
		I3D711	ロシア語	演習	1							○						
		I5D712	その他言語 I (他大学履修)	演習	1					○	○	○	○	○	○	○		
		I5D713	その他言語 II (他大学履修)	演習	1					○	○	○	○	○	○	○		
		I1D714	情報リテラシー I	演習	1					○								
I1D715		情報リテラシー II	演習	1						○								
コミュニ ケーション	I1D716	日本語表現法	演習		1				○							2単位 以上		
	I1D717	手話	演習		1					○								
	I1D718	グループ・ダイナミクス	演習		1						○							
	I1D719	基礎カウンセリング	演習		1				○									
	I1D720	プレゼンテーション	演習		1					○								
	I1D721	ボランティア基礎演習	演習		1						○							
専門基礎科目	人間と命	N1D201	形態機能学 I	演習	2				○							5単位 以上		
		N1D202	形態機能学 II	演習	2				○									
		N2D203	生命科学	講義		1					○							
		N2D204	生命倫理	講義		1					○							
		N2D205	環境保健	講義		1					○							
		N2D206	人間工学	講義		1					○							
	健康と健康 障害と予防	N1D207	薬理学	講義	2					○							12単位	
		N2D208	臨床薬理学	演習	1							○						
		N2D209	臨床栄養学	演習	1						○							
		N1D210	病理病態学	演習	2						○							
		N2D211	疾病治療学概論	演習	1							○						
		N2D212	疾病治療学 A	演習	1							○						
		N2D213	疾病治療学 B	演習	1							○						
		N2D214	疾病治療学 C	演習	1								○					
		N1D215	感染予防論	講義	2						○							
	保健と医 療と福祉	N2D216	公衆衛生学	演習	1						○						9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)	
		N2D217	社会福祉学	講義	1							○						
		N2D218	家族社会学	講義		1							○					
		N2D219	チーム医療論	講義		1							○					
		N2D220	感染管理論	講義		1							○					
		N2D221	臨床心理学	講義		1							○					
		N1D222	地域保健学概論	講義	1					○								
		N3D223	保健医療福祉行政論 I	演習	1								○					
		N4D224	保健医療福祉行政論 II	演習		1								○				
N3D225		保健統計	講義	2														
N3D226		疫学 I	講義	1								○						
N4D227		疫学 II	講義		1									○				
N2D228		医療情報	演習	1							○							



区分	科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数				配当年次 (◎は集中で開講)								卒業要件単位	
				必修	選択	保健師コース	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
看護の基礎となるもの	ヒューマンケアの基本	N1D301	看護学原論	講義	1												7単位
		N1D302	看護理論	講義	1				○								
		N2D303	援助的人間関係論	演習	1						○						
		N1D304	人間発達援助論	演習	1				○								
		N1D305	看護初期実習	実習	1				◎								
		N2D306	看護倫理学	講義	1						○						
	看護の基本的展開	N3D307	健康教育指導法	演習	1							○					
		N1D308	看護過程論	演習	1				○								
		N1D309	看護観察技術論	演習	1				○								
		N2D310	症状マネジメント論	演習	2					○							
		N1D311	基礎看護技術論	演習	2					○							
		N1D312	基礎看護学臨地実習 I	実習	1					◎							
健康レベルに応じて生活を援助するもの	小児	N2D315	小児看護学概論	講義	1					○						5単位	
		N3D316	小児看護援助論	演習	1							○					
		N3D317	小児看護技術論	演習	1								○				
		N3D318	小児看護学臨地実習	実習	2								◎				
	母性	N2D319	母性看護学概論	講義	1					○						5単位	
		N3D320	母性看護援助論	演習	1							○					
		N3D321	母性看護技術論	演習	1								○				
		N3D322	母性看護学臨地実習	実習	2								◎				
	成人	N2D323	成人看護学概論	講義	1					○						8単位	
		N2D324	成人看護援助論	演習	1					○							
		N3D325	成人看護技術論	演習	1							○					
		N2D326	成人看護学臨地実習 I	実習	3						◎						
老年	N3D327	成人看護学臨地実習 II	実習	2							◎				6単位		
	N2D328	老年看護学概論	講義	1					○								
	N2D329	老年看護援助論	演習	1						○							
	N3D330	老年看護技術論	演習	1								○					
	N3D331	老年看護学臨地実習 I	実習	1								◎					
	N3D332	老年看護学臨地実習 II	実習	2								◎					
精神	N2D333	精神看護学概論	講義	1					○						5単位		
	N2D334	精神看護援助論	演習	1						○							
	N3D335	精神看護技術論	演習	1							○						
	N3D336	精神看護学臨地実習	実習	2								◎					
在宅	N2D337	在宅看護学概論	講義	1						○					5単位		
	N2D338	在宅看護援助論	演習	1						○							
	N3D339	在宅看護技術論	演習	1							○						
	N3D340	在宅看護学臨地実習	実習	2								◎					
	N3D341	リハビリテーション看護学	演習	1							○						
健康問題への対応	N2D342	がん看護学	演習	1						○					5単位以上		
	N3D343	認知症ケア	演習	1							○						
	N3D344	透析ケア	講義	1	1							○					
	N3D345	重症集中ケア	講義	1	1							○					
	N3D346	救急看護学	講義	1	1							○					
	N3D347	放射線医療管理論	講義	1	1							○					
	N4D348	ペリネイタルケア	講義	1	1								○				
	N4D349	パリアティブケア	講義	1	1								○				
	N4D350	寒冷地医療	講義	1	1								○				
	N4D350	寒冷地医療	講義	1	1								○				
コミュニティーケアに関するもの	N2D401	公衆衛生看護学概論	講義	1						○					2単位以上 (保健師コース11単位)		
	N3D402	公衆衛生看護援助論 I	演習	1								○					
	N3D403	公衆衛生看護援助論 II	演習	1		1						○					
	N4D404	公衆衛生看護技術論	演習	1		2						○	○				
	N4D405	ヘルスプロモーション活動論	演習	1	1							○	○				
	N4D406	公衆衛生看護学臨地実習 I	実習	1		2						◎					
	N4D407	公衆衛生看護学臨地実習 II	実習	1		3						◎					
発展・統合に関するもの	N4D408	看護管理学	演習	1									○		12単位以上 (保健師コース13単位)		
	N3D409	看護教育学	講義	1									○				
	N4D410	卒業研究	演習	4									○	○			
	N4D411	ヘルスクエアマネジメント実習	実習	3									○	◎			
	N4D412	公衆衛生看護管理論	講義	1									○	◎			
	N4D413	看護情報学	講義	1	1								○				
	N4D414	災害看護学	講義	1	1								○				
	N4D415	国際看護学	講義	1	1								○				
	N4D416	国際保健学	講義	1	1								○				
	N4D417	医療経営学	講義	1	1								○				
	N4D418	医療安全管理論	講義	1	1								○				
	N4D419	現代専門職論	講義	1	1								○				
	N5D423	地域プロジェクトⅠ(基礎編)	演習	2			○	○	○	○	○	○	○	○			
	N5D424	地域プロジェクトⅡ(応用編)	演習	2			○	○	○	○	○	○	○	○			
	N5D425	地域プロジェクトⅢ(発展編)	注4 演習	2							○	○	○	○			
学部連携	N2D422	学部連携基礎論	講義	2						○					4単位		
	N3D420	学部連携演習	演習	2									○				

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。
 注3) 単位数(選択)の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)
 注4) 「地域プロジェクトⅢ(発展編)」は、2023年度開講しません。
 ※開講時期(前期・後期)は変更になる場合があります。



2017年度（編入学生は2019年度）～2021年度（編入学生は2020年度）入学生用

区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数				配当年次								卒業 要件 単位		
				必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
共通教育科目	導入科目	C1C000	スタートアップ演習	演習	2				○									2単位
	文化に 対する 理解	C1C001	哲学と倫理	講義	2				○									4単位 以上
		C1C002	宗教と思想	講義	2					○								
		C1C003	芸術と文化	講義	2					○								
		C2C004	教育を考える	講義	2						○							
		C2C005	生活と文化	講義	2						○							
		C2C006	ジェンダーと文化	講義	2							○						
	人間と 自然に 対する 理解	C1C007	心のしくみ	講義	2					○								4単位 以上
		C1C008	体のしくみ	講義	2				○									
		C1C009	人間関係を考える	講義	2				○									
		C2C010	健康とスポーツ	講義	2						○							
		C2C011	環境を考える	講義	2						○							
		C1C012	自然科学を学ぶ	講義	2				○									
	社会に 対する 理解	C1C014	現代社会と家族	講義	2					○								4単位 以上
		C2C015	現代社会と国際関係	講義	2						○							
		C1C016	現代社会と経済	講義	2					○								
		C1C017	札幌を学ぶ	講義	2				○									
		C2C018	ボランティア活動を考える	講義	2						○							
		C2C019	統計の世界	講義	2					○								
	外国語	C1C101	英語 I A	演習	1				○									8単位 以上
C1C102		英語 I B	演習	1				○										
C1C103		英語 I C	演習	1				○										
C1C104		英語 II A	演習	1					○									
C1C105		英語 II B	演習	1					○									
C1C106		英語 II C	演習	1					○									
C2C107		実践英語A	演習	1	1					○								
C2C108		実践英語B	演習	1						○								
C2C109		韓国語	演習	1							○							
C2C110		中国語	演習	1							○							
C2C111		ロシア語	演習	1							○							
コミュニ ケーション ・ 情報技術	C1C112	日本語表現法	演習	1				○									4単位 以上	
	C1C113	プレゼンテーション	演習	1					○									
	C1C114	基礎カウンセリング	演習	1				○										
	C1C115	対人コミュニケーション	演習	1					○									
	C2C116	グループ・ダイナミクス	演習	1	1					○								
	C1C117	手話	演習	1					○									
	C1C118	情報リテラシー I	演習	1				○										
	C1C119	情報リテラシー II	演習	1					○									
専門基礎科目	人間と命	N1C201	形態機能学 I	演習	2				○								5単位 以上	
		N1C202	形態機能学 II	演習	2				○									
		N2C203	生命科学	講義	1						○							
		N2C204	生命倫理	講義	1						○							
		N2C205	環境保健	講義	1						○							
		N2C206	人間工学	講義	1						○							
	健康と健康 障害と予防	N1C207	薬理学	講義	2					○								12単位
		N2C208	臨床薬理学	演習	1						○							
		N2C209	臨床栄養学	演習	1						○							
		N1C210	病理病態学	演習	2					○								
		N2C211	疾病治療学概論	演習	1						○							
		N2C212	疾病治療学A	演習	1						○							
		N2C213	疾病治療学B	演習	1						○							
		N2C214	疾病治療学C	演習	1						○							
N1C215	感染予防論	講義	2					○										
保健と医 療と福祉	N2C216	公衆衛生学	演習	1						○							9単位 以上 (保健師 コース 11単位 以上)	
	N2C217	社会福祉学	講義	1						○								
	N2C218	家族社会学	講義	1	1					○								
	N2C219	チーム医療論	講義	1						○								
	N2C220	感染管理論	講義	1						○								
	N2C221	臨床心理学	講義	1						○								
	N1C222	地域保健学概論	講義	1					○									
	N3C223	保健医療福祉行政論 I	演習	1							○							
	N4C224	保健医療福祉行政論 II	演習	1	1										○			
	N3C225	保健統計	講義	2							○							
N3C226	疫学 I	講義	1							○								
N4C227	疫学 II	講義	1	1										○				
N2C228	医療情報	演習	1							○								



② 卒業要件

2023年度以降入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
学際教育科目	10	16	26
専門教育科目	92	8	100
(専門基礎科目)	(23)	(3)	(26)
(専門科目)	(69)	(5)	(74)
合 計	102	24	126

2022年度以前入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	10	16	26
専門教育科目	93	7	100
(専門基礎科目)	(24)	(2)	(26)
(専門科目)	(69)	(5)	(74)
合 計	103	23	126

3) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
形態機能学Ⅰ	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
形態機能学Ⅱ	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
地域保健学概論	講義・15時間	1年次前期	◎喜多 歳子 本田 光
看護学原論	講義・15時間	1年次前期	◎定廣和香子 檜山 明子
人間発達援助論	演習・30時間	1年次前期	◎小田 和美 荒木 奈緒 松浦 和代 貝谷 敏子 守村 洋
看護初期実習	実習・45時間	1年次前期	◎檜山 明子 加藤 依子 菅原 美樹 本田 光 牧野 夏子 村松 真澄 守村 洋 伊東健太郎 工藤 京子 高橋 奈美 武富貴久子 矢野祐美子 山本真由美 原井 美佳 岡 園代 鬼塚 美玲 牧田 靖子 三戸部純子 山出 誓子
看護観察技術論	演習・30時間	1年次前期	◎檜山 明子 武富貴久子 鬼塚 美玲 三戸部純子 吉田 実和 山出 誓子
薬理学	講義・30時間	1年次後期	★松本 真知子
病理病態学	演習・60時間	1年次後期	◎★鳥越 俊彦 ★廣橋 良彦 ★塚原 智英 ★金関 貴幸 ★久保 輝文 ★村田 憲司
感染予防論	講義・30時間	1年次後期	★永坂 敦
看護理論	講義・15時間	1年次後期	◎定廣和香子
看護過程論	演習・30時間	1年次後期	◎武富貴久子 三戸部純子 吉田 実和 山出 誓子



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
基礎看護技術論	演習・60時間	1年次後期	◎三戸部純子 樋之津淳子 武富貴久子 矢野祐美子 吉田 実和 山出 誓子
基礎看護学臨地実習 I	実習・45時間	1年次後期	◎樋之津淳子 定廣和香子 武富貴久子 三戸部純子 吉田 実和 近藤 圭子 栗原 知己 平山 憲吾 久保田祥子 渋谷 友紀 市戸 優人 田仲 里江 高橋 葉子 久保田祥子 西川めぐみ 山出 誓子
地域看護学概論	講義・15時間	1年次後期	◎喜多 歳子 本田 光
地域プロジェクト I (基礎編)	演習・60時間	1・2年次 通年	◎藤木 淳 原井 美佳
生命科学	講義・15時間	2年次前期	★鈴木 健史
生命倫理	講義・15時間	2年次前期	★村上 友一
環境保健	講義・15時間	2年次前期	★齋藤 健
人間工学	講義・15時間	2年次前期	◎檜山 明子 三戸部純子 ★佐藤 秀一
臨床栄養学	演習・30時間	2年次前期	★高野 良子
疾病治療学概論	演習・30時間	2年次前期	◎★高野 廣子 ★檀上 渉
疾病治療学A	演習・30時間	2年次前期	◎★和田 典男 他
疾病治療学B	演習・30時間	2年次前期	◎★永坂 敦 他
公衆衛生学	演習・30時間	2年次前期	◎★高橋 恭子
家族社会学	講義・15時間	2年次前期	◎丸山 洋平 小田 和美 松浦 和代
医療情報	演習・30時間	2年次前期	◎佐藤ひとみ ★小笠原克彦 ★谷 祐児 ★遠藤 晃
症状マネジメント論	演習・60時間	2年次前期	◎平山 憲吾 川村三希子 菅原 美樹 牧野 夏子 村松 真澄 工藤 京子 栗原 知己 山出 誓子
基礎看護学臨地実習 II	実習・90時間	2年次前期	◎三戸部純子 定廣和香子 樋之津淳子 檜山 明子 武富貴久子 吉田 実和 栗原 知己 平山 憲吾 大友 舞 久保田祥子 坂本 結城 渋谷 友紀 市戸 優人 近藤 圭子 田仲 里江 高橋 葉子 山出 誓子
成人看護学概論	講義・15時間	2年次前期	◎川村三希子 卯野木 健 小田 和美
成人看護援助論	講義・30時間	2年次前期	◎小田 和美 菅原 美樹 牧野 夏子 工藤 京子 栗原 知己 平山 憲吾 山出 誓子
老年看護学概論	講義・15時間	2年次前期	貝谷 敏子
精神看護学概論	講義・15時間	2年次前期	守村 洋
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎本田 光 小田 和美 矢野祐美子 山出 誓子 ◎石井 雅博 三谷 篤史 大島 卓 丸山 洋平 森 朋子 高橋 尚人
臨床薬理学	演習・30時間	2年次後期	◎★後藤 仁和 ★川本由加里 ★加納 宏樹
疾病治療学C	演習・30時間	2年次後期	◎★大川 由美 他



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
社会福祉学	講義・15時間	2年次前期	★新田 雅子
チーム医療論	講義・15時間	2年次後期	◎矢野祐美子 佐藤ひとみ
感染管理論	講義・15時間	2年次後期	◎貝谷 敏子 卯野木 健 牧田 靖子 ★土佐理恵子
臨床心理学	講義・15時間	2年次後期	◎守村 洋 ★菊池 浩光
援助の人間関係論	演習・30時間	2年次後期	◎伊東健太郎 守村 洋 渋谷 友紀 武富貴久子 栗原 知己
看護倫理学	講義・15時間	2年次後期	◎荒木 奈緒 檜山 明子
小児看護学概論	講義・15時間	2年次後期	松浦 和代
母性看護学概論	講義・15時間	2年次後期	荒木 奈緒
成人看護学臨地実習 I	実習・135時間	2年次後期	◎工藤 京子 卯野木 健 小田 和美 川村三希子 菅原 美樹 牧野 夏子 吉田 実和 近藤 圭子 栗原 知己 平山 憲吾 渋谷 友紀 市戸 優人 田仲 里江 高橋 葉子 西川めぐみ
老年看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎村松 真澄 貝谷 敏子 原井 美佳 西川めぐみ ★平野 嘉信 ★高石 恵一
精神看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎伊東健太郎 守村 洋 渋谷 友紀 ★松原 良次 ★伊藤 候輝
在宅看護学概論	講義・15時間	2年次後期	菊地ひろみ ★石崎 剛
在宅看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ ★早坂みどり ★松田 諭
がん看護学	演習・30時間	2年次後期	◎川村三希子 加藤 依子 平山 憲吾
公衆衛生看護学概論	講義・15時間	2年次後期	◎喜多 歳子 本田 光
地域プロジェクトⅡ（応用編）	演習・60時間	2・3・4年次 通年	◎藤木 淳 原井 美佳
保健医療福祉行政論Ⅰ	演習・30時間	3年次前期	◎市戸 優人 田仲 里江 本田 光 守村 洋 矢野祐美子 近藤 圭子
保健統計	講義・30時間	3年次前期	◎★榎 洋一
疫学Ⅰ	講義・15時間	3年次前期	★池野多美子
小児看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎牧田 靖子 松浦 和代 加藤 依子 ★畠山 欣也 ★水島 正人 ★佐野 仁美
母性看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎山本真由美 石引かずみ 久保田祥子 ★箱山 聖子
成人看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎牧野 夏子 菅原 美樹 工藤 京子 栗原 知己 平山 憲吾
成人看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	3年次前期	◎菅原 美樹 卯野木 健 小田 和美 川村三希子 牧野 夏子 工藤 京子 栗原 知己 平山 憲吾
老年看護学臨地実習Ⅰ	実習・45時間	3年次前期	◎原井 美佳 貝谷 敏子 村松 真澄
精神看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎渋谷 友紀 守村 洋 伊東健太郎
精神看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎伊東健太郎 守村 洋 渋谷 友紀



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
在宅看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ 坂本 結城 ★鈴木 英樹
在宅看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ 坂本 結城
リハビリテーション看護学	演習・30時間	3年次前期	◎卯野木 健 栗原 知己 ★喜納 俊介 ★根木 亨 ★戸田 創 ★佐々木健史
認知症ケア	演習・30時間	3年次前期	◎村松 真澄 貝谷 敏子 原井 美佳
健康教育指導法	演習・30時間	3年次後期	◎田仲 里江 近藤 圭子 市戸 優人
研究方法論	演習・30時間	3年次後期	◎荒木 奈緒 菅原 美樹 武富貴久子 ★平 紀子
小児看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎牧田 靖子 松浦 和代 加藤 依子 ★能登奈々枝
小児看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎牧田 靖子 加藤 依子
母性看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎山本真由美 石引かずみ 久保田祥子
母性看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎石引かずみ 荒木 奈緒 山本真由美 久保田祥子
老年看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎原井 美佳 貝谷 敏子 村松 真澄
老年看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	3年次後期	◎原井 美佳 村松 真澄 貝谷 敏子 西川めぐみ
透析ケア	講義・15時間	3年次後期	◎牧野 夏子 西川めぐみ ★小山 貴也 ★宮腰 麻矢
重症集中ケア	講義・15時間	3年次後期	◎卯野木 健 菅原 美樹 栗原 知己 ★高橋 正浩
救急看護学	講義・15時間	3年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★三上 剛人
放射線医療管理論	講義・15時間	3年次後期	◎★中田 健生 ★神島 保
公衆衛生看護援助論Ⅰ	演習・30時間	3年次後期	◎近藤 圭子 本田 光 市戸 優人 田仲 里江
公衆衛生看護援助論Ⅱ	演習・30時間	3年次後期	◎本田 光 近藤 圭子 市戸 優人 田仲 里江
看護教育学	講義・15時間	3年次後期	◎定廣和香子 山出 誓子
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎喜多 歳子 村松 真澄 佐藤ひとみ 山本真由美 近藤 圭子 渋谷 友紀 高橋 奈美 吉田 実和 牧野 夏子 平山 憲吾 市戸 優人 ◎柿山浩一郎 大淵 一博 須之内元洋 小宮加容子 山田 信博 金 秀敬 藤木 淳 吉田 彩乃 小林 重人 坪内 健 御手洗洋蔵
地域プロジェクトⅢ（発展編）	演習・60時間	3・4年次 通年	◎藤木 淳 原井 美佳
ペリネイタルケア	講義・15時間	4年次前期	◎黒田 紀子 牧田 靖子
パリアティブケア	講義・15時間	4年次前期	川村三希子
寒冷地医療	講義・15時間	4年次前期	◎原井 美佳 近藤 圭子 ★山田 康介 ★高石 恵一



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
公衆衛生看護技術論	演習・30時間	4年次前期	◎近藤 圭子 市戸 優人 田仲 里江
ヘルスプロモーション活動論	演習・30時間	4年次前期	◎本田 光 喜多 歳子 市戸 優人 近藤 圭子 田仲 里江
公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	実習・90時間	4年次前期	◎田仲 里江 喜多 歳子 本田 光 市戸 優人 近藤 圭子
公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	実習・135時間	4年次前期	◎本田 光 喜多 歳子 市戸 優人 近藤 圭子 田仲 里江
看護管理学	演習・30時間	4年次前期	◎佐藤ひとみ 矢野祐美子 鬼塚 美玲
看護情報学	講義・15時間	4年次前期	◎佐藤ひとみ
災害看護学	講義・15時間	4年次前期	◎鬼塚 美玲 市戸 優人 ★岩本 満美
国際看護学	講義・15時間	4年次前期	★スーディ神崎 和代
国際保健学	講義・15時間	4年次前期	★千葉 逸朗
医療経営学	講義・15時間	4年次前期	◎鬼塚 美玲 矢野祐美子 佐藤ひとみ ★千葉美恵子
医療安全管理論	講義・15時間	4年次前期	◎矢野祐美子 檜山 明子 佐藤ひとみ 鬼塚 美玲
現代専門職論	講義・15時間	4年次前期	◎樋之津淳子 佐藤ひとみ ★高橋久美子 ★釣部 公映 ★木村 禎 ★田中 聖美 ★越智 文奈
保健医療福祉行政論Ⅱ	演習・30時間	4年次後期	◎本田 光子 市戸 優人 近藤 圭子 田仲 里江
疫学Ⅱ	講義・15時間	4年次後期	喜多 歳子
ヘルスケアマネジメント実習	実習・135時間	4年次後期	◎鬼塚 美玲 檜山 明子 武富貴久子 三戸部純子 佐藤ひとみ 矢野祐美子 村松 真澄 原井 美佳 菅原 美樹 山本真由美 工藤 京子 山出 誓子 加藤 依子 牧田 靖子 岡 園代 高橋 奈美 守村 洋 伊東健太郎
公衆衛生看護管理論	講義・15時間	4年次後期	◎本田 光 喜多 歳子 市戸 優人
卒業研究	演習・120時間	4年次通年	◎守村 洋 荒木 奈緒 卯野木 健 小田 和美 貝谷 敏子 川村三希子 菊地ひろみ 喜多 歳子 定廣和香子 佐藤ひとみ 樋之津淳子 菅原 美樹 本田 光 村松 真澄 石引かづみ 伊東健太郎 岡 園代 工藤 京子 高橋 奈美 武富貴久子 原井 美佳 檜山 明子 矢野祐美子 山本真由美 市戸 優人 鬼塚 美玲 近藤 圭子 栗原 知己 平山 憲吾 坂本 結城 渋谷 友紀 田仲 里江 牧田 靖子 三戸部純子 吉田 実和 山出 誓子

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



4) 実習概要

※機関種別

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
看護初期実習	2023年6月6日～8日	医療機関	126名
		老人福祉センター	87名
		健診センター、その他	48名
基礎看護学臨地実習 I	2023年10月16日～19日	医療機関	352名
基礎看護学臨地実習 II	2023年5月22日～6月2日	医療機関	850名
成人看護学臨地実習 I	2023年10月23日～11月9日	医療機関	1,105名
老年看護学臨地実習 I	2023年5月9日～11日	老人福祉センター	85名
		介護老人保健施設	85名
		老人クラブ	85名
成人看護学臨地実習 II	2023年6月19日～7月28日	医療機関	822名
精神看護学臨地実習	2023年6月19日～7月27日	医療機関	360名
		社会福祉施設	164名
在宅看護学臨地実習	2023年6月19日～7月28日	医療機関	0名
		訪問看護ステーション	560名
		地域包括支援センター・居宅介護支援事業所	0名
母性看護学臨地実習	2023年11月20日 ～2024年1月25日	医療機関	728名
小児看護学臨地実習	2023年11月20日 ～2024年1月26日	医療機関	490名
		保育所	252名
老年看護学臨地実習 II	2023年11月21日 ～2024年1月25日	医療機関	393名
		介護老人保健施設	167名
公衆衛生看護学臨地実習 I・II	2023年6月12日～7月27日	保健所・保健センター	570名
		事業所	90名
		教育機関	60名
		児童会館	60名
ヘルスケアマネジメント 実習	2023年9月19日～10月5日	医療機関	975名
		介護老人保健施設	52名



5 デザイン研究科

1) 2023年度時間割

① 前期

		月		火	水	木		金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス		芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年生	博士後期課程	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期2年生	博士前期1年生	博士前期1年生
1	9:00 ～ 10:30			認知・感性 科学特論		建築構造デ ザイン特論			コミュニケー ション特論
2	10:40 ～ 12:10			メカトロニク ス特論		メディアプロ デュース特論			国際関係特 論
3	13:10 ～ 14:40	環境マネジ メント特論		製品デザイ ン特論		形状情報処 理特論		製品造形特論	少子高齢社 会特論
4	14:50 ～ 16:20	環境共生デ ザイン特論		景観デザイ ン特論		インタラク ションデザ イン特論		地域創成デ ザイン特別 セミナーA	連携プロジェ クト演習
5	16:30 ～ 18:00	建築計画特論		インターシッ プ I (事前講義) インターシッ プ II (事前講義)				地域創成デ ザイン特別 セミナーB	
6	18:10 ～ 19:40	デザイン 研究法	人間空間デ ザイン研究法 人間情報デ ザイン研究法	デザイン特論			地域プロジェ クト演習		
7	19:50 ～ 21:20								

※デザイン特別演習、特別研究、横断型連携特別演習、博士デザイン特別演習および博士特別研究Ⅰ～Ⅲの開講時期は担当教員により異なる。

② 後期

		月		火	水	木		金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス		芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年生	博士後期課程	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生		博士前期1年生	博士前期1年生
1	9:00 ～ 10:30			地域環境評 価特論		インタフェースデザイン特 論	建築環境学 特論	健康福祉政 策特論	
2	10:40 ～ 12:10	ビジュアルデ ザイン特論		製品評価特論		コンピューショナル・アー ト特論	デザインマネ ジメント特論	地域経済政 策特論	
3	13:10 ～ 14:40	地域ブランド 構築特論				映像デザイン特論		ヒューマニ ティ特論	
4	14:50 ～ 16:20	日本建築史 特論						連携プロジェ クト演習	
5	16:30 ～ 18:00					感性価値特論			
6	18:10 ～ 19:40		人間空間デ ザイン特講 人間情報デ ザイン特講						
7	19:50 ～ 21:20								



2) カリキュラム

① 授業科目一覧
＜博士前期課程＞

2023年度以降入学生用

科目区分	授業科目の名称	配当年次(時期)	単位数			人間空間デザイン分野		人間情報デザイン分野	
			必修	選択	自由	履修モデル名		履修モデル名	
						建築・環境デザイン	地域コミュニケーションデザイン	ものづくりデザイン	情報コミュニケーションデザイン
						研究テーマ例		研究テーマ例	
国際関係特論	1・2 前		2						
少子高齢社会特論	1・2 前		2		(△)	(△)			
健康福祉政策特論	1・2 後		2						
地域経済政策特論	1・2 後		2		△	(△)			
ヒューマニティ特論	1・2 後		2				(△)	(△)	
コミュニケーション特論	1・2 前		2		(△)	△	(△)	△	
連携プロジェクト演習	1 通		2		△	△	△	△	
小計(7科目)	-	-	14	-	4単位以上				
基本科目	デザイン特論	1 前	2			◎	◎	◎	
	デザイン研究法	1 前	2		△	(△)	△	(△)	
	デザインマネジメント特論	1 後	2		(△)	△	(△)	△	
	小計(3科目)	-	2	4	-	4単位以上			
専門教育科目	建築計画特論	1・2 前		2		△ ■	(△)	(△)	
	建築環境学特論	1・2 後		2		△ ■	(△)	(△)	
	建築構造デザイン特論	1・2 前		2		△ ■			
	日本建築史特論	1・2 後		2		(△)			
	景観デザイン特論	1・2 前		2		△	(△)		
	地域環境評価特論	1・2 後		2		(△)	△		
	環境共生デザイン特論	1・2 前		2		△ ■	(△)		
	環境マネジメント特論	1・2 前		2		(△)	△	(△)	
	現代芸術特論 注	1・2 後		2		(△)	△		
	メディアプロデュース特論	1・2 前		2			△	(△)	
	地域ブランド構築特論	1・2 後		2			△		
	製品造形特論	1・2 前		2				(△)	
	製品評価特論	1・2 後		2				△	
	メカトロニクス特論	1・2 前		2				(△)	
	インタフェースデザイン特論	1・2 後		2			(△)	△	
	製品デザイン特論	1・2 前		2				△	
	感性価値特論	1・2 後		2			(△)	(△)	
	認知・感性科学特論	1・2 前		2		(△)		(△)	
	インタラクションデザイン特論	1・2 前		2				△	
	形状情報処理特論	1・2 前		2				(△)	
	映像デザイン特論	1・2 後		2				(△)	
	ビジュアルデザイン特論	1・2 後		2				(△)	
	コンピュータショナル・アート特論	1・2 後		2		(△)		(△)	
	デザイン特別演習	1 前・後	2			◎ ■	◎	◎	
小計(24科目)	-	2	46	-	12単位以上				
実践科目	地域プロジェクト演習	2 前	2			◎ ■	◎	◎	
	地域創成デザイン特別セミナーA	1・2 前		2		△	△	△	
	地域創成デザイン特別セミナーB	2 前		2			△	△	
	インターンシップ I	1・2 集中		2		△ ■		△	
	インターンシップ II	1・2 集中		4		△ ■			
小計(5科目)	-	2	6	4	4単位以上				
修了研究	特別研究	1~2 通	6	-	-	◎	◎	◎	
	小計(1科目)	-	6	-	-	6単位			
合計(40科目)	-	12	70	4	30単位以上				

◎：必修科目 △：推奨される選択科目 (△)：選択科目の組み合わせ候補(研究課題によって選択)

■は一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な指定科目(8科目・18単位からインターンシップIIを含む16単位以上の履修が必要となります)

※「建築・環境デザイン」履修モデルは一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な科目の取得を想定しているため、合計単位数が34単位となっています。

注) 現代芸術特論は2023年度開講しません。



2019年度以降入学生用

科目区分	授業科目の名称	配当年次(時期)	単位数			人間空間デザイン分野		人間情報デザイン分野	
			必修	選択	自由	履修モデル名		履修モデル名	
						建築・環境デザイン	地域コミュニケーションデザイン	ものづくりデザイン	情報コミュニケーションデザイン
						研究テーマ例		研究テーマ例	
高質な建築・都市空間や自然と共存する地域環境のデザインに関する研究	これからの社会を提案するまちづくりや地域コミュニティデザインに関する研究	製品インタフェースデザインのユーザービリティに関する研究	認知科学に基づくウェブサイトのインタラクションデザインの研究						
研究科連携科目	国際関係特論	1・2 前		2				△	(△)
	少子高齢社会特論	1・2 前		2		(△)	(△)		
	健康福祉政策特論	1・2 後		2					
	地域経済政策特論	1・2 後		2		△	(△)		
	ヒューマンシティ特論	1・2 後		2				(△)	(△)
	コミュニケーション特論	1・2 前		2		(△)	△	(△)	△
	連携プロジェクト演習	1 通		2		△	△	△	△
	小計(7科目)	-		14	-	4単位以上			
基本科目	デザイン特論	1 前	2			◎	◎	◎	◎
	デザイン研究法	1 前		2		△	(△)	△	(△)
	デザインマネジメント特論	1 後		2		(△)	△	(△)	△
	小計(3科目)	-	2	4	-	4単位以上			
専門教育科目	建築計画特論	1・2 前		2		△■	(△)	(△)	
	建築環境学特論	1・2 後		2		△■	(△)	(△)	
	建築構造デザイン特論	1・2 前		2		△■			
	日本建築史特論	1・2 後		2		(△)			
	景観デザイン特論	1・2 前		2		△	(△)		
	地域環境評価特論	1・2 後		2		(△)	△		
	環境共生デザイン特論	1・2 前		2		△■	(△)		
	環境マネジメント特論	1・2 前		2		(△)	△		(△)
	現代芸術特論	1・2 後		2		(△)	△		
	メディアプロデュース特論	1・2 前		2			△		(△)
	地域ブランド構築特論	1・2 後		2			△		
	製品造形特論	1・2 前		2				(△)	
	製品評価特論	1・2 後		2				△	(△)
	メカトロニクス特論	1・2 前		2				△	(△)
	インタフェースデザイン特論	1・2 後		2				△	(△)
	製品デザイン特論	1・2 前		2				△	(△)
	感性価値特論	1・2 後		2				(△)	△
	認知・感性科学特論	1・2 前		2		(△)		(△)	△
	インタラクションデザイン特論	1・2 前		2				△	△
	形状情報処理特論	1・2 前		2				(△)	
	映像デザイン特論	1・2 後		2				(△)	△
	ビジュアルデザイン特論	1・2 後		2					(△)
	コンピュータショナル・アート特論	1・2 後		2		(△)		(△)	△
	デザイン特別演習	1 前・後	2				◎■	◎	◎
	小計(24科目)	-	2	46	-	12単位以上			
実践科目	地域プロジェクト演習	2 前	2			◎■	◎	◎	◎
	地域創成デザイン特別セミナーA	1・2 前		2			△		
	地域創成デザイン特別セミナーB	1・2 前		2					△
	インターンシップI	1・2 集中		2		△■		△	
	インターンシップII	1・2 集中			4	△■			
	小計(5科目)	-	2	6	4	4単位以上			
終了研究	特別研究	1~2 通	6	-	-	◎	◎	◎	◎
	小計(1科目)	-	6	-	-	6単位			
	合計(40科目)	-	12	70	4	30単位以上			

◎：必修科目 △：推奨される選択科目 (△)：選択科目の組み合わせ候補(研究課題によって選択)
 ■：一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な指定科目(8科目・18単位からインターンシップIIを含む16単位以上の履修が必要となります)
 ※「建築・環境デザイン」履修モデルは一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な科目の取得を想定しているため、合計単位数が34単位となっています。

< 博士後期課程 >

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基本科目	横断型連携特別演習	1通年	2				○	
	人間空間デザイン研究法	1前期		2			○	
	人間情報デザイン研究法	1前期		2			○	
	小計(3科目)	-	2	4	0	-		
展開科目	人間空間デザイン特講	1後期		2			○	
	人間情報デザイン特講	1後期		2			○	
	博士デザイン特別演習	2前期		2			○	
	小計(3科目)	-	2	4	0	-		
研究指導科目	博士特別研究I	1通年		2			○	
	博士特別研究II	2通年		2			○	
	博士特別研究III	3通年		4			○	
	小計(3科目)	-	8	0	0	-		
	合計(9科目)	-	12	8	0			



② 修了要件

<博士前期課程>

科目区分		修了要件	
研究科連携科目		4単位以上	
専門教育科目	基本科目	4単位以上	
	展開科目	人間空間デザイン分野	12単位以上
		人間情報デザイン分野	
	実践科目	4単位以上	
修了研究	6単位		
合計		30単位以上	

「研究科連携科目」から4単位以上、「基本科目」から4単位以上（必修2単位を含む）、「展開科目」から12単位以上（必修2単位を含む）、「実践科目」から4単位以上（必修2単位を含む）、「特別研究」を6単位、合計30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文等の審査に合格したものに学位を授与する。

<博士後期課程>

科目区分	修了要件
基本科目	4単位以上
展開科目	4単位以上
研究指導科目	8単位以上
合計	16単位以上

「基本科目」から4単位以上（必修2単位を含む）、「展開科目」から4単位以上（必修2単位を含む）、「研究指導科目」から8単位、合計16単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査に合格したものに学位を授与する。

3) 教育活動

<博士前期課程>

研究科連携科目

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎★スーディ神崎和代 石井 雅博 張 浦華 森 朋子 ★千葉 逸朗
少子高齢社会特論	講義・30時間	1・2年次前期	丸山 洋平
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎石井 雅博 柿山浩一郎 三谷 篤史 山田 信博 片山めぐみ ★町田佳世子
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村 洋 喜多 歳子 本田 光 ★大久保一郎 ★塚本 容子 ★今野 好江
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎小林 重人 丸山 洋平
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	松井 美穂
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎横溝 賢 丸山 洋平 坪内 健 ◎小田 和美 村松 真澄 武富貴久子

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



専門教育科目

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
デザイン特論	講義・30時間	1年次前期	◎齊藤 雅也 石井 雅博 柿山浩一郎 椎野亜紀夫 西川 忠 藤木 淳 細谷 多聞 三谷 篤史 若林 尚樹 大島 卓 片山めぐみ 金 秀敬 小宮加容子
デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎椎野亜紀夫 石井 雅博 柿山浩一郎
デザインマネジメント特論	講義・30時間	1年次後期	石井 雅博
建築計画特論	講義・30時間	1・2年次前期	山田 信博
建築環境学特論	講義・30時間	1・2年次後期	齊藤 雅也
建築構造デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	西川 忠
日本建築史特論	講義・30時間	1・2年次後期	金子 晋也
景観デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	椎野亜紀夫
地域環境評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	森 朋子
環境共生デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	大島 卓
環境マネジメント特論	講義・30時間	1・2年次前期	片山めぐみ
製品造形特論	講義・30時間	1・2年次前期	★石崎 友紀
製品評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	柿山浩一郎
メカトロニクス特論	講義・30時間	1・2年次前期	三谷 篤史
インタフェースデザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	若林 尚樹
製品デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	張 浦華
感性価値特論	講義・30時間	1・2年次後期	金 秀敬
認知・感性科学特論	講義・30時間	1・2年次前期	石井 雅博
インタラクションデザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎細谷 多聞 小宮加容子
形状情報処理特論	講義・30時間	1・2年次前期	★城間 祥之
映像デザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	松永 康佑
ビジュアルデザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	横溝 賢
コンピューショナル・アート特論	講義・30時間	1・2年次後期	藤木 淳
メディアプロデュース特論	講義・30時間	1・2年次前期	須之内元洋
地域ブランド構築特論	講義・30時間	1・2年次後期	小林 重人
デザイン特別演習	演習・30時間	1年次 前期・後期	◎齊藤 雅也 石井 雅博 柿山浩一郎 椎野亜紀夫 西川 忠 藤木 淳 細谷 多聞 三谷 篤史 若林 尚樹 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也 金 秀敬 小林 重人 小宮加容子 張 浦華 森 朋子 山田 信博 横溝 賢
地域プロジェクト演習	演習・30時間	2年次前期	◎金子 晋也 柿山浩一郎 齊藤 雅也 西川 忠 藤木 淳 細谷 多聞 三谷 篤史 小宮加容子 山田 信博 横溝 賢 松永 康佑



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
地域創成デザイン特別セミナーA	演習・30時間	1・2年次前期	◎西川 忠 石井 雅博 須之内元洋 矢久保空遥
地域創成デザイン特別セミナーB	演習・30時間	2年次前期	◎石井 雅博 西川 忠
インターンシップ I	実習・90時間	1・2年次集中	◎森 朋子 齊藤 雅也 西川 忠 吉田 彩乃
インターンシップ II	実習・180時間	1・2年次集中	◎森 朋子
特別研究	演習・90時間	1～2年次通年	◎齊藤 雅也 石井 雅博 柿山浩一郎 椎野亜紀夫 西川 忠 藤木 淳 細谷 多聞 三谷 篤史 若林 尚樹 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也 金 秀敬 小林 重人 小宮加容子 張 浦華 森 朋子 山田 信博 横溝 賢

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

< 博士後期課程 >

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
人間空間デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎椎野亜紀夫 齊藤 雅也
人間情報デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎三谷 篤史 石井 雅博 細谷 多聞
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎三谷 篤史 石井 雅博 柿山浩一郎 片山めぐみ 金子 晋也 小宮加容子
人間空間デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎山田 信博 小林 重人
人間情報デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎藤木 淳 柿山浩一郎
博士デザイン特別演習	演習・30時間	2年次前期	齊藤 雅也 石井 雅博 柿山浩一郎 椎野亜紀夫 藤木 淳 細谷 多聞 三谷 篤史 片山めぐみ 小林 重人 森 朋子 山田 信博
博士特別研究 I	演習・30時間	1年次通年	齊藤 雅也 石井 雅博 柿山浩一郎 椎野亜紀夫 藤木 淳 細谷 多聞 三谷 篤史 片山めぐみ 小林 重人 森 朋子 山田 信博
博士特別研究 II	演習・30時間	2年次通年	齊藤 雅也 石井 雅博 柿山浩一郎 椎野亜紀夫 藤木 淳 細谷 多聞 三谷 篤史 片山めぐみ 小林 重人 森 朋子 山田 信博
博士特別研究 III	演習・60時間	3年次通年	齊藤 雅也 石井 雅博 柿山浩一郎 椎野亜紀夫 藤木 淳 細谷 多聞 三谷 篤史 片山めぐみ 小林 重人 森 朋子 山田 信博



6 看護学研究科

1) 2023年度時間割

<博士前期課程>

①1年次

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ~ 10:30						
2	10:40 ~ 12:10						
3	13:10 ~ 14:40						
4	14:50 ~ 16:20	看護理論特論 D401	看護コンサル テーション特論 D402	看護研究法特論 D401	寒冷地生活支援 看護学特論 D402 がん看護・緩和 ケア特論	看護専門職教育 特論 D402 小児看護学特論A	在宅看護学特論C 小児看護学特論E クリティカルケア 看護学特論 がん看護学援助特論 精神看護学特論C
5	16:30 ~ 18:00	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論A 看護技術学特論I 看護教育・看護マネ ジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論A 地域看護学特論 小児看護学特論B 母性看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論B 看護技術学特論II 看護教育学特論 看護マネジメント学 特論	看護管理学特論 D402	家族看護学特論 D402 小児看護学特論C がん薬物療法看護 特論 精神看護学特論D	看護倫理学特論 D402	継続教育特論 D402
		在宅看護学特論B 急性期看護学特論					
6	18:10 ~ 19:40	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論A 看護技術学特論I 看護教育・看護マネ ジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論A 地域看護学特論 小児看護学特論B 母性看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論B 看護技術学特論II 看護教育学特論 看護マネジメント学 特論	看護研究法特論 D401	寒冷地生活支援 看護学特論 D402 小児看護学特論C がん看護・緩和 ケア特論	看護専門職教育特論 D402 小児看護学特論A	在宅看護学特論C 小児看護学特論E クリティカルケア 看護学特論 がん看護学援助特論 精神看護学特論C
		在宅看護学特論B 急性期看護学特論					
7	19:50 ~ 21:20	看護理論特論 D401	看護コンサルテ ーション特論 D402	看護管理学特論 D402	家族看護学特論 D402 がん薬物療法看 護特論 精神看護学特論D	看護倫理学特論 D402	継続教育特論 D401 臨床哲学特論 D402

※「特別研究」及び「課題研究」は、指導教員ごとに開講する。

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。



木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
				コミュニケーション特論 D402	健康福祉政策特論 D402
				国際関係特論 D402	地域経済政策特論 D402
				少子高齢社会特論 D402	ヒューマニティ特論 D402
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習A 看護技術学演習I 看護教育・看護 マネジメント学演習			アドバンスト・フィジカルアセスメント論	連携プロジェクト演習 D401	
		フィジカルアセスメント論 D402			
老年看護学演習 在宅看護学演習 地域看護学演習 小児看護学演習A 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 看護技術学演習II 看護教育学演習 看護マネジメント学演習 急性期病態管理学特論(後期)		病態生理学特論 D401	臨床薬理学特論 D402		がん病態治療特論
				小児看護学演習B	
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習A 看護技術学演習I 看護教育・看護 マネジメント学演習		病態生理学特論 D401	臨床薬理学特論 D402		
				アドバンスト・フィジカルアセスメント論	
		フィジカルアセスメント論 D402			



②2年次

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ～ 10:30						
2	10:40 ～ 12:10						
3	13:10 ～ 14:40						
4	14:50 ～ 16:20					小児看護学特論D	
5	16:30 ～ 18:00	老年看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 慢性期看護学特論 看護技術学特論II 看護教育学特論 看護マネジメント学特論		在宅看護学特論D 慢性期精神看護学特論	慢性期精神看護学演習	在宅看護学特論E	
		クリティカルケア看護学演習I		がん看護・緩和ケア演習	がん薬物療法看護演習	クリティカルケア看護学演習II	
6	18:10 ～ 19:40	老年看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 慢性期看護学特論 看護技術学特論II 看護教育学特論 看護マネジメント学特論		在宅看護学特論D 慢性期精神看護学特論	慢性期精神看護学演習	小児看護学特論D	
		クリティカルケア看護学演習I		がん看護・緩和ケア演習	がん薬物療法看護演習	クリティカルケア看護学演習II	
7	19:50 ～ 21:20					在宅看護学特論E	

※「特別研究」及び「課題研究」は、指導教員ごとに開講する。

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。



木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
				コミュニケーション特論 D402	健康福祉政策特論 D402
				国際関係特論 D402	地域経済政策特論 D402
				少子高齢社会特論 D402	ヒューマニティ特論 D402
老年看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 精神看護学演習B 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習	急性期病態管理学 特論（後期）			小児看護学演習B がん看護学演習Ⅱ	
老年看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 精神看護学演習B 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習	急性期病態管理学 特論（後期）				



< 博士後期課程 >

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ∟ 10:30						
2	10:40 ∟ 12:10						
3	13:10 ∟ 14:40						
4	14:50 ∟ 16:20			後期特別研究 I II III			
5	16:30 ∟ 18:00			(横断型連携特別演習)			
6	18:10 ∟ 19:40			後期特別研究 I II III			
7	19:50 ∟ 21:20			(横断型連携特別演習)			

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合があります。

※ 「後期特別研究 I II III」は、教員と学生が協議の上で授業時間帯を確定する。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。

木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
看護学特講				横断型連携特別演習	
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習					
看護学特講					
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習					



2) カリキュラム

① 授業科目一覧
 < 博士前期課程 >

科目区分	科目ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実習	
研究科連携科目	C5B701	国際関係特論	1・2 前		2			○		4 単位以上
	C5B702	少子高齢社会特論	1・2 前		2			○		
	C5B703	健康福祉政策特論	1・2 後		2			○		
	C5B704	地域経済政策特論	1・2 後		2			○		
	C5B705	ヒューマニティ特論	1・2 後		2			○		
	C5B706	コミュニケーション特論	1・2 前		2			○		
	C1B701	連携プロジェクト演習	1 通		2				○	
専 門 基 礎 科 目	N1B801	看護理論特論	1 前	2				○		8 単位以上 (専門看護師認定希望者 14 単位以上)
	N1B802	看護研究法特論	1 前	2				○		
	N1B803	看護倫理特論	1 前	2				○		
	N1B804	看護管理特論	1 前	2				○		
	N1B805	臨床哲学特論	1 後	2				○		
	N1B806	看護コンサルテーション特論	1 後	2				○		
	N1B807	看護専門職教育特論	1 前	2				○		
	N1B808	継続教育特論	1 後	2				○		
	N1B809	寒冷地生活支援看護学特論	1 後	2				○		
	N1B810	家族看護学特論	1 後	2				○		
	N1B811	フィジカルアセスメント論	1 通	2				○		
	N1B812	病態生理学特論	1 前	2				○		
	N1B813	臨床薬理特論	1 後	2				○		
専 門 実 践 科 目	N1B821	地域生活看護学特論	1 前	2				○		1 つの領域から 8 単位以上 (専門看護師認定希望者 22 単位以上)
	N5B821	老年看護学特論	1・2 後	2				○		
	N1B822	在宅看護学特論A	1 後	1				○		
	N1B823	在宅看護学特論B	1 通	1				○		
	N1B824	在宅看護学特論C	1 後	2				○		
	N2B821	在宅看護学特論D	2 前	2				○		
	N2B822	在宅看護学特論E	2 前	2				○		
	N5B822	地域看護学特論	1・2 後	2				○		
	N1B825	地域生活看護学演習	1 通	2				○		
	N5B823	老年看護学演習	1・2 通	2				○		
	N1B826	在宅看護学演習	1 通	2				○		
	N5B824	地域看護学演習	1・2 通	2				○		
	N1B827	高度在宅看護学実習 I	1 通	2					○	
	N2B823	高度在宅看護学実習 II	2 通	3					○	
	N2B824	高度在宅看護学実習 III	2 通	3					○	
	N2B825	高度在宅看護学実習 IV	2 通	2					○	
	N1B831	母子看護学特論	1 前	2				○		
	N5B831	母性看護学特論	1・2 後	2				○		
	N1B832	小児看護学特論A	1 前	2				○		
	N1B833	小児看護学特論B	1 後	2				○		
	N1B834	小児看護学特論C	1 後	1				○		
	N2B831	小児看護学特論D	2 前	1				○		
	N1B835	小児看護学特論E	1 後	2				○		
	N1B836	母子看護学演習	1 通	2				○		
	N5B832	母性看護学演習	1・2 通	2				○		
N1B837	小児看護学演習A	1 通	2				○			
N5B833	小児看護学演習B	1・2 通	2				○			
N1B838	高度小児看護学実習 I	1 後	2					○		
N2B832	高度小児看護学実習 II	2 通	4					○		
N2B833	高度小児看護学実習 III	2 通	4					○		
専 門 実 践 科 目	N1B841	成人看護学特論	1 前	2				○		1 つの領域から 8 単位以上 (専門看護師認定希望者 22 単位以上)
	N1B842	急性期看護学特論	1 通	2				○		
	N5B841	慢性期看護学特論	1・2 後	2				○		
	N1B843	がん看護学特論	1 後	2				○		
	N5B842	急性期病態管理特論	1・2 後	2				○		
	N1B844	クリティカルケア看護学特論	1 後	2				○		
	N1B845	アドバンスド・フィジカルアセスメント論	1 後	2				○		
	N1B846	がん看護学援助特論	1 後	2				○		
	N1B847	がん薬物療法看護学特論	1 後	2				○		
	N1B848	がん看護・緩和ケア特論	1 後	2				○		
	N1B849	がん病態治療特論	1 後	2				○		
	N1B850	成人看護学演習	1 通	2				○		
	N5B843	急性期看護学演習	1・2 通	2				○		
	N2B841	クリティカルケア看護学演習 I	2 通	2				○		
	N2B842	クリティカルケア看護学演習 II	2 通	2				○		
	N5B844	慢性期看護学演習	1・2 通	2				○		
	N2B843	がん薬物療法看護学演習	2 通	2				○		
	N2B844	がん看護・緩和ケア演習	2 通	2				○		
	N1B851	高度急性期看護学実習 I	1 後	3					○	
	N2B845	高度急性期看護学実習 II	2 通	3					○	
	N2B846	高度急性期看護学実習 III	2 通	2					○	
	N2B847	高度急性期看護学実習 IV	2 通	2					○	
	N1B852	高度がん看護学実習 I	1 後	2					○	
	N2B848	高度がん看護学実習 II	2 通	4					○	
	N2B849	高度がん看護学実習 III	2 通	4					○	
専 門 実 践 科 目	N1B861	精神看護学特論A	1 前	2				○		1 つの領域から 8 単位以上 (専門看護師認定希望者 22 単位以上)
	N1B862	精神看護学特論B	1 後	2				○		
	N1B863	精神看護学特論C	1 後	2				○		
	N1B864	精神看護学特論D	1 後	2				○		
	N2B861	慢性期精神看護学特論	2 前	1				○		
	N1B865	精神看護学演習A	1 通	2				○		
	N2B862	精神看護学演習B	2 通	2				○		
	N2B863	慢性期精神看護学演習	2 後	1				○		
	N1B866	高度精神看護学実習 I	1 後	2					○	
	N1B867	高度精神看護学実習 II	1 後	2					○	
	N2B864	高度精神看護学実習 III	2 通	4					○	
	N2B865	高度精神看護学実習 IV	2 通	2					○	
	N1B871	看護技術学特論 I	1 前	2				○		
	N5B871	看護技術学特論 II	1・2 後	2				○		
	N1B872	看護技術学演習 I	1 通	2				○		
	N5B872	看護技術学演習 II	1・2 通	2				○		
看護教育・看護マネジメント学領域	N1B881	看護教育・看護マネジメント学特論	1 前	2				○		
	N5B881	看護教育学特論	1・2 後	2				○		
	N5B882	看護マネジメント学特論	1・2 後	2				○		
	N1B882	看護教育・看護マネジメント学演習	1 通	2				○		
	N5B883	看護教育学演習	1・2 通	2				○		
	N5B884	看護マネジメント学演習	1・2 通	2				○		
	N5B891	特別研究	1~2 通	8				○		
N5B892	課題研究	1~2 通	4				○			



< 博士後期課程 >

科目区分	科目 ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実習	
連携 博士後期 科目	N1A901	横断型連携特別演習	1 通	2				○		2 単位
博士後期 専門科目	N1A911	看護学特講	1 前	2			○			4 単位以上
	N1A912	看護技術学特別演習	1 通		2			○		
	N1A913	実践看護学特別演習	1 通		2			○		
	N1A914	機能看護学特別演習	1 通		2			○		
博士後期 研究指導 科目	N1A921	後期特別研究Ⅰ	1 通	2				○		8 単位
	N2A921	後期特別研究Ⅱ	2 通	2				○		
	N3A921	後期特別研究Ⅲ	3 通	4				○		

② 修了要件

< 博士前期課程 >

※修士論文コース

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	20	—	24
専門基礎科目	4	4	—	8
専門科目	—	16	—	16
選択する領域・分野から	—	8	—	8
研究	—	8	—	8
合計	4	26	—	30

※専門看護師コース

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	36	—	40
専門基礎科目	4	10	—	14
専門科目	—	26	—	26
選択する領域・分野から	—	22	—	22
研究	—	4	—	4
合計	4	42	—	46



< 博士後期課程 >

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
博士後期連携科目	2	—	—	2
博士後期専門科目	2	2	—	4
博士後期研究指導科目	8	—	—	8
合計	12	2	—	14

3) 教育活動

< 博士前期課程 >

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎★スーディ 神崎 和代 森 朋子 石井 雅博 張 浦華 ★千葉 逸朗
少子高齢社会特論	講義・30時間	1・2年次前期	丸山 洋平
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村 洋 喜多 歳子 本田 光 ★大久保一郎 ★塚本 容子 ★今野 好江
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎小林 重人 丸山 洋平
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	松井 美穂
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎石井 雅博 町田佳世子 柿山浩一郎 三谷 篤史 山田 信博 片山めぐみ
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎小田 和美 村松 真澄 武富貴久子 横溝 賢 丸山 洋平 坪内 健
看護理論特論	講義・30時間	1年次前期	◎小田 和美 松浦 和代 川村三希子 菅原 美樹 ★山内まゆみ
看護研究法特論	講義・30時間	1年次前期	◎貝谷 敏子 喜多 歳子 菊地ひろみ 本田 光 ★平 紀子
看護倫理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎川村三希子 荒木 奈緒 檜山 明子
看護管理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎佐藤ひとみ 丸山 洋平 ★勝見 真澄
臨床哲学特論	講義・30時間	1年次後期	★尾形 敬次
看護コンサルテーション特論	講義・30時間	1年次後期	◎佐藤ひとみ 牧田 靖子 ★藤野 智子 ★葛西 陽子
看護専門職教育特論	講義・30時間	1年次前期	定廣和香子
継続教育特論	講義・30時間	1年次後期	◎佐藤ひとみ ★舟島なをみ ★中山登志子 ★佐藤 紀子 ★古都 昌子
寒冷地生活支援看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎村松 真澄 ★池田 貴夫 ★鈴木 英樹 ★山田 康介 ★平野 嘉信 ★高石 恵一
家族看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎小田 和美 菊地ひろみ ★柳原 清子 ★川村 真澄
フィジカルアセスメント論	講義・30時間	1年次通年	◎菅原 美樹 牧野 夏子 ★羽賀 将衛 ★石川 幸司
病態生理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎卯野木 健 高橋 奈美 牧野 夏子 ★和田 典男 ★岡村 英明 ★榊田 佳枝 ★今井 崇



授業科目	授業 形態・時数	年次	担当教員
臨床薬理学特論	講義・30時間	1年次後期	◎★齊藤 浩司 川村三希子 菊地ひろみ 加藤 依子 守村 洋
地域生活看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎菊地ひろみ 貝谷 敏子 喜多 歳子 本田 光 村松 真澄
老年看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎貝谷 敏子 村松 真澄 原井 美佳 ★樋渡ひとみ ★大久保抄織
在宅看護学特論A	講義・15時間	1年次後期	◎菊地ひろみ ★石崎 剛
在宅看護学特論B	講義・15時間	1年次通年	◎菊地ひろみ ★山内 豊明
在宅看護学特論C	講義・30時間	1年次後期	◎菊地ひろみ ★鈴木眞一郎 ★西川 就 ★吉崎 秀夫 ★矢崎 一雄 ★土島 智幸 ★橋本 集
在宅看護学特論D	講義・30時間	2年次前期	◎菊地ひろみ 村松 真澄 ★鈴木 英樹
在宅看護学特論E	講義・30時間	2年次前期	菊地ひろみ
地域看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎喜多 歳子 本田 光
地域生活看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎貝谷 敏子 菊地ひろみ 喜多 歳子 本田 光 村松 真澄 高橋 奈美 原井 美佳 ★平原 優美
老年看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎貝谷 敏子 村松 真澄 原井 美佳
在宅看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美 ★門脇 睦子 ★濱田 香純
地域看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎本田 光 喜多 歳子
高度在宅看護学実習 I	実習・90時間	1年次通年	◎高橋 奈美 菊地ひろみ
高度在宅看護学実習 II	実習・135時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
高度在宅看護学実習 III	実習・135時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
高度在宅看護学実習 IV	実習・90時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
母子看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 荒木 奈緒
母性看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	荒木 奈緒
小児看護学特論A	講義・30時間	1年次前期	松浦 和代
小児看護学特論B	講義・30時間	1年次後期	松浦 和代
小児看護学特論C	講義・15時間	1年次後期	松浦 和代
小児看護学特論D	講義・15時間	2年次前期	松浦 和代
小児看護学特論E	講義・30時間	1年次後期	◎★佐野 仁美 松浦 和代 牧田 靖子 ★水島 正人 ★畠山 欣也 ★伊藤 智城 ★山崎 健史 ★工藤絵理子
母子看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎荒木 奈緒 松浦 和代 加藤 依子 石引かずみ 岡 園代 ★山内 豊明
母性看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎荒木 奈緒 石引かずみ 黒田 紀子 岡 園代
小児看護学演習A	演習・60時間	1年次通年	◎松浦 和代 加藤 依子 牧田 靖子
小児看護学演習B	演習・60時間	1・2年次通年	◎松浦 和代 加藤 依子 牧田 靖子
高度小児看護学実習 I	実習・90時間	1年次後期	◎松浦 和代 加藤 依子 牧田 靖子



授業科目	授業 形態・時数	年次	担当教員
高度小児看護学実習Ⅱ	実習・180時間	2年次通年	◎松浦 和代 加藤 依子 牧田 靖子
高度小児看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	◎松浦 和代 加藤 依子 牧田 靖子
成人看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎小田 和美 卯野木 健 川村三希子
急性期看護学特論	講義・30時間	1年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹
慢性期看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	小田 和美
がん看護特論	講義・30時間	1年次後期	川村三希子
急性期病態管理学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎卯野木 健 ★七戸 康夫 ★井上 貴昭 ★升田 好樹 ★春名 純平
クリティカルケア看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎卯野木 健 菅原 美樹
アドバンスト・フィジカルアセスメント論	講義・30時間	1年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★小川 謙 ★木村 禎
がん看護学援助特論	講義・30時間	1年次後期	◎川村三希子 ★荒尾 晴恵
がん薬物療法看護特論	講義・30時間	1年次後期	◎川村三希子 ★石岡 明子
がん看護・緩和ケア特論	講義・30時間	1年次後期	川村三希子
がん病態治療特論	講義・30時間	1年次後期	◎★小林 正伸 川村三希子 ★中田 健生 ★小池 和彦
成人看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎小田 和美 牧野 夏子 ★山内 豊明
急性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★平尾 明美 ★藤野 智子
クリティカルケア看護学演習Ⅰ	演習・60時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★春名 純平
クリティカルケア看護学演習Ⅱ	演習・60時間	2年次通年	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★平尾 明美
慢性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎小田 和美
がん薬物療法看護演習	演習・60時間	2年次通年	◎川村三希子 平山 憲吾 ★松田 夕香 ★石岡 明子
がん看護・緩和ケア演習	演習・60時間	2年次通年	◎川村三希子 平山 憲吾 ★佐藤 明美 ★西田 真理 ★小田島綾子
高度急性期看護学実習Ⅰ	実習・135時間	1年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 牧野 夏子 ★藤野 智子
高度急性期看護学実習Ⅱ	実習・135時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★村中 沙織 ★春名 純平
高度急性期看護学実習Ⅲ	実習・90時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★村中 沙織 ★春名 純平
高度急性期看護学実習Ⅳ	実習・90時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★村中 沙織 ★春名 純平
高度がん看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	川村三希子 平山 憲吾
高度がん看護学実習Ⅱ	実習・180時間	2年次通年	川村三希子 平山 憲吾
高度がん看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	川村三希子 平山 憲吾
精神看護学特論A	講義・30時間	1年次前期	◎守村 洋 ★山本 勝則
精神看護学特論B	講義・30時間	1年次後期	◎守村 洋 ★吉野 淳一
精神看護学特論C	講義・30時間	1年次後期	◎守村 洋 ★齊藤 浩司 ★吉野 淳一



授業科目	授業 形態・時数	年次	担当教員
精神看護学特論D	講義・30時間	1年次後期	◎★山本 勝則 守村 洋
慢性期精神看護学特論	講義・15時間	2年次前期	◎★山本 勝則 守村 洋
精神看護学演習A	演習・60時間	1年次通年	◎守村 洋 伊東健太郎
精神看護学演習B	演習・60時間	2年次通年	◎守村 洋 伊東健太郎
慢性期精神看護学演習	演習・30時間	2年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎
高度精神看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎
高度精神看護学実習Ⅱ	実習・90時間	1年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎
高度精神看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	◎守村 洋 伊東健太郎 ★中村 創
高度精神看護学実習Ⅳ	実習・90時間	2年次通年	◎伊東健太郎 守村 洋
看護技術学特論Ⅰ	講義・30時間	1年次前期	樋之津淳子
看護技術学特論Ⅱ	講義・30時間	1・2年次後期	◎樋之津淳子 檜山 明子
看護技術学演習Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津淳子 檜山 明子 ★山内 豊明
看護技術学演習Ⅱ	演習・60時間	1・2年次通年	◎樋之津淳子 檜山 明子
看護教育・マネジメント学特論	講義・30時間	1年次前期	◎佐藤ひとみ
看護教育学特論	講義・30時間	1・2年次後期	定廣和香子
看護マネジメント学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎佐藤ひとみ ★勝見 真澄
看護教育・看護マネジメント学演習	演習・60時間	1年次通年	◎佐藤ひとみ 矢野祐美子 鬼塚 美玲 武富貴久子 ★西本 尚樹
看護教育学演習	演習・60時間	1・2年次通年	定廣和香子
看護マネジメント学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎佐藤ひとみ 武富貴久子 矢野祐美子 鬼塚 美玲 ★西本 尚樹
特別研究	演習・240時間	1～2年次通年	◎菊地ひろみ 荒木 奈緒 卯野木 健 小田 和美 貝谷 敏子 川村三希子 喜多 歳子 定廣和香子 佐藤ひとみ 樋之津淳子 松浦 和代 高橋 奈美 菅原 美樹 檜山 明子 村松 真澄 守村 洋 本田 光 原井 美佳
課題研究	演習・120時間	1～2年次通年	◎菊地ひろみ 卯野木 健 川村三希子 松浦 和代 加藤 依子 高橋 奈美 菅原 美樹 牧野 夏子 守村 洋

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



< 博士後期課程 >

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎貝谷 敏子 荒木 奈緒 卯野木 健 川村三希子 菊地ひろみ 喜多 歳子 定廣和香子 樋之津淳子 松浦 和代 本田 光
看護学特講	講義・30時間	1年次前期	◎喜多 歳子 卯野木 健 貝谷 敏子 松浦 和代 本田 光 中島 秀之 ★スーディ神崎 和代 ★中山 和弘
看護技術学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津淳子 村松 真澄
実践看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎菊地ひろみ 荒木 奈緒 卯野木 健 貝谷 敏子 川村三希子 松浦 和代 村松 真澄 守村 洋
機能看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎喜多 歳子 定廣和香子 佐藤ひとみ 本田 光
後期特別研究 I	演習・60時間	1年次通年	◎菊地ひろみ 荒木 奈緒 卯野木 健 川村三希子 貝谷 敏子 喜多 歳子 定廣和香子 樋之津淳子 松浦 和代 本田 光 村松 真澄 守村 洋
後期特別研究 II	演習・60時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 荒木 奈緒 卯野木 健 川村三希子 貝谷 敏子 喜多 歳子 定廣和香子 樋之津淳子 松浦 和代 本田 光 村松 真澄 守村 洋
後期特別研究 III	演習・120時間	3年次通年	◎菊地ひろみ 荒木 奈緒 卯野木 健 川村三希子 貝谷 敏子 喜多 歳子 定廣和香子 樋之津淳子 松浦 和代 本田 光 村松 真澄 守村 洋

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



7 助産学専攻科

1) 2023年度時間割

① 前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ～ 10:30	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術学		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
2	10:40 ～ 12:10	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術学		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
3	13:10 ～ 14:40	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論		助産管理論	
4	14:50 ～ 16:20	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論			
5	16:30 ～ 18:00			地域母子保健論							

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。

② 後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ～ 10:30	助産学演習									
2	10:40 ～ 12:10	助産学演習									
3	13:10 ～ 14:40	助産学課題研究									
4	14:50 ～ 16:20	助産学課題研究									
5	16:30 ～ 18:00										

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

区分	授業科目の名称	授業形態	単位数 (全科目：必修)
基礎助産学	助産学総論	講義	2
	周産期医学論	講義	2
	乳幼児支援論	講義	2
	妊娠期助産診断・技術学	演習	1
	分娩期助産診断・技術学	演習	3
	産褥期助産診断・技術学	演習	1
実践助産学	助産学フィールド演習	演習	1
	周産期ハイリスク援助論	講義	2
	地域母子保健論	講義	2
	助産管理論	講義	1
	助産学実習Ⅰ	実習	3
	助産学実習Ⅱ	実習	3
	助産学実習Ⅲ	実習	3
	助産学実習Ⅳ	実習	2
統合助産学	助産学演習	演習	1
	助産学課題研究	演習	2
合計			32

② 修了要件

32単位（全科目必修）

3) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
助産学総論	講義・30時間	前期	◎荒木 奈緒 ★吉 裕子 ★佐藤みはる
周産期医学論	講義・30時間	前期	◎石引かずみ 山本真由美 黒田 紀子 ★高野 良子 ★後藤 仁和 ★西 基 ★塩津 英之 ★渡利 道子 ★津村 宣彦 ★荒木 英司 ★鈴木 伸和 ★木島 弘道
乳幼児支援論	講義・30時間	前期	◎岡 園代 黒田 紀子 ★柳内 聖香 ★渡邊 大地
妊娠期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎石引かずみ 山本真由美 岡 園代
分娩期助産診断・技術学	演習・90時間	前期	◎黒田 紀子 石引かずみ 山本真由美 岡 園代 大友 舞 久保田祥子 ★塩津 英之 ★渡利 道子 ★藤井タケル
産褥期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎山本真由美 黒田 紀子 大友 舞



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
助産学フィールド演習	演習・30時間	前期	◎大友 舞 黒田 紀子
周産期ハイリスク援助論	講義・30時間	前期	◎岡 園代 黒田 紀子 大友 舞 ★平山 恵美 ★柏木 智則 ★塩野 展子 ★石田 桐代 ★城戸真紗美
地域母子保健論	講義・30時間	前期	◎岡 園代 荒木 奈緒 ★宮村 香 ★藤田 泰恵 ★古瀬 優太 ★石田 桐代
助産管理論	講義・15時間	前期	◎荒木 奈緒 ★釣部 公映 ★下山 友子 ★佐々木理恵 ★川名 愛深
助産学実習 I	実習・135時間	通年	◎岡 園代 黒田 紀子 荒木 奈緒 石引かずみ 大友 舞 久保田祥子
助産学実習 II	実習・135時間	通年	◎黒田 紀子 荒木 奈緒 石引かずみ 岡 園代 大友 舞 久保田祥子
助産学実習 III	実習・135時間	通年	◎黒田 紀子 荒木 奈緒 石引かずみ 岡 園代 大友 舞 久保田祥子
助産学実習 IV	実習・90時間	後期	◎岡 園代 黒田 紀子 荒木 奈緒 石引かずみ 大友 舞 久保田祥子
助産学実習 V	実習・45時間	後期	◎荒木 奈緒 黒田 紀子 石引かずみ 岡 園代 大友 舞 久保田祥子
助産学演習	演習・30時間	通年	◎荒木 奈緒 石引かずみ 黒田 紀子 山本真由美 岡 園代 大友 舞 久保田祥子 金子 晋也
助産学課題研究	演習・60時間	通年	◎荒木 奈緒 黒田 紀子 大友 舞 久保田祥子

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

4) 実習概要

(単位：名)

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
助産学実習	2023年6月19日～2024年1月17日	医療機関	701



8 デザインと看護の連携教育

「デザイン」・「看護」という、異なる学部の学生たちが、共に学ぶことが札幌市立大学の特色である。常識にとらわれない多彩なカリキュラムと自由な雰囲気での授業で、地域社会に根ざした豊かな人間性と柔軟な感性を育む。

1年次前期「スタートアップ演習」（学際教育科目）では、大学生としての基本的な心構えを学ぶことを目標に、デザイン学部生・看護学部生を混成した少人数編成によるグループ活動を行う。前半は、「大学生活をおくる上で必要なことを知る、学ぶ」ことを目的として、スチューデントスキルズの学び、レポートの執筆に取り組む。

後半は、『「問い」を設定する』プロジェクト活動として、大学生としての主体的な学びの姿勢の修得に取り組む。

2023年度「スタートアップ演習」

後半課題（各チームで設定）

チーム	小グループ名	テーマ
チーム1 (松井・西川)	パーソンズ	人の印象と性格
	チャレンジ1年生	教えて花子さん！人格ってナニで決まるの？
	KOMEKOMECLUB	忙しい朝に最適な朝食とは何か
	もりもり元気	最強の癒しとは？もう疲れたなんて言わせない。
チーム2 (武田・久保田)	team trains	電車に乗ると眠くなるのはなぜか？
	カルボロール	休み時間は眠くないのに授業中に眠くなるのはなぜ？
	しまじろう	人と色の関係
チーム3 (丸山・坂本)	おうどん水族館	食と地域活性化
	チームトリトン	魅力を感じる札幌のグルメ
	らーめんぐる	札幌ラーメンってなに？
	もんべづる	スープカレーの謎
チーム4 (並木・牧野)	パスタグループ	クオリティ・オブ・ランチ 爆上がり作戦
	チームWARAI	笑いの要因をさぐる！
	ラッキーチーム	運が良い人ってどんな人？
チーム5 (張・工藤)	お弁当チーム	特定原材料8品目を使わないお弁当の提案
	KAT・TUNチーム	小学生と一緒に遊ぼう！
チーム6 (片山・伊東)	カレー食べ隊	コミュニケーションは必要？
	いちごミルクのみ隊	ミルク・ショックのカイケツサク
	とりま食べ隊	みんなが食べれるスイーツとは？
	北海道代表	牛乳の消費量を増やすには？
チーム7 (石田・三戸部)	029チーム	なぜ羊肉を食べるのか？
	森のえびふらい	こどもと芸術が出会う時
	SDGs	SAPPORO DATTE GANBATTERU! Snow festival
チーム8 (松永・田仲)	災害班	災害時の食事
	グループB	北海道の文化～食文化と方言の旅～
	グループC	さっぽろマチナカすごろく



チーム	小グループ名	テーマ
チーム9 (坪内・石引)	Weed	日本と海外のアニメの違い
	やきそば	学校での掃除は必要？
	桃杏	「地味」だけど一生役立つ！コミュニケーションテクニック
	お願いマッスル	筋トレ
	たまねぎ	一人暮らしVS実家暮らし
	ハイジのパン	食欲と食べ物と体の関係
	田舎者	思い込みが人生にもたらす影響
	エスプレッソアフォガードフラペチーノ	異文化社会
	二兎を追うものは一兎をも得ず	ディズニー映画における差別描写
チーム10 (御手洗・貝谷)	タレ班	タレつくろう
	ラム班	ラム肉をおいしく食べるには～ラム肉普及大作戦～
	パイン班	硬い肉を柔らかくするのは？

2年次前期「学部連携基礎論」（専門教育科目）では、札幌市の各地域の特徴と課題をそれぞれの専門的視点から分析し、課題発見のプロセスや、相互の専門性や異分野連携に必要な基礎的知識・技術・態度を学び、3年次の学部連携演習に備える。

授業の前半では、地域についての基礎知識を学ぶほか、交換授業においてデザイン学部・看護学部の学生がお互いの学問領域の基礎や調査方法・研究事例など相互の専門性を理解する。後半では、札幌市内の南区を除く9区について特徴や課題把握、課題解決方法をグループごとに討議し、成果発表を行う。

3年次後期「学部連携演習」（専門教育科目）では、スタートアップ演習から2年を経て、基本的な専門教育の上に、相互の専門性を尊重し合い、それぞれがデザイン・看護の専門家として積極的に取り組む姿勢を身につけるとともに、学生自身の専門性を広げ、異分野の人材と連携する能力を養うことを目的とし、両学部合同による演習を行う。両学部生を少人数グループに編成し、デザイン・看護相互に関わりのあるテーマや課題を、札幌市南区の地域に見出し、相互の学生が共同・協力しながら、地域調査・課題発見・解決に取り組む

2023年度「学部連携演習」

地区	テーマ
真駒内	真駒内すこやか交流会 ～すごろくを用いたフレイル予防で元気な真駒内に！～
芸術の森	芸術の森地区まちづくりセンターの改装案 ～やってみたいをみんなで叶える地域の家～
澄川	隅っこまで住みやすい澄川 ～すみーのナイトウォーク～
藻岩下	藻岩下ヒストリー インタビューを通し世代を超えて後世に伝わるような提案をする
藻岩	待ち時間っていい時間！ 高齢者のバス利用時間を活用した課題解決の提案
南沢	ふるさとのまち 南沢 ～地元に着をもってもらうために～
石山	石山大学×札幌市立大学 ミクストメディアプロジェクト
藤野	藤野地区町内会の新規参加者数増加を見据えた「藤野パスポート」の提案
簾舞	簾舞の知名度向上に向けての取り組み －『Don't miss my 簾舞』プロジェクト－
定山溪	暮らしにカモン！ 子育て世代にとって魅力的なまちづくり



III 研究活動

1 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
中島 秀之	AI研究の普及活動、一人称研究と環世界の概念を整理する
椎野 亜紀夫	小学校統廃合が小学生児童の地域活動に与える影響
齊藤 雅也	気象・天候情報と暑熱不快履歴による想像温度の形成プロセス
石井 雅博	他者評価による似合う着衣色
柿山 浩一郎	アイデア発想における動画の役割の一般解化
西川 忠	1.焼成した札幌軟石の外装材への適用に関する予備検討 2.木質外装材の経年による色変化に関する研究 3.建物所有者の保全意識向上のためのしくみづくりと既存建築物のリモート劣化診断に関する研究 4.新木骨石造の開発に関する研究 5.耐震調査におけるストリートビューの活用に関する研究 6.寒冷地の公営住宅における夏季の熱中症危険度に関する研究
藤木 淳	自律的に再帰的な階層構造を形成する点群アルゴリズムの開発
細谷 多聞	身近な原理を応用したデザインの研究
松井 美穂	アメリカ南部文学研究
三谷 篤史	乗馬療育用バックサポート付きクッションの開発
若林 尚樹	体験プログラムにおける教材としての工作キットの設計手法
大島 卓	事業拠点間交通路及び施設配置の変容過程に着目した岩手県小岩井農場の空間特性
片山 めぐみ	札幌市立大学学生サークル「八百カフェ実行委員会」によるケアコミュニティのデザイン
金子 晋也	北海道の地域資源の活用に向けた基礎的研究
金 秀敬	イマーシブ技術とAIを活用した、マルチモーダル教育モデルに関する研究
小林 重人	マイクロ・メゾ・マクロループの枠組みに基づいたソーシャルシステムデザイン
小宮 加容子	誰もが一緒に楽しむことができるあそびのデザインに関する研究
武田 亘明	地域コミュニケーション活性化を目指した地域連携型プロジェクト
張 浦華	札幌軟石の活用に関する研究
並木 翔太郎	北海道方言「ラサル」の格フレームに関する研究
丸山 洋平	東京区部への人口移動の単身化の関係
御手洗 洋蔵	都市空間におけるバイオフィリックデザイン導入に関する研究
森 朋子	景観施策における都道府県の役割に関する研究
山田 信博	積雪寒冷地における無落雪屋根の普及状況に関する研究
横溝 賢	デザイン実践者の見ている環世界
石田 勝也	環境情報を直感的感覚につなげるデザイン方策の研究
大淵 一博	健康測定データ視覚化システムの開発
須之内 元洋	北海道文化芸術デジタルアーカイブ基盤構築にむけたリサーチとプロトタイプ設計
福田 大年	ハイフレックス型授業の環世界：移動式配信システムを導入したハイフレックス型授業を体験した学習者への調査から



教員名	研究課題
藤沢 礼央	地域社会におけるアートの作用
松永 康佑	陰関数で定義される曲線の立体的視覚表現について
坪内 健	①事業所と家族による支援の実態からみる発達障害当事者の地域定着の特徴： 札幌市東区にある「社会福祉法人麦の子会」に注目して ②コミュニティカフェへのアクションリサーチを通じた第4の場所の計画提案： 京都府木津川市梅谷地区の「うめだにカフェ」を事例として
榊田 聡志	モビリティデザイン開発環境の構築と事前準備活動
矢久保 空遥	専門性の違いによるダマスカス鋼製理美容鉋使用感への影響
吉田 彩乃	画像類似度測定ライブラリを用いたECサイト用商品検索システムの提案

看護学部

教員名	研究課題
松浦 和代	乳児虐待リスク予測システム（仮称）プロトタイプの開発
菊地 ひろみ	在宅看護を担う新卒・新人訪問看護師育成に向けた取り組みと課題
川村 三希子	看護師の倫理的感受性を育むための組織的アプローチに関する研究
荒木 奈緒	出生前遺伝学的検査に関する相談業務を実施する看護職者の教育ニーズの調査
卯野木 健	遠隔期におけるICUサバイバーのメンタルヘルスに関する記述的研究
小田 和美	熟練看護師のもつ実践知の可視化に関する研究－「看護の教育的関わりモデル」の構成要素の概念分析
貝谷 敏子	高齢者の脆弱な皮膚に対する効率性の高いスキンケアマネジメント方法の構築
喜多 歳子	子どものいる貧困世帯に対する公衆衛生看護の役割
定廣 和香子	デザインと看護の連携による心電図初学者のための3D学習教材の開発
佐藤 ひとみ	1.電子看護記録システムを利用した演習方法に必要な機能の検討 2.看護基礎教育における看護情報学のモデルシラバスの検討
樋之津 淳子	大学と医療施設の協働による看護師の遠隔会議システムを用いた継続教育の効果
菅原 美樹	二次救急医療機関の救急外来看護師のコンピテンシー
高橋 奈美	ALS患者を支援する専門職が行っている支援に関する研究
原井 美佳	積雪寒冷地の地方自治体との協働による高齢者向け健康啓発イベントの開発（運営主体の移管）
檜山 明子	病院における転倒事故発生の特徴と要因の検討
本田 光	精神疾患を疑う急性期事例に対応する警察及び保健所との連携ニーズ
牧野 夏子	熱傷患者の移行ケアに関する看護
村松 真澄	サービス付き高齢者向け住宅入居者のコミュニティ再構築への支援
守村 洋	メンタルヘルスに関する研究（主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究）
石引 かずみ	開業助産師が捉えている分娩期におけるWomen centered careとその実践
伊東 健太郎	積雪寒冷期に北海道の過疎地域で精神障害者を支援する際の困難
岡 園代	超低出生体重児の出生直後の初期ケアプロセスの探求（課題）
鬼塚 美玲	積雪寒冷期大地震に対する病院看護部門の備えの検討
工藤 京子	日本における足湯と足浴の認識
黒田 紀子	日本における男性のプレコンセプションケアに関する文献検討

教員名	研究課題
武富 貴久子	①副師長・主任クラス看護師対象のリフレクションを活用した継続教育プログラムの実践 ②根拠に基づく看護実践のための情報リテラシーに関する研究 ③看護実践環境と看護師の心理的エンパワーメントの関連 ④臨床研究を行う看護師（リサーチナース）のサポートシステムの構築
牧田 靖子	札幌市の乳幼児の「窒息・誤飲」による事故の実態と事故予防対策
三戸部 純子	薬剤情報の見逃し・見誤りの実験的検討
矢野 祐美子	中小規模病院の看護師長を対象とした継続学習支援
山本 真由美	客観的看護実践能力（OSCE）のCOVID-19による影響 -助産学専攻科新生児観察に焦点を当てて（第2報）-
山出 誓子	1.看護チームにおけるチームワークに影響する要因 2.血液透析患者の積雪寒冷期の災害時の備えに関する研究の動向
市戸 優人	1.特別支援教育で活用可能なユニバーサルデザインを用いた性教育教材の開発と有用性の評価 —アクティブラーニングを取り入れた新しい性教育の提案— 2.思春期の子どもをもつ親を対象とした家庭内性教育支援プログラムの開発と有効性の検証
大友 舞	日本におけるプレコンセプションケアの概念分析
久保田 祥子	Benefits to Clinicians of Nonpharmacological Distraction During Pediatric Medical Procedure.
栗原 知己	成人の敗血症患者に対する初期蘇生に有用な指標に関する調査
近藤 圭子	過疎地域に居住する高齢者の視点で見た地域医療
渋谷 友紀	「行動変容に向けた意欲」の評価に関する研究
田仲 里江	精神看護学領域と地域看護学領域によるOSCE複合課題開発と実践の報告
西川 めぐみ	腎臓移植患者の移植および免疫抑制剤の服薬に対する認識と服薬遵守行動の関係
平山 憲吾	がん薬物療法を受ける高齢者の意思決定における医療者の認識
吉田 実和	看護学生に対する血圧測定技術教育に関するスコーピングレビュー
高橋 葉子	看護学生を対象とした血圧測定技術の教育方法に関するスコーピングレビュー

AITセンター

教員名	研究課題
高橋 尚人	深層学習の実用と応用に関する研究



2 学内公募研究課題一覧

学術奨励研究

教員名	研究課題
張 浦華	“焼成札幌軟石”の作品展開に関する研究制作
西川 忠	炭鉱遺産を対象とした歴史的鉄筋コンクリート造建造物の微破壊劣化診断と延命化技術に関する研究
御手洗 洋蔵	歴史的建築物の「保存」と「活用」の両立に向けた改修設備の社会的必要性
金 秀敬	「マルチモーダル干渉構造モデル」の高度化に関する実証研究
◎三戸部 純子、檜山 明子、 石田 勝也、吉田 実和	【2023学内研究交流会による連携研究萌芽への研究費配分】 基礎看護技術動画の効果的な映像技法のためのパイロットスタディ
◎栗原 知己、卯野木 健、 高橋 尚人	【2023学内研究交流会による連携研究萌芽への研究費配分】 大規模データベースとAIの活用による看護師が活用可能な患者アウトカムの予測モデル開発のための基礎研究

共同研究

教員名	研究課題
◎須之内 元洋、定廣 和香子、 三谷 篤史	いたみを押し量り表出する機会をつくるテーブルゲーム「みたくないたみ」の開発と評価
◎坪内 健、齊藤 雅也、 吉田 彩乃	監視技術を応用した動物の見守りシステムの構築に関する基礎的研究
◎藤木 淳、檜山 明子、 松永 康佑、吉田 実和	ゲーミフィケーションによる血圧測定技術を向上させる看護教育のためのデジタル教材システムの開発
◎石引 かずみ、松浦 和代、 三谷 篤史、牧田 靖子、 久保田 祥子	母子看護学領域におけるDX教材の開発
◎鬼塚 美玲、齊藤 雅也、 福田 大年	厳冬期災害時の避難所における「かまくらトイレ」の検証
◎三谷 篤史、高橋 尚人、 村松 真澄、梶田 聡志	【地域連携研究センター企画課題】 舌ケアシミュレーションモデルにおけるAIを活用した自動評価システムの基礎的検討
◎村松 真澄、高橋 尚人、 藤木 淳、三谷 篤史	【地域連携研究センター企画課題】 高齢者の口腔評価アプリの改修及びインターフェイスの開発

◎印：代表者

田村ICT基金

教員名	研究課題
採択なし	

◎印：代表者



採択状況

学術奨励研究		共同研究		田村ICT基金		合計	
応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数
7	6	9	5	1	0	17	11

※ 上記件数に加えて、学術奨励研究費から学内研究交流会による連携研究萌芽への研究費配分を2件、共同研究費から地域連携研究センター企画課題への研究費配分を2件実施した。

3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況

科学研究費助成事業（科研費）

研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
村松 真澄	人工知能を利用した高齢者の口腔アセスメントのスクリーニング構築の基礎研究	基盤研究（B）	3,120,000
中島 秀之	AI技術×ポジティブヘルス増進による高齢者の社会的つながり創発モデルの実証的研究	基盤研究（A）	11,310,000
加藤 依子	経口免疫療法を受ける子どものための体調管理アプリ「わたし・ぼくのカルテ」の開発	基盤研究（C）	130,000
平山 憲吾	化学療法を継続する進行高齢がん患者における意思決定支援モデルの開発と検証	若手研究	780,000
原井 美佳	積雪寒冷な中山間地域に暮らしてきた高齢女性の地域活動の経験についての研究	基盤研究（C）	520,000
檜山 明子	転倒リスク行動自己評価尺度と身体認識の誤差測定による転倒予測精度の検証	基盤研究（C）	1,300,000
市戸 優人	思春期の子どもの親を対象とした家庭内性教育支援プログラムの開発と有効性の検証	基盤研究（C）	910,000
鬼塚 美玲	積雪寒冷期大地震時の病院における災害看護活動のリスク解明と備えガイドラインの開発	基盤研究（C）	2,210,000
高橋 奈美	ALS患者家族への支援体制構築に向けた支援プログラムの構築	基盤研究（C）	300,000
菊地 ひろみ	医療依存度の高い在宅療養者の生活再構築におけるレジリエンス促進看護モデルの創出	基盤研究（C）	800,000
田仲 里江	大規模災害時の死体検案補助の人材育成と公衆衛生看護による遺族ケアの連携	基盤研究（C）	1,820,000
小宮 加容子	未就学児を対象とした触覚刺激の指標化に関する研究	基盤研究（C）	780,000
並木 翔太郎	使役交替に基づく北海道方言「ラサル」の形態統語的研究	若手研究	780,000
矢久保 空遥	「柔らかさ」に着目した感性の神経基盤解明の試み	若手研究	910,000
大島 卓	農畜産業施設の経年変化および土地利用変遷に伴う景観価値醸成とその保全方策	若手研究	910,000
若林 尚樹	体験プログラムにおける教材としての工作キットの設計手法の開発	基盤研究（C）	1,300,000
森 朋子	北海道における国立公園から展開する広域景観形成へ向けた景観計画手法に関する研究	基盤研究（C）	740,000
近藤 圭子	住民が地域医療を守る住民協働型教育プログラム（北海道モデル）の開発	基盤研究（C）	910,000



研究代表者	研究課題	研究種目	金額 (円)
卯野木 健	遠隔期における集中治療後症候群の実態と患者体験からみたリスク因子の解明	基盤研究 (C)	1,170,000
菅原 美樹	二次救急医療機関の救急外来看護師のコンピテンシー評価指標の開発	基盤研究 (C)	1,040,000
牧田 靖子	「乳児虐待リスク予測システム (仮称)」プロトタイプの開発	基盤研究 (C)	1,300,000
喜多 歳子	子どもの貧困世帯に対する保健指導の質向上を促すチェックシートの開発	基盤研究 (C)	1,300,000
川村 三希子	認知症高齢がん患者の疼痛マネジメントにおけるシミュレーション教育プログラムの開発	基盤研究 (C)	800,000
坪内 健	残余宅地の解消プロセスからみる東日本大震災の集団移転計画の経年的実態把握	研究活動スタート支援	1,430,000
小林 重人	廃止措置中の原子炉施設における技術者のジェネラティビティと知識創造の関係の解明	基盤研究 (C)	1,300,000
武富 貴久子	看護基礎教育と継続教育の協働によるアセスメント力向上のためのシミュレーション研修	基盤研究 (C)	2,210,000
荒木 奈緒	妊婦の不安・葛藤に寄り添った出生前検査相談のための看護教育プログラムの開発	基盤研究 (C)	1,170,000
石引 かずみ	分娩期における女性中心のケアを基盤とした助産ケアモデルの構築	基盤研究 (C)	1,950,000
金子 晋也	札幌市街地における土着的な近現代建築の地域性に関する研究	基盤研究 (C)	1,300,000
吉田 彩乃	生体内の情報処理に着目した知能ロボット構築のための基礎的研究	若手研究	910,000
山田 良	国際協奏プロジェクトによるデリバリー型ホスピタルアートモデルの開発	挑戦的研究 (萌芽)	1,690,000

※課題番号順

受託研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額 (円)
卯野木 健	重症患者における効果的な口腔ケア解明	アルケア(株)	990,000
矢部 和夫	キウシト湿原保全基礎研究	登別市	200,000
坪内 健	動物福祉に配慮した夏季の屋外放飼場のデザイン研究	札幌市 (環境局)	748,000
石田 勝也	動物福祉と利用者の満足度を高めるメディア展開の研究	札幌市 (環境局)	748,000
羽深 久夫	厚真町胆振東部地震慰霊・伝承施設に関する調査研究委託業務	厚真町	3,300,000
森 朋子	21世紀・アイヌ文化伝承の森整備推進事業の内アイヌ文化振興にむけた観光学等の学術的・多角的観点からの調査研究	(大)北海道大学	253,000
矢部 和夫	平岡公園人工湿地・池・植物生育等環境調査	(公財)札幌市公園緑化協会	781,000
鬼塚 美玲	厳冬期災害における避難支援および避難所環境に関する研究	札幌市 (危機管理局)	1,496,000

共同研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額（円）
高橋 尚人	構造物に負の影響を与えない凍結防止剤の研究（その3）	中日本高速道路(株)	74,000
松浦 和代	女性ホルモンリズムが心理状態や肌に与える影響の解明	(株)資生堂	0
小林 重人	原子力施設の廃止措置におけるジェネラティビティに関する測定及び評価における基礎研究	(国研)日本原子力研究開発機構	0
柿山 浩一郎	情報価値の高い動画コンテンツの研究・映像サンプルの実験計画策定と感性評価	三菱電機(株)統合デザイン研究所	2,500,000
西川 忠	歴史的建築物を活かした中心市街地活性化に関する研究	浦臼町	519,444
細谷 多聞	小慢児童等の就職準備に資する（仮称）マイトリセツシートの作成	札幌市（保健福祉局）	30,000
高橋 尚人	深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究	(株)メイセイ・エンジニアリング	1,000,000
柿山 浩一郎	設備装置のユーザビリティ向上の研究	東京エレクトロン(株)	11,000
高橋 尚人	ビッグデータ分析とAI解析を用いた持続可能な救急業務体制の構築に関する基礎研究	札幌市（消防局）	1,540,000
高橋 尚人	コネクティッドカーデータによる冬期路面状況評価に関する研究	トヨタ自動車(株)	2,306,700
高橋 尚人	深層学習を用いた熊対策の高度化に関する研究	(株)アスカム	55,000

4 寄附金の受入状況

教員名	寄附目的	寄附元	金額（円）
	受入なし		

5 その他研究助成

教員名	研究課題	助成元	金額（円）
福田 大年	ハイフレックス型授業で複層化する学生の学習意識の調査	(公財)トランスコスモス財団	1,000,000
御手洗 洋蔵	薬用植物国産化・利活用の実装化に向けた産地形成に資する研究	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	1,300,000
石井 雅博	「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」に関する公立大学法人札幌市立大学の研究開発	国立研究開発法人科学技術振興機構	2,600,000



6 海外出張記録

期間	教員名	国名	目的
2023/06/15～25	定廣 和香子	ノルウェー	Nordberghjemmet (設営打ち合わせ)
2023/07/02～08	小林 重人	フランス	The 54th edition of the International Simulation and Gaming Conferenceへの参加と発表
2023/07/06～10	山田 良	スコットランド	環境アート設置実験に関する調査・打合せ
2023/08/15～20	丸山 洋平	ベトナム	Asian-Pacific Planning Societies 2023国際会議への参加
2023/08/16～21	細谷 多聞	台湾	日台デザインワークショップ引率
2023/08/22～30	松井 美穂	アメリカ合衆国	Carson McCullersの資料調査
2023/08/23～10/10	檜山 明子	台湾	研究活動のため
2023/09/01～10	森 朋子	オーストラリア	ICOMOS 2023年度総会への出席
2023/09/24～30	高橋 尚人	オランダ	AI & BIG DATA EXPO、現地調査
2023/09/26～10/01	並木 翔太郎	アメリカ合衆国	国際交流事業における学生引率および学生交換留学協定締結に向けた打ち合わせ
2023/09/26～10/01	石田 勝也	アメリカ合衆国	大学間交流のための打ち合わせ及び学生交流支援
2023/09/26～10/02	須之内 元洋	アメリカ合衆国	SCU-PNCA 異文化理解と制作活動を通じた国際交流ワークショップ
2023/10/08～18	金 秀敬	イタリア	国際会議IASDR Congress 2023参加
2023/10/26～ 2024/03/11	檜山 明子	台湾	研究活動のため
2023/11/04～11	高橋 尚人	スペイン	Smart City Expo World Congress (SCEWC) 参加、打ち合わせ
2024/02/14～18	樋之津 淳子	台湾	台湾の看護教育、老人施設の視察
2024/02/22～29	高橋 尚人	イタリア	ICAART2024、ROBOVIS2024参加
2024/02/23～27	須之内 元洋	台湾	WOC2023 国際会議研究発表
2024/03/05～08	本田 光	香港	27th East Asian Forum on Nursing Scholars 学会発表
2024/03/05～08	大友 舞	香港	第27回EAFONS (27th East Asian Forum of Nursing Scholars) 学会発表
2024/03/05～08	黒田 紀子	香港	第27回EAFONS (27th East Asian Form of Scholars) 学会発表
2024/03/05～08	近藤 圭子	香港	27th EAFONS2024発表
2024/03/13～18	森 朋子	ネパール	ユネスコ・カトマンズ事務所依頼の保全管理強化事業への参加



IV 社会活動

1 地域貢献諸活動

1) 受託研究一覧

研究課題	期間	概要	委託者
重症患者における効果的な口腔ケア解明	2022年11月7日～ 2024年12月30日	2024年度継続中	アルケア(株)
キウシト湿原保全基礎研究	2023年4月14日～ 2024年3月4日	今後のミズゴケ属再生の事業化の際、除草作業を機械除草によって簡便化できるかどうかを検証するために、機械刈と手刈の違いによるミズゴケ属成長促進（面積増加）効果を検証した。	登別市
動物福祉に配慮した夏季の屋外放飼場のデザイン研究	2023年7月18日～ 2024年2月28日	札幌市円山動物園のキリンの屋外放飼場を対象に、夏季の熱環境を改善する日射遮蔽物の実装と詳細な行動分析を通じて動物福祉に配慮しキリンへの負荷を軽減する園舎のデザイン研究を行った。	札幌市（環境局）
厚真町胆振東部地震慰霊・伝承施設に関する調査研究委託業務	2023年8月9日～ 2024年3月22日	①吉野地区における慰霊・伝承施設、景観形成に関する調査研究②日高幌内等大規模土砂災害地における復旧後の活用に関する調査研究③町全体を伝承施設として捉えるエコミュージアム構想に関する調査研究－をそれぞれ行った。	厚真町
21世紀・アイヌ文化伝承の森整備推進事業の内アイヌ文化振興にむけた観光学等の学術的・多角的観点からの調査研究	2023年7月11日～ 2024年3月29日	文化的景観としてのコタン・イウォロの理解に向けた空間変容と文化継承に関する調査を行った。北海道大学にて2023年度の全体調査・研究成果を取りまとめて製本し、関連する部署や地元配布して共有する。	(大)北海道大学
平岡公園人工湿地・池・植物生育等環境調査	2023年7月11日～ 2024年1月17日	植物相を調査し、その変遷を比較した。 また、群落種組成調査と水位連続観測を含む水文化学環境の測定を行い、今後の生態系の変化の方向性を推察し、今後の管理について検討した。	(公財)札幌市公園緑化協会
動物福祉と利用者の満足度を高めるメディア展開の研究	2023年8月16日～ 2024年2月28日	札幌市円山動物園のこども動物園における新しい教育コンテンツ提案に向けて、利用者の満足度を高めるアプローチには、親子の適切なインタラクションの機会を誘発することが含まれることが望ましいという想定のもと、子どもの掲示物や動物への凝視頻度を高めるために、FMラジオ電波を活用したクイズラリーの実装のためのプロトタイプ制作を行った。	札幌市（環境局）
厳冬期災害における避難支援および避難所環境に関する研究	2023年12月25日～ 2024年3月31日	未曾有の被害が想定される厳冬期の災害における避難行動要支援者の避難支援および指定避難所の環境整備に向け、「避難行動要支援者の避難計画の検討」、「避難所の熱環境に係る実証実験」、「避難所における効果的な非常食の検討」を実施した。	札幌市（危機管理局）



2) 共同研究（学外との連携）一覧

研究課題	期間	概要	委託者
構造物に負の影響を与えない凍結防止剤の研究（その3）	2020年2月25日～ 2023年9月30日	積雪寒冷な地域における冬季の凍結路面対策として、凍結防止剤を散布している。凍結防止剤には、塩化ナトリウムなどの塩化物が主に使用されているが、金属腐食など道路構造物への影響、植物・水質への影響など沿道環境への負荷が懸念される。本研究では、食品添加物に使用されるプロピオン酸ナトリウムを塩化ナトリウムと混合し、凍結防止剤として使用する可能性を室内試験、野外試験などを検証した。	中日本高速道路(株)
女性ホルモンリズムが心理状態や肌に与える影響の解明	2022年6月10日～ 2023年5月31日	株式会社資生堂と共同し、看護学生を対象として肌測定を実施した結果、月経周期のような小さな女性ホルモン変動においても皮膚色や弾力等の変化が起きていることが確認された。また、月経不順や月経前症候群（Premenstrual Syndrome：PMS）により、皮膚状態が悪化することが示された。	(株)資生堂
原子力施設の廃止措置におけるジェネラティブティに関する測定及び評価における基礎研究	2023年4月3日～ 2024年3月22日	廃止措置中である「ふげん」において発電に関する運転経験のある職員を対象としたフォーカスグループを通じて、かつての運転業務に関する知識が現在の廃止措置業務に対しても活用できていることを一部明らかにした。	(国研)日本原子力研究開発機構
動画表現の効果測定研究・映像サンプルの実験計画策定と感性評価	2023年4月1日～ 2024年3月31日	動画プレゼンを作る人が活用するハンドブックの章構造に関する知見を得ることを研究目的とした。作業行為の定義、アンケート回答会の実施と得られたデータの分析を通して、ハンドブックのコンテンツの「順序」「強調箇所」に関する指針を示した。	三菱電機(株) 統合デザイン研究所
歴史的建築物を活かした中心市街地活性化に関する研究	2023年4月25日～ 2024年3月31日	北海道空知管内浦臼町内の歴史的建築物について構造材料の仕様も含めた調査を行い、建築技術者・研究者向けの報告書としてまとめるとともに、町民向けに町の広報誌に掲載していた記事を小冊子にまとめた。また、町外の来訪者向けに町内の歴史的建築物を紹介するマップを作成し、Web用に短編の紹介動画を作成した。	浦臼町
小慢児童等の就職準備に資する（仮称）マイトリセツシートの作成	2023年6月9日～ 2024年3月31日	公表不可	札幌市（保健福祉局）
深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究	2023年7月13日～ 2024年3月31日	交通状況を撮影した画像を、深層学習を用いて分析して方向別および車種分類別の交通量集計を行う方法を開発した。具体的には、車種分類ごとの自動車画像を学習させた物体検出モデルの構築と、交通状況を撮影したビデオ画像を分析して交通量を計測する方法の開発と検証を行った。	(株)メイセイ・エンジニアリング
設備装置のユーザビリティ向上の研究	2023年12月4日～ 2024年3月31日	「設備装置が記録しているログに新たな視点を加えることで操作性の改善につながる知見を得ること」を研究目的とし、「操作ログの探求と活用方法の検討を通じた実践活動の記録と、この活動を対象とした考察を行うことを通じた知見獲得」のプロセスを通して、障害ログ等の入手からユーザーへの新たなアプローチの有効性を示した。	東京エレクトロン(株)



ビッグデータ分析とAI解析を用いた持続可能な救急業務体制の構築に関する基礎研究	2023年10月10日～ 2024年3月29日	札幌市における救急医療の需要増に伴い、救急隊の現場到着時間の延伸や、救急隊員の労働負荷の増加など救急サービスの質の低下が懸念される。救急需要が増えていく状況においても救急サービスの質を維持・向上するため、救急出動データの分析、将来的な救急需要特性の予測等に取り組み、救急隊配置や運用変更検討の基礎資料を得た。	札幌市（消防局）
コネクティッドカーデータによる冬期路面状況評価に関する研究	2023年12月27日～ 2024年3月29日	本研究では、コネクティッドカーデータの活用検討の一環として、積雪路の凸凹を定量的に測定し、コネクティッドカーデータから得られる荒れ指標との相関性を検証した。具体的には、調査対象路線で積雪路面の凸凹の定量的な測定データと当該路線で得られた荒れ指標データを突合し、両者の相関性について検証を行った。	トヨタ自動車(株)
深層学習を用いた熊対策の高度化に関する研究	2024年1月15日～ 2024年2月29日	北海道内では年々熊の出没が増え、日常生活にも影響を及ぼしている。本研究では、自治体等の熊対策に資するため、物体検出などの深層学習を活用した熊対策の効率化・高度化に取り組んだ。	(株)アスカム

3) 地域連携研究センターへの協力依頼一覧

事業名	依頼元	担当教員
非営利地域団体によるフリースクール運営事業	フリースクール「うめむすび」	本田 光 近藤 圭子 片山めぐみ
AOAO SAPPOROと市民のコミュニケーション活動である「まちなか水族館」のWebメディアの実施	(株)青々	福田 大年 若林 尚樹
広報さっぽろ南区版表紙デザイン事業	札幌市（南区）	大淵 一博
円山動物園「こども動物園」の魅力UPプロジェクト「モルモットが快適に過せる空間デザインコンペ」のポスターデザイン	札幌市（環境局）	若林 尚樹
冬みち便りデザインの製作事業	札幌市（南区）	大島 卓
洋上風力発電事業	コスモエコパワー(株)	大淵 一博
エゾシカ由来素材を用いたショーケースデザインとワークショップ企画・運営	(株)北海道えぞ鹿ファクトリー	矢久保空遥
札幌市公文書館ロゴマークの募集	札幌市（総務局）	金子 晋也
札幌版ウェルネスに関するロゴマーク等の制作	札幌市（保健福祉局）	細谷 多聞 小宮加容子
「芸術・創造的な活動」及び「遊び」を通じたウェルネス推進イベントの実施	札幌市（保健福祉局）	細谷 多聞 小宮加容子
第6回いきいき健康塾	幌加内町	原井 美佳 近藤 圭子 齊藤 雅也 大淵 一博
ショップバッグデザインコンペ	(株)土屋ホームトピア	矢久保空遥
社会福祉法人恵正会 ロゴマークデザイン	(福)恵正会	若林 尚樹
札幌市民憲章策定60周年記念事業に向けたメディア作成	札幌市民憲章推進会議	坪内 健



事業名	依頼元	担当教員
札幌市グリーンディングカード作成事業	札幌市（総務局）	大淵 一博
さっぽろオータムフェスト2023 4丁目会場 【SAPPORO Culture&Art】	(株)電通北海道	横溝 賢
令和5年度 北海道 消費者行政強化事業	(公社)全国消費生活相談員協会	大淵 一博
もしも北海道	もしも北海道	三谷 篤史 村松 真澄
芸術の森小学校 工作ワークショップ事業	札幌市立芸術の森小学校	若林 尚樹
Atsumalovers謝辞広告制作	厚真町	福田 大年
第29回 芸術の森地区文化祭（ポスター制作）	芸術の森地区連合会	細谷 多聞 小宮加容子
第29回 芸術の森地区文化祭（出展）	芸術の森地区連合会	細谷 多聞 小宮加容子
マチトモパートナー企業認定制度の認定マーク制作	札幌市（市民文化局）	矢久保空遥
市立札幌病院看護部のキャラクターデザイン制作	市立札幌病院	柿山浩一郎
総合学習、教科科目のための工作キットの教材開発と、 それを活用したワークショップ型授業の実施	札幌市立藻岩南小学校	若林 尚樹
冬の「雪あかり」イベントPRチラシの製作事業	札幌市（南区）	大淵 一博
札幌・ポर्टランド姉妹都市提携65周年記念ロゴマーク 制作事業	札幌市（総務局）	矢久保空遥
札幌市立義務教育学校定山溪学園 校章デザイン募集事業	札幌市立定山溪小学校	細谷 多聞 小宮加容子
矯正医官の仕事紹介に係る絵本デザイン事業	法務省札幌矯正管区	福田 大年
「第29回日本看護管理学会学術集会」ポスターデザイン 制作事業	第29回日本看護管理学会学術集会	大淵 一博
南区の魅力をPRする啓発品製作事業（マフラータオル、 ボトル）	札幌市（南区）	大淵 一博
南区の魅力をPRする啓発品製作事業（ハードカバー ノート）	札幌市（南区）	大淵 一博
「ボン・ヴォヤージュ！アートの森へ旅にしよう」	(株)MIMOseele	藤沢 礼央

4) 高大連携

① デザイン学部 2023年度高大連携公開講座

開催日	高校名	参加生徒数	タイトル	担当教員
2023年9月16日	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌開成中等教育学校 市立札幌新川高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌平岸高等学校	20名	デザインしてみよう！ワタシと〇〇を繋ぐ境界面（インターフェース）	矢久保空遥



② 看護学部 高大連携講座

開催日・期間	高校名	受講生徒数	受講科目名	担当教員
2023年4月10日～ 2024年2月1日	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌大通高等学校 市立札幌新川高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌啓北商業高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌開成中等教育学校	26名	7名 看護学原論 (講義・15時間)	◎定廣和香子 檜山 明子
			3名 人間発達援助論 (演習・30時間)	◎小田 和美 松浦 和代 荒木 奈緒 貝谷 敏子 守村 洋
			7名 チーム医療論 (講義・15時間)	◎矢野祐美子 佐藤ひとみ
			7名 地域保健学概論 (講義・15時間)	◎喜多 歳子 本田 光

③ 看護学部 模擬授業

開催日・期間	高校名	受講生徒数	受講科目名	担当教員
2023年9月18日	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌新川高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌開成中等教育学校	34名	パパになる前に知っておくべきこととは ～家族の健康を守るために～	荒木 奈緒
			高齢者がその人らしく生きるための支援と看護教育	村松 真澄

5) 高校出前講義

① デザイン学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
2023年8月29日	北海道旭川北高等学校	あそびのデザインーワクワクを生み出すデザインー	小宮加容子
2023年11月7日	市立札幌旭丘高等学校	現代のスーパーテクノロジー建築&トンデモ建築 一挙紹介!	西川 忠
2023年11月8日	北海道札幌国際情報高等学校	メディアとデザインー地球環境の悪化を人々が認識するためにデザインやアートができることー	石田 勝也
2023年11月8日	市立札幌新川高等学校	北海道の景観を考える	森 朋子

② 看護学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
2023年7月18日	室蘭清水丘高等学校	助産師の仕事について	荒木 奈緒
2023年8月18日	市立札幌新川高等学校	がんサバイバージョブ	川村三希子
2023年8月21日	北海道旭川西高等学校	看護学の魅力とは～精神看護学の視点から～	伊東健太郎
2023年8月30日	市立札幌清田高等学校	探求人インタビュー 「子どもの貧困」に取り組むまで	喜多 歳子



6) その他の地域貢献諸活動

① デザイン学部

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
齊藤 雅也	第6回「いきいき健康塾 ほろかない」の運営	幌加内町 保健福祉課	5名	2023年7月30日
柿山 浩一郎	副会長（執行役員会議、三役会等での審議、町内配布チラシ等の作成）	札幌市 南区 北ノ沢第三町内会		
西川 忠	コンクリート診断士試験委員	日本コンクリート工学会		2023年4月1日～
	「北海道におけるコンクリート秘話委員会」活動	日本コンクリート工学会 北海道支部		2023年4月1日～ 2024年3月31日
細谷 多聞	自治体に向け、カーボンニュートラル化を見据えた新たなエネルギー利用提案のための資料イラスト制作	アストモスエネルギー(株) 北海道支店	4名	2023年3月2日～ 2023年8月31日
	中高校生向けデザイン授業「なして？のデザイン（全5回）」の実施	夕張市教育委員会	5名	2023年4月20日～ 2023年6月29日
	多世代を対象とした健康づくりのきっかけとしてのあそびの実施	札幌市保健福祉局保健所	17名	2023年6月1日～ 2023年8月31日
	ウエルネスプロジェクトのロゴマーク、アプリのアイコンのデザイン	札幌市保健福祉局保健所	1名	2023年6月1日～ 2023年8月31日
	芸術の森地区文化祭（2023.11.4-5）展示作品制作、作品展示	芸術の森文化祭実行委員会		2023年9月22日～ 2023年11月5日
	芸術の森地区文化祭（2023.11.4-5）ポスター制作	芸術の森文化祭実行委員会	1名	2023年9月22日～ 2023年11月5日
三谷 篤史	WRO Japan 2023 札幌予選会の実施運営	北海道ロボット教育推進会		2023年7月30日
	北海道内大学生を対象としたロボット・コンテスト「ロボット・トライアスロン」の実施運営	ロボット・トライアスロン 運営委員会	1名	2023年9月24日
大島 卓	「北の造園遺産研究会」事務局運営	日本造園学会北海道支部		2023年5月～8月
	大学演習成果を地域の公園整備のアイデアアプランとして提供	常磐団地町内会	29名	2024年2月6日
	2022・2023年度作品選集刊行委員会委員として作品選集刊行作業に従事	公益社団法人 日本造園学会		通年
	懇話会幹事として事業運営に参画	北海道造園懇話会		通年
片山 めぐみ	こども達や親子の地域活動の支援	札幌藤野多世代交流ラボ WAO!		通年
	高齢者交流拠点事業企画および活動継続の支援	NPO法人ゆとりの		通年
	コミュニティレストラン事業企画、広報活動の支援	寿都町コミュニティレストラン「風のごはんや」		通年
	看護学部・デザイン学部の教員と学生でこども達への創作や学習支援を行う	桑園フリースクール 「うめむすび」	15名	通年
	芸術の森マルシェ八百カフェにおける企画運営および地域住民との連携（サークル顧問とは異なる）	芸術の森マルシェ八百 カフェ実行委員会	40名	通年



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
小宮 加容子	自治体に向け、カーボンニュートラル化を見据えた新たなエネルギー利用提案のための資料イラスト制作	アストモスエネルギー(株)北海道支店	4名	2023年3月2日 ～8月31日
	中高校生向けデザイン授業「なして?のデザイン(全5回)」の実施	夕張市教育委員会	5名	2023年4月20日 ～6月29日
	多世代を対象とした健康づくりのきっかけとしてのあそびの実施	札幌市保健福祉局保健所	17名	2023年6月1日 ～8月31日
	ウエルネスプロジェクトのロゴマーク、アプリのアイコンのデザイン	札幌市保健福祉局保健所	1名	2023年6月1日 ～8月31日
	芸術の森地区文化祭(2023.11.4-5)展示作品制作、作品展示	芸術の森文化祭実行委員会		2023年9月22日 ～11月5日
	芸術の森地区文化祭(2023.11.4-5)ポスター制作	芸術の森文化祭実行委員会	1名	2023年9月22日 ～11月5日

7) マスメディアへの掲載

① デザイン学部

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
中島 秀之	特集記事「ChatGPTのインパクトと可能性」について	週刊金融財政事情2023年7月11日号	2023年7月11日
	特集記事「AIとともに生きるこれからの子どもたち」について	Webメディア「KIDSNA STYLE」	2024年1月後半～2月前半配信
	これからのAIと私たちの生活変化は?	FM番組 No Maps Radio	2024年3月27日 23時～放送
	毎日新聞取材		
	JSTCRDSインタビュー		
齊藤 雅也	トレンドは“省エネ”商戦始まる 電気代UPの夏 4年連続猛暑に?	みんなテレ(UHB北海道文化放送)	2023年5月4日
	エサも自給自足の快適環境 は虫類・両生類の繁殖促す<円山ZOO百科>	北海道新聞Dセレクト(北海道新聞)	2023年10月25日
	冬の室内、適切な“湿度”は何%? 知っておきたい、環境と湿度の基本を解説 濡れタオル、空中に霧吹き…加湿器がなくてもなんとかなる!? 簡単“加湿メソッド”6つ 起きたらまずは水を1杯、入浴後は5分以内に保湿を! 簡単にできる“加湿生活24時”	anan 2023年12月6日号 No.2375, pp.57-64 (株式会社マガジンハウス)	2023年11月29日
	北海道の道標 研究者に聞く 自然に近い居住空間設計 換気や通風・採光組み合わせ	北海道建設新聞社	2023年12月4日
	ガスファンヒーターのメリット・デメリットとは?	マイベスト(ウェブ記事)	2023年12月4日
	気候変動時代の室内気候デザインを学ぼう、特集 ひとと地球の治癒力、風と、森と、エネルギーの治癒力	Maintanable No.2フェバリット株式会社	2024年3月15日
	農産物におけるデザイン・ブランディングについて	日本農業新聞北海道版	2024年3月



教員名	内容	掲載媒体	掲載日
柿山 浩一郎	「高齢者向け体操 やってみて 市立大生考案カレンダーと動画で紹介	北海道新聞	2023年4月25日
西川 忠	浦臼町との共同研究の活動としての、学生の魅力発見ツアー	北海道新聞	2023年9月15日
	浦臼町での木骨石造倉庫の多世代交流施設へのリノベーションにあたり	北海道新聞・プレス空知	2023年10月27日
	赤平市における学生による炭鉱遺産をテーマとした研究発表会	北海道新聞・プレス空知	2023年11月15日
	浦臼町の歴史的建築物を小冊子に	北海道新聞	2024年2月1日
藤木 淳	あーっと驚く錯覚のアート	北海道新聞さっぽろ10区	2023年5月19日
	『チェイスH.C.』	芸術科学会誌：DiVA第54号	2023年7月1日
	デジタルアートに挑戦 石山緑小など市内10校で	北海道通信(8)	2023年7月24日
	札幌国際芸術祭のテーマ “雪” の結晶づくりにパソコンで挑戦	NHKほっとニュース北海道	2023年8月25日
	『花びんと鳥かご』『手回しオルガン』『タンポポ』	芸術科学会誌：DiVA第55号	2023年8月25日
	「雪の結晶」パソコンで作成 藻岩小児童国際芸術祭で披露へ	北海道新聞	2023年9月9日
細谷 多聞	輝くクジラ、Xマス泳ぐ 夕張でオブジェ作り	北海道新聞（空知）	2023年12月9日
大島 卓	ランドスケープ研究Vol.87 増刊 作品選集 「作品評」掲載	ランドスケープ研究Vol.87 増刊 作品選集	2024年3月
片山 めぐみ	旬野菜も交流も“新鮮” *札幌市立大で月2回「芸術の森マルシェ」	北海道新聞さっぽろ10区	2023年8月4日
	学生・市民協働プロジェクト「八百カフェ」	STV「札幌ふるさと再発見」	2023年8月5日
	多世代共生住宅ポイントブック	介護新聞	2023年9月7日
	真駒内駅前地区まちづくり～地域主体のまちづくり～エリアマネジメントを考える (YouTube)	Sapporo PRD (札幌市まちづくり政策局)	2024年3月3日
	専門職に聞く、福祉×デザインでまちを元気に、支援する、されるを超えワクワクを共有	北海道医療新聞	2024年3月11日
	地域サロンが参加者に与える心理社会的効果	一般財団法人北海道開発協会	2024年3月31日
金子 晋也	「小樽顕誠塔完工！清め祓い式と感謝状贈呈式」にて研究活動が紹介された	小樽ジャーナル	2023年10月30日
	「小樽で戦後建築調査」として研究活動が紹介された	読売新聞	2024年2月16日
	「円形校舎解体か売却へ」で研究活動が言及された	読売新聞	2024年3月6日
小林 重人	特別レポート 第19回金融教育に関する実践報告コンクール表彰式	金融広報中央委員会『くらし塾 きんゆう塾』Vol. 64	2023年春号
	高齢者向けスマホ講習に関するインタビュー	テレビ北海道 5時ナビ	2023年12月22日



教員名	内容	掲載媒体	掲載日
小宮 加容子	輝くクジラ、Xマス泳ぐ 夕張でオブジェ作り	北海道新聞（空知）	2023年12月9日
	三角山放送局「飛び出せ車いす（第一火曜日、12:00～13:00）」番組担当、12回/年	ラジオ放送	毎月第1火曜日
丸山 洋平	「道内人口動態*コロナ禍「自然減」加速 *外国人は入国緩和で増」掲載	北海道新聞	2023年7月26日
	「<胆振東部地震から5年>被災3町 社会増*協力隊・教育に力 移住進む*ラピダス波及に期待」掲載	北海道新聞	2023年9月6日
	どさんこワイド「過熱する学生争奪戦 大学構内にジムやクリーニング店 利便性を求め移転も 北海道」出演	STV	2023年10月2日
	「道内人口9位に後退へ*510万人割れ 福岡県下回る」掲載	北海道新聞	2024年1月9日
	「外出 健康との関係は？*札幌大 もみじ台団地で実験*スマホでタクシー予約*高齢者支える地域交通模索」掲載	北海道新聞	2024年2月18日
	美香と香菜子のおさんぽ土曜日「クローズアップ北海道～半導体で変わる未来」出演	HBC	2024年3月2日
石田 勝也	札幌国際芸術祭2024 江差かもめ島 島を楽器に	朝日新聞	2024年2月11日
	札幌国際芸術祭2024 バーチャルIEIE	北海道新聞	2024年2月18日
	札幌文化芸術交流センター（SCARTS）が札幌国際芸術祭2024で仕掛けた芸術祭版ビジターセンターとは？	AXIS	2024年3月29日
大淵 一博	広報さっぽろ南区版ヘッダデザイン	広報さっぽろ南区版	2023年4月～ 2024年3月
藤沢 礼央	「学びつつ教えつつ」大学講師と大学院生の二足の草鞋の活動を紹介	苫小牧民報	2023年4月1日
福田 大年	「さつきた8・1」学生がロゴマークを制作	札幌市立大学大学新聞	2023年6月16日
	都市部の社会人ら ブドウ収穫お手伝い *関係人口増に期待*余市、仁木	北海道新聞朝刊地方	2023年10月5日
	マーケット必読！論文のすすめ： スマート製品、ユーザーとの共創、AI活用 ……デジタル社会の新製品開発を考える 【論文紹介】	MarkeZine（Web記事）	2024年3月19日
吉田 彩乃	札幌市厚別区高齢者向けスマホ講習会 目的は？	5時ナビ TVh道新ニュース	2023年12月22日

② 看護学部

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
菊地 ひろみ	AI×ポジティブヘルス：もみじ台地区高齢者の「しあわせタクシー」利用の実証実験	TVH	2024年3月
高橋 奈美	コロナ禍における看護基礎教育と新人看護職員教育の現状－看護学生の臨地実習及び就職後の工夫－	北海道看護協会ニュース	2023年7月1日



③ AITセンター

教 員 名	内 容	掲 載 媒 体	掲 載 日
高橋 尚人	ススキノ・大通集客強化 人の流れ逆転か 縮む札幌駅周辺	北海道新聞	2023年11月30日
	データでみる札幌市の救急 搬送最多6割高齢者	読売新聞	2024年2月24日



2 公開講座開催実績

1) 札幌市立大学主催

開催日	タイトル	講師	受講者数 (名)
2023年5月8日	まちの健康応援室ミニ出張講座① 産後の身体の動かし方（産後ケア）について	久保田祥子（看護学部 助教）	4
2023年6月10日、 11日	2023年ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育 プログラム (二日間連続開催)	川村三希子（看護学部 教授） 小島 悦子（札幌保健医療大学保健医療 学部 教授） 平山さおり（KKR札幌医療センター看 護部 看護師長） 門脇 睦子（医療法人せせらぎ 訪問看 護ステーションそよ風 所 長） 佐藤 明美（札幌医科大学附属病院医療 連携福祉センターがん看護 相談） 北山 美希（ファミリー・ホスピス大ロ ハウス）	60
2023年6月14日	まちの健康応援室ミニ出張講座② 熱中症とスキンケアについて	大友 舞（看護学部 助教）	7
2023年6月24日	メカトロ教室「走れ！ロボットカー！」	三谷 篤史（デザイン学部 教授）	29
2023年7月29日	ふかぶか・せいめいたい	細谷 多聞（デザイン学部 教授） 小宮加容子（デザイン学部 准教授）	258
2023年8月5日	NCPR（新生児蘇生法）専門コース（Aコー ス）	小林 正樹（札幌東豊病院 小児科医 師） 荒木 奈緒（看護学部 教授） 岡 園代（看護学部 講師）	5
2023年8月5日	母と子のメンタルヘルスをめぐる課題① マルトリートメント・虐待とトラウマイン フォームドケア	守村 洋（看護学部 准教授）	8
2023年9月5日	まちの健康応援室ミニ出張講座③ おっぱい・ミルク・卒乳について	石引かずみ（看護学部 講師）	5
2023年9月9日	母と子のメンタルヘルスをめぐる課題② 出生前診断に関する意思決定支援とメンタルヘル ス	荒木 奈緒（看護学部 教授）	8
2023年9月15日	「デザイン夜学校 2023～SSTAからSCUへの 建築デザインの継承～」(全3回) ① 奥山健二氏 「建築をめざすこと」(対面・オン ライン講座)	奥山 健二（元札幌市立高等専門学校教 務主事、名古屋市立大学 名誉教授、福山市立大学 名誉教授）	64
2023年10月1日	マイコンレーサー講習会・北海道大会① マイコンレーサー「初級講習会」	三谷 篤史（デザイン学部 教授）	4



開催日	タイトル	講師	受講者数 (名)
2023年10月7日	大学院で学ぶとは～日々の看護活動から生まれたQuestionを研究につなげよう 1) 看護の疑問を研究につなぐプロセス 2) 看護の疑問を研究につなぐ過程で得たこと 3) 研究力と実践力を高める経験から得たこと 4) 研究活動から看護に還元したしたこと 5) 大学院で学ぶとは？ 6) フリーディスカッション	貝谷 敏子 (看護学部 教授) 岩崎 美樹 (札幌市立大学大学院看護学 研究科) 山北 紗静 (札幌市立大学大学院看護学 研究科) 尾立斗志世 (札幌市立大学大学院看護学 研究科博士前期課程修了) 菊地ひろみ (看護学部 教授)	12
2023年10月20日	「デザイン夜学校 2023 ～SSTAからSCUへの建築デザインの継承～」(全3回) ② 八代克彦氏 「建築を楽しむこと」(対面・オンライン講座)	八代 克彦 (元札幌市立高等専門学校 助教授、ものづくり大学 名誉教授 特別客員教授)	67
2023年10月21日	「研究の二刀流ー隠れた専門性による新たなデザインの世界への誘いー第5弾」3話シリーズ ① ギター音楽のデザイン#5-幻の名曲の魅力と謎に迫る(続) -	中原 宏 (札幌市立大学 名誉教授)	30
2023年10月28日	「研究の二刀流ー隠れた専門性による新たなデザインの世界への誘いー第5弾」3話シリーズ ② 蒸気機関車のデザイン「栄光の機関車C62」	酒井 正幸 (札幌市立大学 名誉教授)	21
2023年10月28日	母と子のメンタルヘルスをめぐる課題③ 「母(親)と子のメンタルヘルスの課題に取り組む」	中川原由華 (NPO法人 ソルウェイズ 看護師) 檜垣 知里 (地域生活支援センターさつ ぼろ 精神保健福祉士) 田中 敦 (レター・ポスト・フレンド 相談ネットワーク理事長)	18
2023年11月5日	マイコンレーサー講習会・北海道大会② マイコンレーサー「テクニカル講習会」	三谷 篤史 (デザイン学部 教授)	12
2023年11月6日	まちの健康応援室ミニ出張講座④ 子どもの感染症について	牧田 靖子 (看護学部 講師)	5
2023年11月19日	マイコンレーサー講習会・北海道大会③ 第7回マイコンレーサー北海道大会	三谷 篤史 (デザイン学部 教授)	11
2023年12月2日	厳冬期の地震災害への備えはできていますか？ 「寒冷・雪環境下の災害看護活動で知っておくべきリスクと備え」	鬼塚 美玲 (看護学部 講師、元陸上自 衛隊看護官) 尾立 篤子 (東邦大学健康科学部看護学 科 教授、元陸上自衛隊看 護官)	36
2023年12月8日	「デザイン夜学校 2023 ～SSTAからSCUへの建築デザインの継承～」 (全3回) ③ 那須 聖氏 「建築を考えること」(対面+オンライン講座)	那須 聖 (元札幌市立高等専門学校 講師、元札幌市立大学 准 教授、現東京工業大学環境 社会理工学院准教授)	61
2023年12月16日	Huddling Fashion Show	石井 雅博 (デザイン学部 教授) 並木翔太郎 (デザイン学部 准教授)	39
2024年1月12日	たてものの健康診断 ～建築版 家庭の医学 マンション・ビル編～	西川 忠 (デザイン学部 教授) 関 信之介 (札幌市立大学大学院デザイ ン研究科生)	14



開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2024年1月20日	お金と仕事で考えるライフデザインワークショップ“発見！体験！未来のワタシ！”	石井 雅博 (デザイン学部 教授) 並木翔太郎 (デザイン学部 准教授) 矢久保空遥 (デザイン学部 助教) 守村 洋 (看護学部 准教授) 黒田 紀子 (看護学部 講師) 大友 舞 (看護学部 助教)	18
2024年1月29日	まちの健康応援室ミニ出張講座⑤ 子どものケガ(鼻血、切り傷、打撲など)の応急処置や手当について	牧田 靖子 (看護学部 講師)	10
2024年2月3日	「研究の二刀流—隠れた専門性による新たなデザインの世界への誘い—第5弾」 3話シリーズ③ 第3回：アイスホッケーから学ぶ建築環境デザイン	齊藤 雅也 (デザイン学部 教授)	11
2024年3月2日	NCPR (新生児蘇生法) スキルアップコース (Sコース)	荒木 奈緒 (看護学部 教授) 岡 園代 (看護学部 講師) 大友 舞 (看護学部 助教)	7
2024年3月12日	デザイン思考入門	石井 雅博 (デザイン学部 教授)	9
2024年3月13日	はじめてのプログラミング —Pythonで学ぶ—	石井 雅博 (デザイン学部 教授)	3

2) 共催講座：「さっぽろ市民カレッジ」連携講座

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2023年6月13日、 20日	さっぽろ市民カレッジ講座2023春・夏期 「小樽の歴史的建造物をたどる」	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教授)	40
2023年9月7日、 14日	さっぽろ市民カレッジ講座2023秋期 「さっぽろの遊郭史～花街と寺町～」	羽深 久夫 (札幌市立大学 名誉教授) 石川 圭子 (民衆史研究家)	38

3) 共催講座：「知活(ちいき)ゼミナール」

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2023年12月1日 ～2024年2月28日	知活(ちいき)ゼミナール2023 「どうする？環境変化」 ①日々変わりゆく環境変化を感じるためにアートができること ②気候変動で北海道の冬はどうなる？どうする？ (YouTube 配信)	石田 勝也 (札幌市立大学 デザイン学部 講師) 鈴木 啓明 (エネルギー・環境・地質研究所 環境保全部 主査)	851



3 国・自治体審議会等への就任状況

デザイン学部

教員名	名称/役職	自治体名・主催団体名
中島 秀之	特定非営利活動法人産学連携推進機構/理事	特定非営利活動法人産学連携推進機構
	(株)未来シェア/取締役会長	(株)未来シェア
	(大)会津大学参与会/参与	(大)会津大学
	国立障害者リハビリテーションセンター研究所評価委員会/委員	国立障害者リハビリテーションセンター
	北海道大学電子科学研究所/外部評価委員	北海道大学電子科学研究所
	(一社)日本ディープレニング協会/有識者会員	(一社)日本ディープレニング協会
	(大)宮城大学評価委員会/委員	宮城県(総務部)
	NoMaps実行委員会/顧問	NoMaps実行委員会
	札幌国際芸術祭実行委員会/委員(副会長)	札幌国際芸術祭実行委員会
	北海道MaaS推進研究会/会長	(一社)北海道産学官研究フォーラム
	NEDO技術委員会/委員	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
	戦略的創造研究推進事業/分野別研究領域評価委員(ICTイノベーション分野)	国立研究開発法人科学技術振興機構
	戦略的創造研究推進事業/ピアレビューア(外部評価者)	国立研究開発法人科学技術振興機構
	札幌市次世代公共交通システム研究会/委員	札幌市(まちづくり政策局)
	(一社)社会システムデザインセンター/構成員(副理事長)	(一社)社会システムデザインセンター
	未踏事業審査委員会/委員	(独)情報処理推進機構
	(一社)新雪/設立時理事	(一社)新雪
	(公財)本田財団/理事	(公財)本田財団
	本田賞/選考委員	(公財)本田財団
	「Sapporo AI Lab」/エグゼクティブ・アドバイザー	Sapporo AI Lab
「Innovators Under 35 Japan」2023年/審査員	(株)角川アスキー総合研究所	
椎野 亜紀夫	札幌市都市計画審議会/委員	札幌市(まちづくり政策局)
	(一財)さっぽろ産業振興財団/評議員	(一財)さっぽろ産業振興財団
	岩見沢市都市計画審議会/会長	岩見沢市(建設部)
	北海道国土利用計画審議会/委員	北海道(総合政策部計画局)
	大通公園・中島公園あり方検討会/委員	札幌市(建設局)
	公園のあり方等検討委員会/委員	恵庭市(建設部)
齊藤 雅也	BIS試験講習委員会/委員	(一社)北海道建築技術協会
	登録建築物エネルギー消費性能評価機関・任意評定実施機関/評価員・評定員	(一財)北海道建築指導センター
	市営住宅光星団地5号棟耐震改修ほか改善事業者選定委員会/委員	札幌市(都市局)
	遊亀公園附属動物園整備工事/アドバイザー	甲府市(まちづくり部)



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
齊藤 雅也	令和5年度気候変動影響の将来予測に関する委託業務／有識者ヒアリング	(一財)日本気象協会
	(株)マイベスト／コンテンツ監修	(株)マイベスト
石井 雅博	数理・データサイエンス教育／客員教授	(大)北海道大学 数理・データサイエンス教育研究センター
柿山 浩一郎	低床車両デザイン選考委員会／委員	(一財)札幌市交通事業振興公社
	京都工芸繊維大学教員昇任候補者の審査／外部評価委員	(大)京都工芸繊維大学
西川 忠	フォーラム企画委員会／委員	インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム
	(一社)北海道建築技術協会／理事	(一社)北海道建築技術協会
	丸彦渡辺建設(株)／技術アドバイザー	丸彦渡辺建設(株)
	札幌地方裁判所・札幌簡易裁判所／民事調停委員	札幌地方裁判所
藤木 淳	「トリック×イリュージョン！」展／ワークショップ運営	(株)北海道新聞社
	札幌国際芸術祭 SIAFスクール／プロジェクトリーダー	札幌国際芸術祭実行委員会
細谷 多聞	令和5年度「北海道新技術・新製品開発賞」／評価	北海道（経済部産業振興局）
	芸術の森地区文化祭実行委員会／委員	芸術の森地区連合会
松井 美穂	(一財)さっぽろ水道サービス協会／評議員	(一財)さっぽろ水道サービス協会
若林 尚樹	(公財)画像情報教育振興協会／委員	(公財)画像情報教育振興協会
片山 めぐみ	札幌市緑の審議会／委員	札幌市（建設局）
	安平町未来創生委員会／外部有識者	安平町（政策推進課）
	国有財産北海道地方審議会／委員	財務省（北海道財務局）
	第18回公共建築賞北海道地区審査委員会／委員	(一社)公共建築協会
	札幌市景観審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	石狩市空家等対策協議会／委員	石狩市（建設水道部）
	札幌市開発審査会／委員	札幌市（都市局）
	北海道国土利用計画審議会／委員	北海道（総合政策部計画局）
	札幌市環境影響評価審議会／委員	札幌市（環境局）
	北海道住宅対策審議会／委員	北海道（建設部住宅局）
	令和5年度町内会加入促進啓発事業等企画競争実施委員会／委員	札幌市（市民文化局）
	第5次市民自治推進会議／委員	札幌市（市民文化局）
	札幌市の設置する都市公園に係る公募対象公園施設設置等予定者選定委員会／委員	札幌市（建設局）
	さっぽろ芸術文化の館跡地の土地利用に係る公募プロポーザル選定委員会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	安平町未来創生委員会／外部有識者	安平町（政策推進課）
	札幌市景観アドバイザー	札幌市（まちづくり政策局）
社会資本総合整備計画事後評価に関する学識経験者等意見聴取会／学識経験者	北海道（建設部建設政策局）	
第19回公共建築賞北海道地区審査委員会／委員	(一社)公共建築協会	



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
金子 晋也	第1回ほっかいどう高校生POPフェスタ／審査員	北海道高等学校文化連盟
小宮 加容子	第13期札幌市福祉のまちづくり推進会議／委員	札幌市（保健福祉局）
	芸術の森地区文化祭実行委員会／委員	芸術の森地区連合会
武田 亘明	札幌情報未来専門学校ITシステムエンジニア学科教育課程編成委員会／委員	(学)桑園学園 札幌情報未来専門学校
丸山 洋平	新潟市都市政策部GISセンター／研究参与	新潟市都市政策部GISセンター
	北海学園大学開発研究所／客員研究員	北海学園大学
	「高校生対流促進事業」推進協議会／構成員	北海道教育庁（学校教育局）
	若者出合い創出事業企画競争実施委員会／委員	札幌市（子ども未来局）
	第2期北海道創生総合戦略検証ワーキンググループ／構成員	北海道（総合政策部地域創生局）
	北海道人口ビジョン調査分析委託業務の契約手続きに係る意見聴取／学識経験者	北海道（総合政策部地域創生局）
御手洗 洋蔵	東京農業大学大学院農学研究科学位論文／審査委員	東京農業大学 農学研究科
森 朋子	札幌市屋外広告物審議会／委員	札幌市（建設局）
	札幌市景観審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	北海道景観審議会／委員	北海道（建設部まちづくり局）
	縄文遺跡群世界遺産専門家委員会／委員	縄文遺跡群世界遺産本部
	札幌市中高層建築物紛争調整委員会／委員	札幌市（都市局）
	北海道土地利用審査会／委員	北海道（総合政策部計画局）
	大通Tゾーン駅前通地区まちづくり協議会 まちづくり委員会／委員	大通Tゾーン駅前通地区まちづくり協議会
	北海道百年記念広場（仮称）への新たなモニュメント設置に係る懇談会／構成員	北海道（環境生活部文化局）
	(一社)日本イコモス国内委員会／理事	(一社)日本イコモス国内委員会
	はぐくみの軸強化方針検討会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	第23次札幌市緑の審議会／委員	札幌市（建設局）
	札幌市旧永山武四郎邸及び札幌市旧三菱鉱業寮運営協議会／委員	NC・MMS永山邸等運営共管理同事業体
	三内丸山遺跡史跡整備検討委員会／委員	三内丸山遺跡センター
	21世紀アイヌ文化伝承の森事業に関するワーキンググループ／委員	(大)北海道大学 観光学高等研究センター
	重要文化財ニッカウキスキー余市蒸溜所施設保存活用計画策定委員会／委員	ニッカウキスキー(株)
	ニセコ町建築ガイドライン検討委員会／委員	ニセコ町（都市建設課）
	大通公園・中島公園あり方検討会／委員	札幌市（建設局）
	札幌市屋外広告物審議会／委員	札幌市（建設局）
	赤井川村景観計画策定委員会／委員	赤井川村（建設課）
	ネパールにおけるユネスコ関連事業／コンサルタント	ユネスコ・ネパール
南砺市五箇山世界遺産マスタープラン改訂委員会／委員	南砺市（文化・世界遺産課）	



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
山田 信博	札幌市広告アドバイザー	札幌市（建設局）
	令和5年度地域のための遊休スペース等活用支援事業審査委員会／委員	札幌市（市民文化局）
石田 勝也	児童生徒向け副教材作成検討委員会／委員	(公財)アイヌ民族文化財団
	SIAFラボ／メンバー	札幌国際芸術祭実行委員会
須之内 元洋	(学)フレンド恵学園 認定こども園・浦河フレンドようちえん／理事	(学)フレンド恵学園
	「南区=アートのまち」プロジェクト実行委員会／委員	札幌市（南区）
福田 大年	とくとく健診・ジェネリック医薬品PRポスターの図案選考会／選考委員	札幌市（保健福祉局）
藤沢 礼央	子ども広報部「びとこま」／編集長	苫小牧市美術博物館
	樽前振興計画懇談会／委員	苫小牧市（総合政策部）
	樽前山アートフォトコンテスト実行委員会／委員	樽前山アートフォトコンテスト実行委員会
坪内 健	苫小牧市都市再生アドバイザー	苫小牧市（総合政策部）
柘田 聡志	特定非営利活動法人トッポクラブ／理事	特定非営利活動法人トッポクラブ

看護学部

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
松浦 和代	2022-2023年度 日本看護系大学協議会 高度実践看護師教育課程認定委員会／委員	(一社)日本看護系大学協議会
	北海道成育看護研究会／評議員	北海道成育看護研究会
菊地 ひろみ	2023年度北海道専任教員養成講習会／講師	北海道（保健福祉部）
	(公社)北海道看護協会 訪問看護推進検討会／委員	(公社)北海道看護協会
	教育担当会議／講師	(公社)北海道看護協会
荒木 奈緒	第54回（2023年度）日本看護学会学術集会 登録演題の選考／抄録選考委員	(公社)日本看護協会
	2023年度看護管理研修事業(北海道委託)企画検討会Ⅱのへ参加	(公社)北海道看護協会
喜多 歳子	北海道建築審査会／委員	北海道（建設部）
	札幌市建築審査会／委員	札幌市（都市局）
	北海道公衆衛生協会／役員	北海道公衆衛生協会
定廣 和香子	2023年度北海道専任教員養成講習会／講師	北海道（保健福祉部）
菅原 美樹	プロトコール専門委員会／委員	札幌市（保健福祉局）
	臨床指導者研究会／講師	砂川市立病院
檜山 明子	2023年度北海道専任教員養成講習会／講師	北海道（保健福祉部）
本田 光	札幌市豊平区「地域分析に関する研修(実践編)」／講師	札幌市（豊平区保健福祉部）
守村 洋	2023年度 札幌市自殺総合対策連絡会議への出席	札幌市
	札幌市社会福祉総合センター管理運営委員会／委員	(福)札幌市社会福祉協議会



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
石引 かずみ	北海道看護協会札幌第1支部役員（助産師職能）／委員	(公)北海道看護協会
	第16回北海道成育看護研究会／実行委員	北海道成育看護研究会
武富 貴久子	医学系OSCE 認定標準模擬患者委員会／委員	(公)医療系大学間共用試験実施評価機構
山本 真由美	2023年度北海道看護協会札幌第1支部／助産師職能委員	(公)北海道看護協会 札幌第1支部
	第16回北海道成育看護研究会／実行委員	北海道成育看護研究会
山出 誓子	認定看護管理者認定実行委員会／委員	(公)日本看護協会
近藤 圭子	2023年度北海道看護協会札幌第1支部／保健師職能委員	(公)北海道看護協会 札幌第1支部
西川 めぐみ	日本移植コーディネーター協議会(JATCO)／教育委員会委員	日本移植コーディネーター協議会(JATCO)
	第22回JATCO総合研修会／ファシリテーター	日本移植コーディネーター協議会(JATCO)

AITセンター

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
高橋 尚人	情報政策技術支援業務の受託者選定に係る審査委員会／審査委員	札幌市（デジタル戦略推進局）
	産学融合拠点創出事業／上級エリアコーディネーター	(公)北海道科学技術総合振興センター
	降雪・地表面性状観測装置による融解熱量測定方法に関するJIS原案作成委員会／委員	(一財)日本規格協会
	道央都市圏総合都市交通体系調査検討会 作業部会／委員	北海道（建設部まちづくり局）
星野 聖太	JCAR氷工学研究作業委員会（ワーキンググループ）／メンバー	北極環境研究コンソーシアム



4 専門職支援・セミナー講師等

1) 専門職支援

① 認定看護管理者教育課程サードレベル

2023年度受講者17名（修了者17名）

開催期間	教科目/時間	単元	講義・演習・実習（時間数）	講師	
第Ⅰ期（14日間） 2023年8月21日 ～9月8日 第Ⅱ期（12日間） 2023年11月1日 ～17日 第Ⅲ期（8日間） 2024年1月9日 ～24日	ヘルスケアシステム論Ⅲ/30時間	社会保障制度・政策の動向	講義（6）	★大久保一郎	
		看護制度・政策の動向	講義（9）	★齋藤 訓子	
		ヘルスケアサービスの創造	講義（6）	★松下 博宣	
			講義（3）	★島井健一郎	
			講義（3）	★土井 正子	
			講義（1.5）	★村本 好孝	
	組織管理論Ⅲ/30時間	組織デザインと組織運営	講義（1.5）	★高畑 智子	
			講義（3）	★大林由美子	
			講義（3）	★小藤 幹恵	
			講義（3）	★牧野 憲一	
			講義（3）	★深澤 優子	
			講義（6）	★勝見 真澄	
	組織における倫理	演習（3）	佐藤ひとみ 矢野祐美子		
		演習（3）	佐藤ひとみ 矢野祐美子		
	人材管理Ⅲ/15時間	社会システムと労務管理	講義（3）	★前田 朝子	
			講義（3）	★葛西 陽子	
			講義（3）	★和田 昌代	
	看護管理者の育成 特別講義（公開講座）	看護管理者の育成	講義（3）	★榎引 久丸	
			講義（3）	★田中いずみ	
			講義（3）	佐藤ひとみ	
	資源管理Ⅲ/30時間	経営戦略	特別講義（公開講座）	講義（3）	★井部 俊子
			講義（6）	★高橋 泰	
			講義（6）	★工藤 高	
	資源管理Ⅲ/30時間	財務管理	演習（3）	佐藤ひとみ 矢野祐美子	
講義（6）			★渡邊 寧子		
講義（3）			★富樫 正浩		
質管理Ⅲ/30時間	組織的情報管理	講義（6）	★宇都由美子		
		講義（6）	★須田 倫子		
		講義（6）	★坂上 真弓		
		講義（3）	佐藤ひとみ		
経営と質管理	経営と質管理	演習（6）	佐藤ひとみ 矢野祐美子		
		演習（6）	佐藤ひとみ 矢野祐美子		



第Ⅰ期（14日間） 2023年8月21日 ～9月8日 第Ⅱ期（12日間） 2023年11月1日 ～17日 第Ⅲ期（8日間） 2024年1月9日 ～24日	質管理Ⅲ/30時間	組織の安全管理	講義（3）	★平岡 康子	
			講義（6）	★岡林 靖子	
	統合演習Ⅲ/45時間	第Ⅰ期演習		演習（9）	★伊藤 リカ
					★齊藤ひとみ
					★鹿内三起子
					★千葉美恵子
					★郡 美代子
					★中川千江子
					佐藤ひとみ
					矢野祐美子
					第Ⅱ期演習
	★小澄 悦子				
	★萩原 直美				
	★原口真紀子				
	★樋渡ひとみ				
★宮崎 淳子					
統合演習		演習（15）	佐藤ひとみ		
			★勝見 真澄		
			★加藤久美子		
			★坂上 真弓		
			★須田 倫子		
			★田中いずみ		
			★工藤 美幸		
その他/9時間	ヒューマンネットワークワーキング	その他（3）	矢野祐美子		
			佐藤ひとみ		
			★安齋 利典		
その他/9時間	正しい統計データの探し方、使い方	講義（3）	丸山 洋平		
	効果的な表現方法 レイアウトの基礎	講義（3）	佐藤ひとみ		

★印：非常勤講師等



2) セミナー講師等

① デザイン学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
中島 秀之	2023年5月16日	IT総合研究会5月オープン例会「我々の生活・仕事はAIでどう変わる？」／講師	(一社)北海道中小企業家同友会 とから支部 IT総合研究会
	2023年8月2日	超教育協会オンラインシンポジウム 「Society5.0時代の教育とAI」／講師	(一社)超教育協会
	2023年8月9日	2023年度「技術者の一日」論文研究発表会／ 技術指導講師	トヨタ技術会
	2023年9月13日	JAWS2023「人工知能研究の半世紀」／講師	合同エージェントワーク ショップ&シンポジウム (JAWS2023) 実行委員会
	2023年9月13日	HoPE9月例会「いまさら聞けないAI②」／講 師	(一社)北海道中小企業家同友会 産学官連携研究会HoPE
	2023年10月18日	文藝春秋主催カンファレンス DX進化論「よ りよい仕事をデザインするためのDX、AI活 用」／講師	(株)文藝春秋
	2023年11月9日	Arm Tech Symposia Japan 2023「テクノ ロジーと共に進化するAIがもたらす未来」／講 師	アーム(株)
	2023年11月26日	21世紀の複雑系研究集会「AI研究者と複雑 系：多重創発の試み」／講師	中部大学
	2023年11月27日	2023年度青年研修バン格拉デシュ「ICT推 進によるDX実践」講演「日本のAI研究の最前線 及び産官学で進める最新モビリティの現状」／講 師	JICA北海道(札幌)
	2023年12月6日	ビナ・ヌサンタラ大学教員及び学生研修会 「Artificial Intelligence: Ethics on Research and Education」／講師	ビナ・ヌサンタラ大学 ビ ヌス・スナヤンキャンパス 言語センター
2024年1月28日	AIシンポジウム「未来のAIを語る」／講師	(公財)栢森情報科学振興財団	
椎野 亜紀夫	2024年3月16日	公園のあり方シンポジウム2024「～使われ活 きる公園を目指して～」／講師	恵庭市(建設部)
齊藤 雅也	2023年5月25日	「健康的な室内気候について考える」山形講演 会／講師	ピーエス(株)
	2023年7月20日	2年次対象「大学出前講座～大学の授業を体験 してみよう」／講師	北海道旭川永嶺高等学校
	2024年3月13日	令和5年度(2023年度)北海道旭川西高等学 校スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業 「SS特別講座」／講師	北海道旭川西高等学校
柿山 浩一郎	2023年9月8日	第63回(令和5年度)北海道図書館大会分科会 「利用者の多様性に配慮したプレゼンテーショ ン(伝え方)について」／講師	私立短期大学図書館協議会 北海道地区協議会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
片山 めぐみ	2023年8月22日、 9月29日、10月17 日、11月21日、12 月18日、2024年2 月7日	北海道における地域コミュニティに関する研究会「北海道における地域コミュニティについて」／講師	(一財)北海道開発協会
	2023年11月14日	第16回環境・エネルギーセミナー（社内専門職者研修）「若い力が牽引する札幌発ソーシャル・イノベーション」／講師	北電総合設計㈱
	2023年11月30日、 2024年2月5日	教科「職業基礎」の学習「真駒内駅前地区まちづくり計画について」及び「杜カフェ2号店プロジェクト企画書講評」／講師	市立札幌みなみの杜高等支援学校
小林 重人	2023年6月16日	デジタル地域通貨に関する講演会「デジタル地域通貨について」／講師	(一社)まちづくり府中
	2024年1月30日	アースカラー「地域経済を自分事にする地域通貨体感ワークショップ」／講師・指導助言	㈱アースカラー
武田 亘明	2023年12月12日、 13日	岩宇地域まちづくり研修・交流会「移住定住と地域の発展について」及び岩宇地域まちづくり官民合同研修会「SNSによる情報発信とデザインについて」／講師	岩宇まちづくり連携協議会
丸山 洋平	2023年4月25日 ～2024年3月31日 (全10回)	神奈川県人口推計等調査共同研究会／講師	神奈川県（政策局）
御手洗 洋蔵	2023年5月24日	5年生対象「野菜の栄養素を調べてみよう」／講師	札幌市立西岡南小学校
森 朋子	2023年7月23日	小樽地域遺産住ノ江・入船大会「小樽市内地域遺産関連団体報告について」／コメンテーター	小樽地域遺産連合会
藤沢 礼央	2023年11月6日 ～2024年2月29日 (全3回)	造形活動「樽前artyワークショップ及び放課後教室」／講師	苫小牧市立樽前小学校
	2024年1月27日、 28日	おびひろ氷まつり協賛事業 美術館 de 氷まつり 2024 ワークショップ「プレイバック『鉄たたけます。』☆鉄は熱いうちにたたくのだー！」／講師	北海道立帯広美術館
榊田 聡志	2024年1月25日	アンプレTALK「プロダクトデザイナーのビジネスについて」／講師	北海道情報大学



② 看護学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
菊地 ひろみ	2023年6月10日～ 2024年度に関する 定時社員総会の終 結まで	日本難病看護学会難病看護師認定委員会／実行 委員	(一社)日本難病看護学会
荒木 奈緒	2022年3月18日～ 2024年定時社員総 会終結まで(年1回 程度)	日本助産学会／代議員	(一社)日本助産学会
	2022年5月31日 ～2024年3月31日	学会誌編集委員会／委員	日本遺伝看護学会
	2022年6月22日 ～2024年3月31日	日本遺伝看護学会／査読委員	日本遺伝看護学会
	2023年4月1日 ～2025年3月31日	「日本助産学会誌」査読／専任査読委員	(一社)日本助産学会
	2023年6月2日 ～2024年3月31日	臨床看護研究の指導／講師	NTT東日本札幌病院
	2024年2月1日 ～2026年1月31日	日本看護学会学術集会／一般演題の査読	日本看護学会学術集会
川村 三希子	2022年8月1日 ～2024年7月31日	日本ホスピス緩和ケア協会／監事	(一社)日本ホスピス緩和ケア協 会
卯野木 健	2023年6月24日	第44回JSEPTICセミナー(テーマ：予防)／講 師	(一社)日本集中治療教育研究会
	2023年7月1日	第19回日本クリティカルケア看護学会学術集 会 共催ランチョンセミナー／座長	フィッシャー&パイケルヘル スケア株式会社
	2023年8月26日	日本集中治療医学会50周年記念サマーキャン プin Niseko 共催セミナー／座長	(株)メディコン UCC事業部
	2023年9月25日 ～2023年12末	現職看護師・離職中看護師向け教育活動の実証 実験のカリキュラム作成等／監修	(株)Medi-LX
	2023年12月3日	第10回東京呼吸循環腎臓リハビリテーション セミナー／講師	東京呼吸循環腎臓リハビリ テーションセミナー研究会
	2024年1月26日	久留米大学医学部看護学科特別講義「クリディ カルケア看護のトピック」／講師	久留米大学医学部看護学科
貝谷 敏子	2022年4月1日 ～2024年3月31日	札幌医科大学倫理委員会／委員	札幌医科大学
	2023年11月2日 ～2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／企画委員	第39回日本がん看護学会学 術集会
	2023年11月25日	第22回日本褥瘡学会北海道地方会学術集会 共催セミナー／座長	アルケア(株)ウンド&ナーシ ングケア事業部
喜多 歳子	2023年4月1日 ～2024年3月31日	北海道大学 環境健康科学研究教育センター／ 招聘教員	(大)北海道大学 環境健康科学 研究教育センター
佐藤 ひとみ	2022年6月28日 ～2024年6月27日	協済会／理事	(一社)協済会
	2023年3月18日 ～2024年3月31日	日本看護管理学会 学術活動推進委員会／委員	(一社)日本看護管理学会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
樋之津 淳子	2022年6月4日 ～2024年6月3日	日本看護研究学会／評議員	(一社)日本看護研究学会
	2022年8月15日～ 2024年北海道地方 会総会前日まで	日本看護研究学会北海道地方会／役員	(一社)日本看護研究学会北海道 地方会
	2022年8月16日～ 2024年社員総会終 了時まで	日本看護技術学会／評議員	(一社)日本看護技術学会
	2022年8月16日～ 2024年社員総会終 了時まで	日本看護技術学会／編集委員会委員	(一社)日本看護技術学会
	2022年11月1日 ～2023年10月31日	科学研究費委員会／専門委員	(独)日本学術振興会
	2023年4月1日 ～2025年3月31日	看護人間工学会／監事	看護人間工学会
	2023年5月18日 ～2024年3月30日	武庫川女子大学看護学ジャーナル／外部査読委員	武庫川女子大学看護学部
	2023年9月16日	第5回看護人間工学会学術集会 特別講演「地域 防災と災害教育」／座長	看護人間工学会
菅原 美樹	2022年12月1日 ～2024年6月24日	第20回日本クリティカルケア看護学会学術集 会／企画委員	第20回日本クリティカルケ ア看護学会学術集会
	2022年社員総会締 結後～2024年社員 総会終了時	日本循環器看護学会誌／専任査読委員	日本循環器看護学会
	2023年4月1日 ～2024年3月31日	日本看護学会誌／査読委員	(公社)日本看護協会
	2023年9月4日	2023年度認定看護師教育課程 クリティカル ケア学科／講師	(公社)日本看護協会看護研修学 校
	2023年9月1日～ 2025年度定時代議 員会終了時	日本災害看護学会 災害看護学術用語委員会／ 委員	(一社)日本災害看護学会
	2023年9月1日～ 2025年度定時代議 員会	日本災害看護学会／査読委員	(一社)日本災害看護学会
	2023年10月31日 ～2025年9月	センター調査<C0206>個別調査部会／部会員	(一社)日本医療安全調査機構医 療事故調査・支援センター
2023年12月21日 ～2025年11月	日本救急看護学会／専任査読委員	(一社)日本救急看護学会	



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
高橋 奈美	2023年6月4日	日本ALS協会北海道支部医療講演会／講師	日本ALS協会北海道支部
	2022年7月9日 ～2024年7月8日	日本在宅ケア学会／代議員	(社)日本在宅ケア学会
	2023年4月1日 ～2024年3月31日	天使大学研究倫理委員会／学外委員	天使大学
	2023年6月10日～ 2024年度に関する 定時社員総会の終 結まで	日本難病看護学会 総務委員会／委員	(社)日本難病看護学会
	2023年11月11日 ～11月12日	第28回日本在宅ケア学会学術集会／座長	第28回日本在宅ケア学会学術集会
	2023年11月17日	アドバンス・ケア・プランニングにおける意思決定支援／研修講師	北海道医療大学病院
	2024年3月13日	訪問看護・訪問リハビリテーションにおける吸引手技研修／講師	静明館訪問看護ステーションののはな
	2023年4月7日 ～2023年5月31日	第17回 日本慢性看護学会学術集会／査読委員	第17回 日本慢性看護学会学術集会
	2024年4月1日 ～2026年3月31日	日本慢性看護学会／評議員	日本慢性看護学会
原井 美佳	2023年8月1日 ～2024年3月31日	桑園認知症ケア研究会／世話人	桑園認知症ケア研究会
本田 光	2022年6月12日 ～2024年6月	日本公衆衛生看護学会の学術実践開発委員会／委員	(社)日本公衆衛生看護学会
	2023年8月26日	2023年度夏季研修会「第3分科会 尺度開発に向けた研究取り組みの紹介」／講師	(社)全国保健師教育機関協議会
	2024年3月18日	性や生き方について深く学ぶことを目的とした授業／講師	市立札幌みなみの杜高等支援学校
牧野 夏子	2022年12月21日～ 2024年11月まで	日本救急看護学会／専任査読委員	(社)日本救急看護学会
	2023年4月1日～ 2024年6月23、24日	第20回 日本クリティカルケア看護学会学術集会／運営委員	第20回 日本クリティカルケア看護学会学術集会
	2023年4月27日 ～2023年5月20日	『Nursing Canvas』2023年8月号の連載『よくわかる 看護過程』／原稿執筆	(株)Gakken
	2023年4月27日～ 2023年11月24日、 25日	日本救急看護学会／専任査読委員	(社)日本救急看護学会
	2023年4月7日～ 査読終了まで	バイオテクノロジー標準化支援協会刊行「医学と生物学」／論文査読	バイオテクノロジー標準化支援協会
	2023年5月18日 ～2023年8月26日	日本集中治療医学会50周年記念企画 サマーキャンプ in NISEKO／ワーキンググループ	(社)日本集中治療医学会
	2023年8月	札幌医科大学保健医療学部開設30周年記念事業における動画出演	札幌医科大学保健医療学部
	2023年7月3日 ～8月1日	「フィジカルアセスメントIV研修」看護職員院内研修会／講師	札幌医科大学付属病院
	2023年11月2日 ～2025年2月23日	第39回日本がん看護学会学術集会／企画委員	第39回日本がん看護学会学術集会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
村松 真澄	2022年2月8日 ～2024年2月15日	月刊「歯界展望」の執筆	医歯薬出版(株)第3出版部
	2022年4月1日 ～2024年3月31日	日本口腔ケア学会／評議員	(一社)日本口腔ケア学会
	2022年7月27日～ 2024年度社員総会	日本老年看護学会の老年看護政策検討委員会／委員	(一社)日本老年看護学会
	2022年8月1日～ 2024年度社員総会	日本老年看護学会編集委員会／査読委員	(一社)日本老年看護学会
	2022年11月1日 ～2023年10月31日	科学研究費委員会／専門委員	(独)日本学術振興会
	2022年12月1日 ～2023年8月19日	第25回日本口腔ケア協会学術大会並びに日本口腔ケア学会秋季大会／大会実行委員長	第25回日本口腔ケア協会学術大会並びに日本口腔ケア学会秋季大会
	2023年2月13日 ～2024年2月21日	日本医療大学紀要第10巻／査読	日本医療大学図書・学術振興委員会
	2023年5月25日	2023年度福岡看護大学FD／講師	(学)福岡学園 福岡看護大学
	2023年5月30日	東京医科大学病院 口腔機能管理委員会研修会／講師	東京医科大学病院
	2023年6月18日	日本老年看護学会第28回学術集会 老年看護政策検討委員会企画シンポジウムにおける講演／講師	日本老年看護学会第28回学術集会
	2023年7月10日	「高齢者の口腔ケア演習」職員研修会／講師	(福)大悲会 特別養護老人ホームあそか苑
	2023年8月1日	日本摂食嚥下リハビリテーション学会／評議員	(一社)日本摂食嚥下リハビリテーション学会
	2023年8月19日	本大会シンポジウム1「急性期から慢性期・在宅での口腔ケア連携・のシンポジスト」／講師	第25回日本口腔ケア協会学術集会並びに日本口腔ケア学会秋季大会
	2023年11月16日	北海道大学大学院医学研究院「医療AI特別セミナー」／講師	北海道大学大学院医学研究院画像診断学教室
2024年2月	小誌「エキスパートナース」の2024年5月増刊号の執筆	(株)照林社	



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
守村 洋	2022年10月19日 ～2024年9月30日	日本看護シミュレーションラーニング学会誌/ 査読委員	(一社)日本看護シミュレーションラーニング学会
	2023年4月30日	メンタルケア・スペシャリスト養成講座/講師	(一財)メンタルケア協会
	2023年6月22日、7月28日、8月30日、12月4日	2023年度「生活支援員登録に向けた研修・説明会」/講師	(福)札幌市社会福祉協議会
	2023年8月1日、8月8日	2023年度メンタルヘルス研修/講師	北海道社会福祉協議会 社会福祉研修所
	2023年7月21日	2023年度札幌市教育センター専門研修【L27】 「自殺予防の取組」/講師	札幌市(教育委員会)
	2023年8月16日	【ライブ配信研究】精神科訪問看護基本療養指導に係る研修会/講師	(公社)北海道看護協会
	2023年8月19日	「第483回精神療養講座」/講師	(協)札幌市精神障害者家族連合会
	2023年10月29日	メンタルケア・スペシャリスト養成講座「精神保健」/講師	(一財)メンタルケア協会
	2023年10月31日	「令和5年度第2期えるのす連続講座～女性大学～」標記講座/講師	(公財)北海道女性協会
2024年2月13日	令和5年度福岡県立大学看護学部研修会/講師	福岡県立大学	
石引 かずみ	2023年6月17日～ 最終の代議員選挙 終了の時まで	日本フォレンジック看護学会/代議員	(一社)日本フォレンジック看護学会
岡 園代	2023年10月8日 ～2024年3月31日	日本新生児看護学会/査読委員	(一社)日本新生児看護学会
黒田 紀子	2024年2月14日	2023年度千歳市子育て支援者研修/講師	千歳市こども福祉部子育て総合支援センター
武富 貴久子	2023年4月 ～2024年3月	看護研究指導と看護研修研究会/指導、講演	砂川市立病院
	2023年4月1日 ～2024年3月31日	看護指導/講師	町立中標津病院
	2023年4月1日 ～2024年3月31日	客員研究員としての研究活動	北海道大学大学院医学研究院
	2023年9月9日、9月10日	北海道大学医学研究院 標準模擬患者/指導教員	北海道大学医学研究院
	2023年10月14日、10月15日	北海道大学医学研究院 標準模擬患者/指導教員	北海道大学医学研究院
	2024年2月15日、3月27日	看護研究研修「臨床で看護研究を行うために必要な知識を習得する」/特別講師	(社)北楡会 札幌北楡会病院



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
牧田 靖子	2023年4月11日、5月9日、6月13日、7月11日、8月8日、9月12日、10月3日、11月14日、12月26日、2024年1月9日、2月13日、3月12日	2023年度 南区保育・子育てセンター「保健相談」／相談員	南区保育・子育てセンター
	2023年9月7日 ～2025年8月	センター調査<C0205>個別調査部会／部会員	(一社)日本医療安全調査機構
	2023年11月17日	2023年度「ママさんリフレッシュセミナー救命処置講座」／講師	砂川市(教育委員会)
矢野 祐美子	2022年4月1日 ～2024年3月31日	日本伝統医療看護連携研究の発行／査読委員	日本伝統医療看護連携学会
	2023年12月2日	看護職のキャリアにおける社会人基礎力育成の有り方講師	北海道看護協会札幌第3支部
市戸 優人	2023年7月20日	性の健康講座「生と性」にかかわる指導の授業／講師	室蘭栄高等学校
	2023年9月29日	性教育校内研修会「アクティブラーニングを用いた性教育を可能とする性教育教材について」／講師	北海道伊達高等養護学校
	2024年1月23日	保健講話「若年妊娠、人工妊娠中絶他」／講師	北海道大谷室蘭高等学校
	2024年3月18日	性や生き方について深く学ぶことを目的とした授業／講師	市立札幌みなみの杜高等支援学校
栗原 知己	2022年10月27～ 2023年開催の学術集会終了の時まで	日本救急看護学会 外相看護委員会小委員会／委員	(一社)日本救急看護学会
	2023年4月1日 ～2024年3月31日	・日本版敗血症診療ガイドライン2024特別委員会ワーキンググループ／メンバー ・看護教育委員会／委員 ・重症患者におけるリハビリテーション診療ガイドラインワーキンググループ／メンバー	(一社)日本集中治療医学会
	2023年5月13日、5月14日	日本救急看護学会主催JNTECプロバイダーコース／インストラクター	(一社)日本救急看護学会
	2023年9月30日、10月1日	JNTECプロバイダーコース／職員派遣	(一社)日本救急看護学会
田仲 里江	2023年10月14日	標準模擬患者指導教員(医療面接模擬患者助言)／指導教員	北海道大学医学研究院
西川 めぐみ	2023年9月15日 ～2024年3月31日	北海道腎移植談話会／会計監事	北海道腎移植談話会
	2023年12月1日 ～2025年8月31日	日本腎不全看護学会／専任査読者	(一社)日本腎不全看護学会

③ AITセンター

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
高橋 尚人	2023年7月13日	数理データサイエンス科「総合的な探求の時間」講座「データサイエンスと街づくり」／講師	市立札幌旭丘高等学校
	2023年12月5日	第8回WEATHER・Eyeオープンフォーラム一般講演「雪氷に関する最新の研究成果」／講師	気象影響防御技術コンソーシアム



5 国際交流実績

期間	種別	内容
2023年4月1日 ～9月30日	受入	台中科技大学から特別聴講生1名を受入
2023年4月1日 ～2024年3月31日	受入	台中科技大学から特別聴講生1名を受入
2023年8月8日 ～12月21日	派遣	ラップランド大学へ交換留学生1名を派遣
2023年8月16日 ～21日	派遣	日台デザインワークショップ（雲林科技大学主催、華梵大学、台中科技大学、札幌大谷大学、本学共催）に学生6名ならびに教員1名を派遣
2023年9月26日 ～10月1日	派遣	Pacific Northwest College of Art(PNCA)、ウィラメット大学とのワークショップに、学生7名ならびに教員3名を派遣
2023年11月15日 ～17日	その他	国際交流・留学フェアを対面及びオンライン開催し、延べ学生21名、教職員35名が参加
2024年2月26日	セミナー型	医療通訳者から見た外国人患者支援に関するオンラインセミナーを実施し、看護学部学生4名ならびに教員5名が参加
2024年3月18日	オンライン交流	オーストラリアのクイーンズランド大学及びクイーンズランド工科大学のオンライン留学体験を実施し、デザイン学部学生3名ならびに看護学部学生1名が参加

6 サテライトキャンパスの利用状況

利用目的	利用件数
講演会・セミナー	27
会 議	※内訳 会議（学内者のみ）33 産学連携・会議（学外者を含む）32 65
研究会・学会	288
そ の 他	2
合計	382



V キャリア支援活動

1 デザイン学部

1) 概要

デザイン学部キャリア支援委員会は、デザイン学部の学生を対象としたキャリア支援の取り組みを図る目的で2008年4月に設立された。本委員会は、定例会議（毎月1回程度）において学生の支援方法及び企業へのPR・求人開拓活動などを協議し、コース毎の独自企画と連携しながら運営を行った。

また、同時に開設されたキャリア支援室では、教職員による就職相談体制を整えるとともに、専門の就職相談員1名を配置し、きめ細かな個別指導を行っている。2020年度以降は、対面だけではなくオンラインによる相談体制も整備し、後援会からの支援を受けた就職活動支援の取組も行っている。活動実績の詳細については以下のとおりである。

学部4年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導（就職相談、面接・履歴書・ES対策など）（2023年4月～） ・学内企業説明会の開催（随時） ・求人情報の提供（随時）
学部3年生への支援 大学院1年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・OB・OGイベントを含むキャリアガイダンス（2023年4月～2024年1月） ・デザイン学部専門教育科目「キャリアデザイン」（2023年10月～2024年1月） ・進路希望調査（2023年9月） ・学内業界セミナーの開催（随時） ・求人情報の提供（随時） ・インターンシップ・企業実習情報の提供（随時）
学部2・3年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・スケッチ講習会の開催（2023年10月） ・ワークショップ型インターンシップ体験の開催（2023年12月） ・ポートフォリオ作成支援（随時）
後援会からの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・エントリーシート個別相談会の開催（2023年12月） ・履歴書用証明写真撮影補助（2023年6月・2023年10月） ・模擬面接（2024年1月～2月）

2) 支援体制

デザイン学部のキャリア支援は、キャリア支援委員会の委員、2コースのゼミ担当教員及び事務局（学生課学生支援係キャリア支援担当、就職相談員）が行っている。主な役割分担として、事業の企画・運営は本委員会の委員が、就職先の開拓は全教員及びキャリア支援担当が、学生相談のうち就職活動に関わることはキャリア支援室の就職相談員及びキャリア支援担当がそれぞれ行っている。



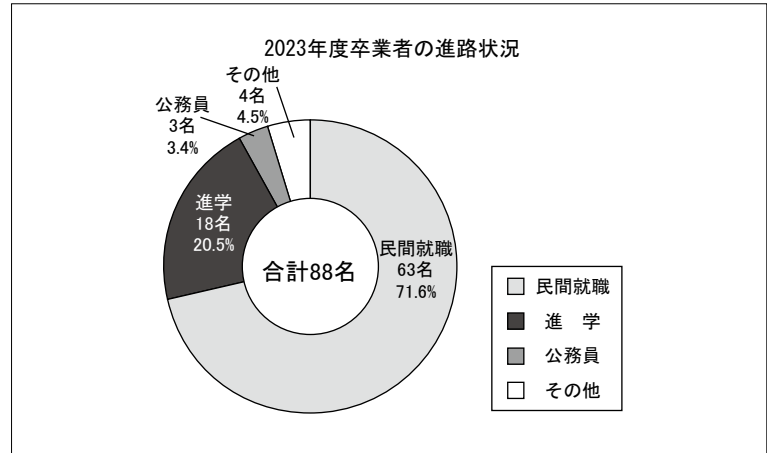
3) 就職・進学結果
(15期生) 2024年3月卒業生

就職先	<p>■農業・林業 有北海道ハイジ牧場</p>
	<p>■建設 株AQ Group/株アラゼン/株オープンハウス・ディベロップメント/住研ハウス株/積水ハウス株/株創造設計舎/株東洋設計事務所/日本都市設計株/フィールド・クラブ株/株ロゴスホーム</p>
	<p>■製造業 アイリスオーヤマ株/株イチムラ/株コナミアミューズメント/佐藤水産株/総合商研株/ホシザキ北海道株</p>
	<p>■情報通信業（放送・ゲームソフト・インターネット関連・映像制作等） DMG MORI Digital株/exsa株/株Sun Asterisk/TOPPANエッジ株/株ヴィレッジ/株キューブシステム/クリナップソリューション株/株クレイジー・ティブイ/ゲームドゥ有/株ジャパンテクニカルソフトウェア/株テレビマンユニオン/株ディンパス/株電通デジタルアンカー/トランスコスモス株/日本放送協会/株ファーストコネクト/ビットスター株/ベース株</p>
	<p>■運輸業・郵便業 佐川急便株/西日本旅客鉄道株</p>
	<p>■卸売業・小売業 株freefleafripe/有阿寒リゾートマネージメント民芸のえぞりす/株北一硝子/株キムラ/札幌ファニシング株/株セコマ/株大丸松坂屋百貨店/株ニトリ/株リライアブル</p>
	<p>■金融業・保険業 株北海道銀行</p>
	<p>■不動産業 NTTアーバンバリューサポート株</p>
	<p>■専門・技術サービス業（デザイン業・広告業等） 有3KG/株AIS北海道/株NDPマーケティング/株WAKEL/アットアロマ株/国豊積算株/株ブロッコリー/株三越伊勢丹プロパティ・デザイン</p>
	<p>■サービス業 株丹青社/株テレポートモバイル/株北海道シミズ/北海道バリュースコープ株</p>
<p>■公務 小樽市/札幌市</p>	
進学先	札幌市立大学大学院/北海道芸術デザイン専門学校/北海道大学大学院工学院

(15期生) 札幌市立大学デザイン学部 2023年度卒業生 就職状況 (2024年7月1日現在)

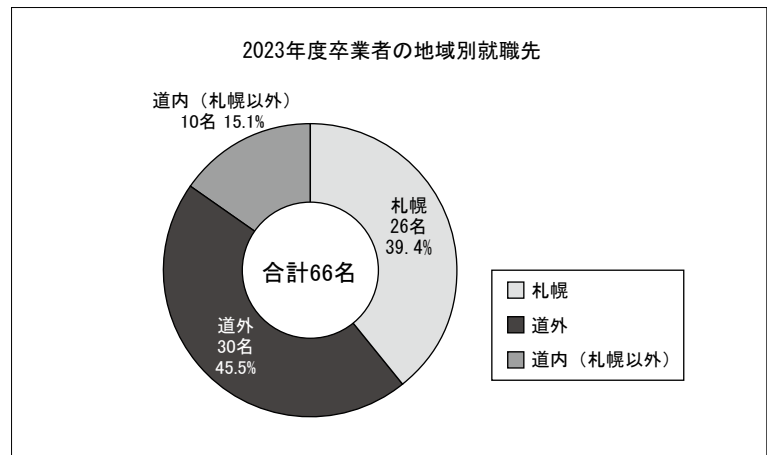
進路状況

進路状況	人数	割合
民間就職	63名	71.6%
進学	18名	20.5%
公務員	3名	3.4%
その他	4名	4.5%
合計	88名	—



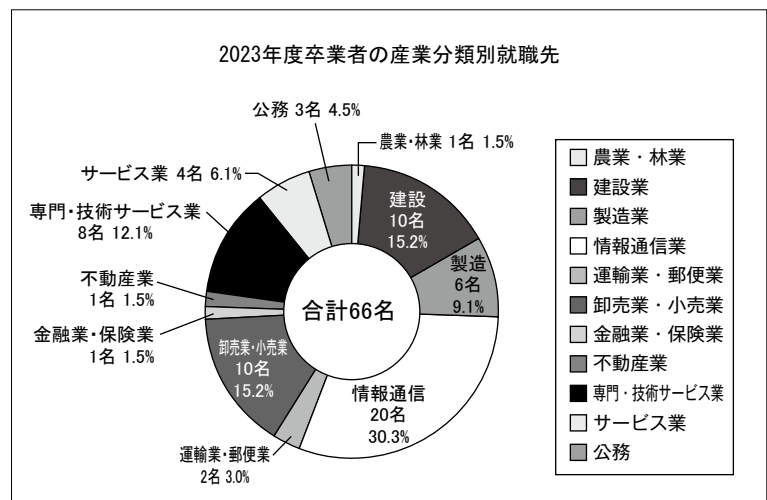
地域別就職先

地域別就職先	人数	割合
札幌	26名	39.4%
道外	30名	45.5%
道内 (札幌以外)	10名	15.1%
合計	66名	—



産業分類別就職先

産業分類	人数	割合
農業・林業	1名	1.5%
建設業	10名	15.2%
製造業	6名	9.1%
情報通信業	20名	30.3%
運輸業・郵便業	2名	3.0%
卸売業・小売業	10名	15.2%
金融業・保険業	1名	1.5%
不動産業	1名	1.5%
専門・技術サービス業	8名	12.1%
サービス業	4名	6.1%
公務	3名	4.5%
合計	66名	—





4) コース別概要

(15期生) 札幌市立大学デザイン学部 2023年度卒業生 (2024年7月1日現在)

1. コース別進路状況

コース	卒業生数①	1. 就職希望		就職者 (起業含)		2. 進学希望		3. その他 ⑥※2
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤	
人間空間	50	33	3	33	3	15	15	2
人間情報	38	34	0	33	0	3	3	1
合計	88	67	3	66	3	18	18	3
割合		76.1%	4.5%	98.5%	4.5%	20.5%	100.0%	3.4%
		②÷①		③÷② ※1		④÷①	⑤÷④ ※3	⑥÷①

(備考)

※1: 就職希望者に対する就職者の割合

※2: 就職希望・進学希望以外の者 (アルバイト・公務員浪人等、将来的な就職に関する進路選択をしたもの)

※3: 進学希望者に対する進学先決定者の割合

2. 内定先の内訳 (市内24社26名、道内10社10名、道外28社30名)

コース	道内企業 (札幌市内含む)	道外企業
人間空間	市内 (株)freefleafripe [卸・小売: 販売職] (株)WAKEL [専門・技術: WEBマーケティング] (株)アラゼン [建設: 施工管理職] 札幌市 [公務: 造園職] (2名) 札幌ファニッシング(株) [卸・小売: 一般職] (株)セコマ [卸・小売: 総合職] (株)電通デジタルアンカー [情報通信: 広告運用] (株)ニトリ [卸・小売: 総合職] 日本都市設計(株) [建設: 設計職] (株)北海道銀行 [金融・保険: 特定職] (株)北海道シミズ [サービス: 設計職]	(株)AQ Group [建設: 総合職] NTTアーバンバリューサポート(株) [不動産: プロパティマネジメント] (株)オープンハウス・ディベロップメント [建設: 建築技術職] 国豊積算(株) [専門・技術: 積算職] (株)クレイジー・ティブイ [情報通信: ディレクター] 佐川急便(株) [運輸・郵便: セールスドライバー職] 積水ハウス(株) [建設: 設計職] (株)丹青社 [サービス: デザイン職]
	道内 (有)阿寒リゾートマネジメント民芸のえぞりす [卸・小売: 木彫職] 小樽市 [公務: 建築職] 住研ハウス(株) [建設: 営業職] (株)創造設計舎 [建設: 施工管理職] (株)ロゴスホーム [建設: 設計職]	(株)大丸松坂屋百貨店 [卸・小売: 総合職] (株)テレビマンユニオン [情報通信: 総合職] (株)テレポートモバイル [サービス: 総合職] (株)ディンプス [情報通信: プランナー] (株)東洋設計事務所 [建設: 建築意匠設計職] トランスコスモス(株) [情報通信: 総合職] 日本放送協会 [情報通信: 地域職員] (株)三越伊勢丹プロパティ・デザイン [専門・技術: 設計職]



コース	道内企業（札幌市内含む）	道外企業
人間情報	市内 (有)3KG〔専門・技術：グラフィックデザイナー〕 (株)AIS北海道〔専門・技術：インフラエンジニア〕 DMG MORI Digital(株)〔情報通信：技術開発職〕 (株)NDPマーケティング〔専門・技術：総合職〕 (株)キムラ〔卸・小売：営業職〕 ビットスター(株)〔情報通信：プランナー〕 ゲームドゥ(有)〔情報通信：プランナー〕 佐藤水産(株)〔製造：総合職〕 (株)ジャパンテクニカルソフトウェア 〔情報通信：WEB制作〕 (株)セコマ〔卸・小売：総合職〕 総合商研(株)〔製造：デザイナー〕 (株)ファーストコネクト〔情報通信：総合職〕 ホシザキ北海道(株)〔製造：事務職〕 北海道バリュースコープ(株)〔サービス：総合職〕	exsa(株)〔情報通信：CGアニメーター〕 (株)Sun Asterisk〔情報通信：デザイナー〕 TOPPANエッジ(株)〔情報通信：総合職〕 アットアロマ(株)〔専門・技術：総合職〕 アイリスオーヤマ(株)〔製造：商品開発職〕 (株)ヴィレッジ 〔情報通信：アシスタントディレクター〕 (株)キューブシステム〔情報通信：SE職〕 クリナップソリューション(株)〔情報通信：SE職〕 (株)コナミアミューズメント〔製造：デザイナー〕 トランスコスモス(株) 〔情報通信：営業サポート職、デジタルマーケティング職〕（2名） 西日本旅客鉄道(株)〔運輸・郵便：運転士〕 (株)ブロッコリー〔専門・技術：企画職〕 ベース(株)〔情報通信：エンジニア職〕
	道内 (株)イチムラ〔製造：総合職〕 (株)北一硝子〔卸・小売：総合職〕 フィールド・クラブ(株)〔建設：デザイン職〕 (有)北海道ハイジ牧場〔農業・林業：牧場スタッフ〕 (株)リリアブル〔卸・小売：総合職〕	
小計	34社 36名	28社 30名
合計	62社 66名	

3.進学状況（大学院17名、その他1名）

コース	進学先	
人間空間	大学院	札幌市立大学大学院12名、北海道芸術デザイン専門学校1名、北海道大学大学院工学院2名
	研究生	
	その他	
人間情報	大学院	札幌市立大学大学院3名
	研究生	
	その他	
合計	大学院	17名 研究生 0名 その他 1名



2 看護学部（助産学専攻科含む）

1) 概要

看護学部キャリア支援委員会は、学生の進路相談や就職活動、国家試験への支援だけでなく、就職後の支援も視野に入れ、学生を支援する体制を整えている。

看護学部における支援体制には、①進路相談、②就職活動支援、③国家資格試験対策、④卒業後のキャリア支援の4つの取組を軸に、次のような活動の企画・運営を行っている。①看護学部キャリア支援相談室の管理・運営、②進路希望調査の実施、③看護学部キャリア支援・進路活動ガイダンスの実施、④各種就職・進学説明会の開催、⑤国家試験自主ゼミの組織化、⑥国家試験受験に向けたガイダンスの実施。

学生のニーズ調査に基づき、経験豊富な看護管理者を模擬面接官として招聘した「模擬面接プログラム」を実施し、参加学生から好評価を得ている。

また、卒業生を対象としたシャトル研修を実施し、卒後のキャリア支援を行った。

これらの活動が学生のニーズに合う内容であること及び学生の将来に有用な指針を示すものであることを念頭に、進路希望調査の結果など学生の声を重視し、計画立案に反映させながら支援を行っている。

2) 支援体制

看護学部キャリア支援委員9名により、次の表のとおり年間活動計画及び進路相談などを行った。また、学生による国家試験対策自主ゼミグループを組織し、自主ゼミリーダー会議を定期的に開催した。

月	4年次生、助産学専攻科生	3年次生
4月	前期ガイダンス	
	進路希望調査 模擬面接	
5月	模擬面接 看護師模試①	
6月	国家試験ガイダンス	
7月		
8月	再学修セミナー 保健師模試①	進路活動ガイダンス 特別講義（就職活動への心構え）
9月	後期ガイダンス	
10月	看護師模試② 助産師模試① シャトル研修	進路希望調査 国家試験対策自主ゼミ結成
11月	保健師模試② 国家試験説明会 国家試験直前対策講座	特別講義（採用試験対策講座）
12月	助産師模試②	
1月	看護師模試③ 保健師模試③	
2月	国家試験受験事前説明会 スキルアップトレーニング	特別講義（マナー講座・履歴書対策講座） 低学年用国家試験模試
3月	卒業・修了前ガイダンス 特別講義（就労支援）	学内キャリア説明会 特別講義（面接対策講座）



3) 就職・進学結果

① 進路状況

(単位：名)

	卒業者数	就職希望者数 (a)	進学者数	就職者数 (b)	内定率 (%) (b/a)
看護学部	79	75	4	75	100.0
助産学専攻科	9	9	0	9	100.0

② 就職者の職種

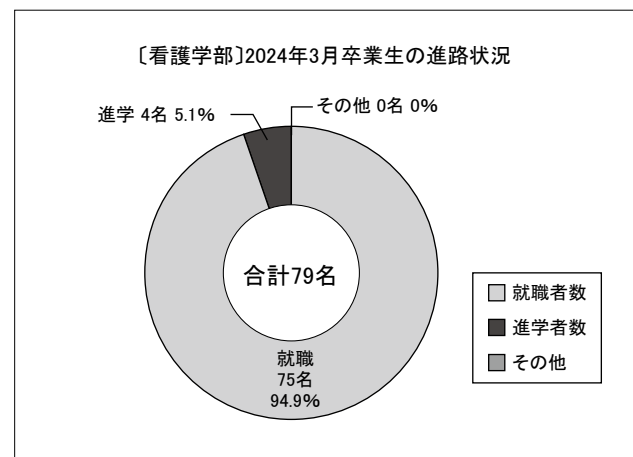
(単位：名)

看護師	68
保健師	6
助産師	9
その他	1
合計	84

2024年3月卒業生・修了生

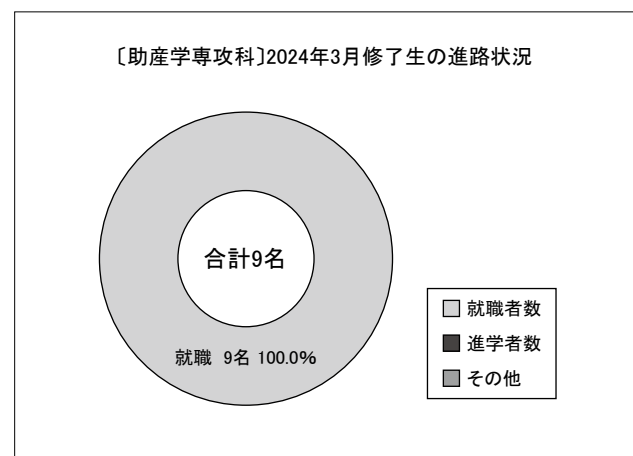
看護学部

進路状況	人数(名)	割合(%)
就職	75	94.9
進学	4	5.1
その他	0	0.0
合計	79	—



助産学専攻科

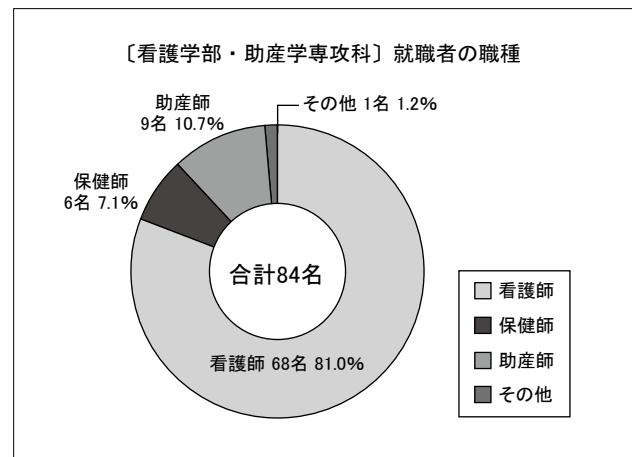
進路状況	人数(名)	割合(%)
就職	9	100.0
進学	0	0.0
その他	0	0.0
合計	9	—





看護学部・助産学専攻科

産業分類	人数(名)	割合(%)
看護師	68	81.0
保健師	6	7.1
助産師	9	10.7
その他	1	1.2
合計	84	—



4) 国家試験の結果

(単位：名)

	出願者数(名)	受験者数(名)	合格者数(名)	合格率(%)
看護師	79	79	78	98.7
保健師	30	30	30	100.0
助産師	9	9	9	100.0



3 デザイン研究科

1) 就職・進学結果

(13期生) 札幌市立大学 (デザイン研究科博士前期課程) 2023年度修了生

就職先	■建設業 (株)アトリエブンク/菊池建設(株)/大成建設(株)/(株)竹中工務店/(株)日建設計/(株)長谷工コーポレーション/前田建設工業(株)/(株)松田・平田設計
	■製造業 旭化成建材(株)/タカラベルモント(株)/パナソニック サイクルテック(株)
	■卸売業・小売業 (株)JR東日本クロスステーション/(株)TOWAE Design Office/(株)ビックカメラ
	■専門・技術サービス業 (デザイン業・広告業等) (株)J ONE/(株)クラグラ/フリーランス

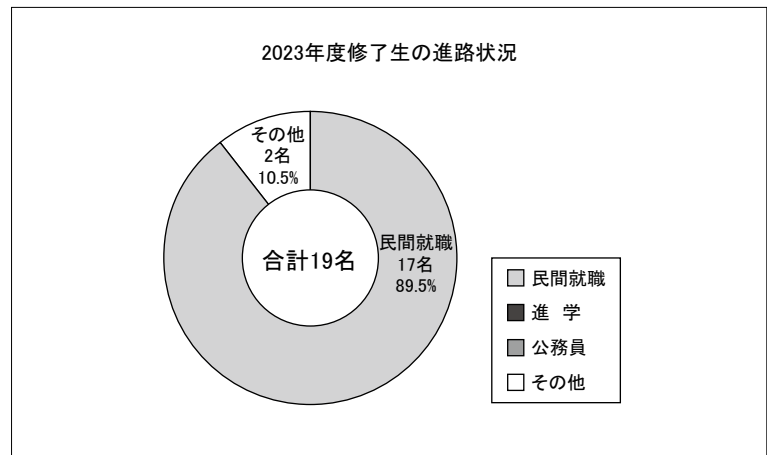
(10期生) 札幌市立大学 (デザイン研究科博士後期課程) 2023年度修了生

就職先	■教育・学習支援業 富山大学
-----	--------------------------

(13期生) デザイン研究科博士前期課程 2023年度修了者 就職状況

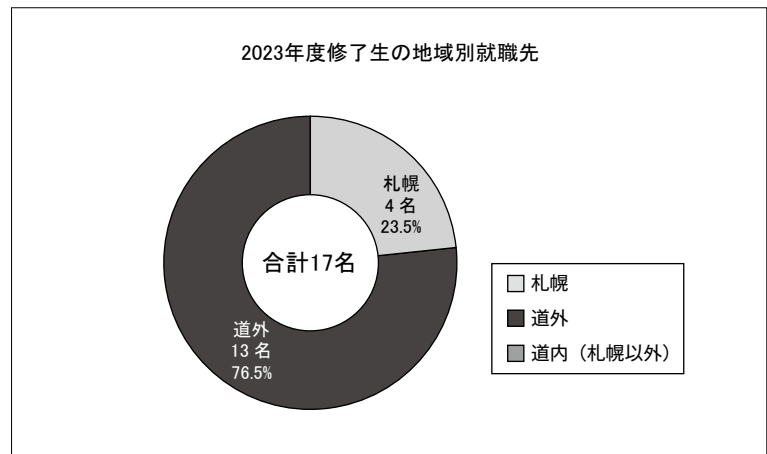
進路状況

進路状況	人数	割合
民間就職	17名	89.5%
その他	2名	10.5%
合計	19名	—



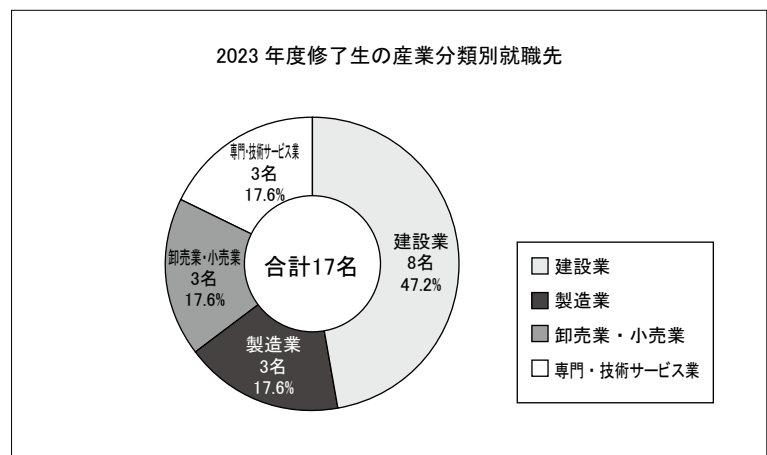
地域別就職先

地域別就職先	人数	割合
札幌	4名	23.5%
道外	13名	76.5%
合計	17名	—



産業分類別就職先

産業分類	人数	割合
建設業	8名	47.2%
製造業	3名	17.6%
卸売業・小売業	3名	17.6%
専門・技術サービス業	3名	17.6%
合計	17名	—





2) 進路決定状況概要

1.進路状況

(13期生) 札幌市立大学デザイン研究科博士前期課程 2023年度修了者

(単位:名)

	修了生数①	1. 就職希望		就職者(起業含)※1		2. 進学希望		3. その他
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤※3	⑥※2
人数	19	18	0	17	0	0	0	1
割合	100.0%	94.7%	0.0%	94.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
	①÷①	②÷①		③÷②		④÷①	⑤÷④	⑥÷①

(10期生) デザイン研究科博士後期課程 2023年度修了者

(単位:名)

	修了生数①	1. 就職希望		就職者(起業含)※1		2. 進学希望		3. その他
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤※3	⑥※2
人数	1	1	0	1	0	0	0	0
割合	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	①÷①	②÷①		③÷②		④÷①	⑤÷④	⑥÷①

(備考)

※1: 就職希望者に対する就職者の割合

※2: 就職希望・進学希望以外の者(社会人学生、アルバイト・公務員浪人、将来的な就職に関する進路選択をしたもの等)

※3: 進学希望者に対する進学先決定者の割合

2.内定先の内訳(市内4社4名、道内0社0名、道外14社14名)

コース	道内企業(札幌市内含む)		道外企業
デザイン専攻	市内	(株)TOWAE Design Office [卸・小売] (株)アトリエブク [建設:設計職] (株)クラグラ [専門・技術:デザイナー] フリーランス [専門・技術]	(株)J ONE [専門・技術] (株)JR東日本クロスステーション [卸・小売:総合職] 旭化成建材(株) [製造:技術職] 菊池建設(株) [建設:建築計画職] 大成建設(株) [建設:設備設計職] タカラベルモント(株) [製造:営業総合職] (株)竹中工務店 [建設:施工管理職] 富山大学 [教育・学習支援:特命助教] (株)日建設計 [建設:技術系総合職] (株)長谷工コーポレーション [建設:技術職] パナソニック サイクルテック(株) [製造:技術職] (株)ビックカメラ [卸・小売:営業職] 前田建設工業(株) [建設:施工管理職] (株)松田・平田設計 [建設:設計職]
	道内		
小計	4社 4名		14社 14名
合計	18社 18名		

3.進学状況(大学院0名)

課程	進学先			小計(名)
デザイン研究科博士前期課程	大学院			0
	研究生			0
	その他			0
合計	大学院博士後期課程 0名	研究生 0名	その他 0名	0



VI 令和6年度入学者選抜結果

1 デザイン学部・看護学部

1) 入学者選抜要項

① アドミッション・ポリシー

【全学部共通アドミッション・ポリシー】

本学は、教育研究上の理念、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、以下の方針を定め、入学者を受け入れます。

<求める学生像>

- 1 人間重視を理解し、自身の専門性を生かして未来を創造しようとする姿勢をもつ人
- 2 人々の幸福や地域社会の持続的な発展に貢献しようとする意志をもつ人
そのため、本学は、高等学校等における基礎学力、課外活動等によって培われた協調性及び責任感のある人を求めています。入学者には、日ごろから、生命、人間及びその生活に興味・関心を持ち、地域社会が抱える課題の発見や解決に向けて、日々の学修の中で幅広い知識・思考力・判断力・表現力を身につけるとともに、多様な人々と協同するためのコミュニケーション能力を備え、学ぶ意欲があることが求められます。

<入学者選抜の在り方>

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、複数の選抜区分により行う。
- 2 入学者に求める基礎学力の水準は、大学入学共通テストの成績、調査書等で測る。
- 3 各学部が求める能力等は、個別試験で測る。

【デザイン学部アドミッション・ポリシー】

<求める学生像>

- 1 人間重視の姿勢を持ち、デザインを通して社会に貢献しようとする姿勢をもつ人
- 2 豊かな感性と見識をもって、主体的かつ協同して未来のデザインを創造することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域活性化のリーダーとして文化・産業の発展に寄与する意志をもつ人
これらの学生像は、高等学校等における次のような学習により導かれるものです。
 - ・「国語」及び「英語」において、基本的な読解力とコミュニケーション力を身につけること。
 - ・「数学」及び「理科」において、論理的思考力や、自然科学に対する教養を身につけること。
 - ・「社会」において、人間と社会の諸問題に関心をもつこと。
 - ・「芸術（美術・音楽等）」や課外活動等において、美や文化を理解する感性を育むこと。

<入学者選抜の在り方>

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、特別選抜（社会人・私費外国人留学生）及び3年次編入学で行う。
- 2 入学者に求める基礎学力の水準は、選抜区分ごとに、大学入学共通テスト、英語の資格・検定試験、個別試験の成績及び調査書を組み合わせて測る。
- 3 観察力、想像力、思考力、判断力、表現力、自分の考えを他者へ伝える力は、個別試験のデザイン総合問題やグループワーク・個別発表で測る。
- 4 専門分野への関心、主体性（学習意欲、目的意識等）、社会性（コミュニケーション能力等）は、個別試験の面接やグループワークで測る。
- 5 3年次編入学では、面接に加え、学修・研究成果、適性等を口頭試問で測る。

<入学者選抜方法>

- 1 一般選抜は、大学入学共通テスト（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）と個別試験（デザイン総合問題、面接）により行う。配点は、大学入学共通テストを800点、個別試験を



- 300点とする。
- 2 学校推薦型選抜は、個別試験（デザイン総合問題、面接）により行う。デザイン総合問題と面接の配点は、それぞれ200点とする。
 - 3 総合型選抜は、個別試験（グループワーク・個別発表）により行う。グループワークと個別発表の配点は、それぞれ200点とする。
 - 4 特別選抜（社会人・私費外国人留学生）は、個別試験（デザイン総合問題、面接）により行う。デザイン総合問題と面接の配点は、それぞれ200点とする。
 - 5 3年次編入学は、面接・口頭試問、英語の資格・検定試験により行う。配点は、面接・口頭試問を300点、英語の資格・検定試験を100点とする。
 - 6 調査書等の提出書類は、面接やグループワークの際の参考資料とするとともに選抜の総合的な判定資料とする。

【看護学部アドミッション・ポリシー】

<求める学生像>

- 1 人々の健康・心・暮らしに関心をもち、生命の尊厳を理解しようとする姿勢をもつ人
 - 2 豊かな感性と探究心をもって、柔軟に物事を考え、自主的に学修できる人
 - 3 他者と協調し、信頼関係を築くことができ、積極的に地域に貢献する意志をもつ人
- このため看護学部では、高等学校等における「国語」「英語」「数学」「理科」などの基礎的な学力及び課外活動等によって培われた協調性や責任感のある人を求めています。

<入学者選抜の在り方>

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、一般選抜、学校推薦型選抜、特別選抜（社会人）で行う。
- 2 入学者に求める基礎学力、読解力、論理的思考力、判断力、表現力、専門分野への関心、主体性、社会性等は、大学入学共通テストの成績及び個別試験で測る。

<入学者選抜方法>

- 1 一般選抜は、大学入学共通テスト及び面接の合計得点を算出する。
- 2 学校推薦型選抜は、小論文及び面接の合計得点を算出する。
- 3 特別選抜（社会人）は、総合問題及び面接の合計得点を算出する。
- 4 調査書等の提出書類は、面接の際の参考資料とするとともに、選抜の総合的な判定資料とする。

② 令和6年度入学者選抜概要

入学定員・募集人員

(単位：名)

学部・学科名	入学定員	募集人員				
		一般選抜 前期日程	学校推薦型 選抜	総合型選抜	特別選抜 (社会人)	特別選抜 (私費外国 人留学生)
デザイン学部 デザイン学科	90	57	25	8	若干名	若干名
看護学部 看護学科	85	48	37	—	若干名	—



選抜日程

選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
一般選抜 前期日程	2024年1月22日 ～2月2日	2024年2月25日	2024年3月8日 【入学手続期間】 2024年3月8日～15日
学校推薦型選抜	2023年11月1日～6日	2023年11月18日	2023年12月4日 【入学手続期間】 2023年12月4日～11日
総合型選抜（※）	2023年9月1日～7日	2023年10月7日	2023年11月1日 【入学手続期間】 2023年11月1日～8日
特別選抜（社会人）	デザイン学部 2023年11月1日～6日	デザイン学部 2023年11月18日	デザイン学部 2023年12月4日 【入学手続期間】 2023年12月4日～11日
	看護学部 2023年8月2日～8日	看護学部 2023年9月2日	看護学部 2023年9月19日 【入学手続期間】 2023年9月19日～26日
特別選抜 （私費外国人留学生）（※）	2024年1月22日～31日	2024年2月25日	2024年3月8日 【入学手続期間】 2024年3月8日～15日

（※）は、デザイン学部のみ実施

試験会場

学部・学科名	試験会場
デザイン学部デザイン学科	芸術の森キャンパス
看護学部看護学科	桑園キャンパス



選抜方法

選抜区分	学部・学科名	選抜方法
一般選抜 前期日程	デザイン学部 デザイン学科	大学入学共通テスト及び本学が実施する個別試験の成績並びに調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。ただし、看護学部においては、面接の得点が一定基準以下の場合には不合格とすることがある。
	看護学部 看護学科	
学校推薦型選抜	デザイン学部 デザイン学科	デザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接、提出書類を総合的に判定して行う。
	看護学部 看護学科	小論文及び面接の成績、提出書類を総合的に判定して行う。ただし、小論文か面接いずれかの得点が一定基準以下の場合、不合格とすることがある。
総合型選抜	デザイン学部 デザイン学科	講義1・講義2に基づいた2回のグループワーク、個別発表（レポート作成、口頭試問含む）、提出書類を総合的に判定して行う。
特別選抜（社会人）	デザイン学部 デザイン学科	本学が実施するデザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接、提出書類を総合的に判定して行う。
	看護学部 看護学科	総合問題及び面接の成績、提出書類を総合的に判定して行う。ただし、総合問題か面接いずれかの得点が一定基準以下の場合、不合格とすることがある。
特別選抜 （私費外国人留学生）	デザイン学部 デザイン学科	本学が実施するデザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接、提出書類を総合的に判定して行う。

一般選抜試験の大学入学共通テスト及び個別試験の教科・科目

学部・学科名	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テスト		個別試験
		教科	科目名等（略称）	
デザイン学部 デザイン学科	前期日程	国 語	「国」（古文・漢文を含む。）	デザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接
		地 歴 公 民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」「現社」「倫理」「政・経」「倫理、政・経」から1科目	
		数 学	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」の2科目	
		理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目、もしくは「物理」「科学」「生物」「地学」から1科目	
		外国語	「英」（リーディング及びリスニング）	
看護学部 看護学科	前期日程	国 語	「国」（古文・漢文を含む。）	面接
		数 学	「数Ⅰ・数A」	
		理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目、もしくは「物理」「科学」「生物」「地学」から2科目	
		外国語	「英」（リーディング及びリスニング）	



注1) 【デザイン学部】

- ・ 地歴公民について、2科目選択した場合は、第1解答科目を合否判定に利用します。
- ・ 理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）と「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）の両方を選択した場合は、「基礎を付した科目」の得点を利用します。
「基礎を付していない科目」のみを選択した場合は、1科目の得点（2科目選択した場合は第1解答科目の得点）を利用します。

注2) 【看護学部】

- ・ 理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）と「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）の両方を選択した場合には、「基礎を付した科目」の得点を利用します。

注3) 【デザイン学部・看護学部共通】

- ・ 外国語について、「英語」のリーディング及びリスニングの合計得点を利用します。いずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格はありません。ただし、大学入学共通テストの受験上の配慮において、リスニングを免除された者を除きます。

③ 令和6年度3年次編入学者選抜概要

募集人員

(単位：名)

学部・学科名等	募集人員
デザイン学部デザイン学科	若干名

選抜日程・試験会場

学部・学科名	出願期間	試験日	試験会場	合格発表
デザイン学部 デザイン学科	2023年6月16日 ～23日	2023年7月15日	芸術の森キャンパス	2023年7月27日

選抜方法

学部・学科名	選抜方法
デザイン学部 デザイン学科	本学が実施する面接・口頭試問、TOEICのスコア、提出書類を総合的に判定して行う。



2) 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン学部

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜 前期日程	57	125	121	61	61
学校推薦型選抜	25	50	50	25	25
総合型選抜	8	39	30	9	9
特別選抜（社会人）	若干名	0	0	0	0
特別選抜 （私費外国人留学生）	若干名	1	0	0	0

看護学部

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜 前期日程	48	105	98	48	48
学校推薦型選抜	37	91	91	37	37
特別選抜（社会人）	若干名	3	3	1	1

b. 入学者の内訳

(単位：名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	95	40	39	16	28	67
看護学部	86	45	39	2	6	80
合計	181	85	78	18	34	147

② 編入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

(単位：名)

学部	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
デザイン学部	人間空間デザイン	若干名	2	1	0	0
	人間情報デザイン		3	3	0	0
	計	若干名	5	4	0	0



b. 入学者の内訳

(単位：名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	0	0	0	0	0	



2 デザイン研究科・看護学研究科

1) 博士前期課程

i 入学者選抜要項

① アドミッション・ポリシー

【デザイン研究科】

本課程は、地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業・芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜デザイン研究科博士前期課程の求める学生像＞

- 1 デザインに関する基礎知識を備え、豊かな感性と深い見識を持ち、人間重視の視点からデザインの発展に寄与できる人
- 2 各種のデザインを統合し、先導的なプロジェクトを主体的・戦略的に展開することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域を創成していくリーダーとして文化・産業の発展に貢献する意思を持った人

【看護学研究科】

本課程では、広い視野に立って看護学の基盤を学修した個々人の専門性及び学識を深めつつ、看護学の発展、様々な形態での看護の実践及び幅広く地域社会に貢献できる高度で専門的な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜看護学研究科博士前期課程が求める学生像＞

- 1 看護学の基礎知識と総合的な学力を有し、豊かな人間性と高い探究心を持って、自主的・意欲的に看護実践の向上に寄与できる人
- 2 柔軟で論理的な思考を持って保健・医療・福祉の諸問題に積極的に取り組み、問題解決に向けた研究を遂行できる人
- 3 高い倫理観を有し、地域社会や国際社会に貢献する意志と責任感を持った人

② 令和6年度入学者選抜概要

募集人員

(単位：名)

研究科・専攻名	推薦選抜	一般選抜	特別選抜 (社会人)	特別選抜 (私費外国人留学生)
デザイン研究科 デザイン専攻	9	9	若干名	若干名
看護学研究科 看護学専攻	18 (一般選抜、特別選抜を含む)			

※デザイン研究科の特別選抜（社会人・私費外国人留学生）の若干名は、入学定員18名を含む。



選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	2023年6月16日 ～23日	2023年7月15日	2023年7月27日 【入学手続期間】 2023年7月27日～8月2日
	一般選抜	2023年8月25日 ～9月1日	2023年9月23日	2023年10月10日 【入学手続期間】 2023年10月10日～17日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	2024年1月22日 ～29日	2024年2月17日	2024年3月1日 【入学手続期間】 2024年3月1日～7日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	2023年8月9日 ～15日	2023年9月23日	2023年10月10日 【入学手続期間】 2023年10月10日～17日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	2024年1月5日 ～11日	2024年2月3日	2024年2月20日 【入学手続期間】 2024年2月20日～27日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			

試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス

選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	一般選抜	学力検査、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。 ※英語はTOEIC/TOEFLのスコアにより評価する。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	学力検査、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	筆記試験（専門科目）、面接（口頭試問含む）、TOEICのスコア及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	



ii 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン研究科 【第1次・第2次募集合計】 (単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦選抜	9	13	13	12	12
一般選抜	9	12	9	6	6
特別選抜	社会人	若干名	3	2	2
	私費外国人留学生	若干名	5	4	0

看護学研究科 【第1次・第2次募集合計】 (単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
一般選抜	18	5	5	4	4	
特別選抜		社会人	8	8	5	5
		私費外国人留学生	1	1	1	1

b. 入学者の内訳 (単位：名)

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	20	19	1	0	5	15
看護学研究科	10	9	1	0	3	7
合計	30	28	2	0	8	22

2) 博士後期課程

i 入学者選抜要項

① アドミッションポリシー

【デザイン研究科】

＜教育研究の理念＞

本課程は、人間重視を根幹とした高度な教育・研究を実践し、「知と創造の拠点」として地域からの負託に応え、高度の専門知識・技術を基盤に地域社会の発展に寄与します。さらに、高度で先進的な教育・研究の中核機関として機能し、新たな理論構築や技術開発に独創的に取り組み、新たな社会価値の創造を図ることが教育研究の理念です。

＜教育研究の目的＞

本課程は、地域社会に内在する様々な課題をデザインの視点から幅広く発見するとともに、高度な教育・研究の成果を通じて、その解決策を見出し、より豊かな人間生活や地域社会の実現に貢献できる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜デザイン研究科博士後期課程の求める学生像＞

1 柔軟な思考と独創的な視点に立って地域課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて



- 旺盛な探究心を持って自立した研究を遂行できる人
- 2 豊かな感性と深い見識を持ち、高度な教育・研究による成果をもとにデザインの発展に貢献しようとする意識を有する人
 - 3 既成の概念にとらわれず、自立して独自のデザイン理論構築や技術開発に取り組み、新たな社会価値の創造を目指す意欲と実行力を有する人

【看護学研究科】

本課程では、高度な学識と豊かな実践経験を基礎に様々な看護現象の分析や評価を行い、その研究成果をもとに将来を見据えた看護の枠組みを再構築し、システム開発などを行うことができる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜看護学研究科博士後期課程が求める学生像＞

- 1 柔軟な思考と独創的な視点に立って、看護を軸とした諸課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて旺盛な探究心を持って自立した教育・研究を遂行できる人
- 2 保健医療福祉分野における新たな理論構築や技術開発等を通じて、より質の高い看護サービスのあり方を探求する意欲を有する人
- 3 卓越した看護知識と高い倫理観に基づく実践能力を有し、教育・管理能力の研鑽に励み、将来を見据えた保健医療福祉分野の指導者となりうる人

② 令和6年度入学者選抜概要

募集人員 (単位：名)

研究科・専攻名	一般選抜
デザイン研究科 デザイン専攻	3
看護学研究科 看護学専攻	3

選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	2024年1月22日 ～29日	2024年2月17日	2024年3月1日 【入学手続期間】 2024年3月1日～7日
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	2024年1月5日 ～11日	2024年2月3日	2024年2月20日 【入学手続期間】 2024年2月20日～27日

試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス



選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	面接（入学前の研究成果・研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	面接（研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）、TOEICのスコア及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

ii 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況

デザイン研究科

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	0	0	0	0

看護学研究科

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	3	2	2	2

b. 入学者の内訳

(単位：名)

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	0	0	0	0	0	0
看護学研究科	2	2	0	0	0	2
合計	2	2	0	0	0	2



3 助産学専攻科

1) 入学者選抜要項

① アドミッションポリシー

本専攻科は、看護学を基盤に、助産に関する幅広く高度な知識と正確な技術を育み、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目的としています。

これらの目的を達成するために、本専攻科が求める学生像は次のとおりです。

<助産学専攻科が求める学生像>

- 1 「生命の誕生」に、責任を持って真摯に向き合える誠実で優しい人
- 2 看護学を基盤に、倫理観を持ち、主体的に「助産学」を積み重ねることができる人
- 3 広い視野で現代社会をとらえ、母子保健を取り巻くさまざまな課題の解決を追求できる人

② 令和6年度入学者選抜概要

募集人員 (単位：名)

専攻科名	募集人員
助産学専攻科	10

選抜日程

出願期間	試験日	合格発表等
2023年8月2日～8日	2023年9月2日	2023年9月19日 【入学手続期間】 2023年9月19日～26日

試験会場

専攻科名	試験会場
助産学専攻科	桑園キャンパス

選抜方法

専攻科名	選抜方法
助産学専攻科	筆記試験（専門科目（看護学一般）、小論文）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

2) 選抜状況

① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況 (単位：名)

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
10	48	48	14	9

b. 入学者の内訳 (単位：名)

入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
	道内		道外	男	女
	札幌市内	札幌市外			
9	6	2	1	—	9



VI 附属図書館

1 概要

1) 施設規模

芸術の森キャンパス図書館 延べ床面積／1,480㎡
 桑園キャンパス図書館 延べ床面積／519㎡

2) 図書・雑誌・視聴覚資料・電子ジャーナル・電子書籍所蔵数

(2024年3月31日現在)

図書館の名称	図書の冊数				電子書籍の タイトル数	雑誌の種数		
	和書	洋書	視聴覚資料	計	電子書籍	和雑誌	洋雑誌	電子 ジャーナル
芸術の森 キャンパス図書館	74,862	9,829	2,342	87,033	—	337	16	0
桑園 キャンパス図書館	42,548	1,989	721	45,258	—	354	8	5
合計	117,410	11,818	3,063	132,291	603	691	24	5

3) 2023年度年間受入状況

区分			和	洋	計
芸術の森 キャンパス 図書館	図書 (冊)	購入	1,796	25	1,821
		寄贈	42	1	43
		計	1,838	26	1,864
	雑誌 (種)	購入	54	2	56
		寄贈	44	0	44
		計	98	2	100
桑園 キャンパス 図書館	図書 (冊)	購入	1,111	12	1,123
		寄贈	13	0	13
		計	1,124	12	1,136
	雑誌 (種)	購入	54	1	55
		寄贈	28	1	29
		計	82	2	84



2 利用状況

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開館時間を短縮し、6月30日まで利用者を学内関係者に限定した。

1) 開館時間・休館日

開館時間	平 日：芸術の森キャンパス図書館 午前9時～午後7時 桑園キャンパス図書館 午前9時～午後10時 大学の長期休業期間中：午前9時～午後5時
休館日	土曜・日曜・祝日・年末年始

2) 利用資格

18歳以上の方

※6月30日まで学内関係者のみ

3) 貸出冊数・期間

利用者	貸出冊数	貸出期間
学部生・大学院生・ 専攻科生 (科目等履修生、研究生 を含む)	10冊	図書：2週間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間 ※登校禁止の期間については、返却期限を延長した。
教職員	無制限	図書：2ヶ月間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間
市民等学外者	3冊	図書：2週間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可）

4) 年間利用者数・貸出冊数等

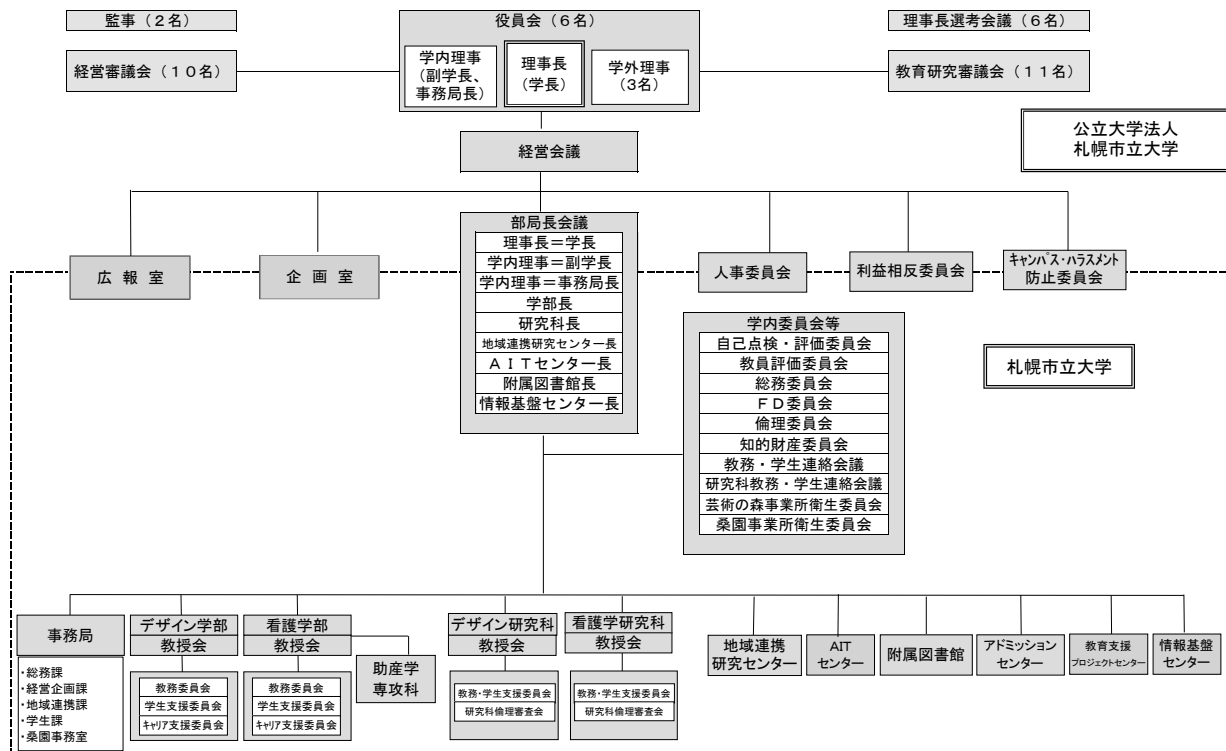
図書館の 名称	利用者	開館 日数	入館 者数	貸出 人数	貸出 冊数	ILL件数	
						受付	依頼
芸術の森 キャンパス図書館	学生・ 教職員	238	5,046	2,089	5,134	15	45
	市民等 学外者	176	335	110	223	—	—
桑 園 キャンパス図書館	学生・ 教職員	238	9,027	2,636	6,307	194	504
	市民等 学外者	176	282	75	169	—	—
合計		—	14,690	4,910	11,833	209	549

ILL：Inter-Library Loan（相互貸借）



VIII 法人・学内運営の概要

1 2023年度 公立大学法人札幌市立大学 組織図



2 役員会及び審議会の審議状況

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第1回	(1) 2022年度決算及び事業報告書 (2) 2022年度計画の実績報告について (3) 2024年度以降における毎年度の計画と自己点検・評価について	(1) 2022年度計画の実績報告について (2) 2024年度以降における毎年度の計画と自己点検・評価について	(1) 2022年度決算及び事業報告書 (2) 2022年度計画の実績報告について (3) 2024年度以降における毎年度の計画と自己点検・評価について
第2回	(1) 第四期中期目標(案)に対する意見の有無について	(1) 第四期中期目標(案)に対する意見の有無について	(1) 第四期中期目標(案)に対する意見の有無について
第3回	(1) 2024年度予算編成方針 (2) 道内最低賃金の引き上げに伴う契約職員給与の改定について (3) 退職手当規程改正について	(1) 教員の再任 (2) 地域連携研究センターの名称変更に伴う規則・規程改正について	(1) 2024年度予算編成方針



回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第4回	(1) 公立大学法人札幌市立大学教職員の給与に関する規程の一部を改正する規程案について	(1) 第四期中期計画の認可申請について (2) デザイン学部アドミッション・ポリシーの改正について (3) 各研究科3ポリシーの変更に ついて	(1) 公立大学法人札幌市立大学教職員の給与に関する規程の一部を改正する規程案について
第5回	(1) 業務方法書の改正について (2) 第四期中期計画の認可申請について	(1) 教員の不再任について	(1) 業務方法書の改正について (2) 第四期中期計画の認可申請について
第6回	(1) 認証評価結果（案）に対する意見申立ての有無について	(1) 教員の不再任について	(1) 部局長人事について
第7回	(1) 2024年度（令和6年度）予算について (2) 契約職員の給与に関する規程等の改正について (3) 広報室長を部局長に位置付けることに伴う関係規程の改正及び人事案について (4) 専任教員・非常勤教員の無期労働契約転換に係る学内規程整備について (5) 授業料及び入学料の免除等に関する規程等の改正について	(1) 認証評価結果（案）に対する意見申立ての有無について	(1) 2024年度（令和6年度）予算について
第8回	—	(1) 部局長人事について	—
第9回	—	(1) 広報室長を部局長に位置付けることに伴う関係規程の改正及び人事案について (2) 専任教員・非常勤教員の無期労働契約転換に係る学内規程整備について (3) 公立大学法人札幌市立大学履修等に関する規則の改正について (4) 札幌市立大学大学院学則及び公立大学法人札幌市立大学大学院デザイン研究科履修等に関する規則の改正について (5) 令和7年度以降入学者看護学部学校推薦型選抜試験の配点の変更について	—



3 役員会及び審議会委員名簿（2023年4月1日現在）

1) 役員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	学長
理事（常勤）	松浦 和代	副学長
理事（常勤）	小野 聡	事務局長
理事（非常勤）	安田 光春	株式会社北洋銀行 取締役頭取
理事（非常勤）	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授
理事（非常勤）	大友 裕之	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
監事（非常勤）	橋場 弘之	田村・橋場法律事務所（札幌市任命）
監事（非常勤）	谷口 雅子	谷口雅子公認会計士事務所（札幌市任命）

2) 経営審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	
理事	松浦 和代	
理事	安田 光春	株式会社北洋銀行 取締役頭取
理事	大友 裕之	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
事務局長	小野 聡	
学外委員	木村 義広	一般財団法人さっぽろ産業振興財団 専務理事
学外委員	花井 秀勝	フュージョン株式会社 代表取締役会長
学外委員	水落 隆志	札幌商工会議所常務理事・事務局長
学外委員	町野 和夫	北海道大学大学院経済学研究院 教授
学外委員	高橋 久美子	公益財団法人北海道看護協会会長

3) 教育研究審議会委員

役職	氏名	現職
学長	中島 秀之	
理事	松浦 和代	
デザイン学部長	椎野 亜紀夫	
看護学研究科長	菊地 ひろみ	
デザイン研究科長	齊藤 雅也	
附属研究所長	石井 雅博	
附属図書館長	川村 三希子	
事務局長	小野 聡	
学外委員	前田 弘志	バナナムーン・ステュディオ代表
学外委員	石井 知子	札幌市教育委員会委員
学外委員	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授
学外委員	黒宮 裕久	市立札幌平岸高等学校



4 経営会議

2023年度は8回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。

5 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月5日	(1) 学内会議等実施報告 (2) サバティカル研修制度の見直しについて
第2回	5月11日	(1) 学内会議等実施報告 (2) サバティカル研修制度の見直しについて (3) 第四期中期計画の文案の確認について
第3回	6月7日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 2024年度以降における毎年度の計画と自己点検・評価について (3) 2022年度計画の実績報告に係る自己点検・評価結果について (4) 学部長（研究科長）の選任に係る関係規程の改正等について (5) 2022年度決算について
第4回	7月5日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 生成系AIツールの授業における利用について
第5回	7月20日	(1) 2022事業年度の実績報告に係るヒアリング回答（案）について
第6回	8月3日	(1) 札幌市地方独立行政法人評価委員会の評価結果（案）に対する意見の有無について
第7回	9月6日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 第四期中期目標（案）に対する意見の有無について (3) 第四期中期計画（案）について (4) 地域連携研究センターの名称変更に伴う規則・規程改正について (5) 学部長（研究科長）の選任に係る関係規程の改正等について (6) 退職手当規程の改正について
第8回	10月4日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 第四期中期計画（案）及び策定スケジュールについて (3) 令和7年度以降各学部一般選抜に係る公表内容の変更について (4) 道内最低賃金の引き上げに伴う契約職員給与の改定について
第9回	11月1日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 第四期中期計画（案）について (3) デザイン学部アドミッション・ポリシーの変更について
第10回	12月6日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 地方独立行政法人法改正への対応について (3) 第四期中期計画の認可申請について (4) 各研究科3ポリシーの変更について
第11回	1月11日	(1) 学内会議等実施報告
第12回	2月7日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 履修等に関する規則の改正について (3) 令和7年度以降入学者に係る看護学部入学者選抜試験（学校推薦型選抜）の変更について (4) 契約職員の給与に関する規程等の改正について (5) 認証評価結果（案）に対する意見申立ての有無について
第13回	3月6日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 大学院学則及びデザイン研究科履修等に関する規則の改正について (3) 無期労働契約転換に係る学内規程整備について (4) 広報室長を部局長とするための関係規定整備について (5) 知的財産委員会規程の廃止について



6 企画室

企画室は、全学ポリシーの策定に関すること、教育改革に関することについて企画・立案し、経営会議へ提案する組織である。2023年度の会議の開催数は11回であった。

主な活動として、新学部等の設置検討を経て、リベラルアーツセンター（仮称）の設置に向けた検討を行った。

7 広報室

広報室は、主に広報戦略の推進に関する事項等を所管している。2023年度の会議の開催数は12回であった。

主な活動として、2024年度版大学案内パンフレットの発行及び2025年度版大学案内パンフレットの検討・制作のほか、大学公式ウェブサイトの管理・更新を行った。また、北海道新聞への広告掲載やJRタワーピラービジョンへの広告掲出、学生広報委員会による広報誌SCUZINEの発行などを行った。

8 教授会

1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、2023年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、2023年度に臨時教授会1回を含む13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

なお、本教授会において、各学内委員会及び学部委員会からの報告も行った。

3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、2023年度に14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、2023年度に臨時教授会4回を含む16回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

9 地域連携研究センター

運営会議（計12回）の開催に加え、地域・産学連携部門、国際交流部門の2セクションに構成員を配置し、公開講座、地域貢献事業、産学連携事業、国際交流活動、知的財産管理、研究活動推進に関する活動、まこまないキャンパスに係わる事業を実施した。主な活動内容は以下のとおりである。



<公開講座>

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした17コース29コマの講座を、延べ836名が受講した。また、ちえりあとの連携講座として延べ78名が受講した。さらに、今年度も北海道立総合研究機構との共催講座「知活（ちいき）ゼミナール」を開催。YouTubeで配信し、延べ851名が視聴した。

<地域・産学連携>

地域からの協力要請に対して、教員・学生が教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動への協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産学官金連携のきっかけを探るために、「ものづくりサステナフェア」「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、SCU産学官金研究交流会を開催するなど、更なるネットワークづくりを図った。

<国際交流>

国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、下記のとおり推進した。

「学生の国際化」

COVID-19以降中止となっていた日台デザイン合同ワークショップが、雲林科技大学で開催され、本学デザイン学部学生6名ならびに教員1名が参加した。華梵大学及び台中科技大学、日本から札幌大谷大学が参加し、有益な交流が図られた。

デザイン学部学生7名と教員3名が、アメリカ・ポートランド市にあるPacific Northwest College of Art (PNCA)、ウィラメット大学を訪問し、ワークショップを行った。PNCAの学生と交流を深め、ポートランド市内でフィールドワークを実施し、帰国後に、成果報告発表会を札幌市内で開催した。

提携校ではないが、オーストラリアのクイーンズランド大学等の学生とオンライン留学体験を実施し、デザイン学部学生3名ならびに看護学部学生1名が交流を行った。

2022年度に引き続き、医療通訳者から見た外国人患者支援に関するオンラインセミナーを実施し、看護学部学生4名ならびに教員5名が参加した。

「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表に関わる補助制度、国際学会誌への投稿を促進する補助制度を実施した。

「提携校との交流の活性化」

台中科技大学との学術交流協定を更新した。同校との学生交流協定に基づき、特別聴講生2名を受け入れた。

ラップランド大学との学生交流協定に基づき、交換留学生1名を派遣した。

PNCA、ウィラメット大学との学生交流協定の締結を検討するため、学部長や国際交流担当教員と意見交換を行った。

「海外とのネットワーク化」

台中科技大学との学術交流協定を更新した。

<知的財産>

学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。イノベーションジャパンへの知的財産シーズ出展などの活動を行った。また、「北海道地域大学等知的財産部門連絡会議」（1回）に参加し、知的財産戦略に関する情報交換等を行った。

<研究推進>

地域や産業界等から依頼された受託研究8件、共同研究11件の受入れを行ったほか、前年度に改善



した学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費・田村ICT基金）制度を実施した。また、両学部
の教員の交流を図るため研究交流会を企画・実施した。

10 AITセンター

AITセンターでは、AIやIT（情報技術）を活用し、地域の課題解決や行政の効率化を目指している。

2023年度の主な活動として、共同研究5件を受け入れ研究に取り組んだ他、市立高校への出張講義
や学外講演の実施、公式ウェブサイトにおいて札幌市中心部の人流データの定期配信等を行った。

11 附属図書館

2023年度は全10回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な
協議内容は、図書館サービス、図書館予算、データベース・電子ジャーナル・購読雑誌の契約検討、
除却、等であった。

SCUジャーナル編集ワーキングでは、研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第17巻」
を2023年9月に発行した。また、第18巻発行に向けて、投稿論文の査読を開始した。

12 アドミッションセンター

アドミッションセンターは、2023年度に9回の会議を開催し、前年度の入試結果の分析、高校訪
問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、
入学者選抜試験に係る現状分析を行った。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会及び高校
訪問等を企画・実施した。

13 教育支援プロジェクトセンター

教育支援プロジェクトセンターは、文部科学省の補助事業や公的機関が実施する事業に関するプロ
ジェクト等を所管しており、「サードレベル部門」「看護コンソーシアム部門」を設け、各部門にお
いて活動を行った。

14 情報基盤センター

情報基盤センターの2023年度は11回の会議を行い、情報セキュリティポリシーの啓発活動とし
て、情報セキュリティに関するFD研修会の実施及び情報セキュリティに関する自己点検を行った。

その他の活動としては、学内のDX推進に向けて、他大学への視察、大学ICT推進協議会への参加
及びMicrosoft365を用いた内製開発ハンズオンを実施した。また、認証基盤システムの検討・整備、
外部業者による情報システム点検を実施した。



15 学内委員会

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や中期計画及び年度計画の進捗管理に関する事項等を所管しており、2023年度は7回開催した。

2023年度の主な活動として、第四期中期計画における自己点検・評価の在り方の検討や2022年度計画の実績報告書（案）の作成を行ったほか、2023年度計画について半期の取組状況の進捗管理を行った。

2) 教員評価委員会

2023年度は委員会を6回開催した。各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた記入要領及び申告書様式等の検証を行った。評価結果については、2023年度末に任期満了を迎える教員の再任審査の資料として活用した。

3) 総務委員会

2023年度は委員会を11回（メール会議5回を含む）開催した。昨年に引き続き、学内の防災訓練関係、学生を対象とした安否確認訓練、夏季及び冬季の節電対策を実施した。

また、保全並びに修繕に関する工事関係等についても検討を行い実施した。

4) FD委員会

FD委員会は、2023年度に7回開催し、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、他部署からの企画も含め学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を行ったほか、授業評価アンケートの集計結果に対する教員所見のとりまとめを行った。

5) 倫理委員会

倫理委員会では、申請された研究計画の倫理的配慮が充分であるか否かについて、人権擁護の観点に基づき審査を行っている。

2023年度は、原則、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計11回開催）。

2012年度から始めた審査方法として、審査資料の事前確認を行い、申請者へ委員のコメントを送付し、最終版の申請書及び資料の提出を委員会開催までに求めている。この審査方法の採用により、審査時間の短縮化、審査申請から研究開始までの迅速化を図っていたが、更に迅速審査を含めて効率化ならびに迅速化を図るため、2020年度から新様式、新審査フローを導入した。

年間の審査申請総数は45件あり、1回当たり平均4.09件の審査を実施した。

審査結果は「承認」、「条件付承認」、「再提出」、「不承認」、「非該当」のいずれかで判定した。

審査の社会的透明性及び客観性を担保すると同時に、申請者や委員に係るリスク管理の保全のため、2011年度から継続して弁護士1名に外部委員として委嘱し、委員会を組織している。

2014年12月告示の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）に基づき、2015年度から人を対象に介入・侵襲を伴う医学系研究の倫理審査を扱う特別審査部門を設置した。この指針において、倫理審査委員会の成立要件として、構成員は「倫理審査委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること」とされていることから、この特別審査部門の外部委員として、前述の弁護士に加え、医師1名を追加で委嘱した（2023年度は、特別審査部門の開催は0回）。

6) 利益相反委員会

利益相反委員会は、産学官連携活動において大学と教職員等が利益相反の疑いを持たれることを防ぎ、大学の社会的信頼の維持を目的として、2016年度に設置された。

2023年度は該当する案件がなかったことから委員会は開催しなかった。



7) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、2023年度に10回開催し、学際教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について審議した。また、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。

8) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、2023年度に3回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項、院生研究支援費に関する事項及び学生生活に関する事項等について審議した。



16 構成員名簿 (2023年4月3日時点)

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎中島 秀之 松浦 和代 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長
	部局長会議	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 石井 雅博 川村 三希子 大淵 一博 高橋 尚人 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 地域連携研究センター長 附属図書館長 情報基盤センター長 AITセンター長 事務局長
	企画室	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	広報室	◎若林 尚樹 大島 卓 金子 晋也 横溝 賢 荒木 奈緒 原井 美佳 伊東 健太郎 武富 貴久子 小野 聡	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 助産学専攻科長 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 事務局長
	人事委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 高橋 尚人 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 AITセンター長 事務局長
	キャンパス・ハラスメント防止委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	利益相反委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	地域連携研究センター	◎石井 雅博 武田 亘明 張 浦華 並木 翔太郎 石田 勝也 福田 大年 松永 康佑 卯野木 健 小田 和美 檜山 明子 岡 園代 黒田 紀子 矢野 祐美子 田仲 里江 高橋 嗣仁	地域連携研究センター長 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課地域連携係長
	図書館	◎川村 三希子 松井 美穂 片山 めぐみ 金 秀敬 松永 康佑 加藤 依子 牧野 夏子 栗原 知己 高橋 嗣仁	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部助教 事務局地域連携課地域連携係長
	教育支援プロジェクトセンター	◎松浦 和代 佐藤 ひとみ 樋之津 淳子 須藤 陽子	副学長 兼 看護学部長 看護学部教授 看護学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長
	アドミッションセンター	◎松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 柿山 浩一郎 藤木 淳 丸山 洋平 金子 晋也 横溝 賢 喜多 歳子 菅原 美樹 工藤 京子 山本 真由美 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園事務室課長補佐



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	情報基盤センター	佐藤 ひとみ 本田 光 ◎大淵 一博 吉田 彩乃 伊関 洋	看護学部教授 看護学部准教授 情報基盤センター長 デザイン学部助教 総務課長
学内委員会 常置委員会	自己点検・評価委員会	松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 ◎石井 雅博 菊地 ひろみ 川村 三希子 小野 聡	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 地域連携研究センター長 看護学研究科長 附属図書館長 事務局長
	教員評価委員会	◎松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 樋之津 淳子 高橋 尚人 小野 聡	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 看護学部教授 AITセンター長 事務局長
	総務委員会	若林 尚樹 武田 亘明 大淵 一博 佐藤 ひとみ 村松 真澄 石引 かずみ ◎小野 聡	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 情報基盤センター長 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 事務局長
	FD委員会	◎細谷 多聞 小宮 加容子 張 浦華 貝谷 敏子 定廣 和香子 鬼塚 美玲 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部教授 看護学部教授 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園事務室課長補佐
	倫理委員会	◎川村 三希子 細谷 多聞 森 朋子 矢久保 空遥 高橋 奈美 三戸部 純子 市戸 優人 高橋 嗣仁	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部助教 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課地域連携係長
	看護学部卒業研究部会	原井 美佳 武富 貴久子 平山 憲吾	看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
連絡調整会議	学部間 教務・学生連絡会議	松浦 和代 ◎椎野 亜紀夫 柿山 浩一郎 藤木 淳 松井 美穂 貝谷 敏子 喜多 歳子 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園事務室課長補佐
	研究科間 研究科教務・学生連絡会議	齊藤 雅也 三谷 篤史 ◎菊地 ひろみ 荒木 奈緒 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学研究科長 助産学専攻科長 事務局学生課長 事務局桑園事務室課長補佐
衛生委員会	芸術の森事業所衛生委員会	森 朋子 ◎須藤 陽子 安藤 貴之 山田 しおり	デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局総務課庶務係員 事務局総務課庶務係員
	桑園事業所衛生委員会	近藤 圭子 西川 めぐみ ◎須藤 陽子 松本 佳代	看護学部助教 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 桑園事務室学生支援係員
学部委員会	デザイン学部 教務委員会	◎藤木 淳 金 秀敬 小林 重人 並木 翔太郎 森 朋子 大淵 一博 須之内 元洋 矢久保 空遥	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 情報基盤センター長 デザイン学部講師 デザイン学部助教
	学生支援委員会	◎柿山 浩一郎 松井 美穂 小宮 加容子 張 浦華 御手洗 洋蔵 石田 勝也 福田 大年 坪内 健	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学部委員会	デザイン学部	◎西川 忠 若林 尚樹 片山 めぐみ 山田 信博 松永 康佑 吉田 彩乃	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教
	教務委員会	◎貝谷 敏子 加藤 依子 菅原 美樹 原井 美佳 本田 光 伊東 健太郎 岡 園代 工藤 京子 黒田 紀子 武富 貴久子 三戸部 純子 矢野 祐美子 坂本 結城 平山 憲吾 高橋 葉子	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手
	看護学部	◎喜多 歳子 村松 真澄 守村 洋 石引 かずみ 鬼塚 美玲 牧田 靖子 山出 誓子 市戸 優人 久保田 祥子 西川 めぐみ 吉田 実和	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部特任講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教
	キャリア支援委員会	◎樋之津 淳子 小田 和美 檜山 明子 牧野 夏子 山本 真由美 大友 舞 栗原 知己 渋谷 友紀 田仲 里江	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
研究科委員会	デザイン研究科 教務・学生支援委員会	◎三谷 篤史 大島 卓 森 朋子 山田 信博 横溝 賢	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授
		金 秀敬 小宮 加容子 ◎丸山 洋平 須藤 陽子	デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長
	看護学研究科 教務・学生支援委員会	◎荒木 奈緒 定廣 和香子 原井 美佳 守村 洋	助産学専攻科長 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授
		◎喜多 歳子 高橋 奈美 牧野 夏子 須藤 陽子	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長

◎印：所管部局長等

17 FD・SD活動

FD活動 年間活動概要（学内研修会）

（単位：名）

全学FD	研修会名	参加者数
7月19日	本学の情報セキュリティポリシーについて	133
7月31日	WEBサイトリニューアル後の改善と記事投稿の仕方について	53
8月3日	2023年度渡航前危機管理オリエンテーション	24
8月8日	科研費獲得ランチョンセミナー 科研費獲得の事例～デザイン分野～	31
8月8日	科研費獲得ランチョンセミナー 科研費獲得の事例～看護分野～	31
8月22日	2023年度札幌市立大学研究交流会	68
11月16日	公立大学における合理的配慮に関する考え方とその対応について	47
3月7日	2023年度 デジタル推進事業の報告について	47
3月21日	ハラスメント防止セミナー	38
3月25日	SCUの連携教育を振り返る	20

（単位：名）

デザイン学部・研究科FD	研修会名	参加者数
5月17日	生成系AIの概要と授業における活用例	45
11月15日	札幌市立大学デザイン学部教職員における学びの提供の観点からのメンタルヘルス対応	49
2月21日	デザイン学部での合理的配慮の考え方とシラバス執筆事例	43



(単位：名)

看護学部・ 研究科FD	研修会名	参加者数
6月21日	若者の市販薬乱用の実態と課題	45
1月17日	DVとは何か、当事者にも傍観者にもならないために	31
3月1日	今どきの学生への模擬患者参加型学習の意味	60
3月21日	本学実習インシデント・アクシデントレポートの実態報告	30

SD活動 年間活動概要

(単位：名)

日付	研修名	形態	受講者数
通年	障害者差別解消法に関する研修	札幌市立大学	34
4月3日	新採用向けシステム説明会	札幌市立大学	6
4月13日	採用者レク（総務、経営企画、地域連携、学生）	札幌市立大学	6
4月14日	採用者レク（桑園）	札幌市立大学	6
4月20日	公立大学に関する基礎研修	学外	7
7月8日	教務系職員初任者向け講習会	学外	1
8月18日	ファシリテーション研修	学外	1
8月25日	情報セキュリティポリシー研修	札幌市立大学	133
8月28日～29日	令和5年度公立大学職員セミナー	学外	1
8月31日～9月1日	令和5年度公立大学法人会計セミナー	学外	1
9月1日～2日	北海道FD・SDフォーラム	学外	2
9月21日	経理担当者研修（レベルアップ編）	学外	1
10月12日	レジリエンス研修～しなやかにストレスと向き合い、回復力を身につける	学外	1
10月19日	コミュニケーション研修～相手目線で考え、良好な人間関係を築く	学外	1
10月20日	仕事の実行力研修～『自律』『協働』『目的意識』で仕事を前に進める	学外	1
10月27日	理論とデータから学ぶ大学組織論	学外	1
11月6日～8日	令和5年度（初級）知的財産権研修（第2回）	学外	1
11月15日	改正障害者差別解消法に係る説明会	学外	1
11月20日	高等教育政策の動向を法令・制度・歴史・組織の視点で整理する～自分の力で理解するために～	学外	1
11月28日	論理的で分かりやすい文章の書き方研修	学外	1
11月28日～29日	フライス盤加工技術訓練講習	学外	1
12月12日	40代向けキャリアデザイン研修～ワーク・ライフ・マネーを考える	学外	1
2024年2月6日	交渉力向上研修～ネゴシエーションスキルを上達させる	学外	1
2月13日	職場におけるハラスメントトラブルと企業対応セミナー	学外	1
2月16日	令和5年度教学に関するセミナー	学外	3
2月19日	大学におけるハラスメントの防止対策に関する教職員セミナー	学外	12
3月21日	ハラスメント防止セミナー	札幌市立大学	38



Ⅸ 資料

1 2023年度計画

I 教育に関する目標を達成するための措置

1 専門職業人の育成に関する目標を達成するための措置

【項目番号1】

- 両学部¹の学生が協働して地域課題に取り組み、それぞれの専門性を理解しながら異分野連携に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する2年次前期開講科目「学部連携基礎論」、その基礎を踏まえて課題解決プロセスを習得する3年次後期開講科目「学部連携演習」等の地域志向科目を、シラバスに基づき着実に実施する。

- 「学部連携演習」の成果について、卒業時の教育評価アンケートを基に経年的な検証を行う。

〔指標〕 卒業時に地域の課題発見、解決提案する能力が身に付いたと認識した学生の割合：65%

【項目番号2】

- 学際教育科目の外国語科目により基礎的な外国語力を養う。特に英語については新入生に対するTOEIC¹試験を実施する。

- 既存の科目において、国際的な共通性と多様性への理解を深めるための内容を充実する。

〔指標〕 TOEIC受験率（1年次）：100%

〔指標〕 卒業時に国際的な文化の理解を深めたと認識した学生の割合：60%

【項目番号3】

- 〔デザイン学部〕カリキュラムを着実に運用するとともに、特に3年次前期開講科目「デザイン総合実習Ⅲ」において専門コース間による連携授業を実施し、互いの専門性を客観的に理解させるとともに、専門職業人としてのデザイン、コミュニケーション等の実践能力を養う。

〔指標〕 卒業時に社会で活用できるデザイン、コミュニケーション等の実践能力向上を認識した学生の割合：60%

【項目番号4】 【重点取組項目】

- 〔デザイン学部〕3年次後期開講科目「デザイン総合実習Ⅳ」において企業や外部機関と連携した授業を実施し、専門職業人として地域や仕事の現場で活躍できる実践能力を養う。

〔指標〕 専門科目における企業等連携課題の実施：2件

【項目番号5】 【重点取組項目】

- 〔看護学部・助産学専攻科〕OSCE²やシミュレーターを用いた実践型教育を効果的に実施し、看護実践能力及び助産実践能力の向上を図る。

〔指標〕 〔看護学部〕卒業時の看護実践能力の達成度：3.75（5段階自己評価）

〔指標〕 〔助産学専攻科〕修了時の助産実践能力の到達度：3.25（5段階自己評価）

【項目番号6】

- 〔看護学部〕道内の保健医療機関との関係構築を通じて、臨地教員³が関わる授業を積極的に行い、実際の臨床現場の理解を促す。

〔指標〕 専門科目における臨地教員の活用：29科目

【項目番号7】

- 〔大学院博士前期課程〕実践的な演習・実習に加えて、研究指導教員による専門的な研究指導を行い、地域や仕事の現場を先導できる課題解決能力やマネジメント能力等を養う。

〔指標〕 〔デザイン研究科〕修了時における在学中の教育に対する総合的満足度（直近3年間平均）：80%（5段階自己評価）

1 TOEIC (Test of English for International Communication)

国際コミュニケーション英語能力テスト。英語を母語としない者向けの試験で、日本では一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会が実施している。

2 OSCE (Objective Structured Clinical Examination)

客観的臨床能力試験。ペーパーテストによる知識重視の教育ではなく、判断力・技術力・マナーなど実際の現場で必要とされる臨床技能の習得を適正に評価する。

3 臨地教員

医療機関等から招き、実際の現場の実践的能力を教授する現役の看護師・保健師・助産師等



[指標] [看護学研究科] 修了時における在学中の教育に対する総合的満足度（直近3年間平均）：90%（4段階自己評価）

項目番号8

- ・ [大学院博士後期課程] 1年次の研究計画書の立案・審査、2年次の公開発表会、3年次の学位審査を通して、自立的かつ計画的に研究活動を進める能力を養う。また、研究指導教員による専門的な研究指導に加え、他の教員の助言・指導を通して学生の幅広い視野を養う。

[指標] 博士後期課程研究計画書審査：3件

2 学生に対する支援に関する目標を達成するための措置

項目番号9

- ・ [デザイン学部] キャリアガイダンスを開催するとともに、キャリア教育科目「キャリアデザイン」「インターンシップ」を開講する。また、キャリア支援室において学生個々の進路希望に対応した個別サポートを引き続き行う。
- ・ [看護学部] キャリアガイダンスを開催するとともに、国家試験対策を含めたキャリア支援対策講座を計画的に実施する。また、キャリア支援相談室において学生の要望に応じた進路支援を随時行う。

[指標] [デザイン学部] 就職内定率（直近3年間平均）：93%

[指標] [デザイン学部] キャリアガイダンスの開催：10回

[指標] [看護学部] 就職内定率（直近3年間平均）：97%

[指標] [看護学部] キャリア支援対策講座の開催：8回

項目番号10

- ・ 授業料減額免除の制度により、家計基準及び成績基準に該当する者に対し、経済的な支援を実施する。
- ・ 2020年4月から運用が開始された修学支援新制度に係る授業料の減額免除を実施する。

[指標] 授業料減額免除基準に該当する学生のうち、経済的理由による退学者：なし

項目番号11

- ・ 「キャンパスの活用等に関するプラン」における年次別整備計画に基づき、芸術の森キャンパス図書館棟の車いす兼用エレベータを改修する。
- ・ あらゆる差別の解消に向け、障害者や性的指向・性自認等について、教職員や学生に対する啓発・研修等を実施する。

[指標] 「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づくバリアフリー⁴工事の計画的な執行

[指標] 「障害者差別解消法」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」についての教職員及び学生への周知：1回

項目番号12

- ・ 学生のメンタルヘルスに対する教職員の理解を深めるため、研修会等を実施する。
- ・ 本学の本学のメンター⁵制度を理解し効果的なメンター活動につなげるため、新任教員に対するガイダンスを実施する。

[指標] 学生のメンタルヘルスに関する教職員向け研修の実施：1回

[指標] 新任教員に対するメンターガイダンスの実施：1回

項目番号13

- ・ 留学生の日本語能力の向上を目的として、デザイン研究科の両学期において日本語講座を開講し、受講者アンケート等により効果検証を行う。

[指標] 日本語能力の向上に役立ったと認識した留学生の割合：80%

4 バリアフリー

高齢者や障がい者など社会的弱者が、社会生活の上で支障となる物理的・社会的・制度的・心理的など全ての障壁を除去すること。

5 メンター

学生に対して学業上の問題だけではなく生活面においても助言や支援を行う者。一人の教員が学生を個別に担当し、定期的・継続的に対話を行い、気軽に相談できるようにしている。



II 研究に関する目標を達成するための措置

1 特色のある活発な研究の推進に関する目標を達成するための措置

【項目番号14】 【重点取組項目】

- ・ 学内の競争的資金⁶である共同研究費を通じて、デザイン・看護の両分野の連携や外部機関との連携による研究課題に対して重点的に支援する。

[指標] デザインと看護の両分野の連携による研究：6件

【項目番号15】

- ・ 学内の競争的資金である学術奨励研究費や共同研究費において、超高齢社会への対応、地域コミュニティの再生、地域産業の振興など、北海道や札幌などの地域特性・地域課題等に関する研究を推進する。

[指標] 地域特性や地域課題等に関する研究：15件

【項目番号16】

- ・ [デザイン学部] 3年次後期開講科目「デザイン総合実習Ⅳ」等における企業や外部機関と連携した取組から、社会において有用性の高い研究を推進するための課題を抽出する。

[指標] 企業や外部機関との連携による課題研究：1件

2 研究機関としての地位の向上に関する目標を達成するための措置

【項目番号17】

- ・ e-Rad（府省共通研究開発管理システム）を中心とした様々な外部資金の募集情報を定期的に周知する。

- ・ 科学研究費助成事業⁷への効果的な申請支援策を展開し、申請を積極的に行う。

[指標] 教員向け情報提供：3回

[指標] 科学研究費助成事業への新規申請：対象教員⁸の87%

【項目番号18】

- ・ 学術奨励研究費の「国際学会・国際展示会等発表者補助」「学術論文掲載料等補助」を運用し、教員の研究成果について国内外へ積極的に発表する。

[指標] 国際学会・国際展示における研究成果の発表：11件

III 地域貢献に関する目標を達成するための措置

1 地域産業及び地域医療への貢献に関する目標を達成するための措置

【項目番号19】 【重点取組項目】

- ・ 産業界及び保健・医療・福祉業界等とのネットワークや展示会への出展などを通じて、地域産学連携協力依頼⁹の制度を周知するとともに、外部機関との契約支援や研究成果の知財化支援¹⁰等の体制を充実し、産学連携活動の増進を図る。

[指標] 産業界及び保健・医療・福祉業界等からの地域産学連携協力依頼の受諾：8件

【項目番号20】

- ・ [デザイン学部] キャリアガイダンス・キャリア教育科目「キャリアデザイン」における講座や学内企業セミナーにおいて、北海道・札幌市内の企業担当者や卒業生を招き、企業を知る機会を設ける。また求人紹介や個別相談等を通して、当該企業の情報を提供する。

- ・ [デザイン学部] キャリア教育科目「インターンシップ」において、北海道・札幌市内の企業等へ学生を派遣する。

6 競争的資金

研究課題を公募の上、複数の者による客観的かつ厳正な審査を経て優れた課題を採択し、研究者に配分する研究資金

7 科学研究費助成事業

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会が実施する助成事業。全ての分野にわたり基礎から応用までのあらゆる学術研究を段階に発展させることを目的に競争的資金を助成する。

8 対象教員

休職者や定年退職予定者等を除いた科学研究費補助事業に応募資格のある専任教員。なお、第三期中期計画期間の最終年度である2023年度までに、在籍した教員総数の90%の申請を目指す予定である。

9 地域産学連携協力依頼

地域や企業等が研究や地域貢献活動等について本学に協力を求める依頼

10 知財化支援

特許権や商標権など知的財産の権利化に向けて行う支援



- ・ [看護学部] 道内の医療機関や市町村（保健師）の採用担当者、当該医療機関等に勤める卒業生が参加するキャリア説明会を開催し、直接情報を得られる機会を提供する。
- [指標] [デザイン学部] 専門教育科目「インターンシップ」において道内企業への理解が深まったと認識した学生の割合：60%
- [指標] [看護学部] 就職希望先の道内医療機関等に対する理解が深まったと認識した学生の割合：80%

項目番号21

- ・ 地元企業等の競争力強化や地域の専門職の資質向上等に寄与する公開講座を開催する。
- [指標] 職業人向け公開講座の開催：8件

項目番号22

- ・ [看護学部] 市内の病院等が参加する看護コンソーシアム¹¹の会議を定期的に行い、看護職のスキル向上やキャリア形成に関する課題を共有するとともに、連携しながら必要な研修を企画、実施する。
- [指標] 看護コンソーシアムの研修において、スキル向上やキャリアの育成に効果を感じた受講生の割合：80%

2 地域社会への貢献に関する目標を達成するための措置

項目番号23

- ・ 市民がより良い生活を送るための新しい知見を獲得できるような生涯学習の機会提供や健康寿命の延伸等をテーマとした市民向け公開講座を開催する。
- ・ 公開講座受講者を対象にアンケートを実施し、講座内容の妥当性を確認する。
- [指標] 公開講座の開催（職業人向けを除く。）：25件
- [指標] 公開講座の受講（職業人向けを除く。）：630人
- [指標] 公開講座の受講者満足度（職業人向けを除く。）：4.5（5段階評価）

項目番号24

- ・ 札幌市の各部局に対して受託研究・共同研究や地域産学連携協力依頼の制度等の活用を周知するとともに、市の課題解決に向けた提案や市の事業・施策の推進に係る依頼をAITセンターなどで積極的に受け入れる。
- [指標] 札幌市からの受託研究・共同研究依頼及び地域産学連携協力依頼の受諾：20件

項目番号25

- ・ 公式ウェブサイトにおける行政との連携事例の公開や、「研究・活動事例集」及び「教員研究紹介」の活用により、道内市町村へ広報活動を行うとともに、道内市町村の振興・活性化に資する地域産学連携協力依頼を積極的に受け入れる。
- [指標] 行政からの地域産学連携協力依頼の受諾：15件

IV 教育・研究・地域貢献の取組を推進する大学運営に関する目標を達成するための措置

1 教育・研究・地域貢献の取組を推進する連携・国際化・情報発信に関する目標を達成するための措置

項目番号26

- ・ サテライトキャンパスの利便性を有効活用し、市民や外部機関、他大学、行政等との連携を促進する。
- [指標] 外部機関や他大学等との連携の場としてのサテライトキャンパスの利用：2,500人

項目番号27

- ・ 同窓会との連携により社会で活躍している卒業生・修了生の講演会等を開催し、卒業生・修了生と在学生在が交流する機会を設け、同窓の絆を深めるとともに在学生の就業意欲向上等を図る。
- [指標] 卒業生・修了生による講演会等の開催：1回
- [指標] 卒業生・修了生による講演会への参加：20人/回

¹¹ 看護コンソーシアム

本学を拠点として医療機関等と連携し、社会ニーズに対応できる看護システムの構築や看護の質を保証することなどを目指す共同体



項目番号28

- 海外提携校（承德医学院、清華大学美術学院、華梵大学、ラップランド大学、国立台中科技大学、パシフィック・ノースウェスト・カレッジ・オブ・アート）との交流活動を実施するとともに、他の海外校とも連携し、教職員及び学生の国際交流の機会を充実する。

〔指標〕 教職員・学生の派遣と受入：60人

〔指標〕 海外提携校との交流活動：提携校ごと1件

項目番号29

- 本学の特長である「D×N（デザインと看護の連携）」に加え、両分野をAIでつなぐ「DNA」連携の取組を中心に、公式ウェブサイトやマスメディア等を通じて、受験生や保護者、市民や企業などステークホルダーごとに戦略的かつ効果的な広報活動を展開する。

〔指標〕 公式ウェブサイトへのアクセス：345,000件

〔指標〕 プレスリリースの実施：10回

〔指標〕 札幌市市民意識調査における本学の認知度：58.6%

項目番号30

- デザイン及び看護関連の学術情報を収集し、図書館機能を充実させる。
- 学生向けの文献検索ガイダンスを実施し、修学・研究の円滑な遂行を支援する。
- 機関リポジトリ¹²を活用して、紀要や博士論文など、教員や学生の研究成果を学外に公表する。

〔指標〕 書籍、資料の購入：2,000冊

〔指標〕 文献検索ガイダンスの受講：延べ250人

〔指標〕 機関リポジトリによる研究論文等の公表：11件

項目番号31

- 本学の活動内容について高校生や保護者の理解を深めるため、オープンキャンパス¹³の開催、進学相談会及び出前授業等への参加など多様な機会を設けるとともに、高校教員を対象とする大学説明会を開催する。また、前年度までの出願状況、入学後の成績及び入学アンケート等の結果を分析し、必要に応じて各種広報活動の内容や参加に係る見直しを行う。

〔指標〕 オープンキャンパスの開催：各キャンパス2回

〔指標〕 オープンキャンパスにおいて本学への理解が深まったと回答した参加者の割合：70%

〔指標〕 進学相談会及び出前授業等への参加：50件

〔指標〕 高校教員説明会の開催：各キャンパス1回

2 大学運営の改善・効率化に関する目標を達成するための措置

項目番号32 【重点取組項目】

- 学内委員会等による定例的な各種会議の開催回数を見直し、運営効率化を図る。
- 事務局において、定例業務の更なる見直しや改善により効率化を図るなど、職員の超過勤務時間の縮減に取り組む。
- 全教職員に対して有給休暇の取得を啓発し、ワーク・ライフ・バランス¹⁴の向上に取り組む。特に休暇取得率が低い教職員に対しては、機会をとらえて休暇取得を促す。

〔指標〕 学内委員会等が開催する各種会議：400回以下

〔指標〕 全教職員の有給休暇取得率：40%

項目番号33

- 教員の定員計画及び「本学が求める教員像」に基づき、退職者の補充など適切な教員採用を行う。

〔指標〕 定員計画及び「本学が求める教員像」に基づく教員の採用

12 機関リポジトリ

研究成果の論文など、大学・研究機関とその構成員による知的生産物を電子的な形態で保存・管理し、原則的に無償で公開・発信するために構築されたインターネット上のシステム

13 オープンキャンパス

大学が施設内を公開し、特に入学を希望する者や考慮している者に対して大学への理解・関心を深めてもらうことを目的に開催する入学促進イベント

14 ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和。やりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活等においても多様な生き方が選択・実現できること。



項目番号34

- 適切に教員評価を実施するとともに、評価項目や配点などの検証及び評価結果の活用など、制度及び運用の見直しや改善を行う。

[指標] 教員評価項目や配点の検証・見直し：1回

項目番号35

- 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、FD¹⁵研修会を実施するとともに、学外で開催される研修会の情報を適切に提供する。

[指標] 教育改善に資するFD研修の実施：7回

[指標] 教育改善に資するFD研修の受講：延べ200人

項目番号36

- 職員が多彩な研修を受講できるよう研修機会を充実し、職員の能力向上を図る。
- 適切な人事異動を実施し、大学運営に求められる様々な知識・経験の蓄積を図る。

[指標] 職員を対象としたSD¹⁶研修への派遣・参加：15回

[指標] 職員を対象としたSD研修の受講：延べ100人

[指標] SD研修報告会の実施：1回

3 自己点検・評価の実施・公表に関する目標を達成するための措置

項目番号37

- 2022年度の業務実績や2023年度計画の進捗状況について、PDCAサイクル¹⁷による自己点検・評価を適切に実施するとともに、札幌市地方独立行政法人評価委員会や認証評価¹⁸機関等の評価結果を踏まえ、随時改善を図り、その結果を公式ウェブサイト等により公表する。

- 一般社団法人大学教育質保証・評価センターに本学の点検評価ポートフォリオを提出し、認証評価を受審する。

[指標] 年度計画に係る自己点検・評価の実施：半期ごと

[指標] 認証評価機関の評価：適合

4 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

項目番号38

- 受託研究・共同研究・寄附金による成果事例を公式ウェブサイトで紹介するとともに、産学官のマッチング等を趣旨とした展示会において「研究・活動事例集」や「教員研究紹介」のほか大学グッズを配布するなど、自主財源の充実に向けたPR活動を積極的に行う。

[指標] 受託研究・共同研究の受入：15件

項目番号39

- 戦略的な経費の確保に向け、管理的経費（消耗品費、備品購入費、印刷製本費、光熱水費等）の削減を図る。

- 決算見込みを基に、適正な予算の執行管理を行う。

[指標] 一般管理費の節減額：170万円

5 その他業務運営の適切な遂行に関する目標を達成するための措置

項目番号40

- 保全計画に基づき、芸術の森キャンパス体育館・図書館・D棟ほか受変電・電気設備更新工事、芸術の森キャンパスA・B棟衛生設備更新工事実施設計及び桑園キャンパス管理実習棟・体育館ほか屋上防水・外壁改修工事実施設計を適正に実施する。

- 「キャンパスの活用等に関するプラン」における年次別整備計画に基づき、芸術の森キャンパス図書館棟の移動書架及び車いす兼用エレベータを改修する。

15 FD (Faculty Development)

教員を対象に、授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な研修等の取組

16 SD (Staff Development)

職員を対象に、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な研修等の取組

17 PDCA サイクル

計画 (plan)、実施 (do)、検証 (check)、改善 (act) のサイクルを確実かつ継続的に繰り返すことにより、レベルアップを図ること。

18 認証評価

学校教育法に基づき、文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価。大学の教育研究等の総合的な状況について、7年以内ごとに受けることが義務付けられている。



- ・ 大学内の要修繕箇所のリストに基づき、緊急度や予算の執行状況を踏まえ、順次可能なものから速やかに修繕等を実施する。

〔指標〕 保全計画及び「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づく計画的な執行

項目番号41

- ・ 安全管理の徹底について、研修等の機会を通じて災害や感染症など有事の際の危機管理マニュアル等を周知する。
- ・ 防災訓練の実施を通じて学生や教職員等の防災意識を高め、学生や教職員等の安全を確保する体制の強化を図る。
- ・ 全学的な危機管理体制の検証・見直しを行う。避難経路を確保するために必要な校舎周辺の整備や、対策本部体制等の見直し等、可能なものから検討を進める。

〔指標〕 リスク管理に関する研修の実施：1回

〔指標〕 防災訓練の実施：2回

項目番号42

- ・ 施設管理支援システム（CAFM）を活用し施設でのエネルギー使用状況を把握するとともに、学生や教職員へ節電等の意識啓発及び省エネルギー対策に取り組む。
- ・ 芸術の森キャンパス体育館・図書館・D棟ほか受変電・電気設備更新工事に併せて照明設備に省エネ機器を導入する。

〔指標〕 電気使用量：1,650千kWh以下

〔指標〕 ガス使用量：426千m³以下

〔指標〕 水道使用量：9千m³以下

項目番号43

- ・ 個人情報の保護・管理に係る研修を行う。
- ・ 関係法令及び情報セキュリティポリシー等を周知するとともに、遵守状況に関する定期的な点検を実施する。

〔指標〕 情報セキュリティに関する研修の実施：1回

〔指標〕 情報セキュリティに関する研修の受講：全教職員

項目番号44

- ・ コンプライアンス¹⁹に係る研修（特にハラスメント防止を重点）を行う。
- ・ 教育・研究・地域貢献・大学運営のあらゆる場面において、関係法令及び学内規則等を遵守するよう周知する。

〔指標〕 コンプライアンスに関する研修の実施：1回

〔指標〕 コンプライアンスに関する研修の受講：全教職員

項目番号45

- ・ 新任教員全員及び新規に研究費に関わる業務に着任した職員に対し、研究倫理教育の受講を促す。
- ・ 利益相反²⁰に係わる申請に基づき、適切な管理を行う。

〔指標〕 研究倫理教育の受講：対象者²¹全員

項目番号46

- ・ 入学者選抜試験（2024年度入試）を円滑に実施する。
- 〔指標〕 新テストに対応した入学者選抜試験の円滑な実施

19 コンプライアンス

法令等を遵守することは元より、社会規範に反することなく高い倫理観に基づき務めを果たすこと。

20 利益相反

外部との経済的な利益関係等により、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は、第三者から懸念が表明されかねない事態

21 対象者

新任教員、新規に研究費の執行管理や研究倫理を担当する職員、研究倫理教育受講後5年を経た教員及び担当職員



V 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画
別紙参照

VI 短期借入金の限度額

- 1 短期借入金の限度額
2億円
- 2 想定される理由
運営費交付金の受入遅延及び事故の発生等により、緊急に必要となる対策費として借り入れることが想定される。

VII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画
なし。

VIII 剰余金の使途

決算において地方独立行政法人法第40条第1項に規定する残余が発生した場合、教育研究の質の向上及び組織運営の改善その他札幌市が大学の運営上必要と認めた経費に充てる。

IX 施設及び設備に関する計画

- 1 施設整備
 - ・ 芸術の森キャンパス体育館・図書館・D棟ほか受変電・電気設備更新工事
予算額：145,188千円
 - ・ 芸術の森キャンパスA・B棟ほか衛生設備更新工事实施設計
予算額：2,885千円
 - ・ 桑園キャンパス管理実習棟・体育館ほか屋上防水・外壁改修工事实施設計
予算額：1,579千円
- 2 キャンパスの活用等に関するプラン
 - ・ 芸術の森キャンパス図書館エレベータ改修工事
予算額：14,850千円
 - ・ 芸術の森キャンパス図書館移動書庫改修工事
予算額：11,990千円

（注）金額については見込みであり、上記のほか、業務の実施状況に応じた施設・設備の改善や、老朽度合いに応じた改修等を追加することもあり得る。

X 人事に関する計画

- 1 教職員の採用
 - ・ 教員の定員計画及び「本学が求める教員像」に基づき、退職者の補充など適切な教員採用を行う。（再掲）
 - ・ 職員については、定年退職等の時期に基づき、計画的な採用を行う。
- 2 教職員の育成
 - ・ 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、FD研修会を実施するとともに、学外で開催される研修会の情報を適切に提供する。（再掲）
 - ・ 職員が多彩な研修を受講できるよう研修機会を充実し、職員の能力向上を図る。（再掲）
 - ・ 適切な人事異動を実施し、大学運営に求められる様々な知識・経験の蓄積を図る。（再掲）
- 3 ワーク・ライフ・バランスの向上
 - ・ 学内委員会等による定例的な各種会議の開催回数を見直し、運営効率化を図る。（再掲）
 - ・ 事務局において、定例業務の更なる見直し・改善により効率化を図るなど、職員の超過勤務時間の縮減に取り組む。（再掲）
 - ・ 全教職員に対して有給休暇の取得を啓発し、ワーク・ライフ・バランスの向上に取り組む。特に休暇取得率が低い教職員に対しては、機会をとらえて休暇取得を促す。（再掲）



別紙 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1. 予算 (単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	1,554
施設整備費補助金	150
授業料等収入	426
受託研究等収入及び寄附金収入	23
その他収入	22
目的積立金取崩	174
計	2,349
支出	
教育研究経費	441
受託研究等経費及び寄附金事業費等	23
人件費	1,384
一般管理費	351
施設整備費	150
計	2,349



2. 収支計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	
経常費用	2,272
教育研究経費	435
受託研究等費	19
人件費	1,384
一般管理費	323
財務費用	1
減価償却費	110
収益の部	
経常収益	2,098
運営費交付金収益	1,535
授業料等収益	475
受託研究等収益	19
寄付金収益	4
資産見返運営費交付金戻入	35
資産見返寄附金戻入	3
資産見返物品受贈額戻入	5
資産見返補助金戻入	0
雑益	22
その他収益	22
純利益（純損失）	△ 174
目的積立金取崩益	174
総利益（総損失）	0

3. 資金計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	2,494
業務活動による支出	2,112
投資活動による支出	169
財務活動による支出	68
翌年度への繰越金	145
資金収入	2,494
業務活動による収入	2,025
運営費交付金による収入	1,554
授業料及び入学金検定料による収入	426
受託研究等による収入	19
寄付金による収入	4
その他収入	22
投資活動による収入	150
施設費による収入	150
前年度よりの繰越金	319



2 2023年度 決算報告書

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,554	1,558	4	(注1)
施設整備費補助金	150	147	△ 3	
授業料等収入	426	435	9	(注2)
受託研究等収入及び寄附金収入	23	18	△ 5	
補助金収入	—	0	0	
その他収入	21	18	△ 3	
目的積立金取崩	174	174	—	
計	2,349	2,350	1	
支出				
教育研究経費	441	417	△ 24	(注3)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	23	19	△ 4	
人件費	1,383	1,351	△ 32	(注3)
一般管理費	351	350	△ 1	
施設整備費	150	147	△ 3	
補助金事業費	0	1	1	
計	2,349	2,285	△ 64	
収入-支出	—	65	65	

(注) 単位未満を四捨五入しているため、金額の合計が一致しない場合がある。

○ 予算と決算の差異について

(注1) 札幌市補正予算による配当のため増加しました。

(注2) 在学者数が多かったこと、休学者数が少なかったことから増加しました。

(注3) 教員の欠員等により、減少しました。



3 教職員数 (2024年3月31日現在)

1) 所属別教員数 (単位:名)

学	長	1
副	学 長	1
デ	ザ イ ン 学 部	35
看	護 学 部	42
A	I T セ ン タ ー	1
合計		80

2) 職位別教員数 (単位:名)

		教授	准教授	講師 (特任講師 を含む)	助教	助手	計	非常勤講師
デザイン学部	男	10	9	6	3	0	28	52
	女	1	5	0	1	0	7	23
看護学部	男	1	2	1	3	0	7	100
	女	10	7	11	7	1	36	88
AITセンター	男	1	0	0	0	0	1	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
合計		23	23	18	14	1	79	263

3) 職員数 (単位:名)

	事務系	教務系	技術・技能系	医療系	その他	計
男	27	0	0	0	0	27
女	46	3	0	0	0	49
合計	73	3	0	0	0	76

4 管理職一覧表 (2024年3月31日現在)

役職名	教職員名
学長	中島 秀之
副学長 兼 看護学部長	松浦 和代
デザイン学部長	椎野 亜紀夫
看護学研究科長	菊地 ひろみ
デザイン研究科長	齊藤 雅也
地域連携研究センター長	石井 雅博
附属図書館長	川村 三希子
事務局長	小野 聡
事務局次長 兼 桑園事務室長	須藤 陽子
事務局総務課長	伊関 洋
事務局経営企画課長	事務局次長事務取扱
事務局地域連携課長	事務局次長事務取扱
事務局学生課長	事務局次長事務取扱
事務局桑園担当課長	福原 啓祐



5 学生定員及び学生数（2023年5月1日現在）

1) 学生定員 (単位：名)

学部	入学定員	3年次編入学定員	総定員
デザイン学部	90	若干名	360
看護学部	85	-	340
合計	175	-	700

専攻科	入学定員	総定員
助産学専攻科	10	10
合計	10	10

研究科	入学定員	総定員
デザイン研究科博士前期課程	18	36
看護学研究科博士前期課程	18	36
合計	36	72

研究科	入学定員	総定員
デザイン研究科博士後期課程	3	9
看護学研究科博士後期課程	3	9
合計	6	18

2) 学生数 (単位：名)

学部	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン学部	1学年	19	76	95
	2学年	31	69	100
	3学年	29	67	96
	4学年	24	74	98
看護学部	1学年	8	79	87
	2学年	5	84	89
	3学年	5	80	85
	4学年	5	75	80
助産学専攻科		0	9	9
合計		126	613	739

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士前期課程	1学年	9	9	18
	2学年	15	13	28
看護学研究科 博士前期課程	1学年	2	4	6
	2学年	6	17	23
合計		32	43	75

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士後期課程	1学年	0	1	1
	2学年	1	0	1
	3学年	6	2	8
看護学研究科 博士後期課程	1学年	0	2	2
	2学年	1	3	4
	3学年	2	12	14
合計		10	20	30



3) 科目等履修生・聴講生・研究生

(単位：名)

学部	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン学部	0	2	0	2
看護学部	0	0	0	0
合計	0	2	0	2

研究科	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン研究科	0	0	7	7
看護学研究科	1	0	0	1
合計	1	0	7	8

6 授業料等

(単位：円)

区分	検定料	入学料		授業料
		札幌市内居住者	札幌市外居住者	
学部生	17,000	141,000	282,000	535,800
科目等履修生・聴講生	9,800	14,100	28,200	1単位につき 14,800
研究生	9,800	42,300	84,600	月額29,700

7 奨学金貸与・授業料減免実施状況 (2024年3月31日現在)

奨学金利用状況

(単位：名)

学年	日本学生支援機構			計
	給付型	第1種	第2種	
学部1年生	29	36	30	95
学部2年生	25	46	35	106
学部3年生	18	48	41	107
学部4年生	26	47	31	104
助産学専攻科	—	2	0	2
研究科 (博士前期)	—	16	1	17
研究科 (博士後期)	—	0	0	0
合計	98	195	138	431



授業料減免実施状況

(単位：名)

学年	学期	全額減免者	2/3減免者	半額減免者	1/3免除者	計
学部1年生	前期	18	5	0	11	34
	後期	18	4	1	12	35
学部2年生	前期	10	7	0	12	29
	後期	10	4	0	16	30
学部3年生	前期	7	7	0	14	28
	後期	7	9	1	16	33
学部4年生	前期	12	8	0	16	36
	後期	14	8	0	15	37
助産学専攻科	前期	0	0	1	0	1
	後期	0	0	1	1	2
研究科 (博士前期) 1年生	前期	0	0	2	2	4
	後期	0	0	1	4	5
研究科 (博士前期) 2年生	前期	0	0	1	2	3
	後期	0	0	0	2	2
合計	前期	47	27	4	57	135
	後期	49	25	4	66	144



8 学生の入選・受賞（デザイン学部）

受賞年月	氏名・団体	内容	主催者
2023年 6月	陳 樹全（研究科博士前期課程2年）	「第70回 日本デザイン学会春季研究発表大会」にて『グッドプレゼンテーション賞』を受賞	日本デザイン学会
2023年 7月	中道 千尋（学部1年生）	moyuk SAPPORO内の「きつねeyeタヌキ」で販売する、デジタルメダル（NFT）のデザインコンペティションにて『優秀賞』を受賞	株式会社リヴクリエイティブ
2023年 8月	佐藤 未奈（2022年度学部卒業生）	『第17回 キッズデザイン賞』を受賞	特定非営利活動法人キッズデザイン協議会
2023年 8月	石崎 航琉（研究科博士前期課程1年生）	「エンタテインメントコンピューティング2023」にて『デモ推薦優秀賞（推薦デモ認定）』を受賞	情報処理学会エンタテインメントコンピューティング研究会
2023年 10月	石崎 航琉（研究科博士前期課程1年生）	「集英社ゲームクリエイターズCAMP オリジナルゲームコンテスト GAME BBQ vol.2」デモ有り部門にて『優秀賞』を受賞	集英社ゲームクリエイターズCAMP
2023年 10月	上畑 拓欣（学部4年生） 小林 雅果（学部3年生）	「2023年度 日本造園学会北海道支部大会」にて『ポスター発表奨励賞』をそれぞれ受賞	日本造園学会北海道支部
2023年 10月	田渕 あかり（学部3年生） 嶋田 ひのき（学部3年生）	「モルモットが快適に過せる空間デザインコンペ」にて『円山動物園賞』を受賞	札幌市円山動物園・北海道建築士会札幌支部
2023年 11月	日本語デザイン研究会 「しろ」	「Asia Digital Art Award FUKUOKA 2023」学生カテゴリーエンタテインメント（産業応用）部門にて入賞	2023アジアデジタルアート大賞実行委員会事務局
2023年 12月	石崎 航琉（研究科博士前期課程1年生）	「INTERNATIONAL STUDENTS CREATIVE AWARD 2023」にて入選	一般社団法人ナレッジキャピタル
2023年 12月	東野 紗来（学部3年生）	「北海道組新人戦2023」にて『優秀賞』を受賞	建築学生同盟北海道組
2024年 1月	日本語デザイン研究会 「しろ」	「第29回 学生CGコンテスト」ゲーム&インタラクティブ部門にて入選	公益財団法人画像情報教育振興協会
2024年 2月	倉見 京佳（学部1年生）	「コメダ珈琲店 豆菓子パッケージデザインコンペ」にて『コメダ賞』を受賞	株式会社コメダ
2024年 2月	原 さとみ（学部3年生） 中川 斐世利（学部3年生） 野々川 葉奈（学部3年生）	「冬のくらしアイデアコンテスト」にて『最優秀賞』を受賞	一般社団法人北海道開発技術センター
2024年 3月	狩野 飛翔（学部4年生）	「情報処理学会 第86回全国大会」にて『学生奨励賞』を受賞	一般社団法人情報処理学会



9 学生の課外活動

	公認団体
1	バスケットボール部
2	軽音楽部「halo」
3	美術部「noumenon」
4	YOSAKOIソーラン部「～真花～」
5	服飾制作部「Alice」
6	写真映像部「SEED」
7	ものがたり部「デンコラ」
8	茶道部「Cha部」
9	バレーボール部
10	絵本ボランティアサークル「しゃぼん玉」
11	ダンスサークル「VOLUME」
12	カレー研究サークル「SCUカレー研究会」
13	アウトドアサークル「PEAK」
14	バドミントンサークル
15	吹奏楽サークル「芸術の森 音楽隊」
16	陶芸サークル「ころんと」
17	八百カフェ実行委員会
18	アルティメットサークル「Fly☆Fly」
19	日本語デザイン研究会「しろ」
20	地域交流ボランティア同好会「act」
21	ふまねっと同好会「COC STUDENTPLAZA」
22	手芸同好会「もふもふ」
23	団地同好会「団地さーくる」
24	当事者研究同好会「H&C : Humor and Chillax」
25	ボードゲーム同好会「H.O.M.E」
26	映画同好会「土曜の夜倶楽部」
27	D×N同好会「Co-Large」
28	ヨガ同好会「癒しの会」
29	テニス同好会「SCUテニス倶楽部」
30	学生コミュニティ同好会「Crepe」
31	作画研究会
32	フィットネス同好会「Rep」



10 後援会

後援会（2007年2月発足）は、学生の福利厚生等の推進等、学生生活の充実に向けて必要な支援を行い、教育目的の達成に寄与することを目的として活動している。

2023年度

役員	(会 長) 高橋万里香 (副会長) 上原 佳子 (理 事) 男澤 誠一、嶋田 直美、三浦 祐大、三原 輝幸、遠藤 毅、前川めぐみ、 松永眞由美、佐藤 麦穂 (監 事) 平井 賢二、行天二季子
主な事業	・ 課外活動（部活動、大学祭、地域ボランティア活動等）支援 ・ 就職対策（就職試験対策、写真撮影補助、資格取得支援、国家試験対策等） ・ 後援会報「SSA News」発行、後援会WEBページ情報発信 ・ 卒業記念事業
後援会費	40,000円（ただし、編入学生は20,000円、助産学専攻科生は10,000円）

11 教育・研究刊行物一覧

発行年月	名称
2023年4月	2023年度学生生活ハンドブック
2023年4月	2023年度履修要項<履修の手引き>デザイン学部・看護学部
2023年4月	札幌市立大学後援会 会報2022 (SSA NEWS)
2023年5月	令和6年度学生募集要項 (デザイン研究科 博士前期課程 推薦選抜)
2023年5月	令和6年度学生募集要項 (デザイン研究科 博士前期課程 一般選抜・特別選抜)
2023年5月	令和6年度学生募集要項 (デザイン研究科 博士後期課程)
2023年5月	2024大学案内
2023年5月	令和6年度学生募集要項 (看護学研究科 博士前期課程)
2023年5月	令和6年度学生募集要項 (助産学専攻科)
2023年6月	令和6年度入学選抜要項 (デザイン学部・看護学部)
2023年6月	令和6年度学生募集要項 (デザイン学部 総合型選抜)
2023年6月	令和6年度学生募集要項 (看護学部 社会人特別選抜)
2023年6月	令和6年度学生募集要項 (看護学研究科 博士後期課程)
2023年7月	札幌市立大学 研究・活動事例集2023
2023年7月	札幌市立大学 教員研究紹介2023
2023年8月	令和6年度学生募集要項 (デザイン学部 特別選抜)
2023年9月	令和6年度学生募集要項 (デザイン学部・看護学部 学校推薦型選抜)
2023年9月	SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING 2023 札幌市立大学研究論文集第17巻第1号
2023年11月	令和6年度学生募集要項 (デザイン学部・看護学部 一般選抜)
2023年11月	令和6年度学生募集要項 (デザイン研究科 博士前期課程 第2次募集)
2023年11月	SCUZINE vol.6
2023年11月	令和6年度学生募集要項 (看護学研究科 博士前期課程 第2次募集)
2023年12月	令和7年度デザイン学部3年次編入学生募集要項
2024年1月	札幌市立大学附属図書館ニュースレターのほほん第17号
2023年2月	デザイン学部・デザイン研究科卒業修了研究展 (2023 図録)



12 施設

1) 校地・校舎、講義室・演習室等の面積

(2023年4月1日現在)

区分	校地・校舎		講義室・演習室等	
	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	総数	面積 (㎡)
芸術の森キャンパス	167,617	23,087	53	5,696
桑園キャンパス	18,152	12,367	30	3,132
合計	185,769	35,454	82	8,828
サテライトキャンパス	178	178	2	152
AITセンター	133	133	0	0

2) 芸術の森キャンパス・桑園キャンパス・サテライトキャンパス・まこまないキャンパス・A I Tセンター (施設配置図・校舎配置図)

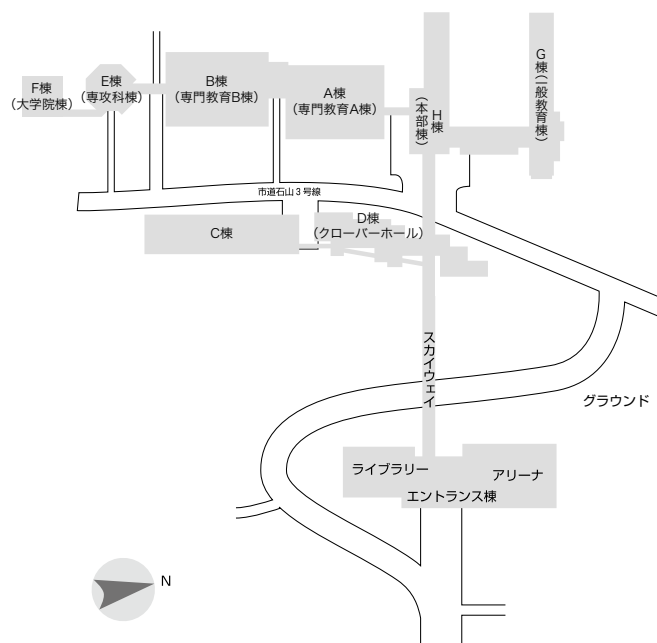
芸術の森キャンパス

〒005-0864

北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 (代)

FAX : 011-592-2369



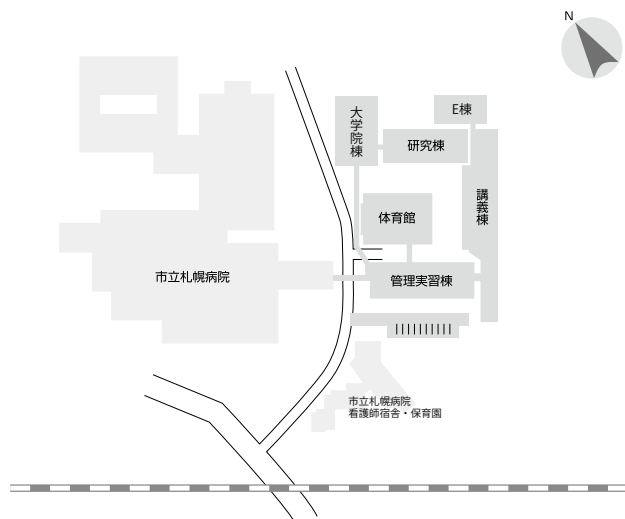
桑園キャンパス

〒060-0011

北海道札幌市中央区北11条西13丁目

TEL : 011-726-2500 (代)

FAX : 011-726-2506





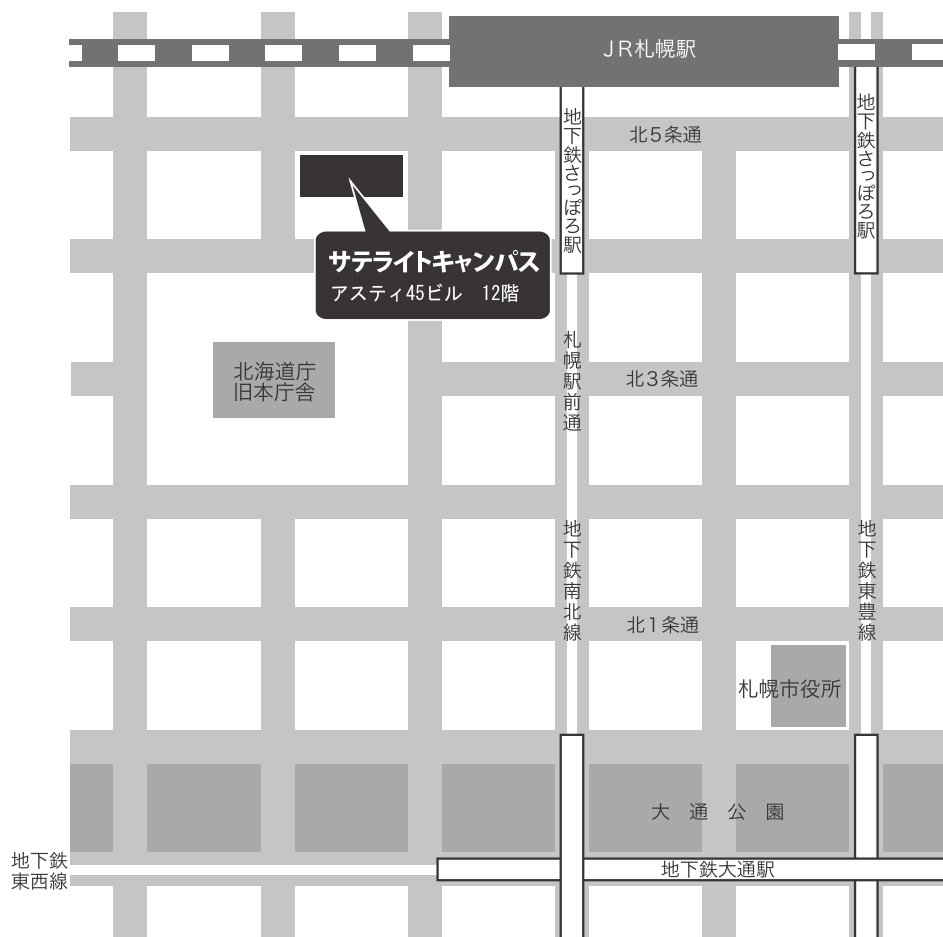
サテライトキャンパス

〒060-0004

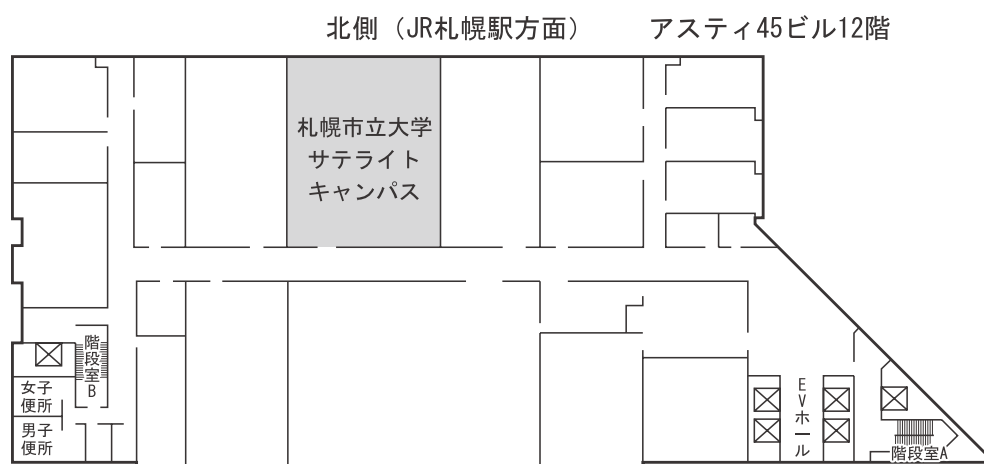
北海道札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル12階

TEL : 011-218-7500 (代)

FAX : 011-218-7507



〈施設平面図〉





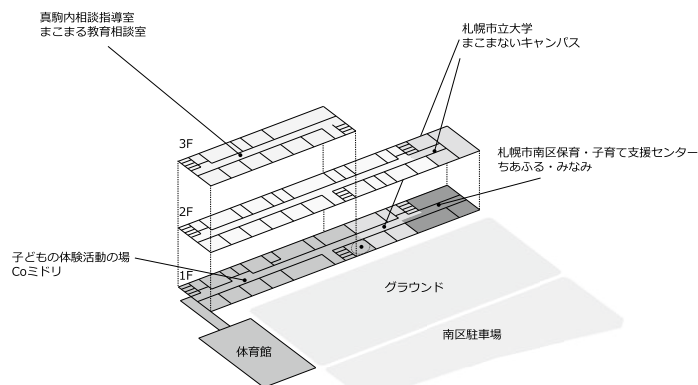
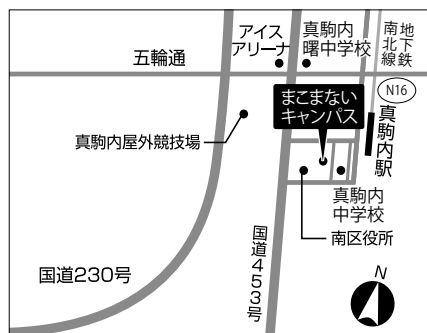
まこまないキャンパス

〒005-0014

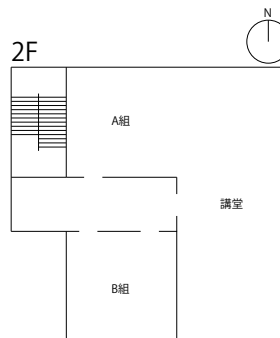
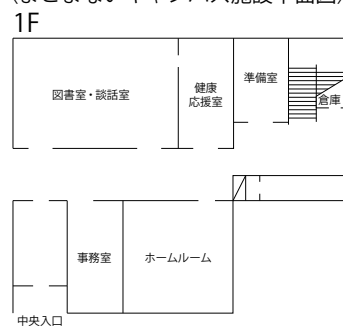
北海道札幌市南区真駒内幸町2丁目2-2まこまる（旧真駒内緑小学校）内

TEL：011-596-6675

FAX：011-596-6676



〈まこまないキャンパス施設平面図〉



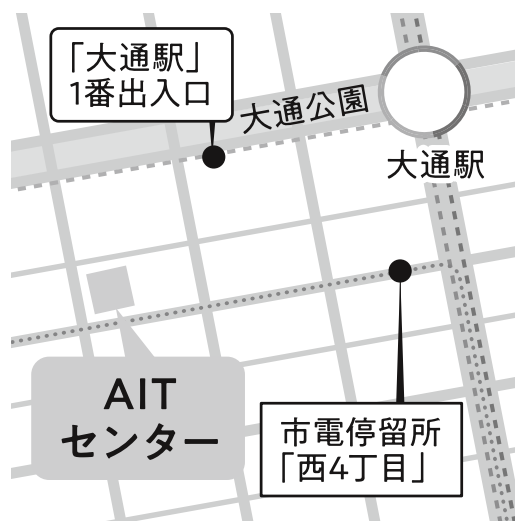
AITセンター

〒060-0061

北海道札幌市中央区南1条西6丁目20番1 ジョブキタビル9階

TEL：011-522-6186

FAX：011-522-6187



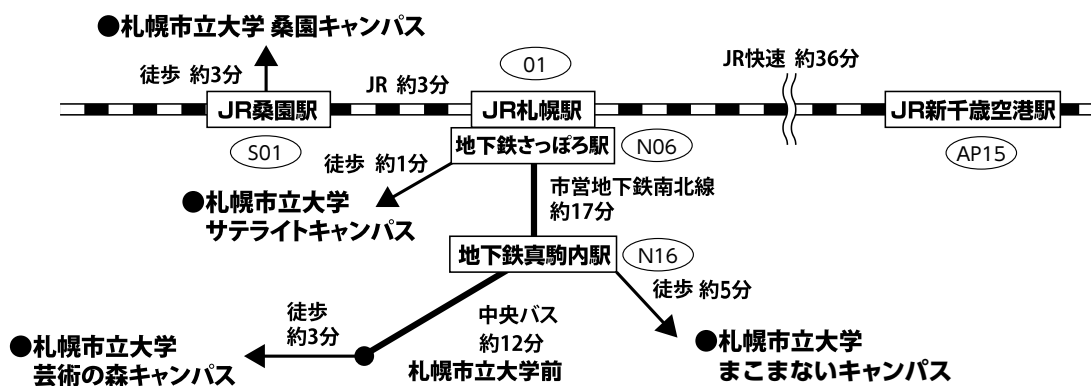


13 大学へのアクセス

1) アクセスマップ



2) 交通案内





14 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』

作詞:後藤優太・首藤翠(デザイン学部 第4期生)
作曲:堀 彩菜(デザイン学部 第3期生)

力強く風が吹き抜ける
新たな希望をたずさえて
さあ飛び出そう
翼広げて
光の指す方へと

ともに笑いともに競った仲間たち
これからは別々の道を往く
強い風に吹かれ
立ち止まりかけても
恐れず歩き続けて

僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
同じ空の下には今も
走り続ける仲間がいるだろう

僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
あの地平の彼方にはきっと
君の染める世界がある

僕らには導く能力(ちから)がある
僕らには差し伸べる精神(こころ)がある
その壁の向こうにはきっと
君を待つ世界がある

『みらいの手』

公立大学法人 札幌市立大学 大学歌

作詞: 後藤 優太・首藤 翠
作曲: 堀 彩菜

The musical score is presented in two columns. The left column contains the first system of music, including the vocal line and piano accompaniment. It features a key signature of one sharp (F#) and a 4/4 time signature. The score includes various musical notations such as treble and bass clefs, notes, rests, and dynamic markings like 'p' (piano) and 'mf' (mezzo-forte). Section markers A, B, and C are placed above the vocal line to indicate different parts of the song. The right column continues the score, showing the vocal line and piano accompaniment for the second system. It includes similar musical notations and section markers. The lyrics are written in Japanese characters below the vocal line in both columns.



X 教員一覧

1 教員一覧

デザイン学部		看護学部	
職位・コース	教員名	職位・領域	教員名
学長	中島 秀之	教授・小児	松浦 和代
教授・人間空間	椎野 亜紀夫	教授・在宅	菊地 ひろみ
教授・人間空間	齊藤 雅也	教授・成人	川村 三希子
教授・人間情報	石井 雅博	教授・母性	荒木 奈緒
教授・人間情報	柿山 浩一郎	教授・成人	卯野木 健
教授・人間空間	西川 忠	教授・成人	小田 和美
教授・人間情報	藤木 淳	教授・老年	貝谷 敏子
教授・人間情報	細谷 多聞	教授・地域	喜多 歳子
教授・共通教育	松井 美穂	教授・基礎	定廣 和香子
教授・人間情報	三谷 篤史	教授・管理	佐藤 ひとみ
教授・人間空間	山田 良	教授・基礎	樋之津 淳子
教授・人間情報	若林 尚樹	准教授・小児	加藤 依子
准教授・人間空間	大島 卓	准教授・成人	菅原 美樹
准教授・人間空間	片山 めぐみ	准教授・在宅	高橋 奈美
准教授・人間空間	金子 晋也	准教授・老年	原井 美佳
准教授・人間情報	金 秀敬	准教授・基礎	檜山 明子
准教授・人間空間	小林 重人	准教授・地域	本田 光
准教授・人間空間	小宮 加容子	准教授・成人	牧野 夏子
准教授・人間空間	武田 亘明	准教授・老年	村松 真澄
准教授・人間情報	張 浦華	准教授・精神	守村 洋
准教授・共通教育	並木 翔太郎	講師・母性	石引 かずみ
准教授・共通教育	丸山 洋平	講師・精神	伊東 健太郎
准教授・人間空間	御手洗 洋蔵	講師・母性	岡 園代
准教授・人間空間	森 朋子	講師・管理	鬼塚 美玲
准教授・人間空間	山田 信博	講師・成人	工藤 京子
准教授・人間情報	横溝 賢	講師・母性	黒田 紀子
講師・人間空間	石田 勝也	講師・基礎	武富 貴久子
講師・人間情報	大淵 一博	講師・小児	牧田 靖子
講師・人間空間	須之内 元洋	講師・基礎	三戸部 純子
講師・人間空間	藤沢 礼央	講師・管理	矢野 祐美子
講師・人間情報	福田 大年	講師・母性	山本 真由美
講師・人間情報	松永 康佑	特任講師・基礎	山出 誓子
助教・人間空間	坪内 健	助教・地域	市戸 優人
助教・人間情報	榊田 聡志	助教・母性	大友 舞
助教・人間情報	矢久保 空遥	助教・母性	久保田 祥子
助教・人間情報	吉田 彩乃	助教・成人	栗原 知己
		助教・地域	近藤 圭子
		助教・精神	渋谷 友紀
		助教・地域	田仲 里江
		助教・老年	西川 めぐみ
		助教・成人	平山 憲吾
		助教・基礎	吉田 実和
		助手・基礎	高橋 葉子
AIT センター			
職位	教員名		
教授	高橋 尚人		
助教	星野 聖太		



2 教員業績一覧

デザイン学部

中島 秀之

＜所属学会・研究会＞人工知能学会／情報処理学会／日本認知科学会／PRICAI／サービス学会／日本ソフトウェア科学会／観光情報学会／日本工学アカデミー会員／日本工学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞IT総合研究会5月オープン例会での講演「我々の生活・仕事はAIでどう変わる？」（2023年5月16日、一般社団法人北海道中小企業家同友会とから支部）／日本生理人類学会第84回大会シンポジウム「人工知能と生理人類学」講師「AIと人類」（2023年6月17日、日本生理人類学会）／SSS2023招待講演「私的人工知能研究史：人工知能研究の半世紀」（2023年7月24日、一般社団法人電子情報通信学会）／超教育協会オンラインシンポジウム「Society5.0時代の教育とAI」（2023年8月2日、一般社団法人超教育協会）／トヨタ「技術者の一日」講師（2023年8月9日、トヨタ自動車株式会社）／第61回全国自治体病院学会(北海道)看護・看護教育分科会 特別講演講師「AI研究者から見た看護」（2023年8月31日、第61回全国自治体病院学会）／産学官連携研究会HoPE例会講師「AIで変える中小企業のサービス」（2023年9月13日、一般社団法人北海道中小企業家同友会）／「人工知能研究の半世紀」（2023年9月13日、合同エージェントワークショップ&シンポジウム（JAWS2023））／文藝春秋主催カンファレンス「DX進化論」講師「より良いサービスデザインとしてのDX～AIで情報の力を活かす～」（2023年10月18日、株式会社文藝春秋）／Arm Tech Symposia 2023講演「人工知能研究の歴史・現状と社会応用・将来向かうべき方向の示唆」（2023年11月9日、アーム株式会社）／2023年度青年研修バン格拉デシュ「ICT推進によるDX実践」における講師（2023年11月27日、株式会社北海道アルバイト情報社）／「Artificial Intelligence: Ethics on Research and Education」（2023年12月6日、ビナ・ヌサンタラ大学）／AIシンポジウム「AIの未来と未来のAIを語る」（2024年1月28日、公益財団法人栢森情報科学振興財団）／理事（産学連携推進機構）／国立障害者リハビリテーションセンター研究所評価委員会委員／取締役会長（未来シェア）／公立大学法人会津大学参与／北海道大学電子科学研究所外部評価委員／一般社団法人日本ディープラーニング協会有識者会員／NEDO技術委員／一般社団法人新雪理事／札幌市次世代公共交通システム研究会委員（札幌市まちづくり政策局）／理事・本田賞選考委員（本田財団）／社会システムデザインセンター社員及び副理事長／ピアレビューア（外部評価者）（国立研究開発法人科学技術振興機構）／「Innovators Under 35 Japan」審査員（株式会社角川アスキー総合研究所）／戦略的創造研究推進事業における分野別研究領域評価委員（ICTイノベーション分野）（国立研究開発法人科学技術振興機構）／札幌国際芸術祭実行委員会副会長／会長（北海道MaaS推進研究会）／NoMaps実行委員会 顧問／未踏事業審査委員会委員（独立行政法人情報処理推進機構）／「Sapporo AI Lab」エグゼクティブ・アドバイザー／名誉学長（公立はこだて未来大学）／日本ソフトウェア科学会名誉会員（日本ソフトウェア科学会）／公立大学法人宮城大学評価委員会委員

椎野 亜紀夫

＜学会発表＞1.湿地小河川における沈水植物の生育特性と管理方針（共著、2023年6月、第6回自然環境共生技術研究会発表要旨集）／2.日本の自然教育の特徴と中国の自然教育の発展方向の考察-日中自然学校の比較研究-（共著、2023年10月、2023年度日本造園学会北海道支部大会）

＜学術集会運営＞日本造園学会北海道支部大会（2023年度、日本造園学会）

＜所属学会＞日本造園学会／日本都市計画学会／日本建築学会／こども環境学会／環境情報科学センター／日本博物館協会

齊藤 雅也

＜学術論文＞1.足裏への局所加熱がヒトの想像温度に与える影響に関する実験（共著、2023年6月、日本建築学会技術報告集、第29巻、72号、pp.882-887）

＜著書＞1.「再考 設計のための建築環境学」キーフレーズ集（共著、2023年9月）

＜国際会議での発表＞1.Social Experiment on “Home visit Rehabilitation MaaS” in Area with Heavy Snowfall of Northern Japan, Sapporo（共著、Proceedings of 2023 International Conference



of Asian-Pacific Planning Societies, pp.1168-1177、2023年8月)

＜学会発表＞1.被災住宅の再建における被災者の自助・共助を醸成する公助による動機づけ（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集、No.96、pp.237-240、室蘭工業大学、2023年6月）／2.夏季におけるキリンの屋外での活動と気象条件の関係に関する基礎的研究 札幌市円山動物園における動物福祉の向上を目指して（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集、No.96、pp.245-248、室蘭工業大学、2023年6月）／3.高断熱・高気密住宅における「住みこなし」をひきだす空間とその熱特性（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集、No.96、pp.66-69、室蘭工業大学、2023年6月）／4.厳冬期災害時の避難所における「かまくらトイレ」の活用可能性 構造や空気温度に着目したトイレ環境の検証（共同、デザイン学研究2023、日本デザイン学会第70回研究発表大会、芝浦工業大学、pp.204-205、2023年6月）／5.地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 その4. 現在・過去・未来の想像温度の地域特性（共同、日本建築学会大会（近畿）学術講演梗概集（環境工学）、京都大学、pp.579-580、2023年9月）／6.地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 その5. 夏季の起床後・就寝前における想像温度と実際温度の相対差への気象影響（共同、日本建築学会大会（近畿）学術講演梗概集（環境工学）、京都大学、pp.581-582、2023年9月）／7.地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断（その6）福山における想像温度と実際温度の個人差と気象影響（共同、令和5年度 空気調和・衛生工学会大会学術講演会（福井）、F-6、pp.33-36、2023年9月）／8.地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断（その7）個人の想像温度に影響を与える快適・暑熱不快想像温度（共同、令和5年度 空気調和・衛生工学会大会学術講演会（福井）、F-7、pp.37-40、2023年9月）／9.災害時における避難所の現有備品と「遮冷ユニット」による冬季の就寝環境 被験者実験と放射エクセルギー評価（共同、令和5年度 空気調和・衛生工学会大会学術講演会（福井）、F-51、pp.213-216、2023年9月）／10.小・中学校における COVID-19 状況下での空間利用に関する研究「2021年度と2022年度の小中学校の授業運営・空間対応と換気評価との関係に着目して」（共同、日本建築学会大会（近畿）学術講演梗概集（建築計画）、京都大学、pp.273-274、2023年9月）／11.厳冬期災害時の避難所における「かまくらトイレ」の使用感の検証（共同、一般社団法人日本災害看護学会第25回年次大会、アクリアひめじ（姫路文化コンベンションセンター）、2023年9月）／12.夏季の「オープンクーリング」による室内気候の特性 温暖地（東京）での居住者・非居住者の「交換実験」を通して（共同、日本太陽エネルギー学会講演論文集（2023）、大阪エブノ泉の森ホール、pp.95-98、2023年11月）／13.地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 その8. 札幌・熊本における夏季の想像温度と実際温度の相対差に及ぼす個人差・気象影響（共同、2023年度日本建築学会中国支部研究発表会、pp.434-437、広島大学、2024年3月）／14.冬季災害時における現有備品を活かした「遮冷空間」の提案 一人体エクセルギー評価による実用性の検討―（共同、空気調和・衛生工学会北海道支部 第58回学術講演会、A-4、2024年3月）

＜学会座長就任状況＞日本建築学会大会（環境工学部門）（2023年9月、2023年大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Building and Environment（1回）／2.日本建築学会環境系論文集（1回）／3.日本建築学会技術報告集（1回）

＜学会役員就任状況＞日本太陽エネルギー学会（理事（2022～23年度））／空気調和・衛生工学会（北海道地区担当理事・北海道支部長（2023～24年度））／日本建築学会地球環境委員会（幹事（2023～24年度））／日本建築学会学会賞審査委員会（作品部門）（委員（2023～24年度））／日本建築学会地球環境委員会 環境ライフスタイル普及小委員会（委員（2001～現在））／日本建築学会熱環境委員会バイオクライマティックデザイン小委員会（運営委員（2013～現在））／空気調和・衛生工学会 北海道支部（委員（2001～現在））／日本建築学会 北海道支部 環境工学専門委員会（委員（2001～現在））

＜学術集会運営＞日本建築学会北海道支部 第96回北海道支部研究発表会実行委員会（実行委員長、室蘭工業大学）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本デザイン学会／空気調和・衛生工学会／日本太陽エネルギー学会／日本感性工学会／日本看護科学学会／日本公衆衛生学会／LowEx. Net (Network of International Society for Low Exergy Systems in Buildings)／PLEA (Passive and Low Energy Architectures)

＜講演会・講習会活動＞BIS養成講習会・講師（（一社）北海道建築技術協会）／SSH（スーパーサイエンスハイスクール）講師（北海道旭川西高等学校、国立研究開発法人科学技術振興機構）／渡辺ヒー



ディングセミナー（山形）：講師「“健康的な室内気候”について考える」（2023年5月25日、渡辺ヒーティング㈱）／セミナー「これからの医療とケアを考える：講師「安心できる室内環境と場がもつポテンシャル～オレンジリビングベースの実践より～」（2023年6月10日、ピーエスグループ）／ピーエスクラブ2023：コーディネーター「生きるに寄り添う、医療法人社団オレンジの取り組み」（2023年9月30日、ピーエスグループ）／ネオマアカデミー：第16回・第17回 講師「超高性能住宅が生み出す心地よい住まいを空気と空間の価値から考える（10月）／ほどよい不均質を心地よい住まいの価値に変換する（2月）」（2023年10月5日、2024年2月19日、旭化成建材㈱）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞甲府市遊亀公園附属動物園 整備工事に伴うアドバイザー（甲府市）／卒業論文等顕彰事業委員会 環境系専攻部会長（卒論・修論審査）「2023年環境部門・部会長」（2022年4月～2023年6月、（一社）日本建築学会）／理事、専門家向けハンドブックの編纂「新・太陽エネルギーハンドブック（仮称）」（2022年6月～2024年5月、（一社）日本太陽エネルギー学会）／研究発表会実行委委員会・委員長、北海道支部 北方型住宅オープンクーリング研究委員会・主査（-2024.3）「第96回日本建築学会北海道支部研究発表会主催」（2022年6月～2024年5月、（一社）日本建築学会、北海道支部）／登録建築物エネルギー消費性能評価機関・任意評定実施機関/評価員・評定員（2023年4月～2024年3月、（一社）北海道建築指導センター）／理事（北海道支部担当）（2023年5月～2025年5月、（公社）空気調和・衛生工学会）／環境工学委員会 バイオクライマティックデザイン小委員会「季節を味わう住みこなし術（パネルディスカッション）」（2023年9月12日、（一社）日本建築学会、地球環境本委員会 環境ライフスタイル普及小委員会）／BIS認定事業に係る試験講習委員会（講習会講師）「開口部の計画、涼房・防暑の計画」（2023年9月29日、（一社）北海道建築技術協会）／BE建築設備 第872号（2023年9月号）「表面温度のムラが創るウェルネスデザイン」（2023年9月30日、（一社）建築設備総合協会）／第2回ミニシンポジウム「蒸暑地域の半屋外空間を考える」「住みこなし」をひき出す半屋外・半屋内空間を寒冷地域から蒸暑地域に向けて考える」（2023年10月28日、（一社）日本建築学会、環境工学委員会 熱環境運営委員会 バイオクライマティックデザイン小委員会）／第52回日本医療福祉設備学会「安心できる室内環境と場がもつポテンシャル～オレンジリビングベースの実践より～」（2023年11月16日、（一社）日本医療福祉設備協会）／群馬工場オフィス空間の夏季の涼房化に関する助言（2023年12月19日、㈱ケアコム）／スーパーサイエンスハイスクール特別講義（北海道旭川西高等学校）「ペットボトルハウスで温房・涼房を考える」（2024年3月12日、国立研究開発法人 科学技術振興機構、北海道旭川西高等学校）／国内動物園・水族館の飼育展示スタッフ向けの技術支援「動物に健やかな暮らしをもたらす放射調整（放調）に基づく動物園デザイン」（2024年3月15日、日本飼育技術学会）

石井 雅博

＜学術論文＞1.VR教材を活用した体験学習型環境教育の学習者評価の分析（2024年、環境教育、33-2、pp.2_87-98）

＜国際会議での発表＞1.Development of a Web Application to Support Mothers' Connection to the Community and Verification of Its Effectiveness（27th East Asian Forum of Nursing Scholars、2024年）

＜所属学会・研究会＞日本視覚学会／日本バーチャルリアリティ学会／電子情報通信学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞視覚科学技術コンソーシアムの運営（視覚科学技術コンソーシアム）

柿山 浩一郎

＜学術論文＞1.視覚的な表現の質・情報量の違いがアイデア発想に与える影響 —アイデア発想を誘発する情報量の多い視覚表現「動画」を対象に—（共著、2024年3月、日本感性工学会論文誌、Vol.23 No.1、p.49-59（2024））

＜学会発表＞1.BtoB企業製品のユーザビリティ評価の特徴 —その2—（口頭発表）（共同、日本デザイン学会誌 第70回研究発表大会概要集2023、セッションID:10C-05、p.386-p.387、2023年6月）

／2.ファッション誌の表紙に対する作り手の創造思考（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2024、演題番号02、p.3-p.4、2024年3月）／3.快適に役割分担をさせてストレスを緩和できるアイスブレイクの提案 —文房具選択と協同する際の取り組み姿勢の関連性—（共同、日本感性工学会 感



性フォーラム札幌2024、演題番号03、p.5-p.6、2024年3月）／4.公共空間におけるFemtech/IoT 製品の提案 —生理痛の緩和・末端冷え性の解消を目的とした機能を持つ座席とアプリケーションの連携—（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2024、演題番号04、p.7-p.8、2024年3月）／5.旅行土産のパッケージデザインから考える商品開発の背景についての調査（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2024、演題番号05、p.9-p.10、2024年3月）／6.キャラクターやぬいぐるみへの認識がぬいぐるみの愛着要素に及ぼす影響（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2024、演題番号06、p.11-p.12、2024年3月）／7.観光地の魅力を高める撮影行為誘導システムの提案（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2024、演題番号07、p.13-p.14、2024年3月）

＜学会座長就任状況＞日本デザイン学会 第70回春季大会（2023年6月23日～25日、日本デザイン学会）／日本感性工学会 感性フォーラム札幌2024（2024年3月3日、日本感性工学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本感性工学会論文誌（1件、日本感性工学会（論文査読））／2.日本デザイン学会（英文誌）（1件、日本デザイン学会（論文査読））／3.日本感性工学 25th大会（4件、日本感性工学会（抄録査読））／4.日本感性工学 19th春季大会（2件、日本感性工学会（優秀賞 抄録査読））

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（研究推進委員会、委員長）／日本デザイン学会（梗概集編集委員会、委員）／日本デザイン学会（理事）／日本感性工学会（理事）／日本感性工学会（論文審査委員会、委員）／日本感性工学会（北海道支部、支部長）／日本感性工学会（感性インタラクション研究部会 部会長）

＜学術集会運営＞第70回日本デザイン学会春季研究発表大会2023（日本デザイン学会）／日本デザイン学会秋季企画大会2023（日本デザイン学会）／感性フォーラム札幌2024（日本感性工学会 北海道支部、感性インタラクション研究部会）

＜所属学会・研究会＞日本感性工学会／日本デザイン学会／日本精密工学会

＜講演会・講習会活動＞北海道図書館大会 第1分科会 講師（2023年9月8日、私立短期大学図書館協議会 北海道地区協議会）／ユニバーサルなゆうべ「プレゼンテーションのユニバーサルデザイン」（2023年9月17日、NPO法人 北のユニバーサルデザイン協議会）／第7回 クレイモデリングセミナー2023 運営／芸森キャンパスエコツアー（2023年8月19日、NPO法人北のユニバーサルデザイン協議会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞低床車両デザイン選考委員（低床車両のラッピング広告事業を行う上での広告ガイドライン作成）（（一財）札幌市交通事業振興公社）／ユニバーサルなゆうべ 運営（NPO法人 北のユニバーサルデザイン協議会）

西川 忠

＜学会発表＞1.空知管内浦臼町における歴史的建築物の調査（共同、日本建築学会北海道支部研究発表会、2023年6月）／2.自己治癒コンクリートのRC造建築物に対する適用性の研究（共同、日本建築学会北海道支部研究発表会、2023年6月）／3.アイスコングリートの研究（単独、日本建築学会北海道支部研究発表会、2023年6月）／4.屋外曝露実験による木質外装材の色変化（共同、日本建築学会大会学術講演、2023年9月）／5.開発途上国における構造安全性の確保についての基礎的研究＜2023年トルコ地震を契機として＞その4 フィリピンにおける取組の事例紹介（ぜい弱なCHB造の改善）（共同、日本建築学会大会学術講演、2023年9月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会（2件、日本建築学会構造系論文集）／2.日本コンクリート工学会（40件、日本コンクリート工学会年次大会）

＜学術集会運営＞日本コンクリート工学会年次大会（日本コンクリート工学会）

＜講演会・講習会活動＞建築技術者を対象とした技術セミナー（1998年～現在、北海道建築技術協会多数）／コンクリート診断士更新講習委員（2018年～現在）／札幌旭丘高校へのSCU出前授業「現代のスーパーテクノロジー建築&トンデモ建築」／北海道建築技術協会セミナー「雪と建築」／北海道建築技術フォーラム「身近なたてももの診断と最新の建築診断技術」／インフラメンテナンス国民会議「非建築技術者のための建物診断セミナー」／日本コンクリート工学会報告会「北海道のコンクリート秘話」

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞新入社員研修「ゼネコンの技術力とは」他（丸彦渡辺建設（株））／事業の企画および研究会の運営（主査）（北海道建築技術協会）



藤木 淳

＜学術論文＞1.身体的万華鏡：鑑賞者と鏡作品の位置に応じて反射像が変化する万華鏡型作品の提案（共著、2023年7月、日本バーチャルリアリティ学会論文誌、28巻、2号、pp.121-130）／2.視点依存カラー立体モデル（単著、2023年7月、日本デザイン学会デザイン学研究作品集、28巻、1号、pp.121-130）／3.身体動作に同期して植物を動作させることが一体感に与える影響（共著、2023年7月、日本感性工学会論文誌、22巻、4号、pp.361-369）／4.札幌市立北都小学校におけるアーティスト・イン・スクール「おとどけアート」（単著、2023年9月、SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING 2022 札幌市立大学論文集、第17巻、第1号、pp.121-130）

＜特許・意匠登録＞仕切り装置（2023年6月）／化学構造模型（2024年3月）

＜学会発表＞1.「花びんと鳥かご」「手回しオルガン」「タンポポ」（共同、2023年4月～6月、北海道立近代美術館「トリック×イリュージョン！」展）／2.絶えず「自分」を探すアート体験のインタラクティブデザイン（単独、2023年6月25日、日本デザイン学会 第70回研究発表大会）／3.パズルゲームにおけるルールが及ぼす難易度と時間への影響（共同、2023年6月25日、日本デザイン学会 第70回研究発表大会）／4.「Incompatible BLOCK」「OLE Coordinate System」「Constellation」「PET24」「cellroid」（共同、2023年7月～10月、IPUInspire展）／5.ボードゲームにおける役割の選択の有無が盛り上がり及ぼす影響（共同、2023年8月31日、エンターテインメントコンピューティング2023）／6.インタラクティブなルールを解くデジタルパズルの制作（共同、2023年8月31日、トコンピューティング2023）／7.チェイスH.C.：移動制御可能な拡大鏡による画面の部分拡大を用いたゲームの提案（共同、2023年9月1日、トコンピューティング2023）／8.植物との一体感を向上させる疑似体験手法の検証（共同、2023年9月1日、トコンピューティング2023）／9.3次元空間における、運動性を考慮した省略表現（共同、2023年10月22日、第14回日本デザイン学会第1支部大会）／10.自然現象表現に対して身体所有感を生起させる表現手法の検討（共同、2023年10月22日、第14回日本デザイン学会第1支部大会）／11.感情を考慮することによる対話型AIとのコミュニケーションの円滑化（共同、2023年10月22日、第14回日本デザイン学会第1支部大会）／12.言語インターフェースによるCGキャラクターの制御・自然対話によるアニメーション制作の基礎研究（共同、2023年10月22日、第14回日本デザイン学会第1支部大会）／13.動的要素と数学的要素を融合した空間の可視化・糸を用いた数理空間表現（共同、2023年10月22日、第14回日本デザイン学会第1支部大会）／14.内省的アニメーション作品の制作を通じた自己分析・他者との対話を交えた制作プロセス（共同、2023年10月22日、第14回日本デザイン学会第1支部大会）／15.カラーフィルタを用いた単一動画像における複数情報提示手法（共同、2024年3月7日、インタラクティブ2024）／16.cellroid3: 自律的に再帰的な階層構造を形成する点群アルゴリズム（単独、2024年3月7日、インタラクティブ2024）

＜論文査読・学会抄録査読＞情報処理学会論文誌ジャーナル（1件、情報処理学会）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本バーチャルリアリティ学会／芸術科学会／共創学会／日本看護科学学会／情報処理学会

＜講演会・講習会活動＞札幌国際芸術祭2024関連イベント「SIAFスクール LAST SNOWレクチャー 第1回 雪の結晶をめぐって～レクチャー&ワークショップ～」（2023年5月13日）／出前授業「自分だけの雪の結晶をつくろう」×10校回（2023年5月13日、2023年7月7日、2023年7月14日、2023年7月21日、2023年8月25日、2023年8月29日、2023年9月5日、2023年9月8日、2023年9月19日、2023年9月29日、2023年10月27日、札幌国際芸術祭実行委員会）／北海道立近代美術館 企画展「トリック×イリュージョン！」ワークショップ×2回「手作りスリットアニメーション」（2023年5月20日、2023年5月28日、北海道新聞社）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌国際芸術祭2024 スクール「つながる×ひろがる×学校」に関する運営（数回の議論を行った）（2022年12月～2024年3月、札幌国際芸術祭実行委員会）／札幌国際芸術祭2024関連イベント「SIAFスクール LAST SNOWレクチャー 第1回 雪の結晶をめぐって～レクチャー&ワークショップ～」レクチャー（2023年5月13日、札幌国際芸術祭実行委員会）／NHKが放送する「神ゲー創造主エポリューション」に参加しているクリエイターのメンター業務（2023年9月～12月、NHK）／科学研究費助成事業 審査員（2024年度 若手研究）（2023年度、日本学術振興会）

細谷 多聞

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会



＜講演会・講習会活動＞講義「さわって楽しい遊び」と遊び「けいとでおえかき」実施「夕張市民講座「けいとでおえかき」」（2023年12月9日、夕張市教育委員会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞小慢児童等の就職準備に資する（仮称）マイトリセツシートの作成（2023年6月9日～2024年3月31日、札幌市保健所）

松井 美穂

＜学術論文＞1.「神よ、南部を救いたまえ」ーカーソン・マッカーラスの『針のない時計』における南部と病（単著、2023年12月、『文学と評論』、第3集・第16号、pp.12-25）

＜所属学会・研究会＞日本英文学会／日本英文学会北海道支部／日本アメリカ文学会／日本ウィリアム・フォークナー協会／Carson McCullers Society／アメリカ学会／カナダ文学会／文学と評論社

三谷 篤史

＜学会発表＞1.ヨーロッパ発祥の遊具「チーズボード」の特性の評価（共同芸術工学会2023年度秋期大会、2023年11月11日、崇城大学メインキャンパス、2023年11月）／2.食事介護の基礎技術学習用シミュレータにおける口唇部の改良（センサキャリブレーション及びナビゲーションアルゴリズムの検討）（共同第24回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会（SI2023）2023, 12.14-16 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター、2023年12月）

＜所属学会・研究会＞日本ロボット学会／日本機械学会／アメリカ電気電子学会(IEEE)/ロボティクス・オートメーション部門(RAS)およびパワー・エネルギー部門(PES)／精密工学会／計測自動制御学会／日本デザイン学会／看護理工学会／日本感性工学会／日本トライボロジー学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ビジネスEXPOにおける展示（2023年11月9日、10日、北海道技術・ビジネス交流会 実行委員会）／第21回 医療AI特別セミナーにおける講師「看護DXおよびAIの導入を進める口腔介護シミュレータ」（2023年11月16日、医療 AI 開発者養成プログラム（CLAP））／シンポジウム「口腔の健康とウェルビーイングを促進する教育と実践」における講演「教育環境のDX化をもたらす口腔介護シミュレータは学習者・新人の能力底上げに寄与するか？」（2023年11月23日、北海道歯科医療管理学会）／研究会の実施「カーリングに関する研究(仮)」（2024年2月8日、北海道トライボロジー研究会）

大島 卓

＜学術論文＞1.事業拠点間交通路及び施設配置の変容過程に着目した岩手県小岩井農場の空間特性（単著、2024年3月、日本造園学会誌『ランドスケープ研究』、Vol.87 No.5、p.471～p.476）

＜作品発表＞1.札幌市立駒岡小学校屋上緑化施設（共同、2023年12月、都市緑化機構 第22回 屋上・緑化技術コンクール）

＜学術集会運営＞日本造園学会北海道支部大会（公益社団法人日本造園学会北海道支部）

＜所属学会・研究会＞公益社団法人日本造園学会／一般社団法人日本建築学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞デザインワークショップの開催・運営「冬みち便り製作事業」（2023年7月～11月、札幌市南区土木部維持管理課）

片山 めぐみ

＜学術論文＞1.コミュニケーション媒体としての弁当開発と住民にまちの気づきを促す開発プロセスの検討（単著、2023年9月、札幌市立大学紀要17(1)、pp.33-40）

＜学会発表＞1.地域連携型コミュニティ・マルシェにおける参加者の役割と意識の変化について（共同、日本教育工学会研究報告集 2023(4)、pp.215-222、2023年12月）／2.地域運営型フリースクール「うめむすび」設立支援と学生にとっての教育的意義～不登校の子ども達のための地域の居場所づくり（共同、第12回日本公衆衛生看護学術集会ポスター発表、2024年1月6日）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会論文査読（計画系論文集、技術報告集）（2件）／2.日本デザイン学会論文査読（1件）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会北海道支部都市計画専門委員会主査）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本デザイン学会／日本社会福祉学会

＜講演会・講習会活動＞第14回日本デザイン学会第1支部基調講演「コミュニティのつくり方～コミュ



ニティマルシェ『八百カフェ』」（2023年10月21日、日本デザイン学会第1支部）／第16回 環境・エネルギーセミナー「若い力が牽引する札幌発ソーシャル・イノベーション」（2023年11月14日、北電総合設計株式会社）／「職業基礎」講師派遣「真駒内駅前地区まちづくり計画について～「杜cafe」の将来」（2023年11月30日、市立札幌みなみの森高等支援学校）／真駒内駅前地区まちづくり勉強会での講師「役割と居場所のあるコミュニティ・デザイン」（2024年3月3日、札幌市まちづくり政策局）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道の地域コミュニティに関する研究会にて専門知識を提供（計5回）「北海道地域コミュニティ研究会」（2023年8月～2024年3月、一般財団法人北海道開発協会）／第18回公共建築賞に該当する北海道内の公共建築を審査「第18回公共建築賞審査会」（2023年8月～2024年3月、一般社団法人公共建築協会）

金子 晋也

＜学術論文＞1. 羅臼町カモイウンベ地区における昆布漁場の空間構成の特徴（共著、2024年2月、日本建築学会計画系論文集/89巻（2024）816号、p.220-231）／2. 北海道鮭魚漁場建築的譜系 ―海洋文化传播視角下的建築空間及其近代化 Genealogy and Architecture of the Hokkaido Herring Fishery: Architectural Space and Modernization via the Ocean Route（共著、2024年、新建築No213、pp.53-58）／3. 厚真町吉野地区の土地利用と建物の変遷に関する研究ノート（単著、2024年、札幌市立大学研究論文集：掲載号未定）

＜国際会議での発表＞1. Japanese Traditional House Recycling in the cold region（単独、CIRCULAR BUILDING PRACTICES: A JAPANESE-GERMAN PERSPECTIVE March 18-19, 2024、2024年3月）

＜学会発表＞1. 三笠市炭鉱遺構群の調査研究（2）旧北炭幌内炭鉱の選炭機の現況と復元的考察（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集96巻、pp.351-354、2023年6月）／2. 近年消失した札幌の歴史的建造物に関する調査（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集96巻、pp.1079-1080、2023年6月）／3. 札幌市都心部における歴史的建造物と周辺環境に関する調査（共同、学術講演梗概集建築歴史・意匠(2023)、pp.719-720、2023年9月）／4. 厚真町におけるDIYによる拠点施設整備事業（共同、芸術工学会誌87号、pp.36-37、2023年11月）／5. 厚真ベースにおける地域材を活用した家具制作-用途に応じてゆるやかに空間を分ける「二面性を持つ長椅子」と「ユニット化された棚」（共同、芸術工学会誌87号、pp.38-39、2023年11月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 日本建築学会計画系論文集（1件、日本建築学会）／2. 日本建築学会技術報告集（2件、日本建築学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会北海道支部（常議員・役員会幹事、歴史意匠専門委員会、会計）／日本建築学会（設計計画・構法計画運営委員会 委員、木造構法小委員会 委員・幹事、近代建築史小委員会 委員、文化的生態的小委員会 委員）／芸術工学会（理事、企画委員会 委員）

＜学術集会運営＞日本建築学会北海道支部研究発表会 実行委員会 委員（日本建築学会）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／芸術工学会／生活学会／日本在宅ケア学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞秋季大会会誌の編集「芸術工学会誌」（2023年8月～9月、芸術工学会企画委員会）／北海道ヘリテージマネジメント専門職育成講座（2023年8月20日、北海道文化遺産活用活性化実行委員会）／大通公園プレイスメイキング実証実験（協力）「大通公園プレイスメイキング」（2023年9月14日～16日、札幌都心プレイスメイキング実行委員会）／炭鉱遺産の調査「炭鉱遺産に関する現地での実測調査」（2023年9月19日、三笠市）／建築文化週間、会計「北海道開拓の村 40周年「野外博物館の価値 そしてこれから」の運営」（2023年10月14日、日本建築学会）／デザイン案の作成協力「コワーキングスペースの提案」（2023年11月～2024年2月、エア・ウォーター北海道株式会社）／総合的探求の時間におけるデザイン・建築に関する講義「総合的な探求の時間「BEING ALIVE」」（2023年11月22日、31日、手稲高校）／講座の講師として北海道の木造建築事例に関する講義を実施「伝統のレジリエンス「生き延びる力」を考えるパート2」（2023年11月25日、木の建築フォーラム）／審査委員「第1回ほっかいどう高校生POPフェスタ」（2023年11月28日、第1回ほっかいどう高校生POPフェスタ）／審査委員「札幌市公文書館ロゴマークコンペ審査」（2024年2月16日、札幌市公文書館ロゴマークコンペ）／支部役員会運営（常議員幹事として参加）「日本建築学会北海道支部役員会」（通年、日本建築学会北海道支部）／委員会幹事、委員会の開催・運営「木



造建築小委員会若手ワーキング研究会（オンライン）」（通年、日本建築学会木造構法小委員会）／歴史意匠専門委員会の開催・運営・会計、特定課題研究の会計「歴史意匠専門委員会の開催・運営・会計、特定研究課題の会計」（通年、日本建築学会北海道支部歴史意匠専門委員会）／拠点施設の設計・施工「DIYによる拠点施設整備事業」（通年、厚真町まちづくり推進課）／理事会の委員として秋季大会を企画・運営「芸術工学会秋季大会」（通年、芸術工学会企画委員会）

金 秀敬

＜学術論文＞1.Towards Value-Driven Experience Design: Minding the Definition of Design as beyond Language（単著、2023年6月、DS 117: Proceedings of the 24th International Conference on Engineering and Product Design Education (E&PDE 2022) DOI number: 10.35199/EPDE.2022.90）／2.The Role of Filter Driven Variety in Cognition focused on Logic and Aesthetic Values（単著、2023年10月、Proceedings of the 10th Congress of the International Association of Societies of Design Research (IASDR 2023): Life-Changing Design. DOI:10.21606/iasdr.2023.123）／3.Towards an Education System aimed at Enhancing the Embodied, Enactive and Interactive Experience through New Realities（単著、2024年9月、Proceedings of International Conference on Engineering and Product Design Education (EPDE 2024) DOI number : 10.35199/EPDE.2024.58）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Proceedings of International Conference on Engineering Design（2件、International Design Society）／2.International Journal of Economic Policy in Emerging Economies（1件、Economic Policy in Emerging Economies）／3.The REDO biannual Cumulus（4件、Cumulus Association）／4.日本感性工学会論文集（4件、日本感性工学会）／5.International Journal of Affective Engineering（4件、日本感性工学会）／6.International Conference on Tangible, Embedded and Embodied Interactions（1件、Association for Computing Machinery）／7.Proceedings of International Conference on Engineering and Product Design Education（4件、International Design Society）／8.SCU Journal of Design & Nursing（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞International Conference on Design & Emotion (Chicago, USA)（学生ボランティア）／International Conference on Kansei Engineering & Emotion Research (Paris, France)（学生ボランティア）／International Conference on Human Systems Engineering and Design (Iセッション) 座長 (Champagne - Ardenne, France)

＜所属学会・研究会＞The Design Society／日本感性工学会／日本デザイン学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞Design Research Validation Methodology (Prince of Songkla University)／論文審査（日本感性工学会）

小林 重人

＜学術論文＞1.地下水経由の栄養素およびミネラル負荷を受けたプアフェンでの異なる地形空間における環境傾度上の群落傾度の評価（共著、2024年2月、日本湿地学会、『湿地研究』（13, 35-56））／2.大学のない地方中小都市と大学生を繋ぐポストコロナにおける交流のあり方パターン・ランゲージを活用した域学連携のデザイナー（共著、2024年3月、地域活性学会、『地域活性』（20, 37-46））

＜国際会議での発表＞1.Gaming Development for learning Regional Economic Circulation: Regional Economic Circulation Simulation (The 54th Conference of the International Simulation and Gaming Association (ISAGA '23), University of La Rochelle, La Rochelle, France, 2023.、2023年7月、フランス・ラ・ロシェル)／2.Social Experiment on “Home-visit Rehabilitation MaaS” in Area with Heavy Snowfall of Northern Japan, Sapporo (Proc. 2023 International Conference of Asian-Pacific Planning Societies, pp. 1168-1177, Da Nang City, Vietnam, 2023.、2023年8月、ベトナム・ダナン)

＜学会発表＞1.被災住宅の再建における被災者の自助・共助を醸成する公助による動機づけ（共同、第96回日本建築学会北海道支部研究発表会、2023年6月）／2.特別支援教育で活用可能な性教育教材（SHカード）の開発と有効性の評価（共同、日本地域看護学会第26回学術集会、2023年9月）／3.大学のない地方都市と大学生を繋ぐポストコロナにおける交流の在り方パターン・ランゲージを活用した交流デザイナー（共同、地域活性学会 第15回研究大会 一般・学生発表 予稿集, 258-261, 2023.、2023年9月）／4.廃止措置知識マネジメントにおけるジェネラティビティの重要性ーその1 プラント運



転知識に関するフォーカスグループ（共同、日本原子力学会 2023年秋の大会、2023年9月）／5.行動バイアスの理解を促進する高校生向け金融教育の実践－資産運用カードゲームの開発と評価－（共同、経済教育学会 第39回全国大会 報告要旨集, F4, 2023.、2023年10月）／6.乗合タクシーにおけるモニターを利用した地域情報の提示とその効果（共同、情報処理学会 第86回全国大会講演論文集, 4F-03, 4-231-232, 2024.、2024年3月）／7.職員の主体性を促す大学DXのデザイナー－大学事務局での調査と実践－（共同、情報処理学会 第86回全国大会講演論文集, 5ZH-09, 4-597-598, 2024.、2024年3月）／8.地域経済循環を体験するゲーミング・シミュレーションの開発（共同、2023年度 進化経済学会 福井大会、2024年3月）／9.外国人・日本人観光客が共に見やすいバス路線図のデザイナー－真駒内駅バスターミナルにおける観光客への調査を通じて－（共同、2023年度 地域活性学会 北海道支部研究会、2024年3月）

＜学会座長就任状況＞日本シミュレーション&ゲーミング学会2023年度秋期全国大会（2023年11月、日本シミュレーション&ゲーミング学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.地域活性（1件、地域活性学会）

＜学会役員就任状況＞進化経済学会 北海道・東北部会（部会長）／進化経済学会 JAFEE通貨委員会（委員）／進化経済学会 学会賞選考委員会（選考委員）／日本シミュレーション&ゲーミング学会（学術委員）

＜学術集会運営＞進化経済学会北海道・東北部会研究発表会（進化経済学会）／日本シミュレーション&ゲーミング学会2023年度秋期全国大会（日本シミュレーション&ゲーミング学会）

＜所属学会・研究会＞情報処理学会／進化経済学会／地域活性学会／日本シミュレーション&ゲーミング学会／経済社会学会／経済教育学会／日本建築学会

＜講演会・講習会活動＞岩手県北・沿岸エリア地域循環経済圏ミーティングにおいて地域通貨に関するゲームを担当した。「地域通貨ゲーム@岩手県久慈市」（2024年1月30日、株式会社アースカラー）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞行政職員やまちづくり関係者にデジタル地域通貨に関する講義を行った。「デジタル地域通貨による社会システムのデザイン」（2023年6月16日、一般社団法人まちづくり府中）

小宮 加容子

＜学術論文＞1.あそびを作品に展開する試み・豊かなあそびを促すためのデザイン-（共著、2023年3月31日、日本デザイン学会、デザイン学研究作品集、2022年28巻1号（発行は2023年））

＜作品発表＞1.あそび「ヒカリでどっとと」（共同、2023年6月、アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム 汗かくメディア賞）／2.作品「れらたん」、「ぶどうだべあ」展示（共同、2023年3月、NHK札幌企画展「木彫りのクマと旅するHokkaido」）／3.あそび「ぷかぷか・せいめいたい」（共同、2023年7月、北洋銀行ものづくりサステナフェア2023）／4.作品「101色クジラ」の展示（共同、2023年11月、第29回芸術の森地区文化祭）／5.あそび「けいとでおえかき」と作品「カラフルクジラ」展示（共同、2023年12月、夕張市民講座（於拠点複合施設「りすた」））

＜学会発表＞1.子どもの木材加工への意欲向上を目的とした「ノコギリ」の使用を体験的に習得できる題材及びプログラムの開発（日本デザイン学会 第70回春期研究発表大会PA-20（ポスター発表）、2023年6月24日）／2.ぬい活とクリエイティビティの関係性について（日本デザイン学会 第70回春期研究発表大会PB-08（ポスター発表）、2023年6月25日）／3.雪道でも気軽に散歩ができるベビーカーの提案（日本デザイン学会 第70回春期研究発表大会PB-10（ポスター発表）、2023年6月25日）／4.さわって楽しむあそび「びりびり わしゃわしゃ」の実践報告（日本デザイン学会 第70回春期研究発表大会PB-15（ポスター発表）、2023年6月25日）／5.「なりきる」ことであそびを豊かにする可能性の検証（日本デザイン学会 第70回春期研究発表大会PB-16（ポスター発表）、2023年6月25日）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.2023年度デザイン学研究作品集（8件、日本デザイン学会）

＜学術集会運営＞第70回日本デザイン学会春季研究発表大会（概要編集委員会幹事、日本デザイン学会）／2023年日本デザイン学会作品集（日本デザイン学会2023年度作品集審査委員、日本デザイン学会）

＜講演会・講習会活動＞講義「あそびのデザイン」「NUDAセミナー「あそびのデザイン」」（2023年10月2日、北のユニバーサルデザイン協議会）／講義「さわって楽しい遊び」と遊び「けいとでおえかき」実施「夕張市民講座「けいとでおえかき」」（2023年12月9日、夕張市教育委員会）



＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞理事、セミナー実施（2023.10.2）（不定期、北のユニバーサルデザイン協議会（NUDA））／小慢児童等の就職準備に資する（仮称）マイトリセツシートの作成（2023年6月9日～2024年3月31日、札幌市保健所）

並木 翔太郎

＜学術論文＞1.Valence Change and Case-Marking in the -(r)asar- Construction（単著、2024年2月、Tsukuba English Studies 42、pp.141-160）
 ＜学会発表＞1.札幌円山動物園「こども動物園」における利用実態調査（共同、2023年度SCU産学官金研究交流会（於ACU-A大研修室）、2023年11月）
 ＜所属学会・研究会＞筑波英語学会／日本語学会／日本英語学会／英語語法文法学会／日本語文法学会
 ＜講演会・講習会活動＞Huddling Fashion Show（2023年12月6日、JST「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」）／お金と仕事で考えるライフデザインワークショップ“発見！体験！未来のワタシ！”（2024年1月20日、JST「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」）

丸山 洋平

＜学術論文＞1.Social Experiment on “Home Visit Rehabilitation MaaS” in Area with Heavy Snowfall in Northern Japan, Sapporo（共著、2023年8月、Proceedings of 2023 International Conference of Asian-Pacific Planning Societies, pp.1168-1177）／2.マクロ統計データの組み合わせによる新たな地域人口分析指標（単著、2023年11月、人口学研究, 第59号, pp.2-14）
 ＜著書＞1.東京ミドル期シングルの衝撃「ひとり」社会のゆくえ（共著、2024年3月、東洋経済新報社）
 ＜国際会議での発表＞1.Social Experiment on “Home Visit Rehabilitation MaaS” in Area with Heavy Snowfall in Northern Japan, Sapporo (International Conference of Asian - Pacific Planning Societies 2023, 2023年8月)
 ＜学会発表＞1.東京区部への移動と単身化（単独、2023年5月20日、人口学研究会第650回定例会、オンライン開催）／2.東京都の人口移動と壮年期の単身化（単独、2023年6月10日、日本人口学会第75回大会、南山大学）／3.秘匿される市町村別日本人移動数の推定と評価（単独、2023年9月7日、経済統計学会第67回（2023年度）全国研究大会、静岡コンベンションアーツセンター）／4.秘匿される市区町村一都道府県間日本人移動数の推定－IPF法による推定実践の評価－（単独、2023年9月21日、日本人口学会2023年度第1回東日本地域部会、札幌市立大学）／5.移動経験と家族形成規範意識との関係（単独、2024年3月17日、地域類型科学研究会、神戸大学）
 ＜学会座長就任状況＞日本人口学会第75回大会（2023年6月11日、日本人口学会）
 ＜学会役員就任状況＞日本人口学会（編集委員）／日本人口学会（広報委員）／人口学研究会（総務幹事）
 ＜学術集会運営＞2023年度日本人口学会東日本地域部会
 ＜所属学会・研究会＞日本人口学会／日本家族社会学会／人文地理学会／日本地理学会／日本都市計画学会／経済統計学会／北海道社会学会／人口学研究会
 ＜講演会・講習会活動＞日本地域経済学会第35回大会の地域公開シンポジウム「少子高齢人口減少下における札幌市の再開発・経済再生とその可能性」「札幌市をめぐる人口移動と地域変容」（2023年11月11日、日本地域経済学会）
 ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞住民基本台帳に基づく人口人口動態及び世帯数（令和5年1月1日現在）に関する助言（2023年7月24日、北海道新聞）／胆振東部地震後の厚真町、安平町、むかわ町の社会増についての見解に関する助言（2023年8月21日、北海道新聞）／2023年度認定看護管理者教育課程サードレベルでの授業「正しい統計データの探し方、使い方」（2023年8月31日、札幌市立大学桑園キャンパス）

御手洗 洋蔵

＜国際会議での発表＞1.Influence of Different Flower Vases on the Impression of Cut Flowers（単独、IV Asian Horticultural Congress - AHC2023、2023年8月）
 ＜学会発表＞1.観葉植物とイミテーション植物に対する人の心理（共同、2023年度日本造園学会北海



道支部大会、2023年10月)

＜講演会・講習会活動＞札幌市立西岡南小学校での食育講座の講師「農作物の栄養素を調べてみよう」
(2023年6月14日、札幌市立西岡南小学校教諭青柳氏)

＜所属学会・研究会＞人間・植物関係学会／日本造園学会／園芸学会／環境情報科学センター／実践総合農学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞学会運営における会計担当として(日本造園学会北海道支部)／学会運営における理事及び会計担当として(人間・植物関係学会)／学会運営における理事として(実践総合農学会)

森 朋子

＜学術論文＞1.「給与地図」に見るアイヌ集落の居住地形成原理に関する考察，二風谷村における各居住地の特性と集落社会の関係性に着目して(単著、2023年7月、日本建築学会計画系論文集、88(809)、pp.2151-2159)

＜国際会議での発表＞1. A Study on a Transformation of the Ainu Tribe's Houses under Japanese Assimilation Policy (単独、The AMPS Proceedings Series 37、2023年12月)

＜その他の論文＞1.わたしとあの街，ルンビニ(ネパール連邦民主共和国)(単著、2023年11月、都市計画、Vol.72、No.6、日本都市計画学会、365、p.104)／2.第8小委員会の活動報告(単著、2023年12月、Japan ICOMOS Information、Vol.12(8)、p.25)／3.第8小委員会 遺産影響評価に関わる研究会報告(単著、2024年3月、Japan ICOMOS Information、Vol.12(9)、p.20)

＜学会発表＞1.北海道における太陽光発電設備等の設置関連市町村条例と現状課題，禁止・抑制区域に着目して(単独、2023年6月、2023年度日本建築学会北海道支部研究報告集、96、pp.285-288)／2.日本の自治体における太陽光発電施設等への景観対応，北海道における太陽光発電設備等の設置関連市町村条例と現状課題(単独、2023年9月、2023年度日本建築学会大会(近畿)研究懇談会「グローバル時代の景観デザイン」資料集)／3.江別産ハルユタカと新得産そばから見た地域ブランド形成の取り組みに関する研究(共同、2023年12月、日本都市計画学会北海道支部2023年度研究発表会予稿集、p.15)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会計画系論文集(1件、日本建築学会)／2.日本建築学会技術報告集(1件、日本建築学会)／3.Urban and Regional Planning Review、査読付(英語)論文(1件、日本都市計画学会)／4.札幌市立大学研究論文集(1件、札幌市立大学)

＜学会役員就任状況＞日本イコモス国内委員会(理事)

＜学術集会運営＞第96回日本建築学会北海道支部研究発表会／2023年度日本都市計画学会北海道支部研究発表会

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本都市計画学会／日本イコモス国内委員会

＜専門職者・企業・展覧会等の支援＞大通Tゾーン駅前通地区まちづくり協議会まちづくり委員会委員(2023年4-9月、大通Tゾーン駅前通地区まちづくり協議会)／札幌市旧永山武四郎邸及び札幌市旧三菱鉱業寮運営協議会(2023年6月、12月、2024年3月、NC・MMS永山邸等運営共管理同事業体)／「21世紀・アイヌ文化伝承の森整備推進事業の内アイヌ文化振興にむけた観光学等の学術的・多角的観点からの調査研究」への参画(2023年7月-2024年3月、北海道大学観光学高等研究センター)／第1回住ノ江・入船大会(2023年7月23日、小樽地域遺産連合会)／「ユネスコ・日本信託基金・世界遺産ルンビニ保存管理強化事業」国際科学委員会出席(2024年3月、ユネスコ・カトマンズ事務所)／2023年度日本建築学会大会プログラム編成委員会委員(2023年4月20日、日本建築学会都市計画本委員会)／第96回日本建築学会北海道支部研究発表会の実行委員として運営(2023年6月24日、日本建築学会北海道支部)／日本イコモス国内委員会理事としてイコモス総会参加「イコモス総会」(2023年9月1～9日、イコモス)／2023年度日本建築学会大会研究懇談会での研究発表「グローバル時代の景観デザイン」(2023年9月12日、日本建築学会グローバル景観デザイン小委員会)／日本イコモス国内委員会理事として理事会参加(年4回)(2023年6・9・12月・2024年3月、日本イコモス国内委員会)／2023年度日本都市計画学会北海道支部研究発表会の実行委員としての運営(2023年12月2日、日本都市計画学会北海道支部)／地下空間WG委員として参加「地下空間WG」(2023年12月8日、土木学会地下空間研究委員会)／研究会の企画・開催「「世界遺産の文脈における影響評価のためのガイダンス及びツールキット」について」(2023年12月23日、日本イコモス国内委員会第8小委員会)／2023年度日



本都市計画学会北海道支部第4回都市地域セミナー企画・運営「北海道の景観施策のこれまでとこれから」(2024年1月24日、日本都市計画学会北海道支部) / 「ユネスコ・日本信託基金・世界遺産ルンビニ保存管理強化事業」への参加「国際科学委員会」(2024年3月、ユネスコ・カトマンズ事務所)

山田 信博

＜学術論文＞1.継続的家庭訪問による学生の学びと高齢者の生きがい創出(査読付論文)(共著、23023年9月、SCU jarnal of Design&Nursing Vol.17,No.1) / 2.札幌市内の住宅におけるルームエアコンの普及状況に関する研究(査読付論文)(単著、2023年12月、都市学研究 研究論文集 60)

＜学会発表＞1.集約初動期団地のコミュニティ形成に向けた実証実験「第3回あけぼのテラス」 公的集合住宅団地の集約化手法に関する研究 その7(共同、日本建築学会全国大会学術講演、2023年9月) / 2.集約初動期団地のコミュニティ形成に向けた実証実験の有効性検証 公的集合住宅団地の集約化手法に関する研究 その8(共同、日本建築学会全国大会学術講演、2023年9月) / 3.北海道の公営住宅におけるサンルームの実態と居住特性に関する研究 その1 サンルームの実態について(共同、日本建築学会全国大会学術講演、2023年9月) / 4.北海道の公営住宅におけるサンルームの実態と居住特性に関する研究 その2 サンルームの利用・評価について(共同、日本建築学会全国大会学術講演、2023年9月) / 5.厚真ベースにおける地域材を活用した家具製作 用途に応じてゆるやかに空間を分ける「二面性を持つ長椅子」と「ユニット化された棚」(共同、芸術工学会誌、2023年11月)

＜所属学会・研究会＞日本建築学会 / 日本居住福祉学会 / 北海道都市地域学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌市、UR都市再生機構と三者協定を結び、真駒内のまちづくりに関する協議を行なっている。(真駒内まちづくり協議会)

横溝 賢

＜学術論文＞1.土地の記憶を描き、眺め、環流する社会的デザイン実践：回る往復書簡・ラウンドアバウトレターズを用いて(査読付論文)(共著、2023年、認知科学 Vol.31,No.2 June 2024) / 2.私は何者か。を問い直す WEBサイトのデザイン～大学教職員が広報の主体になれるコミュニケーションの道具づくり(査読付論文)(共著、2023年、日本デザイン学会 デザイン学研究 作品論文、29巻、1号、p.6)

＜学会発表＞1.相互持続的ウェルビーイングをかたちづくるデザイン(共同、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会概要集、2023年6月) / 2.自らの身体に根差した記憶から生活世界を描き直す-奥州市水沢姉妹地区でのフィールドワークを通して見えてきたこと-(共同、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会概要集、2023年6月) / 3.問いを問い直す、語らう道具のデザイン実践(共同、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会概要集、2023年6月) / 4.私中心デザインの実践・現場に立って短歌を詠むことを通じて-(共同、2023年度日本認知科学会第40回大会、2023年9月) / 5.経験を語らうことから現れる〈共創する時空〉(単独、共創学会第7回年次大会、2023年12月) / 6.コミュニティの映像エスノグラフィーによる研究 映像『札幌市石山エリアの人びととコミュニティ』と上映実践(共同、共創学会第7回年次大会、2023年12月) / 7.高齢者の孤独感に着目したコミュニケーション・カフェの実践・ICTの進化と発展に着目して-(共同、共創学会第7回年次大会、2023年12月) / 8.長期に継続する住民活動の仕組みを解き明かす-「いしやま朝市」の参与活動を通して-(共同、共創学会第7回年次大会、2023年12月)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.共創学会 研究論文(1件、共創学会)

＜学会役員就任状況＞1.2022年度 日本デザイン学会情報デザイン研究部会 オルタナティ部 vol0.01-vol.20(日本デザイン学会 情報デザイン研究部会) / 2.2022年度 第12回日本デザイン学会第1支部大会「地域の見え方・接し方」(日本デザイン学会 第1支部会) / 3.2023年度 日本デザイン学会第70回春季研究発表大会 情報デザイン研究部会テーマセッション「デザイン実践者が見ている環世界」(日本デザイン学会 情報デザイン研究部会) / 4.2023年度 日本デザイン学会第70回春季研究発表大会 情報デザイン研究部会テーマセッション「足元のWHYを問い直すデザイン」(日本デザイン学会 情報デザイン研究部会) / 5.2023年度 日本デザイン学会情報デザイン研究部会 オルタナティ部 vol.21, 22, 23(日本デザイン学会 情報デザイン研究部会)

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会 / 日本工学教育協会 / 共創学会 / 認知科学会 / 日本教育メディア学会



＜講演会・講習会活動＞令和5年第1回 INS SDGs研究会 in 札幌「相互持続的ウェルビーイングをかたちづくるデザイン」（2023年7月18日、岩手ネットワークシステム）／さっぽろ市民カレッジ「共創デザインの実践手法」2/20 第1回「共創のうまれかた」（2024年2月20日、札幌市生涯学習センターちえりあ）／さっぽろ市民カレッジ「共創デザインの実践手法」2/27 第2回「語らう道具のデザイン」（2024年2月27日、札幌市生涯学習センターちえりあ）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞第7回グッドアクリウムデザイン賞審査委員（2023年10月23日、みずものコム）

石田 勝也

＜所属学会・研究会＞環境芸術学会／情報処理学会／芸術科学会

＜講演会・講習会活動＞知活ゼミナール2023 研究紹介動画（2023年7月15日、札幌市立大学、北海道立総合研究機構）／スカートトーク（WIRED SIAF as a tool）（2024年1月21日、札幌市民交流プラザ）／【ガイドツアー】“とある未来の雪のまち”って何だろう？アーティストと巡る、さっぽろ雪まつりの歴史とこれからの都市計画（2024年2月3日、札幌市民交流プラザ）／ビジターセンタートーク「アーティストが語る、札幌の今」（2024年2月23日、札幌市民交流プラザ）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞番組審議委員会（2022年度、FM北海道）／副教材作成検討委員会（2022年度、アイヌ民族文化財団）／こども動物園の利用状況の調査（2023年度、札幌市円山動物園）

大淵一博

＜学会発表＞1.NTT東日本札幌病院における地域産学連携の取り組みについて（共同、第73回 日本病院学会、2023年9月）／2.Microsoft365によるノーコード／ローコードシステム開発（単独、感性フォーラム札幌2024、2024年3月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.札幌市立大学研究紀要（1件、札幌市立大学）

＜学術集会運営＞感性フォーラム2024（日本感性工学会北海道支部）

＜所属学会・研究会＞電子情報通信学会／日本感性工学会／日本医療情報学会

＜講演会・講習会活動＞色彩分析ソフトウェア利用に関する講習会（2023年9月、札幌イメージコーディネート研究会）／

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌市長グリーンディングカード デザイン審査会（2023年10月17日、札幌市国際部）／システム開発協力（通年、札幌の美しい景観を考える会）／ソフトウェア利用に関する講習会・Webサイトデザイン制作協力（随時、札幌イメージコーディネート研究会）／実行委員会委員長（統括・経理・イベント企画・運営・デザイン制作協力等）（通年、北海道グレートサンタラン実行委員会）

須之内 元洋

＜国際会議での発表＞1.Constructing an Online Information Hub for Citizen Science Through Aggregation of Orchid Species Knowledge（単独、The 23rd World Orchid Conference ICC Tainan, Tainan City, Taiwan、2024年2月）

＜所属学会・研究会＞Association for Computing Machinery／デジタルアーカイブ学会／芸術科学会／情報処理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ワークショップ企画・運営支援「未来きらめきプロジェクト「ティンカリング 身近なもので作ったりこわしたり」」（2023年10月15日・11月12日・25日・12月9日、東京都教育委員会）／ワークショップ企画・運営、プロジェクトウェブメディア構築「record／記録する」（2024年1月20日、NPOアートフル・アクション）／福祉施設が運用する障害者アートに関するデジタルアーカイブ運用・構築支援（みずのき美術館）／京都府下の障害者アートのデジタルアーカイブの運用・構築支援（きょうと障害者文化芸術推進機構（事務局 京都府））／陶磁器デザイナー森正洋氏のデジタルアーカイブ運用支援（合同会社森正洋デザイン研究所）／滞在作家アーカイブ構築支援、「アートとリサーチ」データベースの運用支援（さっぽろ天神山アートスタジオ）／沓掛キャンパスの写真アーカイブ構築支援（京都市立芸術大学）／BOTANIST TV CM音源の1/fゆらぎ分析／フィールドレコーディング音の提供（博報堂）／音楽アルバムのためのフィールドレコーディング



音の提供 (Polar M) /VRを活用したポン山自生植物紹介サイトの構築 (利尻町) /北海道の芸術文化アーカイブの構築 (北海道芸術文化アーカイブセンター) /文化庁受託事業「公立美術館における障害者等による文化芸術活動を促進させるためのコア人材のコミュニティ形成を軸とした基盤づくり事業」のデジタルアーカイブ構築 (一般社団法人HAPS)

藤沢 礼央

＜学会発表＞1.「模刻のモニュメント」において模刻の人類学的方法論としての可能性について (共同、日本生活学会、2023年6月)

＜所属学会・研究会＞日本生活学会/北海道芸術学会

＜講演会・講習会活動＞洞爺湖芸術館・アウトドアのテッパン (2023年5月3日・4日、洞爺湖芸術館) /苫小牧アートフェスティバル (2023年7月29日・30日、苫小牧市教育委員会) /おびひろ氷まつり・鉄たたけます。 (2024年1月27日・28日、北海道立帯広美術館)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞苫小牧市立樽前小学校改築工事に伴う実施設計チームへの支援を行う。 (2023年4月1日～2024年3月31日、苫小牧市役所建設部) /アーティスト支援企画の立案、実施、支援を行う。「Avantist project」 (2023年4月1日～2024年3月31日、ギャラリーCLAC) /縄文⇄現代～共鳴する美のかたち展への支援を行う。「縄文⇄現代～共鳴する美のかたち」 (2023年7月15日～9月3日、苫小牧市美術博物館) /第一回柳川現代美術計画への運営支援、作品出展を行う。「柳川現代美術計画」 (2023年7月28日～8月27日、柳川市教育委員会)

福田 大年

＜学術論文＞1.まちもじハント：見立て観察と協創を連動させたアイデア生成経験学習プログラム (原著論文) (共著、2023年6月、「デザイン学研究作品集」、第28巻、第1号、pp.108-113) /2.スマートロースターと焙煎士の相互行為を通じた新製品開発の可能性：メザニンロースターリービジネスの勃興を事例として (原著論文) (共著、2024年1月10日、「マーケティングジャーナル」、第43巻、第3号、pp.6-18)

＜学会発表＞1.表現を出力する方法としてのステッカーの可能性：貼ロプロの活動を振り返って (共同、2023年6月、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会) /2.遊ぶように共創されるプロセスの解明：複数人によるボードゲームづくり経験を振り返って (共同、2023年6月、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会) /3.厳冬期災害時の避難所における「かまくらトイレ」の活用可能性：構造や空気温度に着目したトイレ環境の検証 (共同、2023年6月、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会) /4.創造的人材を育む組織文化の醸成：共創型ビジュアル思考を活用した小学校の新しい学び場づくりから (共同、2023年6月、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会) /5.厳冬期災害時の避難所における「かまくらトイレ」の使用感の検証 (共同、2023年10月、日本災害看護学会第25回年次大会) /6.図的表現と協創が再構成する学習過程：学び展開図の開発 (単独、2023年10月、日本認知科学会第40回大会) /7.日常の観察と解釈から生まれるキャラクター：「〇〇に見える」パレイドリアを利用したアイデア生成プロセス (共同、2024年12月、共創学会第7回年次大会) /8.まちなか動物園：見立て観察と仕立て作業を組み合わせたアイデア生成学習の開発 (単独、2024年12月、共創学会第7回年次大会)

＜学会座長就任状況＞1.第70回日本デザイン学会春季研究発表大会 (2023年6月、日本デザイン学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCU Journal of Design & Nursing：札幌市立大学研究論文集 (1件、札幌市立大学)

＜学術集会運営＞第14回日本デザイン学会第一支部大会 (大会テーマ「都市と自然の端境で育まれるデザイン実践」) (日本デザイン学会東北・北海道支部 (第一支部会))

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会/ヒューマンインタフェース学会/共創学会/日本認知科学会/日本災害看護学会

＜講演会・講習会活動＞日本デザイン学会、第70回春季研究発表大会、オーガナイズドセッション「学びのデザイン」、パネリスト (2023年6月、日本デザイン学会) /札幌市立啓明中学校向け協創スケッチワークショップ「みんなで黙々スケッチしたらアイデアたくさん!!クルクルスケッチワークショップ」 (2023年11月10日、札幌市立大学)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞2023年度 第一回 実務研修会「あなたにとっての「働きやすい



職場」を協創スケッチ法を使って考えてみませんか？」（2023年7月21日、日本産業衛生学会 北海道地方会 産業看護部会）／都市型水族館のコミュニケーションツールとしての配布資料のデザイン制作「コミュニケーション絵本「あおぺんず #1 ホップ」」（2023年3月～6月、株式会社青々）／AOAO SAPPOROと市民のコミュニケーション活動である「まちなか水族館」のWebメディアの実施「まちなか水族館」（2023年4月～2024年3月、株式会社青々）／Atsumalovers 謝辞広告制作「北海道胆振東部地震への道民の支援に対する謝辞広告「Atsumalovers」」（2023年6月～9月、厚真町）／矯正医官の仕事紹介に係る絵本デザイン事業「刑務所で働く医者を紹介する絵本「けいむしよのなかのいしやさん」の試作」（2024年1月～2月、法務省札幌矯正管区）

松永 康佑

＜学会発表＞1.パズルゲームにおけるルールが及ぼす難易度と時間への影響（共同、日本デザイン学会第70回春季研究発表大会、2023年6月25日）／2.曲線形状が溝となる三次元可視化手法について（単独、芸術科学会 Nicograph2023、2023年12月2日）

＜学会座長就任状況＞1.Nicograph 2023 セッション4：メディアアート（2023年11月-12月、芸術科学会）

＜学術集会運営＞Nicograph 2023 プログラム委員（芸術科学会）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／ADADA学会／ACM SIGGRAPH／日本図学会／日本看護科学学会

坪内 健

＜学術論文＞1.生活拠点整備の展開と外出行動の実態からみる精神障害当事者の地域移行と地理空間との関係：北海道浦河町における社会福祉法人「浦河べてるの家」の取り組みに注目して（単著、2024年1月、北海道建築指導センター・センターレポート）／2.Long pathway of adaptation to community relocation: Planning as symbol for bridging temporalities（単著、2024年2月、Copal Publishing・Community Relocation, Disasters and Climate Change in Asia-Pacific Region）

＜著書＞1.Community Relocation, Disasters and Climate Change in Asia-Pacific Region（共著、2024年1月、Copal Publishing）／

＜学会発表＞1.夏季におけるキリンの屋外での活動と気象条件の関係に関する基礎的研究：札幌市円山動物園における動物福祉の向上を目指して（共同、日本建築学会北海道支部研究報告、2023年6月）／2.コミュニティバスの停留所が繋ぐ日常生活と近隣環境の特徴：北海道の過疎地域を対象として（共同、日本建築学会学術講演、2023年7月）／3.計画更新プロセスからみた地域公共施設としての生活館の今日的役割（共同、日本建築学会学術講演、2023年7月）／4.聴覚障害者が日常生活で直面する不都合な場面に関する基礎的研究（共同、日本建築学会学術講演、2023年7月）／5.低層階に店舗等の非宿泊機能を有するホテルの都市への開き方：札幌中心市街地に立地するホテルの平面構成と接道面に注目して（共同、日本建築学会学術講演、2023年7月）／6.集団移転に伴う住民の生活・社会活動の連鎖的変容に関する分析：気仙沼市小泉地区の住民による語り注目して（共同、日本建築学会学術講演、2023年7月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.14th ISAIA 2024 KYOTO（12件、日本建築学会）

＜学術集会運営＞第30回大会ワークショップ「弱さを共有する場づくりとその道具：合理的配慮の実践に向けて」（人間環境学会）／研究発表会（日本建築学会北海道支部）／2023年度日本建築学会大会（近畿）特別研究パネルディスカッション「若手研究者による『復興』再考ー多元性の理解に向けてー」（日本建築学会大会）／公開研究会「さっぽろ路傍樹めぐり」（日本建築学会北海道支部都市計画専門委員会）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／都市住宅学会／北海道都市地域学会／日本都市学会／人間環境学会

＜講演会・講習会活動＞パブリックミーティング「ウォークアブルなまちづくり意見交換会」（2023年7月24日、苫小牧市）／パブリックミーティング「“通り”のまちづくりを考える」（2023年10月6日、苫小牧市）／パブリックミーティング「中心市街地のプロジェクトづくり」（2023年11月29日、苫小牧市）

**榎田 聡志**

＜講演会・講習会活動＞1.デザインセミナー①（2023年4月18日、株式会社C-labo）／2.デザインセミナー②（2023年5月20日、株式会社C-labo）／3.札幌市立大学 オープンキャンパス 公開授業「「おくりもの」視点で考えるプロダクトデザインの魅力」（2023年9月16日、札幌市立大学）／4.第8回DNA連携交流会「スマートフォン・ヘルスケア機器のデザイン事例紹介」（2024年1月17日、札幌市立大学）／5.学生向けワークショップ「ライフデザインワークショップ「発見！体験！未来のワタシ」」（2024年1月20日、札幌市立大学 矢久保先生・並木先生）／6.北海道情報大学 アントプレナーTALK「プロダクトデザイナーのビジネスについて」（2024年1月25日、北海道情報大学）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞

1.個人事業者向けデザインセミナー2回実施「3ステップで学ぶデザインの基本」（2023年4月18日、株式会社C-labo）／2.依頼を受け共同学童保育所の理事に就任し、日々の保育活動の運営管理・支持（2023年5月1日、特定非営利活動法人トポクラブ）／3.依頼を受け、デザイン協議会正会員に入会、イベント等のサポート（2023年9月19日、北海道デザイン協議会）

矢久保 空遥

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本音響学会／日本感性工学会／芸術工学会

＜講演会・講習会活動＞1.浦川高校 アカデミックインターンシップ（2023年8月22日、札幌市立大学（矢久保））／2.高大連携事業 模擬授業「デザインしてみよう！私と〇〇を繋ぐ境界面」（2023年9月16日、札幌市立大学）／3.お金と仕事で考えるライフデザインワークショップ“発見！体験！未来のワタシ！”（2024年1月20日、札幌市立大学（矢久保））

吉田 彩乃

＜学会発表＞1.Social Experiment on “Home visit Rehabilitation MaaS” in Area with Heavy Snowfall of Northern Japan, Sapporo（共著、ICAPPS2023、2023年8月）／2.乗合タクシーにおけるモニターを利用した地域情報の提示とその効果（共著、情報処理学会第86回全国大会、2024年3月）

＜学術集会運営＞2023年度 人工知能学会全国大会（第37回）（一般社団法人人工知能学会）／2024年度 人工知能学会全国大会（第38回）（一般社団法人人工知能学会）

＜所属学会・研究会＞人工知能学会／情報処理学会／日本生態心理学会／日本コンピューティング化学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞第37回全国大会の実行委員としてOSの募集・選定・取りまとめを担当（委嘱状あり）「2023年度 人工知能学会全国大会（第37回）」（2023年4月～8月末、一般社団法人人工知能学会）／第38回全国大会の実行委員としてOSの募集・選定・取りまとめを担当（委嘱状あり）「2024年度 人工知能学会全国大会（第38回）」（2023年9月～2024年3月末、一般社団法人人工知能学会）／こころとカラダのライフデザイン協創拠点・ワタシ的デザインアップデートWSの運営として会場設営、当日の運営を担当、お金と仕事で考えるライフデザインワークショップ発見！体験！未来のワタシ（2024年1月20日、国立研究開発法人科学技術振興機構）



看護学部

菊地 ひろみ

- ＜著書＞1.上田泉他（共著、2024年2月、クオリティケア、ISBN: 978-4-911097-03-8、pp.46-56）
- ＜学会発表＞1.ALS患者の家族に対する医療・福祉専門職の支援と課題（共同、2023年9月、第28回日本難病看護学会学術集会）／2.北海道の訪問看護事業所における新卒看護師採用・育成に関する課題の検討（共同、2023年11月、第28回日本在宅ケア学会学術集会）／3.新人訪問ナース応援フォーラムの実践報告と今後の課題（共同、2023年11月、第28回日本在宅ケア学会学術集会）
- ＜学会座長就任状況＞在宅におけるスピリチュアルケア（単独、第28回日本在宅ケア学会学術集会）
- ＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本難病看護学会誌（2件、日本難病看護学会）／2.日本難病看護学会学術集会抄録集（5件、日本難病看護学会）／3.日本在宅ケア学会学術集会抄録集（6件、日本在宅ケア学会）／4.日本死の臨床（1件、日本死の臨床研究会）
- ＜学会役員就任状況＞日本難病看護学会（編集委員）／日本在宅ケア学会（理事）／北海道公衆衛生学会（評議委員 査読委員）／日本難病看護学会（総務委員）
- ＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本難病看護学会／日本難病医療ネットワーク学会／日本在宅ケア学会／日本在宅看護学会／北海道公衆衛生学会
- ＜講演会・講習会活動＞新人訪問ナース応援フォーラム「君こそスターだ2023」ワークショップ
- ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞訪問看護推進検討会委員（2023年6月～2024年3月、北海道看護協会）／看護教員養成研修会講師（2023年6月、北海道看護協会）／北海道新卒訪問看護師育成支援会議（2023年6月～2024年3月、北海道看護協会）

川村 三希子

- ＜学術論文＞1.老人看護専門看護師が看護師の倫理的感受性をアセスメントする視点および倫理的感受性を育むアプローチ（共著、2024年3月、日本CNS看護学会誌、11巻、pp.1-9）／2.オンラインシステムを用いたがん体験者参加型演習の実践（共著、SCUジャーナル、17巻、pp.23-32）
- ＜著書＞1.患者さんと家族を支えるEnd of Life Care（共著、2023年7月、照林社、978-4-7965-2592-3、pp.2-4）／2.看護実践に活かす中範囲理論（共著、2023年11月、メヂカルフレンド社、978-4-8392-1699-6-3、pp.152-167）／3.がん緩和ケア薬必携ガイドブック（共著、2024年2月、南江堂、978-4-524-20341-3、pp.188-219）
- ＜学会発表＞1.認知症高齢がん患者に対する疼痛マネジメント看護師用教育プログラムの開発と評価（共同、2023年6月、日本緩和医療学会）／2.頭頸部がん症状評価尺度 MD Anderson Symptom Inventory Head and Neck module:MDASI-HN日本語版の信頼性・妥当性の検証（共同、2024年2月、第38回日本がん看護学会）
- ＜学会座長就任状況＞入院中のオピオイド自己管理に向けた取り組み（2023年6月、第28回日本緩和医療学会）／一般演題 口演（2023年8月、日本緩和医療学会 第5回北海道支部学術大会）／教育セミナー 自分らしい人生をサポートするために（2024年2月、第38回日本がん看護学会）／大会長講演 コラボレーション 深化・進化するがん看護（2024年2月、第38回日本がん看護学会）
- ＜論文査読・学会抄録査読＞1.第43回日本看護科学学会学術集会（7件、日本看護科学学会）／2.第29回日本緩和医療学会学術大会（19件、日本緩和医療学会）／3.日本がん看護学会学会誌（2件、日本がん看護学会）
- ＜学会役員就任状況＞日本がん看護学会（理事・査読委員）／日本看護科学学会（評議員）／日本ホスピス緩和ケア協会（監事）／日本緩和医療学会北海道支部（運営委員）／日本緩和医療学会（代議員）／北海道がん心療心身ネットワーク研究会（世話人）
- ＜学術集会運営＞第28回日本緩和医療学会学術集会「痛み」WG員／第38回日本がん看護学会企画委員
- ＜所属学会・研究会＞日本がん看護学会／日本緩和医療学会／日本看護科学学会／日本老年看護学会／日本CNS学会
- ＜講演会・講習会活動＞リンパ浮腫の予防とセルフケア（2023年7月22日、NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会）／在宅療養を選ぶときのポイント がん患者が自分らしく生活するための選択肢（2023年10月15日、NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会）
- ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞専門的緩和ケアに従事する看護師のクリニカルラダーの活用（2023年8月20日、日本ホスピス緩和ケア協会）／専門的緩和ケア看護師教育プログラム（2023年8月）



～2024年2月、日本ホスピス緩和ケア協会)

荒木 奈緒

＜著書＞1.母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護（共著、2024年1月、メディカ出版、978-8404-8160-1）／2.母性看護学② 母性看護の実践（共著、2024年1月、メディカ出版、978-4-8404-8161-8）／3.母性看護学③ 母性看護技術（共著、2024年1月、メディカ出版、978-4-8404-8162-5）

＜学会発表＞1.NIPTを受けるために遺伝カウンセリングを受けた人々の実態（共同、2023年10月、母性衛生学会）／2.臨地実習における助産師学生の自己効力感に関する文献レビュー（共同、2023年10月、母性衛生学会）／3.分娩介助実習における助産師学生の自己効力感を高めるために臨床指導者の教員の実践（共同、2023年10月、日本助産学会）

＜研究会発表等＞1.臨地実習における助産師学生の自己効力感に関する文献検討（共同、2023年12月、第16回成育看護研究会）／2.胎児にとっての出生前検査に対する看護学生の考え（共同、2023年12月、第16回成育看護研究会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本遺伝看護学会誌（1件、日本遺伝看護学会）／2.日本助産学会誌（1件、日本助産学会）／3.SCUジャーナル（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞日本助産学会（代議員）／日本遺伝看護学会（学会誌編集委員）／日本看護学会（学術集会抄録選考委員）／北海道母性衛生学会（理事）／北海道成育看護研究会（評議員）

＜学術集会運営＞第16回北海道成育看護研究会

＜所属学会・研究会＞母性衛生学会／日本助産学会／日本遺伝看護学会／日本遺伝カウンセリング学会／日本看護科学学会／日本生命倫理学会／日本看護技術学会／日本超音波医学会／日本小児看護学会／日本小児保健協会／北海道母性衛生学会／北海道成育看護研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞1.個別調査部会部会員「日本医療安全調査機構 個別調査部会部会員」（2023年4月1日～7月24日、日本医療安全調査機構）／2.臨床看護研究指導講師（2023年4月1日～2024年3月31日、NTT東日本札幌病院）

卯野木 健

＜学術論文＞1. Follow-up focused on psychological intervention initiated after intensive care unit in adult patients and informal caregivers: a systematic review and meta-analysis（共著、2023年6月、Peer J、11巻、pp.e15260）／2. Return-to-Work Prevalence Among COVID-19 Patients After Receiving Intensive Care: A Systematic Review and Meta-Analysis.（共著、2023年10月、Cuerus、15巻、10号）／3. Japanese Clinical Practice Guidelines for Rehabilitation in Critically Ill Patients 2023 (J-ReCIP 2023)（共著、2023年11月、J Intensive Care、11巻、1号、pp.47）／4. Instruments to assess post-intensive care syndrome assessment: a scoping review and modified Delphi method study.（共著、2023年11月、Crit Care、27巻、1号、pp.430）／5. Enteral nutrition practice in the prone position in patients with coronavirus disease 2019: An international one-day point prevalence analysis.（共著、2023年12月、Clin Nutr ESPEN、59巻、pp.257-263）／6. Assessment of Dyspnea in Critically Ill Patients: A Comparative Analysis of Evaluation Scales（共著、2024年1月、Cuerus、16巻、1号、p.e52751）／7. Post-intensive care syndrome: Recent advances and future directions（共著、2024年2月、Acute Med Surg、11巻、1号、p.e929）／8. Nation-wide survey of oral care practice in Japanese intensive care units: A descriptive study.（共著、2024年3月、PLoS One、19巻、3号、pp.e0301258）

＜学会発表＞1. 論文を読むのが億劫うな人のための、必読論文-看護編（単独、2024年3月、第51回日本集中治療医学会学術集会）／2. 遠隔期におけるICUサバイバーのメンタルヘルスに関する記述的研究（共同、2024年3月、第51回日本集中治療医学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1. ガイドライン作成の主旨とプロセス（2023年6月、日本リハビリテーション医学会）／2. 重症患者におけるリハビリテーション診療ガイドライン J-ReCIP 2023（2023年7月、日本心臓リハビリテーション学会学術集会）／3. 集中治療認証看護師（ICRN, ICRN-K）制度の意義と概要（2024年3月、第51回日本集中治療医学会学術集会）

＜学会招聘講演＞1. Clinical Practice Competencies for Intensive Care Nursing in Japan（単独、2023年10月、Joint congress of JSICM/TSCCM/TSECCM）

＜学会座長就任状況＞合同企画 日本集中治療医学会50周年記念・日本心臓リハビリテーション学会ジョイントセッション（2023年7月、第29回日本心臓リハビリテーション学会）／レジリエンスの



高いクリティカルケア提供体制に向けて（2023年8月、第27回日本看護管理学会学術集会）／Oral Presentations（2023年10月、Joint congress of JSICM/TSCCM/TSECCM）／ICU看護師の新たな役割－ICUの枠を超えて－（2024年3月、第51回日本集中治療医学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本集中治療医学会雑誌（10件、日本集中治療医学会）／2.PLoS One（1件、PLOS）／3.Scientific Reports（1件、Nature）／4.日本クリティカルケア看護学会雑誌（1件、日本クリティカルケア看護学会）／5.日本クリティカルケア看護学会雑誌（5件、日本クリティカルケア看護学会）

＜学会役員就任状況＞日本集中治療医学会（理事）／看護理工学会（評議員）／日本クリティカルケア看護学会（国際交流委員委員長）

＜所属学会・研究会＞日本集中治療医学会／日本呼吸療法医学会／日本クリティカルケア看護学会／看護理工学会／American Association of Critical Care Nurses

貝谷 敏子

＜学術論文＞1.The reliability and validity of proxy assessment of quality of life by nurses in patients with pressure injuries.（共著、2023年4月、J.Jpn. WOCN.、27巻、1号、pp.55-66）／2.在宅療養者における医療関連機器圧迫創傷の有病状況とケアの現状 全国指定訪問看護ステーションの実態調査から（共著、2023年10月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌、27巻、3号、pp.503-514）

＜学会発表＞1.認知症高齢がん患者に対する疼痛マネジメント看護師用教育プログラムの開発と評価（共同、2023年6月、日本緩和医療学会）

＜学会シンポジウム＞1.WOCナースのキャリア開発プログラム（ワークショップ講演）（2023年7月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）／2.研究倫理に強くなろう！倫理指針・ガイドランスの改正ポイントをやさしく解説します。（2023年7月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）

＜学会座長就任状況＞『祖母の介護で実践した褥瘡予防』『褥瘡医療の現在（いま）と未来』（2023年11月、日本褥瘡学会北海道地方会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本創傷・オストミー・失禁管理学会学会誌（1件、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）／2.日本看護科学学会誌（1件、日本看護科学学会）／3.SCUジャーナル（1件、札幌市立大学）／4.日本創傷・オストミー・失禁管理学会学会誌（5件、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）／5.Wound Repair and Regeneration（1件、Wound Repair and Regeneration）

＜学会役員就任状況＞日本創傷治癒学会（評議員（ガイドライン委員））／日本創傷・オストミー・失禁管理学会（理事）／日本褥瘡学会（理事）／看護理工学会（査読委員）

＜学術集会運営＞39thがん看護学会

＜所属学会・研究会＞創傷治癒学会／日本看護科学学会／日本創傷・オストミー・失禁管理学会／日本褥瘡学会／日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会／看護理工学会／医療経済学会／日本褥瘡学会北海道地方会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌医科大学倫理委員会外部委員「第1回倫理委員会」（2024年1月12日、札幌医科大学）

樋之津 淳子

＜学会発表＞1.術前外来における退院後の生活を見据えた看護実践に関する質的研究（共同、2023年12月、第43回看護科学学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞看護人間工学会・日本看護技術学会ジョイントプログラム（共同、2023年6月、看護理工学会）／一般演題・口演4（単独、2023年8月、日本看護研究学会第49回学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護研究学会誌（3件、日本看護研究学会）／2.日本看護技術学会誌（3件、日本看護技術学会）／3.日本看護科学学会誌（1件、日本看護科学学会）／4.日本医療大学紀要（1件、日本医療大学）／5.武庫川女子大学看護学ジャーナル（1件、武庫川女子大学）／6.日本看護技術学会誌（3件、日本看護技術学会）／7.日本看護科学学会誌（7件、日本看護科学学会）／8.看護人間工学会誌（1件、看護人間工学会）／9.日本看護学教育学会誌（3件、日本看護学教育学会誌）

＜学会役員就任状況＞看護理工学会（評議員・監事）／看護人間工学会（理事・監事）／日本看護科学学会（代議員）／日本看護学教育学会（評議員）／日本看護研究学会（評議員）／日本看護研究学会北



北海道地方会（役員）／日本看護技術学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／看護人間工学会／看護理工学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本看護技術学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究会の運営委員、全国実態調査、意見交換（北のケア環境研究会）

菅原 美樹

＜著書＞1.系統看護学講座 別巻 救急看護学 第7版（共著、2024年1月、医学書院、9784260053075、pp.62-82、pp.139-152、pp.202-211、pp.211-218、pp.277-286）

＜学会発表＞1.Overview of the Process of Developing Tools for Critical Care Trauma Nursing Practice in Japan（共同、2023年8月、世界外傷学会6th World Trauma Congress Tokyo 2023）

＜学会シンポジウム＞1.フォーラムディスカッション「クリティカルケア看護の軌跡と展望」（単独、2023年7月、第19回日本クリティカルケア看護学会学術集会）／2.特別企画 レジェンド対談「救急看護の温故知新」（単独、2023年11月、第25回日本救急看護学会学術集会）／3.パネルディスカッション 2「Rapid Response System（RRS）の有効性と課題－医療安全と2022年度診療報酬改定を見据えて－」（単独、2023年11月、第26回日本救急看護学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞クリティカルケア領域で活躍する特定行為研修修了者の実践活動と今後の展望（共同、2023年7月、第19回日本クリティカルケア看護学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護学会誌（2件、日本看護学会）／2.日本災害看護学会第26回年次大会抄録集（3件、日本災害看護学会）／3.日本災害看護学会誌（1件、日本災害看護学会）／4.日本救急看護学会雑誌（1件、日本救急看護学会）／5.日本クリティカルケア看護学会誌（1件、日本クリティカルケア看護学会）／6.第20回日本クリティカルケア看護学会抄録集（15件、日本クリティカルケア看護学会）

＜学会役員就任状況＞一般社団法人日本クリティカルケア看護学会（将来構想委員会担当理事）／一般社団法人日本救急看護学会（医療政策担当理事 庶務担当理事）／一般社団法人日本災害看護学会（評議員、災害看護学術用語検討委員会）

＜学術集会運営＞第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会企画委員／第39回日本がん看護学会学術集会運営委員長

＜所属学会・研究会＞日本救急看護学会／日本クリティカルケア看護学会／日本循環器看護学会／日本看護管理学会／日本集中治療医学会／日本看護科学学会／日本看護教育学学会／日本看護研究学会／日本災害看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞医療事故調査の報告書を専門的知識・識見から審議（2024年3月11日・1日間、一般社団法人日本医療安全調査機構）／臨床指導者研修会 講師「ゴードンのアセスメント枠組みを用いた看護過程と臨床指導」（2023年11月17日・1日間、砂川市立病院）／救急看護に関わる診療報酬・介護報酬体系に関する審議・提案（一般社団法人看護系学会等社会保険連合）

高橋 奈美

＜著書＞1.看護実践に活かす中範囲理論第3版（共著、2023年11月、メヂカルフレンド、978-4-8392-1699-3、pp.230-238）／2.ナーシング・グラフィカ成人看護学⑤リハビリテーション看護（共著、2024年1月、メディカ出版、978-4-8404-8159-5、pp.52-59）／3.在宅看護過程演習第3版－アセスメント・統合・看護計画から実施・評価へ（共著、2024年2月、クオリティケア、978-4-911097-03-8、pp.127-151）

＜学会発表＞1.ALS患者の家族に対する医療・福祉専門職の支援と課題（共同、2023年9月、日本難病看護学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞訪問看護／在宅ケア技術（2023年11月、日本在宅ケア学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本慢性看護学会学術集会（2件、日本慢性看護学会）／2.日本難病看護学会誌（2件、日本難病看護学会）／3.日本在宅ケア学会学術集会（3件、日本在宅ケア学会）／4.日本慢性看護学会誌（1件、日本慢性看護学会）／5.SCUジャーナル（1件）

＜学会役員就任状況＞日本慢性看護学会（評議員）／日本在宅ケア学会（代議員）／日本難病看護学会（総務委員）



＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本難病看護学会／日本在宅看護学会／日本在宅ケア学会／日本慢性看護学会／日本専門看護師協議会／北海道医療大学看護福祉学部学会／日本プライマリ・ケア連合学会

＜講演会・講習会活動＞日本ALS協会北海道支部講演会「ALS療養者・家族の日常を支えるケア～過去・現在・未来～」(2023年6月4日、日本ALS協会北海道支部)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究倫理委員会学外委員(2023年4月～2024年3月、天使大学)／意思決定支援(ACP)研修、意思決定支援(ACP)研修(2023年11月17日、北海道医療大学病院)／訪問看護・訪問リハビリテーションにおける吸引手技研修、訪問看護・訪問リハビリテーションにおける吸引手技研修(2024年3月13日、静明館訪問看護ステーションののほな)

原井 美佳

＜実践報告等＞1.「地域の高齢者を対象とした思い出語りプロジェクト」のきろく(2024年3月、札幌市立大学)

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会(北海道公衆衛生学会評議員(機関指定評議員))

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会／日本老年泌尿器科学会／日本排尿機能学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本農村医学会／日本認知症ケア学会／日本スピリチュアルケア学会

＜講演会・講習会活動＞幌加内町第6回いきいき健康塾の企画・運営協力(地域産学連携協力依頼書あり)「第6回いきいき健康塾」(2023年7月30日、幌加内町)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞桑園認知症ケア研究会世話人(役員、兼業許可書あり)：桑園地区における認知症啓発活動の企画・運営、認知症ケア相談会における相談業務担当(桑園認知症ケア研究会)

檜山 明子

＜学術論文＞1.Using the Analytic Hierarchy Process to Measure Nurses' Decision-Making Regarding Fall Risks and Care Strategies for Fall Prevention(単著、2024年1月、Journal of Nursing Measurement)

＜実践報告等＞1.若手研究者のつながりと発信-JANS若手の会エリア・コーディネーターの活動(共著、2023年4月、医学書院、56巻、2号、pp.122-140)

＜学会発表＞1.認知症高齢がん患者に対する疼痛マネジメント看護師用教育プログラムの開発と評価(共同、2023年6月、第28回日本緩和医療学会学術大会)／2.看護学生に対する血圧測定技術教育に関するスコーピングレビュー(共同、2023年10月、第21回日本看護技術学会学術集会)／3.術前外来における退院後の生活を見据えた看護実践に関する質的研究(共同、2023年12月、第43回日本看護科学学会学術集会)／4.Relationship between accidents in nursing homes and staff movement records using a tag monitoring system and the call-bell record(単独、2024年3月、The 11th World Congress of Clinical Safety)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.医療の質・安全学会誌(1件、医療の質・安全学会)

＜学会役員就任状況＞日本看護科学学会(和文誌編集委員)／日本看護科学学会(JANS若手の会エリア・コーディネーター)

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本看護技術学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞運営委員(事務局)(2023年4月1日～2024年3月31日、北のケア環境研究会)／北海道専任教員養成講習会講師(2023年6月16日～7月14日、北海道看護協会、令和6年度北海道専任教員養成講習会)

本田 光

＜学術論文＞1.性犯罪に遭うことが危惧される障がいのある子どもの行動 — 特別支援学校と放課後等デイサービスの教職員の観点から — (共著、2023年5月、母性衛生、64巻、2号、pp.299-307)／2.継続的家庭訪問による学生の学びと高齢者の生きがい創出 — URあけぼの団地で実施された「教えて人生の先輩」プロジェクトの評価 — (共著、2023年10月、札幌市立大学研究論文集、17巻、1号、pp.3-



13) /3.パートナーが妊娠期にある父親を対象とした支援ニーズの実態調査～パートナーシップを強化する観点から～（共著、2024年3月、北海道公衆衛生学雑誌、37巻、2号、pp.129-135）

＜実践報告等＞1.第11回日本公衆衛生看護学会学術集会 学術実践開発委員会ワークショップ報告 公衆衛生看護実践のためのガイドライン作成に向けて（共著、2023年8月、日本公衆衛生看護学会誌、12巻、2号、pp.142-145） /2.母親の子育てを通して「地域の人々をつながる力」を測定する尺度 使用ガイド（単著、2024年3月、北海道公衆衛生学雑誌、37巻、2号、pp.143-147）

＜学会発表＞1.SUPPORT FOR FATHERS DURING PREGNANCY IN JAPAN: A STUDY OF PROGRAM PLANNING TO STRENGTHEN PARTNERSHIPS（共同、2023年7月、ICN CONGRESS 2023） /2.特別支援教育で活用可能な性教育教材（SHカード）の開発と有効性の評価（共同、2023年9月、日本地域看護学会第26回学術集会） /3.精神疾患を疑う急性期事例に対応する警察・保健所との連携に関するニーズ（共同、2023年9月、日本地域看護学会第26回学術集会） /4.インドネシア人看護師が日本の看護師国家試験に合格するために必要な要素（共同、2023年11月、第75回 北海道公衆衛生学会） /5.公衆衛生看護実践のためのガイドラインは必要？：ガイドラインの基本を一緒に学びましょう（共同、2024年1月、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会） /6.日本版BPPの取り組み～母子保健における父親支援について考えよう～（共同、2024年1月、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会） /7.新規事業の評価をエビデンスに～前後比較？それともRCT？（共同、2024年1月、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会） /8.地域運営型フリースクール「うめむすび」設立支援と学生にとっての教育的意義～不登校の子ども達のための地域の居場所づくり（共同、2024年1月、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会） /9.Development of a web application to support mothers' connection to the community and verification of its effectiveness: a RCT study in Japan（共同、2024年3月、27th East Asian Forum of Nursing Scholars, Hong Kong） /10.Collaboration in occupational health nursing - A concept analysis review -（共同、2024年3月、27th East Asian Forum of Nursing Scholars, Hong Kong）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.BMC Geriatrics（1件、BMC Geriatrics） /2.Public Health Nursing（3件、Public Health Nursing） /3.BMC Public health（1件、BMC Public health） /4.日本地域看護学会誌（2件、日本地域看護学会） /5.日本公衆衛生看護学会誌（2件、日本公衆衛生看護学会） /6.北海道公衆衛生学雑誌（1件、北海道公衆衛生学会）

＜学会役員就任状況＞日本公衆衛生看護学会（学術実践開発委員会） /北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本産業衛生学会 /日本公衆衛生看護学会 /北海道公衆衛生学会 /日本公衆衛生学会 /日本看護科学学会 /日本地域看護学会 /日本学校保健学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞市立札幌病院 看護研究に関する講義「研究デザインについて考える」（2023年7月25日、市立札幌病院看護部） /全保教夏季研修会第3分科会「尺度開発」に関する講義「尺度開発-SC20」（2023年8月26日、全国保健師教育機関協議会） /札幌市豊平区・地域包括支援センター・予防センター向け地区診断に関する講義「地区診断の方法論」（2023年9月20日、札幌市豊平区保健福祉課）

牧野 夏子

＜学術論文＞1.形成外科における熱傷患者の看護援助に関する看護師の困難（共著、2023年9月、熱傷、49巻、3号、pp.155-163） /2.COVID-19重症・中等症患者の看護実践における困難の実態（共著、2023年11月、日本クリティカルケア看護学会誌、19巻、pp.172-183） /3.重症熱傷患者に対する移行ケアにおける看護師の認識（共著、2024年3月、熱傷、50巻、1号、pp.29-38）

＜資料＞1.よくわかる看護過程 第5回脊髄損傷患者の看護（2023年7月、株式会社GAKKEN、11巻、8号、pp.75-101）

＜学会発表＞1.重症熱傷患者に対する救急医療から病棟への移行ケアに関する形成外科看護師の認識（共同、2023年5月、第49回日本熱傷学会学術集会） /2.救急看護領域におけるエキスパートナースの熱傷看護実践（共同、2023年7月、第19回日本クリティカルケア看護学会学術集会） /3.Overview of the process of developing tools for critical care trauma nursing practice in Japan（共同、2023年8月、The 6th World Trauma Congress） /4.熱傷患者に対する看護師の退院支援に関する実態（共同、2023年11月、第25回日本救急看護学会学術集会） /5.救急外来における熱傷患者家族への看護の現状と課題（共同、2023年11月、第25回日本救急看護学会学術集会） /6.救命救急センターに勤務する看



看護師が抱える疲労の要因（単独、2023年11月、日本看護学会誌）／7.熱傷患者の退院支援に関する施設の取り組みの実態（共同、2024年2月、第31回日本熱傷学会北海道地方会）／8.熱傷患者に対する移行ケアに関する国内外の文献検討（共同、2024年2月、第31回日本熱傷学会北海道地方会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.医学と生物学 (Medicine and Biology) (1件、医学と生物学)／2.日本救急看護学会誌 (1件、日本救急看護学会)

＜学会役員就任状況＞日本クリティカルケア看護学会 (将来構想委員)／日本救急看護学会 (評議員)

＜学術集会運営＞第51回日本集中治療医学会学術集会 企画委員／第1回サマーキャンプ in NISEKO 企画委員／第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会 企画実行委員／第39回日本がん看護学会学術集会企画委員

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本熱傷学会／日本救急看護学会／日本集中治療医学会／日本救急医学会北海道地方会／日本看護研究学会／北海道専門看護師の会／日本臨床救急医学会／日本クリティカルケア看護学会／日本熱傷学会／日本専門看護師協議会／札幌医科大学クリティカルケア看護研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞急性増悪につながる状態変化の臨床判断「フィジカルアセスメントIV」（2023年7月15日、札幌医科大学附属病院看護部）

村松 真澄

＜学術論文＞1.Current status and future prospects for oral care education in Bachelor of Nursing curriculums: A Japanese cross-sectional study (共著、2023年4月、Japan Journal of Nursing Science、20巻、2号)／2.特別養護老人ホーム入居者のエンドオブライフにおけるケアニーズの構造 (共著、2023年7月、日本老年看護学雑誌、28巻、1号、pp.62-71)／3.A Survey of Oral Assessment and Healthcare Education at Nursing Schools in Japan (共著、2023年12月、International Dental Journal、73巻、6号、pp.804-811)／4.Implementation of peer-to-peer oral care objective structured clinical examination-based learning for nursing students (共著、2024年2月、Japan Journal of Nursing Science)

＜調査研究報告書＞1.2022/23年度モニタリンググループ年次報告書 (共著、2023年10月、日本公衆衛生学会モニタリング)

＜学会発表＞1.口腔機能低下症患者に対する当院の筋機能療法 (共同、2023年4月、日本口腔ケア学会)／2.医療・介護関連肺炎発症におけるOral Assessment Guide合計得点のカットオフポイントの検討 (共同、2023年6月、日本老年歯科医学学会)／3.Oral Assessment Guideによる口腔機能評価は介護福祉施設入居者の肺炎発症のリスク判断になりうるか 1年前向きコホート研究 (共同、2023年7月、第64回日本歯科医療管理学会学術大会)／4.COVID-19流行下における北海道の特別養護老人ホームの入居者の肺炎罹患率と口腔衛生管理加算との関係 (共同、2023年7月、第64回日本歯科医療管理学会学術大会)／5.希死念慮を抱える認知症高齢者のケアについての文献検討 (共同、2023年9月、第75回北海道公衆衛生学会)／6.神経難病により摂食嚥下障害を持つ患者の早期発見のための特徴とケアについての文献検討 (共同、2023年9月、第75回北海道公衆衛生学会)／7.高齢者の孤独感に着目したコミュニケーション・カフェの実践 (共同、2023年12月、共創学会第7回年次大会)／8.術前外来における退院後の生活を見据えた看護実践に関する質的研究 (共同、2023年12月、日本看護科学学会)

＜学会シンポジウム＞1.介護施設における看護と介護の連携強化によるエンドオブライフケア (単独、2023年6月、日本老年看護学会)／2.シンポジウム1 急性期から慢性期・在宅で口腔ケアの連携「口腔ケアから始まる連携の場」 (単独、2023年8月、第25回日本口腔ケア協会学術大会並びに日本口腔ケア学会秋季大会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本老年看護学会学術集会 (3件、日本老年看護学会)

＜学会役員就任状況＞日本老年看護学会 (代議員)／日本摂食嚥下リハビリテーション学会 (評議員)／日本口腔ケア学会 (評議員)／北海道公衆衛生学会 (評議員)／日本公衆衛生学会 (モニタリング委員)

＜学術集会運営＞第25回日本口腔ケア協会学術大会並びに日本口腔ケア学会秋季大会

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会評議員・査読委員・政策検討委員／日本口腔ケア学会評議員・学術委員／日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員・査読委員／日本公衆衛生学会会員モニタリング委員／北海道公衆衛生学会会員評議員／日本看護教育学会会員／日本地域看護学会会員／日本看護研



究学会会員／日本老年歯科医学会会員／日本看護科学学会会員／看護理工学会会員／日本看護技術学会会員／日本看護管理学会会員／日本がん看護学会会員／日本在宅ケア学会会員／日本歯科医療管理学会会員／日本在宅看護学会会員／北海道歯学会会員／日本口腔看護研究会副代表世話人／北海道口腔ケア研究会会員世話人／旭川口腔ケア普及会会員幹事／日本認知症ケア学会／日本高齢者ケアリング学研究会／日本がん口腔支持療法学会／死の臨床研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞福岡看護大学のOSCE 支援「看護におけるOSCEの概要と実際」（2023年5月25日、福岡看護大学）／口腔機能管理委員会への支援：研修会の講師「口腔機能管理委員会研修会の講師「周術期口腔機能管理の必要性」」（2023年5月30日、東京医科大学病院）／北海道大学・第21回 医療AI特別セミナー（令和5年度 第7回）の講師「看護に貢献する口腔アセスメントとAI」（2023年11月16日、医療AI開発者養成プログラム(CLAP)と北海道大学病院医療AI研究開発センター、連携研究センター医療AI教育研究分野）／2023年度口腔ケア実践WEBセミナーの企画運営（日本口腔看護研究会）／旭川口腔ケア普及会（上川中部地域歯科保健推進協議会）

守村 洋

＜学術論文＞1.シミュレーションで身につける精神看護技術 うつ病（単著、2024年3月、医学映像教育センター）／2.シミュレーションで身につける精神看護技術 統合失調症（単著、2024年3月、医学映像教育センター）

＜実践報告等＞1.精神科病床を有する医療機関等での虐待防止と権利擁護の取り組みに関する文献・事例等報告書（共著、2023年6月、日本精神保健看護学会、pp.23-26）

＜学会発表＞1.当事者参加型演習における教育効果の検証・学生によるアセスメントの視点をテキストマイニング分析で可視化する（共同、2023年6月、日本精神保健看護学会第33回学術集会総会）／2.みんなで対話しよう！権利擁護ー神出病院事件を繰り返さないためにー（共同、2023年6月、日本精神保健看護学会第33回学術集会総会）／3.精神看護学領域と地域看護学領域によるOSCE複合課題開発と実践の報告（共同、2023年8月、日本看護学教育学会第33回学術集会）／4.4年次生に対するOSCE複合課題の作成と取り組みー卒業時における看護実践能力を育むにはー（共同、2023年8月、日本看護学教育学会第33回学術集会）／5.発達障害とトラウマインフォームドケアー家族支援のための対話実践ー（共同、2023年12月、日本看護科学学会第43回学術集会）／6.精神看護学シミュレーション教育の過程で自信度はどのように変化するか（共同、2024年2月、日本看護シミュレーションラーニング学会第5回学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.大学キャンパスにおける複雑事例に対する問題解決アプローチ（共同）、2023年12月、第45回全国大学メンタルヘルス学会）

＜学会役員就任状況＞日本看護シミュレーションラーニング学会（代議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本精神保健看護学会／日本救急看護学会／日本自殺予防学会／日本うつ病学会／日本看護学教育学会／日本看護管理学会／日本看護シミュレーションラーニング学会／日本シミュレーション医療教育学会／日本社会精神医学会／日本公衆衛生学会／日本精神障害者リハビリテーション学会／全国大学メンタルヘルス学会

＜講演会・講習会活動＞教諭向け研修会「自殺予防の取組」（オンデマンド、札幌市教育委員会）／市民向け講習会「推し活、ハマる、そして依存する」（2023年8月19日、NPO法人札家連）／市民向け講習会「女性のメンタルヘルス」（2023年10月31日、公益財団法人北海道女性協会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞メンタルヘルス・スペシャリスト養成講座「精神保健」（2024年4月30日、10月29日、一般社団法人メンタルケア協会）／令和5年度福祉職場におけるメンタルヘルス研修「「職場のメンタルヘルス対策と管理者の役割」など」（オンデマンド、北海道社会福祉協議会）／機関紙「心の健康」編集委員（2023年8月1日、2024年2月1日、北海道精神保健協会）／精神科訪問看護基本療養指導に係る研修「「精神保健福祉の現状と動向」など」（2023年8月16日、北海道看護協会）／令和5年度生活支援員登録に向けた研修会「精神障害のある方への関わり・制度等支援について」（オンデマンド、札幌市社会福祉協議会）／住民を巻き込んだSP導入の仕組みと意義（2024年2月13日、福岡県立大学）／看護OSCEの構築とその意義について（2024年3月15日、公立大阪大学）

石引 かずみ



<学術論文>1.開業助産師が捉えている分娩期におけるWomen-centered careのとその実践（共著、2023年12月、日本看護科学会誌、43巻、pp.831-841）
 <学会役員就任状況>日本フォレンジック看護学会（代議員）
 <学術集会運営>第16回 北海道成育看護研究会
 <所属学会・研究会>日本助産学会／日本母性衛生学会／北海道母性衛生学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本フォレンジック看護学会／日本保健医療福祉連携教育学会
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>北海道看護協会 札幌第1支部 助産師職能委員（北海道看護協会）

伊東 健太郎

<学会発表>1.北海道の過疎地域における精神障害者の支援～精神科訪問看護師の支援に焦点を当てて～（単独、2023年5月、日本精神保健看護学会）／2.当事者参加型演習において学生が着目したりカバリーの視点～計量テキスト分析による学生レポートの内容分析～（共同、2023年5月、日本精神保健看護学会）／3.積雪寒冷期に北海道の過疎地域で精神障害者を支援する際の困難（共同、2023年9月、日本ルーラルナーシング学会）／4.精神科臨床経験がない訪問看護師による精神障害者への看護ケア（共同、2023年11月、日本在宅ケア学会）／5.精神看護学シミュレーション教育の過程で自信度はどのように変化するか（共同、2024年2月、日本看護シミュレーションラーニング学会）
 <論文査読・学会抄録査読>1.SCUジャーナル（1件）
 <所属学会・研究会>日本精神保健看護学会／日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本自殺予防学会／日本社会精神医学会／日本看護研究学会／日本看護シミュレーションラーニング学会／日本シミュレーション医療教育学会／日本ルーラルナーシング学会
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>現役看護師を中心とした参加者が当事者研究を行い自身のメンタルヘルスについて分析するための支援（毎月、当事者研究会「ぱちぱちの会」）／医療職者が当事者研究を行い、生きづらさについて共有し分かち合う会の支援（毎月、当事者研究「Supaの会」）／SST（社会生活技能訓練）、当事者研究の研修会（2023年4月8日、すずらん病院）／当事者研究北海道大会ネットワーク運営の支援（2023年4月～2024年3月、北海道当事者研究ネットワーク）／当事者支援の研修会（2023年6月17日、胆振いぶり・ひだか 児童家庭支援センター しずく）／当事者研究全国交流集会の支援（2023年6月～10月、当事者研究全国交流集会）

岡 園代

<著書>1.助産学基礎教育テキスト第7巻（共著、2024年2月、日本看護協会出版会、9784818026179、pp.253-277）
 <論文査読・学会抄録査読>1.日本新生児看護学会誌（1件、日本新生児看護学会）
 <学術集会運営>第16回北海道成育看護研究会
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>第1回北海道新生児集中ケア認定看護師の集いの企画・運営（新生児集中ケア認定看護師会）

鬼塚 美玲

<学会発表>1.厳冬期地震災害の災害急性期における患者想定（単独、2023年6月、第25回日本医療マネジメント学会学術総会）／2.厳冬期災害時の避難所における「かまくらトイレ」の活用可能性—構造や空気温度に着目したトイレ環境の検証—（共同、2023年6月、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会）／3.テーマセッション「厳冬期における災害への備え-医療的ケアを必要とする小児と家族のために-」（共同、2023年7月、日本小児看護学会第33回学術集会）／4.Social Experiment on “Home visit Rehabilitation MaaS” in Area with Heavy Snowfall of Northern Japan, Sapporo（共同、2023年8月、Asian-Pacific Planning Societies 2023国際会議ベトナム）／5.厳冬期災害時の避難所における「かまくらトイレ」の使用感の検証（共同、2023年9月、日本災害看護学会第25回年次大会）／6.積雪寒冷期大地震に対する病院看護部門の備え（共同、2023年12月、第71回日本職業・災害医学会学術大会）／7.大規模災害時の多職種による医療支援において看護師が経験する倫理的課題（共同、2023年12月、第71回日本職業・災害医学会学術大会）
 <所属学会・研究会>防衛衛生学会／日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本



医療マネジメント学会／日本職業・災害医学会／日本災害看護学会／日本デザイン学会
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>災害連携教員（一般社団法人日本看護系大学協議会）

工藤 京子

<学会発表>1.わかるより気づきの教育を。対話型鑑賞から考える看護のまなざし（共同、2023年8月、看護学教育学会）

<学術集会運営>第39回 日本がん看護学会企画委員

<所属学会・研究会>日本災害医学学会／日本看護科学学会／日本呼吸ケア・リハビリテーション学会／日本看護研究学会／日本認知症ケア学会／日本看護管理学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援>実習指導者1年目への講義「看護基礎教育における実習の意義と指導」「臨床指導者研修Ⅰ」（2023年4月17日、市立札幌病院看護部）

武富 貴久子

<学術論文>1.大学病院における医療職者の努力-報酬不均衡モデルによる職業性ストレスと労働災害・医療事故との関係（共著、2023年9月、労働安全衛生研究、16巻、2号、pp.117-125）

<学会発表>1.北海道過疎地域に居住する高齢者の健康意識と医療サービスに関する横断的調査（共同、2023年5月、第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会）／2.看護師の臨床研究を支援する取り組み A病院の7年間の教育・管理的サポートと研究成果（共同、2023年8月、第27回日本看護管理学会学術集会）／3.Community Health Care from the Perspective of Senior Residents in Underpopulated Areas（共同、2024年3月、27th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2024)）

<学会シンポジウム>1.シンポジウム「多様なプライマリ・ケア領域の研究を発信するためには」（共同、2023年5月、第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会）／2.医学教育研究の基本を学ぶワークショップ（共同、2023年7月、第55回日本医学教育学会大会）

<論文査読・学会抄録査読>1.プライマリケア・連合学会誌（4件）

<学会役員就任状況>日本医学教育学会（一般社団法人日本医学教育学会代議員会推薦代議員http://jsme.umin.ac.jp/ann/jmse_an_230605.html、研究推進委員会）

<所属学会・研究会>日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本看護研究学会／日本医学教育学会／日本医療・病院管理学会／日本血管看護研究会／日本公衆衛生学会／日本看護シミュレーションラーニング学会／日本プライマリ・ケア連合学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援>看護研究指導（2023年4月～2024年3月、砂川市立病院看護部）／看護研究指導（2023年4月～2024年3月、町立中標津病院）／医学OSCE認定標準模擬患者委員会（委員）（2023年4月～2024年3月、公益社団法人医療系大学間教養試験実施評価機構）／医学教育研究支援メンタリングプログラム企画・運営（2023年6月～7月、医学教育研究メンタリングプログラム）／OSCE運営支援（標準模擬患者に対する演技および評価の助言）（2023年9月9～10日、10月14～15日、北海道大学）／看護研究指導（2024年2月～3月、医療法人北楡会札幌北楡病院）／第14回医学教育研究技法ワークショップ「医療者教育の研究を立案してみよう」（2024年3月2日、医学教育学会研究推進委員会）

牧田 靖子

<学会発表>1.厳冬期における災害への備え～医療的ケアを必要とする小児と家族のために～（共同、2023年7月、日本小児看護学会第33回学術集会）／2.「北海道小児膠原病の会」の設立を通して、子どもとその家族に必要な支援を考える（共同、2023年9月、全国自治体病院学会）／3.コロナ禍における保育者の抑うつに対するリスク関連要因;幼稚園・保育園における横断研究（共同、2023年11月、北海道公衆衛生学会）／4.乳児虐待リスク予測システム（仮称）の開発と精度検証-第1報-（共同、2023年11月、日本子ども虐待防止学会）

<所属学会・研究会>日本小児看護学会／日本小児救急医学会／日本小児集中治療研究会／日本子ども虐待防止学会／日本糖尿病教育・看護学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／北海道子どもの虐待防止協会／北海道成育看護研究会／認定特定非営利法人ファミリーハウス／北海道地域医療研究会／北海道公衆衛生学会



＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞毎月1回1時間、保健相談を実施、記録、教えて！ナース（毎月1回、南区保育子育て支援センター）／患者会会議、活動の評価、支援「助成金獲得支援、運営評価、イベント企画・サポート」（3～4カ月に1回不定期、北海道小児膠原病の会）／小児の救命講習 講師「ママさん教育リフレッシュセミナー」（2023年11月17日、砂川市教育委員会）／医療事故調査・支援センター、センター調査個別調査部会部会員（2024年1月11日、3月21日、日本医療安全調査機構）

三戸部 純子

＜学術論文＞1.薬剤確認時におけるエラー識別の混酸差に関する実験的検討（単著、2023年9月、SCUジャーナル、17巻、1号、pp.15-22）

＜学会発表＞1.薬剤名・薬剤量の識別エラーの実験的検討（単独、2023年6月、第11回看護理工学会）

＜研究会発表等＞1.薬剤情報の差異検出に関する実験的検討―薬剤名と薬剤量ではどちらがミスを見逃しやすいのか―

＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCUジャーナル（1件、SCUジャーナル）

＜所属学会・研究会＞日本心理学会／日本看護技術学会／看護理工学会／看護人間工学会

矢野 祐美子

＜学術論文＞1.中小規模病院の看護師長を対象とした問題解決思考力向上のためのオンライン学習プログラムの開発（単著、2023年9月、聖路加国際大学）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.札幌市立大学研究論文集 SCU Journal of Design & Nursing 2024（1件）／2.伝統医療看護連携研究 第5巻第2号（1件、日本伝統医療看護連携学会）

＜学術集会運営＞日本看護管理学会 例会 in 北海道

＜所属学会・研究会＞日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本看護評価学会／日本医療・病院管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌第3支部看護師職能研修会：看護職のキャリアにおける社会人基礎力育成のあり方「変化する社会において中堅看護師に求められるマネジメント力を考える」（2023年12月2日、北海道看護協会）

市戸 優人

＜学術論文＞1.性犯罪に遭うことが危惧される障がいのある子どもの行動―特別支援学校と放課後等デイサービスの教職員の観点から―（共著、2023年7月、母性衛生、64巻、2号、pp.299-307）／2.思春期の子どもをもつ親を対象とした家庭内性教育支援プログラムの開発と有効性の検証（単著、2023年9月、札幌市立大学大学院看護学研究科）

＜学会発表＞1.精神看護学領域と地域看護学領域によるOSCE複合課題開発と実践の報告（共同、2023年8月、日本看護学教育学会 第33回学術集会）／2.4年次生に対するOSCE複合課題の作成と取り組み―卒業時における看護実践能力を育むためには―（共同、2023年8月、日本看護学教育学会 第33回学術集会）／3.特別支援教育で活用可能な性教育教材（SHカード）の開発と有効性の評価（共同、2023年9月、日本地域看護学会 第26回学術集会）／4.北海道産業保健総合支援センターの産業保健実習における取り組み（共同、2023年9月、第103回北海道医学大会）／5.思春期の子どもをもつ親を対象とした家庭内性教育支援プログラムの開発（共同、2024年1月、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会）／6.新規事業の評価をエビデンスに―前後比較？それともRCT？―（共同、2024年1月、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会）

＜学会役員就任状況＞日本産業衛生学会北海道地方会（運営委員）／日本産業衛生学会北海道地方会産業保健看護部会（幹事）／北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞北海道公衆衛生学会／日本公衆衛生看護学会／看護総合科学研究会／日本健康学会／日本看護研究学会／日本思春期学会／日本公衆衛生学会／日本産業衛生学会／日本母性衛生学会／日本看護教育学会／日本学校保健学会

＜講演会・講習会活動＞高等学校で高校生を対象とした性講話を実施「自分の性を大切によりよい性生活を送るために」（2023年7月23日、北海道室蘭栄高等学校）／高等学校で高校生を対象とした性講話を実施「自分の性を大切にしよりよい性生活を送るために」（2024年1月23日、北海道大谷室蘭高等学校）／高等支援学校で高校生を対象とした性講話を実施「心と体と関係性」（2024年3月18日、市立札幌みなみの杜高等支援学校）



＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞アクティブラーニングを用いた性教育を可能とする性教育教材に関する教員研修会にて講師を担った「アクティブラーニングを用いた性教育を可能とする性教育教材」（2024年1月15日、北海道伊達高等養護学校）

久保田 祥子

＜学術論文＞1.Benefits to Clinicians of Nonpharmacological Distraction During Pediatric Medical Procedure（共著、2024年2月、Hospital Pediatrics、14巻、2号、pp.e123-e131）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.CBEL Report（東京大学生命倫理連携研究機構が発行している雑誌）（1件）

＜学術集会運営＞第16回北海道成育看護研究会

＜所属学会・研究会＞日本生命倫理学会／日本助産学会／日本フォレンジック看護学会／日本思春期学会

栗原 知己

＜学術論文＞1.Japanese Clinical Practice Guidelines for Rehabilitation in Critically Ill Patients 2023 (J-ReCIP 2023)（共著、2023年11月、Journal of intensive care、11巻、1号、p.47）／2.Experiences of the older spousal caregivers of patients with cancer during palliative chemotherapy: a qualitative descriptive study（共著、2023年11月、BMC palliative care、22巻、1号、p.188）／3.Clinical parameter-guided initial resuscitation in adult patients with septic shock: A systematic review and network meta-analysis（共著、2023年12月、Acute medicine & surgery、10巻、1号、p.e914）／4.Nation-wide survey of oral care practice in Japanese intensive care units: A descriptive study（共著、2024年3月、Plos one、19巻、3号、p.e0301258）

＜学会発表＞1.日本国内の全集中治療室を対象とした口腔ケアの実態調査（共同、2024年3月、第51回日本集中治療医学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.Current situation related to the critical care nursing for trauma patients in Japan.（2023年8月、World Trauma Congress）

＜学会座長就任状況＞P041 長期予後、P132 Post ICU 2（2024年3月、第51回日本集中治療医学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.第51回日本集中治療医学会学術集会（11件、一般社団法人 日本集中治療医学会）

＜学会役員就任状況＞一般社団法人 日本集中治療医学会（看護教育委員会 委員）／一般社団法人 日本救急看護学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本救急看護学会／日本クリティカルケア看護学会／日本集中治療医学会／日本看護管理学会／日本看護研究学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞JNTECプロバイダーコースのインストラクター「外傷初期看護セミナー（JNTEC）」（2023年5月13～14日、9月30日～10月1日、日本救急看護学会）

近藤 圭子

＜学会発表＞1.北海道過疎地域に居住する高齢者の健康意識と医療サービスに関する横断的調査（共同、2023年5月、第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会）／2.地域運営型フリースクール「うめむすび」設立支援と学生にとっての教育的意義～不登校の子ども達のための地域の居場所づくり～（共同、2024年1月、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会）／3.Community Health Care from the Perspective of Senior Residents in Underpopulated Areas（共同、2024年3月、27th East Asian Forum of Nursing Scholars）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（北海道公衆衛生学会評議員）

＜所属学会・研究会＞日本プライマリ・ケア連合学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生看護学会／日本在宅ケア学会／日本看護科学学会／日本衛生学会／日本農村医学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞非営利地域団体によるフリースクール運営のための学生参加、フリースクール運営のための助言や学生ボランティアのサポート（2022年9月～2023年9月、フリース



クール「うめむすび」) / 第1支部委員長 看護職能団体として看護の質向上、看護職が働き続けられる環境づくり、ニーズに応える看護の提供 (2023年3月～、北海道看護協会保健師職能委員会)

渋谷 友紀

<学術論文> 1. 「行動変容に向けた意欲」の評価に関する研究 (共著、2024年1月、デザイン学研究、70巻、3号、pp.1-10)

<学会発表> 1. 当事者参加型演習において学生が着目したリカバリーの視点-計量テキスト分析による学生レポートの内容分析 (共同、2023年5月、日本精神保健看護学会第33回学術集会・総会) / 2. 4年次生に対するOSCE複合課題の作成と取り組み-卒業時における看護実践能力を育むには (共同、2023年8月、日本看護学教育学会第33回学術集会) / 3. 精神看護学領域と地域看護学領域によるOSCE複合課題開発と実践の報告 (共同、2023年8月、日本看護学教育学会第33回学術集会) / 4. 精神看護学シミュレーション教育の過程で自信度はどのように変化するか (共同、2024年2月、第5回日本看護シミュレーションラーニング学会)

<研究会発表等> 1. 人材育成に向けたHCDの最適化に関する研究 (共同、2023年11月、人間中心設計2023年度冬季HCD研究発表会)

<所属学会・研究会> 特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構 / 日本精神保健看護学会 / 日本シミュレーション医療教育学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護シミュレーションラーニング学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護研究学会 / 日本デザイン学会 / 日本教育工学会

田仲 里江

<学術論文> 1. 計量テキスト分析を用いた法看護教育の課題 (共著、2023年4月、日本セーフティープロモーション学会、16巻、1号、pp.18-28)

<学会発表> 1. 精神看護学領域と地域看護学領域によるOSCE複合課題開発と実践の報告 (共同、2023年8月、日本看護学教育学会第33回学術集会) / 2. 4年次生に対するOSCE複合課題の作成と取り組み-卒業時における看護実践能力を育むには (共同、2023年8月、日本看護学教育学会第33回学術集会) / 3. DX, ICT遺留品記録アプリを活用した災害看護教育の教材検討 (共同、2023年9月、日本災害看護学会第25回年次大会)

<学会役員就任状況> 北海道公衆衛生学会 (評議員)

<所属学会・研究会> 日本公衆衛生看護学会 / 日本地域看護学会 / 日本公衆衛生学会 / 北海道公衆衛生学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護学教育学会 / 日本災害看護学会 / 教育システム情報学会 / 日本フォレンジック看護学会 / 日本医療教授システム学学会 / 日本教育工学学会 / 日本看護管理学会

西川 めぐみ

<学会役員就任状況> 北海道腎移植談話会 (幹事・会計監事) / 日本移植コーディネーター協議会 (教育委員)

<所属学会・研究会> 日本移植学会 / 日本臨床腎移植学会 / 日本看護医療学会 / 日本腎不全看護学会 / 北海道腎移植談話会

<専門職者・企業・展覧会等への支援> JATCO総合研修会およびフォローアップセミナーの企画・運営「JATCO総合研修会「L6共7講面接技術」、第4回JATCO総合研修会フォローアップセミナー」(2023年12月1～2日、2024年2月15日、日本移植コーディネーター協議会)

平山 憲吾

<学術論文> 1. オンラインシステムを用いたがん体験者参加型演習の実践—COVID-19 流行下における成人看護学実習の新たな取り組み— (共著、2023年9月、SCU Journal of Design & Nursing、17巻、1号、pp.23-32) / 2. Experiences of the older spousal caregivers of patients with cancer during palliative chemotherapy: a qualitative descriptive study. (共著、2023年11月、BMC Palliative Care、22巻、1号、p.188) / 3. Risk factors for oral frailty among community-dwelling pre-frail older adults in Japan: A cross-sectional analysis. (共著、2023年11月、Community Dental Health、40巻、4号、pp.221-226)

<調査研究報告書> 1. 「化学療法を継続する進行高齢がん患者における意思決定支援モデルの開発と検



証」令和5年度科研費研究成果報告書（2023年12月）

＜学会発表＞1.がん薬物療法を受ける高齢患者とその家族の双方に対する思いに関する文献検討（単独、2023年12月、第43回日本看護科学学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCU Journal of Design & Nursing（1件）

＜学会役員就任状況＞看護総合科学研究会（総務）／日本専門看護師協議会（研修委員会 北海道地区ワーキング委員）／日本がん看護学会（日本がん看護学会誌 査読委員）

＜学術集会運営＞2023年度看護総合科学研究会セミナー

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本がん看護学会／日本専門看護師協議会／日本老年医学会／日本老年看護学会／日本在宅ケア学会／日本健康医学会／看護総合科学研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞デスカンファレンスへの参加・助言（2023年7月12日、9月15日、市立札幌病院、6階東病棟、8階西病棟）

吉田 実和

＜学会発表＞1.看護学生に対する血圧測定技術教育に関するスコーピングレビュー（共同、2023年10月、日本看護技術学会第21回学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会／日本看護技術学会／日本看護研究学会／日本看護科学学会／看護理工学会

高橋 葉子

＜学会発表＞1.認知症高齢がん患者に対する疼痛マネジメント看護師用教育プログラムの開発と評価（共同、2023年6月、日本緩和医療学会）／2.看護学生に対する血圧測定技術教育に関するスコーピングレビュー（共同、2023年10月、日本看護技術学会）／3.「認知症の街(ホグウェイ)」の成立過程と実態についての歴史的研究（共同、2023年12月、日本看護科学学会）／4.看護師のプロフェッショナルグリーフ研究の動向 国外文献に焦点を当てて（共同、2023年12月、日本看護科学学会）／5.心電図初学者のための心臓模型教材の開発 プレテスト結果の報告（共同、2023年12月、日本看護科学学会）

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本看護科学学会／看護理工学会／日本看護技術学会

**AITセンター****高橋尚人**

＜学術論文＞1.ニューラルネットワークを用いた札幌市の救急搬送の将来予測（共著、2023年9月、第22回情報科学技術フォーラム（FIT2023））／2.札幌市の幹線道路排雪作業の最適化に関する研究（共著、2023年11月、寒地技術論文・報告集Vol.39）／3.ドライアイスによるコンクリートの健全性診断システムの開発（共著、2024年2月、令和5年度土木学会北海道支部論文報告集（第80号））

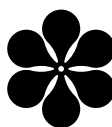
＜学会発表＞1.近赤外光による雪氷混在路面反射の分類 — 深層学習の適用可能性について —（共著、雪氷研究大会（2023年・郡山）、2023年9月）／2.プロピオン酸ナトリウムを活用した凍結防止剤の検証報告（共著、第35回ふゆトピア研究発表会論文集、2024年1月）

＜所属学会・研究会＞土木学会／日本雪氷学会／情報処理学会／日本看護科学学会

＜講演会・講習会活動＞札幌旭丘高等学校数理データサイエンス科「総合的な探究の時間」講座「データサイエンスと街づくり」（2023年7月3日、札幌旭丘高等学校）／第8回 WEATEHR-Eyeオープンフォーラム「深層学習を用いた滑走路雪氷判別モデルの構築」（2023年12月5日、JAXA）

「札幌市立大学のシンボルマークについて」

札幌市立大学のシンボルマークは、
英国の著名なクリエイティブグループtomatoの
ジョン・ワーウィッカー氏によってデザインされました。
雪の結晶のイメージは、札幌の自然環境を特徴づけると共に、
大学での学習過程を図像的にあらわしたものです。(登録商標)



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

札幌市立大学年報 2023年度 第18号

編 集 広報室

担 当 事 務 経営企画課

発 行 日 2024年12月1日

発 行 行 札幌市立大学

〒005-0864 北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 FAX : 011-592-2369

URL <https://www.scu.ac.jp>